あの人気アーティストを直撃!!／ボカロフィギュア最前線／コスプレの深層をご覧あれ!!／ボカロPさん座談会

ボーカロイドとニコニコ動画から広がるエンタテインメントを満載！

［ボカロプラス］ Vol.2

ボカロPlus

ロマンアルバム
徳間書店
1575円

VOCALOID3☆Interview
喜多村英梨&CUL

ボカロマケッツ

ボカロ大好き

Plus Meets Artist
DECO*27
supercell
ピコ
ゴム
あさまっく
√5
秋 赤音

VOCALO-P HEAD-LINE
Re:nG
ぺぺろんP
イメソラP
アキバヲタP

ICE MOUNTAIN
かごめP
Dong
いたちまP
takamatt

エハミックさんのアナログ盤ミク

VOCALO-P座談会
ボカロ曲の歴史を振り返る
ichi／ハヤシケイ／キャプテンミライ／buzzG

特集／GUMIがスゴいことになってます！
GUMIまるっと保存版！
ここがスゴい！ 1 キャラ 2 ボイス 3 CDアルバム 4 イベント 5 名曲 6 「V3」の進化 7 開発者魂 8 ボカロPさん 9 イラスト 10 カラオケ

「もっと評価されるべき!」と誰もが叫びたくなる
本当にスゴいボカロ曲 110
ボカロ曲コンシェルジュがレコメンド
いぶし銀次／アンメルツP／imgd@パッチワークP
らぶ／Kuoki／ヒロトP／灯下はこ、
週刊ニコニコ歌ってみたランキング／るかなんP
DJ Takuma 2000／hazardlump

ROMAN ALBUM

[ボカロプラス]

ボカロPlus

CONTENTS

Vol.2

徳間書店

Interview >>>>4
喜多村英梨

Interview >>>>8
エハミック

GUMIがスゴいことになってます！ >>>>39

「もっと評価されるべき！」と叫びたくなるボカロ曲110 >>>>83

いぶし銀次／アンメルツP／imgd@バッチワークP／らぶ／Kuoki／ヒロトP／灯下はこ、／週刊ニコニコ歌ってみたランキング／ヒゲノフ・ダンスカヤ（るかなんP）／DJ Takuma 2000／HazardLamp

初音ミク誕生から現在まで、ボカロ曲の歴史を語ろう！ 座談会 >>>>96
～ichi／ハヤシケイ／キャプテンミライ／buzzG～

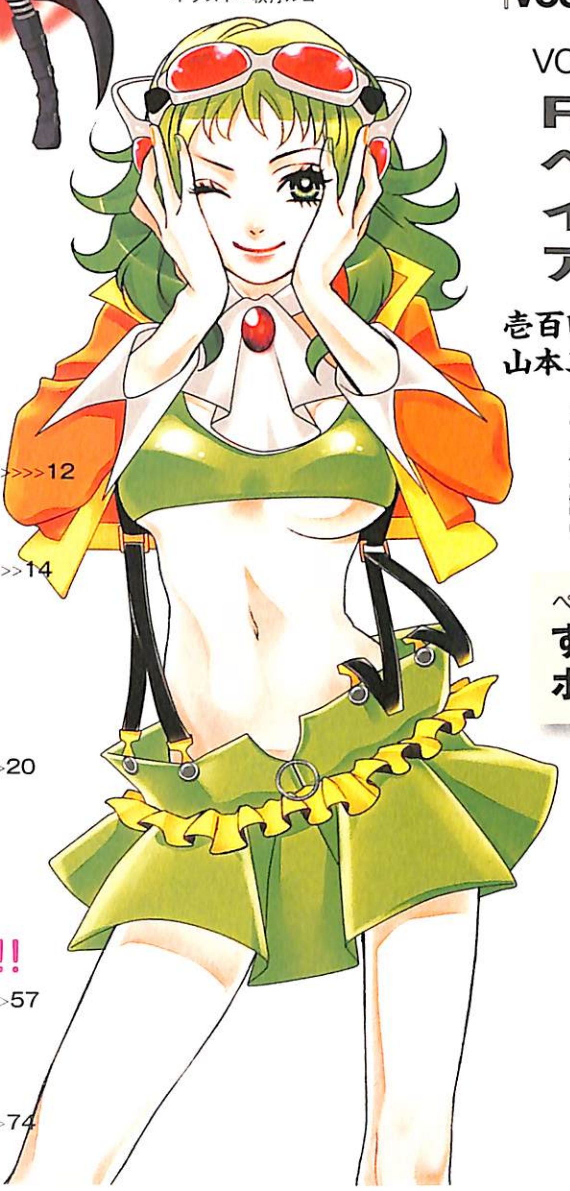
Plus Meets Artist >>>>23
DECO*27
supercell
ピコ
ゴム
あさまっく
√5
秋 赤音

主題歌つくっちゃいました！ >>>>106
～だいすけP＆SaKi INFINITY∞～

『VOCA'ON』5103さん >>>>108

VOCALO-P★HEAD-LINE >>>>112
Re:nG
ぺぺろんP
イメソラP
アキバヲタP

イラスト・秋月ルコ



壱百四拾字のヴィトゲンシュタイン 山本ニュー三世 >>>>120

ニコニコ大百科でおなじみ
ハザードランプさんに
ニコニコ大百科のこと、
記事編集のこと、
いろいろ聞いてきました。 >>>>122

ぺぺろんPさんの
すぐに効果がでるボーカロイド講座！ >>>>126

「氷山キヨテル」キーワード派生系
ノベライズ版 アイスマウンテン！ >>>>131

VOCALOID3 TOPICS

買う前に知っておきたい
VOCALOID3 BUYERS GUIDE >>>>12

実力派ボカロP「ボカロマケッツ」が企画プロデュース
『結月ゆかり』ってどうスゴイ？ >>>>14

中の人も決まりました！
『蒼姫ラピス』誕生の秘話 >>>>18

中国、台湾、韓国のボカロ事情
アジアン・ボカロが熱いんです。 >>>>20

plus NEWS >>>>22／95

絵師さんぽ >>>>38

全ては「愛」故に。
COSPLAYの深層をご覧あれ!! >>>>57

初音ミク、鏡音リン・レン、巡音ルカ……
グッドスマイルカンパニーの
最新＆定番を徹底取材！
ボカロフィギュア最前線 >>>>74

ボカロ社会科見学
THE VOC@LOiD M@STER >>>>62
DTM MAGAZINE >>>>64
キューンレコード >>>>66
ニコニコ動画（あべちゃん） >>>>68
GOODSMILERACING >>>>70
AHS >>>>72

VOCALOID

VOCALOID TM およびボーカロイドはヤマハ株式会社の登録商標です。
「ボカロplus」および「ボカロプラス」は
ヤマハ株式会社より使用許諾を得て使用しています。

©2011 INTERNET Co., Ltd. ALL rights reserved.
表紙レコードイラスト：漂泊（karakuri）
©Crypton Future Media, Inc. www.crypton.net
©VOCALO Revolution executive committee. All Rights Reserved.

音楽出版社として
クリエイターさんのお役に立ちたい

VOCALOID

VOCALOID STORE

VOCALOID MUSIC PUBLISHING

VOCALOID MUSIC PUBLISHING

㈱自主制作コンテンツ出版管理機構（通称、VOCALOID MUSIC PUBLISHING)は、
VOCALOIDを使った作品をはじめとする自主制作コンテンツ＝UGC
（User-Generated-Content）の健全な管理及び利用促進を目的として設立しました。
VOCALOIDクリエイターの活動を支援することにより、UGCマーケットの
さらなる発展を目指します

www.ugc-pub.com

株式会社自主制作コンテンツ出版管理機構

illustrated by マンボウの姉

〒101-0047 東京都千代田区内神田3-2-8 COI内神田ビル4F
●TEL（代表）:03-3526-8115 ●FAX :03-3526-8116

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

写真＝田中一矢

VOCALOID

アーティスト×インタビュー

喜多村英梨

アニメの声優からシンガー、ラジオのパーソナリティまで、マルチな活躍でファンも多い喜多村英梨さん。彼女の声が、いよいよボーカロイド３＝『CUL（カル）』としてリリースされる。赤を基調としたキャラクターにも注目！　12月22日の発売をひかえた感想を聞いてみた。

2007年、『初音ミク』のリリースでブレイクしたボーカロイド。ニコニコ動画で流れる数多くの楽曲に魅せられ、代表曲『みくみくにしてあげる♪』から大のボカロファンという「キタエリ」こと喜多村英梨さん。パーソナリティを務めたラジオ番組の中で、自ら「キタエロイド」として初音ミクのモノマネを披露していた彼女の声が、ついにボーカロイド３（V３）＝『CUL』としてデビューする。

「もともと、みくみくにされている人なので、振り返ってみるとボカロって長い文化なんですね。CULに携わってから気づいたことなんですが、DTMの世界に興味があったようで、趣味のひとつとして遊んでました。ボーカロイドを深く知ってからは、自分が興味を持った世界でもありますし、大事なパートナーとして思うようになりました」

声優の仕事に密接したボーカロイド

アニメの声優として活動する喜多村さんにとって、ボーカロイドは仕事の中に自然に存在し、引き込まれていくのは、取り立てて難しいことではなかった。

「声優の仕事をしていると、キャラクターソング（キャラソン）のレコーディングが多いんです。その際、サンプル音源を録音した仮歌というので曲を覚えるのですが、アレンジャーさんや作曲家の好みなのか、初音ミクを使ったものが多いんです。仮歌としていただく楽曲の中には、普通にアップされていても不思議ではない、完成形かなと思うほどのクォリティの作品もありました。アニメのテーマソング、ゲームのキャラクターソングでは、バンドソングよりも、打ち込みの楽曲の方が多いんです。ボカロってここまで浸透しているのかって感じです」

仮歌が初音ミク、鏡音リン・レンだったという経験に加え、喜多村さんにとってのボーカロイドは、仕事以上に密接した関係に成長する。ボカロ好きをさらにアピールするきっかけとなった、「キタエロイド」もそのひとつだ。

「文化放送でラジオ番組のレギュラーがあったんです。映像も同時配信する生放送だったのですが、好きなコミックやゲーム、アニメといった、個人的にハマっているコンテンツ、仕事の状況を発信する内容だったんです。ちょうど、初音ミクに熱中していた時期で、自分が携わった作品のオープニング主題歌を、ミクバージョンに仕立てて、自分がハマってしまっていたんです。すごいミクを聴くようになって、風呂場でモノマネをしたのもこの頃だったかな。最初は、事務所の集まりとかで、何か歌うモノがないよね……と、笑いを取れればいいと思ってミクのモノマネをやったのですが、意外と似てるとスタッフに大ウケ。これは……と思い、〝キョウモアリガトウゴザイマス〟とか、本番中にミクマネをトライ。ラジオで「キタエロイド」を名乗り、ボカロファンですと番組を通して公表したほどです」

初めて体験するボイス収録の秘話

ボーカロイドのカギを握る歌声収録は、とにかく時間がかかるといわれている。何かしらの演技をするわけではなく、また歌うというわけでもないため声優やアーティストを問わず、どうにも勝手がつかめないそうなのだ。今まで収録を経験した声優、アーティストの中には、丸2日かかった例もあるという。

「ワタシの「声」を収録したボーカロイド未体験ゾーンを、ぜひ聴いてみたいです。」

Profile

2003年に『LAST EXILE』のタチアナ・ヴィスラ役で声優デビュー。持ち前のハイテンショントークで、『超ラジ！』を筆頭にラジオのパーソナリティとして人気を博す。「キタエリ」の愛称で多彩な方面で活躍する声優、シンガーだ。11月9日に待望のセカンドシングル『紋（しるし）』をリリース

Eri Kitamura

年内のリリースが決定！ ついに世に放たれる『CUL』にワクワクドキドキです

初体験となった収録は、どうだったのでしょうか？

「未知のレコーディングだったですね。不思議な言葉の収録というか、システムナレーターの気分になったような感じでした。セリフをいうわけでもなく、音階をチェックすることもなく、声優の仕事をしている中で、体験できなかった技法だったと思います。私の声帯からでる音を確実に収穫していただいて、混乱するというよりは、不思議な感覚が先立ちました。それと、声優の先輩との会話の中で、うちらボカロじゃない？　と、同じ経験をしたもの同士で会話が弾んだことも記憶にあります。ミク先輩に対して、ステップアップしたような感じがありましたね」

『CUL』はもともと、2011年に地上波初のボーカロイド番組『VOCALO Revolution』の中で生まれ、ヤマハ『VY1』で歌う謎深き番組キャラクターだった。V3のリリースに合わせてスタートしたプロジェクトでは、新たに書き下ろされた『CUL』が登場。インパクトあふれる赤を基調にしたイメージに、喜多村さんはどんな印象を受けたのだろうか。

「唐辛子（笑）……、情熱的で勝ち気な感じ。躍動感にあふれたタッチでうれしく思います。強い発声が好きなので、テーマカラーが赤だったり、元気な表情だったりとか、自分も寄せられるかな、と感じました。アーティストカラーにブルーが多かったのですが、実は赤は好きな色なんです。それと声帯も赤い感じなのかなって強く感じられますしね。自分の新しい引き出しのひとつとして魅力的だと思います」

モノマネではない 真のキャラクターが現実に

夢が実現してよかったとか、ホンモノになれたことへの、周囲からの反応は多かったと話す喜多村さん。ボーカロイドは、ユーザー次第でどんなメロディでも、どんな歌詞でも自在に歌わせることができてしまう。音声提供者の知らないところでその声が使われる、そんな理由から音声の提供を断る人も多いという。しかし喜多村さんは、そんな事態すらも好意的に解釈し、V3の発売を楽しみにしているようだ。2011年12月22日は、V3『CUL』の発売日だ。多くのユーザーが待ち望んでいることだろう。

「まずは、CULが世に放たれる瞬間を楽しみにしています。年内のリリースなので、今からワクワクドキドキです。ボカロサウンドは、大好きなので、ユーザーがどんな広げ方をしてくれるか期待大です。うまくPVとかで広がるといいですね。収録の時は、CULのプロトモデルしか見ていなくて、本物は表情や動きが変わってくるのかなあと、妄想で楽しんでいたのです。未体験ゾーンのジャンルを聴いてみたいですね。発売された際は、ぜひ、CULに色々な歌を歌わせちゃってください。個人的に歌の活動と、CULがどういうカタチで結びつくかは分かりませんが、将来的に手を取り合う可能性があったらいいな、と思っています。喜多村英梨とCUL、暖かく見守っていただけたら、大変、うれしいですね」

ボーカロイド3
『CUL』
1万1340円

ボカロの最新情報を発信するテレビ番組『VOCALO Revolution』。その公式キャラクター『CUL』が、赤のイメージカラーはそのままにイメージを一新。V3仕様になって12月22日にリリース決定。ボーカロイド＝喜多村英梨の歌声を楽しめる日がやってきた！

© VOCALO Revolution executive committee. All Rights Reserved.

Information

『C3-シーキューブ-』の主題歌を収録をしたセカンドシングル

『紋（しるし）』
1943円（初回限定版）

『まよチキ！』の人気キャラが参加するレーベルが1枚に

『まよウタ!』
2500円

アニメ『C3-シーキューブ』の楽曲を収めたセカンドシングルがいよいよ発売。通常版（1300円）のほか、PVを収めたDVD付き初回限定版を用意。涼月 奏役で出演するとともに、オープニングテーマを担当した『まよチキ！』。喜多村さんの歌声を収録した新作に注目だ

㊐ キングレコード☎03-5940-7500

Plus ARTIST
SPECIAL INTERVIEW

初音ミクの歌声をスタジオで流し、バンドサウンドと合わせてリールテープに収録する。一見アナログ的な手法だが、その行為が初音ミクを立体的に浮き上がらせる。そして、CDだけでなく、アナログレコード盤もプレスする……。そんな注目のアーティストがエハミックさんだ。

エハミック

写真／田中一矢

聴き専ラジオのNezMozzさんが、いずれ世に出る人だと期待しているアーティスト

ボカロプラスVol.1で好評を博した聴き専ラジオのパーソナリティであるNezMozzさんのインタビュー記事は、ほぼ彼女が語ったままの掲載となった。

NezMozzさんのなかでは音楽シーンとボーカロイドシーンがきちんと整理されており、驚くほどにロジカルで、そのまま起こせば原稿になってしまうという完成度だったのだ。これは編集部にとっても貴重な体験となった。

そんな彼女がレコメンドしてくれたアーティストの中で、この人には必ず会わなければならない……と思ったひとりがエハミックさんだった。"もっと評価されるべきボカロ曲"の推薦曲のなかでも、多くのコンシェルジュがエハミックさんの曲を10選のなかで推挙していた。取材依頼のメールにその旨も加えておいたのだが……。

「メールでお返事した際にも書きましたが人違いじゃないですか？と。私は本当に好きなことしかやっていないから、びっくりしました。いわゆるニコニコ動画受けをするような曲作りをしていないし、メディアに取りあげられるような結果になるとは思いもよらなかったんです。

個に対して訴えかけることが、曲作りにおけるスタンスなので、顔の見える方からのリアクションをもらうことは望んでいたものですし、嬉しく思います。

再生数などで評価されがちな世界ですが、実は再生数には興味がありません。誰かひとりでも、その人がずっと大切にしてくれるような曲を作りたいんです。ですからこのような形で評価されることはすごくありがたいですね」

初音ミクのキャラクターシーンは、パッケージのイラストとプロフィールから始まり、ボカロPさん達の人気作品が大きな影響を与えてキャラクター性が拡大した。作品の中に登場するキーパーツ、例えばネギが共通なイメージとして共有され、それぞれの"俺のミクさん"が、全員ネギを振り出す。たくさんの人気動画で共有されたイメージが、いまの"みんなのミクさん"を共通なキャラクターに作り上げた。多くの人が"みっくみく"にされていた時代に、もっとも求められたものはキャラクター性であり、それを重視した作品が受け入れられやすかった。もちろん、人気作品の中には音楽を聴き慣れた人たちにも面白さを感じさせることができる作品があり、ボーカロイドを新たな音楽シーンとして楽しむ層を増加させることになっていった。

アルバム『to-kyo』は、いちボーカロイドユーザーとして表現のベストを尽くそうと考えた結果なのです

エハミックさんはキャラクターが盛り上がっていた時代に、ボーカロイドを音楽ツールと捉えて活動を続けたひとりだ。

そんな彼が2年間かけて完成させた初のフルアルバム『to-kyo』について話を聞いてみた。このアルバムはなんとCDだけではなく、アナログレコード盤も用意されている。

「こだわりはバンドサウンドでした。DTMで展開されることの多い

Information

エハミックさんのこれまでのアルバムをCheck！

1st

possible to die for - ep
ehamiku

アコースティックの音とボーカロイド音声が融合。ミクが好きな違いのわかるリスナーのための上質な音楽をどうぞ。デビュー盤です。【収録曲：possible to die for 4:01 ／ tokyo 2:30 ／ chicken rice 3:21 ／ possible to die for（instrumental）4:01 ／ tokyo（instrumental）2:37】全5曲収録。イラスト：漂白（karakuri）氏。￥1,000

2nd

chorus lines - ep
ehamiku

エハミック＋初音ミクの ehamiku が放つ2nd アルバムは、ボーカロイド達による合唱コンクール。前作同様、全曲生演奏を多用したスタジオ録音作品。初版は紙ジャケット仕様となっている。【収録曲：chorus lines"合唱コンクール" 3:31 ／ kathy "キャシーの眼鏡が語る" 3:30 ／ stAtE Of EmErgEncy 2:48 ／ chorus lines（instrumental）3:31 ／ kathy（instrumental）3:32】全5曲収録。イラスト：漂白（karakuri）氏。￥1,000（Sold Out）

生のバンドサウンドと実際にいるかのような初音ミクの声が集まれば、"初音ミク"という人格を持ったアルバムができるのでは……と

Profile

中学入学時にメキシコから帰国。公共図書館に勤務しながらボカロPさんの活動をしている。初音ミクとのプロジェクト名は、エハ・ミク（ehamiku）、鏡音リン、レンとのプロジェクト名では、エハ・ミネ（ehamine）を名乗る。チョコレート（ビター）が好きなので毎日食べている。

CDとアナログレコード（LP）の豪華2枚組み『to-kyo』

架空都市「to-kyo」がコンセプトのフルアルバム。生演奏を多用したスタジオ録音。【収録曲（以下、" "内は邦題）：l'idole "妄想インベーダー" ／ jouer dans la neige "雪あそび" ／ emme`ne-moi "つれてって" ／ tardive "季節外れの入道雲より" ／ chorus lines（album version）"合唱コンクール" ／ kathy（album version）"キャシーの眼鏡が語る" ／ les trois anne´es "三年間" ／ possible to die for（album version）／ tokyo（album version）／ starlight tallboy "スターライト・トールボーイ" ／ le retour "帰宅"】全12曲収録。イラスト：漂白（karakuri）氏。￥3,000 問 twitter：@EHAMIC

©Crypton Future Media, INC. www.crypton.net

Plus ARTIST SPECIAL INTERVIEW

エハミック ehamic

「それは〝初音ミク〟というデータの集合をアナログ化することによって、その人格を聴覚的に浮き上がらせるという試みでもあるんです。」

ボーカロイド曲ですが、DTMソフトだからDTMで作るのではなく、初音ミクというデータの集合をアナログ化することによって、〝初音ミク〟という人格を聴覚的に浮き上がらせるという試みなんです」

デジタルデータの集合体を立体的に表現することは、ボーカロイドが合成音声の枠を越えていくことになる。

「生のバンドサウンドと、生きているかのような初音ミクの声を合わせれば、初音ミクという人格を持ったアルバムができると思ったのです」

彼はさらにそこに〝モノ〟としての価値と意義を見いだしたいと思っている。そのこだわりがアナログレコード盤でのリリースだ。

「初音ミクが好きな方に、もっと好きになってもらえるものを作らないと意味がないと思っています。技術への恩返しじゃないけど、いちボーカロイドユーザーとして表現のベストを尽くそうと考えた結果が、あのフルアルバムです」

アルバムリリースが目的なので、曲単位より、トータルとして世界が確立していることを望み、一曲一曲がもつイメージは薄い方がいいと語る。

彼は初音ミクをひとりのボーカルとして見ているため、キャラクターが持つ共通のイメージを意識していない。

「ミクを使うときは、自分のバンドに知名度のある女性ボーカリスト〝初音ミクさん〟を招くような感覚なんです。初音ミクというキャラクター性と、自分のバンドの曲との相性はあまり考えないでぶつけることにしています」

彼はボーカロイドの歌唱は独特のクセがあるからこそ、そこを評価する。では、彼がボーカルに求めるものとは？

「理想は鈴木亜美さんです。愛嬌と確固たるクセを兼ねそなえている。あれこそアーティストですよね。ボーカロイドの歌唱にも独特のクセがあるので、そこがとてもいいと思っています。クセのある歌唱で顔が可愛いというのが、私にとってはボーカリストとして最高です。うまい歌唱というのは、どこか先行されたうまい人の類似性があるのではないでしょうか。つまり、クセがあったり、下手に聴こえるというのは個性で、その歌い方に慣れるまでは下手に聴こえてしまう気がします」

アルバム製作の2年間、理解者が自分しかいないので何度も心が折れそうになった……

彼にはキャラクターに対する関心と知識がなかったため、キャラクター性が求められていた時代での活動は苦労したようだ。

「アニメやゲームに造詣が深い方が多いボーカロイド界隈ですが、私はどちらにも詳しくないので、楽曲を発表し始めて1年くらいは友達や理解者がいなくて辛かったですね。ボーカロイドに関わる方々について言えば、人それぞれにボーカロイドに対する解釈が違うところが非常に興味深いと常々感じます。〝キャラクター萌え〟の概念などは、まだまだ理解できていないのですが（笑）、詳しく知る方の話をいつも興味深く伺っております」

歌詞が難解だといわれることが多い彼の作品だが、ボーカロイド好きの枠を超えて音楽好きになろうとしている若い世代の人から、歌詞についての独自の解釈がメールで届くようになった。

彼の楽曲には、音楽が好きな人にコミットできる力がある。だからこそ、音楽リテラシーの高いボカロPさんや、もともと音楽好きの聴き専の人に高い評価をえている。

彼と作曲の関わりが気になる。

「作曲を始めたきっかけは、物心ついたときには絶対音感があったので、耳に入った曲をピアノで弾いているうちに、自分でも曲を作ってみたいと思うようになりました。また、幼少の頃に読んだモーツアルトの伝記に〝5歳の頃に書いた曲が存在する〟という記述があるのを見て、〝同じ歳の子が！〟と触発されたのが何より大きなきっかけです」

ボーカロイドに出会ったのは、楽器関連の仕事をやっている父親から初音ミクを紹介されたのがそもそものきっかけだった。

「私は学士論文のテーマとして歌声波形のデータ解析をやっていた経緯もあり、近しいものがあるボーカロイドの技術には前々から興味がありました。また、〝エハミック〟という名前は、本名をもじったハンドルネームで、15年近く使っています。この名前と〝初音ミク〟という名前の音が若干似ている点もボーカロイド購入への気持ちを後押しした感がありますｗ（笑）」

NezMozzさんの〝いずれ世に出る人〟という言葉通り、彼は「LAWSON × VOCALOID」コラボによる「ボーカローソン」キャンペーンソングの制作メンバーのひとりに抜擢された。

「ローソンのあきこロイドちゃんを使わせていただいたときは、彼女のデビューということもあって、新人アイドルをプロデュースするような感覚を大切にしました。最高に楽しかったです」

最後にボーカロイドに期待することと、活動目標について聞いてみた。

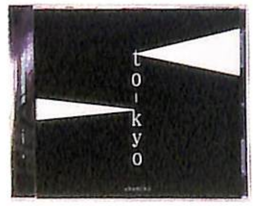
「これまではボーカロイドの声色と親和性のあるDTMをあえて避け、バンドサウンドで楽曲制作をしてきましたが、現在はボーカロイドのダンスアルバムを制作中です。これは、いう実験でもあります。ボーカロイドに期待することは、ボーカロイドがボーカロイドの枠を越えていくことです」

http://twitter.com/ehamick/

Information

CD盤もあります!

「to-kyo」CD版



CD 盤のフルアルバム。全曲生演奏を多用したスタジオ録音作品。初版のみインストゥルメンタル盤が付属するディスク２枚組仕様。イラスト：漂白（karakuri）氏。¥2,500

VOCALOID™ 3 Topics

ビギナーが入りやすいV3のパッケージ

『初音ミク』や『鏡音リン・レン』といったV2と違って、V3は音符や歌詞を打ち込む〝VOCALOID Editor〟（エディター）と、歌声ライブラリが分割された新しいパッケージで販売される。これにより1本のソフトが割安となり、ビギナーが入りやすい構成になった。

「歌詞の打ち込みからメロディのアレンジ、歌声の合成といったボカロ曲を作る基本的な作業は、歌声ライブラリひとつで行えます。短いフレーズのみですが、ボカロに触れてみたいというユーザーは、『Mew』や『メグッポイド』といった歌声ライブラリで、まずは曲作りの行程を体感してください」

ボーナマのオープニングでV3の概要を説明する、おなじみヤマハ研究開発センターの剣持秀紀氏。もちろん、ニコ動でトップチャートに入るようなボカロ曲を作るまでには、それなりに時間はかかる。しかし、V3は曲作りの基本をマスターする上でユーザーのスキルアップにつながる機構が盛りだくさん。従来は伴奏を付けるには、さまざまなソフトを使い分けて、初めて楽曲が完成する。V3では、すべてが1本でまかなえ、曲作りがよりスムーズになった。さらにV2の歌声ライブラリは、V3エディターで使えるという。

「曲作りの流れをつかんできたら、次にV3エディターを追加購入することで、ハイレベルな楽曲制作に対応します。またV3エディターは、前バージョンに対応。ソフトウエアのライブラリインポート機能を使って既存の歌声ライブラリを読み込ませれば、V3でそのまま使うことができるんです」

改良された操作性で曲作りがさらにスムーズに

「V3エディターは、ピアノロールだけだった画面を、トラックエディターという編集と再生が同時に操作できるよう一新しました。中でも楽曲を仕上げるため不可欠だったDAWとの連携を省き、エディターにWAVトラックを設けました。ここに伴奏を流し込むことで、V3だけで最終仕上げまでが行えるようになっています」

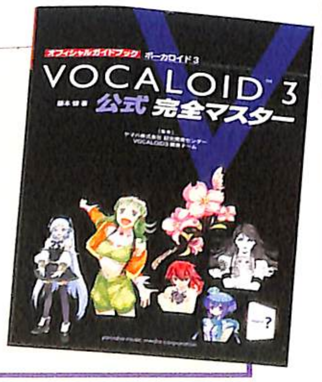
ボーカル、オーディオトラックを個別にすることで、伴奏と歌声が同時に流せるよう改良するなど、仕上がりが確認しやすくなっている。音質がきめ細かくなった点に加えて、このユーザーインターフェースの変更は、作り手に有り難い内容だ。また、2011年秋から「ボーカロイド レッスン オンライン」というウェブサイトを介しての学習サービスをスタート。〝ボカロを使いこなしたい〟〝ネットで公開したい〟といった基本操作から、〝有名ボカロPが実践する調教のテクニック〟といった経験者も必見のガイダンスを公開中だ。動画によってレッスンの内容を繰り返しチェックできるほか、イラストを駆使して解説されるので、V3の操作をきっちりと押さえることができる。

「今後、魅力的な歌声ライブラリが、続々と登場する予定です。〝今日はMewでいくか！〟とか、〝GUMIもいいなぁ〟などと、気分によって歌声が選べるところも面白いのでは。クオリティを高めるのはもちろんでが、せっかくなのでさまざまな歌声を使って、楽しんでもらいたい。V3には、そういった遊び心も盛り込んでいるんです」

ボーカロイド３の使い方をナビゲートする解説本が登場

歌詞の入力から DAW の挿入まで、12 個の項目を立てて V3 の基本操作を解説。V3 エディターには、使い方を解説するマニュアルは付属しないので、ビギナーには格好の教科書となる。スキルアップにつながるミキサー操作、エフェクトのかけ方も手順を追って分かりやすい。著者は、ブログ型ニュースサイト「DTM ステーション」でおなじみの藤本 健氏

オフィシャルガイドブック　VOCALOID3 公式 完全マスター
2940 円
㊐ヤマハミュージックメディア http://www.ymm.co.jp/



あなたはどのタイプ？ 診断 START!!

本格的に曲作りをしたい

刷新された V3 のメイン画面。全 16 トラックを同時に再生・編集することが可能になった。各トラックが見やすくなり、作業効率が高まるよう改良されている

ボーカロイドを試してみたい

ボカロに興味があり、キャラクターに自分の作品を歌わせてみたい、と思うもののどれを購入すればよいかが分からない。V3 のパッケージングは、そんなユーザーの要望にしっかりと応えてくれる。まずは手に取って試してみたい

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED
HELLO KITTY　著作 株式会社サンリオ© 1976,2011 SANRIO CO.,LTD. TOKYO,JAPAN W　イラスト：okama © 2009,2011 SANRIOWAVE CO.,LTD. L
GUMI ©ゆうき まさみ　© 2011 INTERNET Co., Ltd. ALL rights reserved.

買う前に知っておきたい

VOCALOID3 BUYERS GUIDE

VOCALOID3 TOPICS #01 基礎知識

ボーカロイド３（V3）は、エディターと歌声ライブラリが分割されたパッケージングが、前バージョンと大きく異なる点だ。段階を踏んで楽曲作りのスキルアップが図りやすくなった、というソフトウエアの詳細を再チェック。V3を入手するための、基礎知識を解説する。

ボーカロイド２は持っている

『鏡音リン・レン』を始めとした V2 は、ライブラリインポート機能によって V3 に対応する。そのまま歌声ライブラリのひとつとして活用できるので、V3 への移行もスムーズだ

NO → スターターパックを購入する
YES → エディターを購入してアレンジの幅を広げる

スターターパックを購入する

Ｖ３エディターと歌声ライブラリがセットになった。本気で曲作りに取り組むならば、ローコストでお勧めだ。今後、リリースされる歌声ライブラリの追加で、歌声の幅も広くなる

ボーカロイド３ スターターパック『Megpoid Power』
1 万 7640 円
㊐インターネット☎ 06-6309-1002

歌声ライブラリに V3 エディターをバンドル。「Power」のほか、「Sweet」「Whisper」「Adult」の声質が選べる。すべてがセットになったコンプリート（3 万 1290 円）も用意

エディターを購入してアレンジの幅を広げる

歌詞の語尾を自動的に調整できる、ジョグプラグイン機能を追加で、歌声の調整がスムーズに。また、伴奏とボーカルの同時再生に対応し、アレンジを確認しつつ曲作りが行える

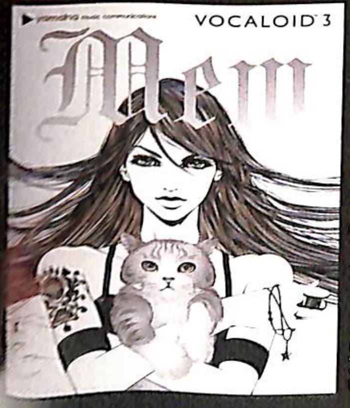
ボーカロイド３　エディター
9800 円
㊐ヤマハ http://www.vocaloid.com/

合成音の性能アップで、より歌声が人間らしくなった。トラックエディターにより、パート（ブロック単位）で編集作業ができる。日本語のほか、英語、韓国語といった多言語に対応した

曲作りにハマったら……

ボーカロイド３ライブラリで触ってみる

V3 の歌声ライブラリには “Tiny VOCALOID Editor” という、機能を簡略化したエディターが収録されている。短いフレーズなら、曲作りが楽しめるので、このソフトからステップアップ



ボーカロイド３ ライブラリ Mew
1 万 2800 円
㊐ヤマハ
http://www.vocaloid.com/

女性アーティスト、坂本美雨さんの声を採用。透明感あふれる美しい歌声が特徴の 1 本だ。V3 エディターをセットにしたスターターパック（1 万 9800 円）もある。落ち着いたイラストも魅力的だ

＋好みの歌声ライブラリを増やせばさらに楽曲の幅が広がる

今後、発売をひかえる歌声ライブラリの追加で、さまざまな声質(＝キャラクター）を使い分けて楽曲作りが楽しめる。V3 が真価を発揮する機能のひとつだ

ボカロ P が作った入力済みのデータを収録した「V3 ボカロ P データシリーズ Vol.1」(3000 円)。エディターに取り込むだけで、すぐにライブラリに歌わせることができる

去る 10 月 23 日にニコニコ本社から配信された「ニコ生 53 時間の生放送」（ボーナマ）では、ヤマハの開発陣が勢ぞろい。ボカロの生みの親、剣持秀紀氏は V3 のシステムを説明した

合計 6 名のスタッフがスタジオに入り、音質の向上や操作面の改良といった進化のポイントを熱く解説。ユーザーに優しい V3 のインターフェースがはっきりと見えてきた

AHSから前代未聞のVOCALOID 3が登場。

実力派ボカロPが企画プロデュースした結月ゆかりってどうスゴイ？

VOCALOID 3 ライブラリ『結月ゆかり』

新たなボカロ文化を切り開く ボカロPの夢を注いだ歌姫の理想像

伸びやかな高音域が特徴で、1980年代から現在のアイドルポップスに加え、バラード、アニソンなど、さまざまな音楽ジャンルに対応する。人の歌声が持つ、微妙なニュアンスまでを忠実に再現した、クオリティの高さが光る

ボカロの開発はメーカー主導というのが基本だ。そのスタイルを覆して「作り手＝ボカロPさん」がプロデュースした、かつてない新作がAHSからついにリリースされる。『結月ゆかり』と銘打った新生ボーカロイドの実力を探るべく、7名のボカロPに会ってきた。

パーカーを被ったイラストは「VOICEROID+ 結月ゆかり」バージョン。キャラクターデザイン、イラストは文倉 十さん手掛けたものだ。ロゴデザインは、ボカロマケッツの喜兵衛さんが担当

「ボカロPが7人集合して「ボカロマケッツ」が誕生

2011年12月22日。ボーカロイド3（V3）のエンジンを使った歌声ライブラリがリリースされる。『結月ゆかり』の製品名で登場するこのライブラリは、ただのV3ではない。驚くことに楽曲投稿を行う実力派ボカロP集団によって、プロデュースされた前代未聞の1本なのだ。

メンバーは、Bumpyうるし氏、PYS／ぱやP氏、アカサコフ氏、ちょむP氏、喜兵衛氏、かごめP氏、azuma氏の7人。数多くの名曲の制作者として知られる、豪華スタッフが勢ぞろい。その発起人のひとりである、Bumpyうるし氏は、プロジェクト誕生のきっかけをこう語った。

「2年ほど前のことですが、PSY／ぱやPさん、アカサコフさんとの雑談のなかで、〝自分たちでボーカロイドって作れないかなぁ〟と、話したのが発端。その後、私が代表を務める会社の名義で、ヤマハに問い合わせたんですね」

2009年にパシフィコ横浜で開催された〝楽器フェア〟で、ヤマハの開発チームと話をする機会を得たという。

『結月ゆかり』のリリースは、AHSから。どんな経緯で、話が進んだのだろうか？

「打ち合わせを繰り返すうちに、我々だけでは絶対無理だと分かり、ヤマハからAHSの尾形代表を紹介していただいたのです。話を打ち明け、快諾してくれたときは、うれしかったですね。2010年8月になって今のメンバーがそろい、方向性は？ 中の人は？ など内容を煮詰めていったわけです。ただ、メンバーはそれぞれに仕事を持っているので、なかなか全員参加での打ち合わせは難しかったですね」

さらに開発の当初はV2で考えていたというが、V3の話があり一時中断。プロジェクトの本格始動は、1年ほど待つことになる。

「〝ボカロマケッツ〟と名称が発売されたのは、実はV3の発表と同日でした。会場でAHSの尾形代表から正式に制作チームとして公表されたのです。ソフトの方向性はある程度決まっていましたが、中の人のオーディションやキャラクターデザインとか、いろいろ決めることが多く、振り返るとよく作れたものだなあ、と思います」

制作期間はわずか6カ月。ボカロPが集まってのソフト作りだけに、そうスムーズにいかなかったことは想像できる。次ページで、その実力派7人たちに制作秘話を直撃する。

ボーカロイド3『結月ゆかり』はここがすごい！

V2のエンジンを使いながら、マルチな性能を誇る実力派シンガー『猫村いろは』。開発にこだわるAHS社と、素晴らしい楽曲を生み出し続けている実力派ボカロPたちが、タッグを組んでV3の制作に挑んだ。低音から高音までカバーする音域の広さ、早口でも聴き取りやすい滑舌のよさ、より人間の声に近づいた新作『結月ゆかり』のスゴさをここで解説する。

01

>>>>>>>>>>>>01

女性ボーカルが人間のように歌うリアルな表現力

新作の『結月ゆかり』は「人間のように」歌うことを目標に作られたボーカロイド。さまざまなジャンルに対応できるよう、事前に何度もテストと、チューニングを重ねて制作された。その中でも「声のニュアンス」という部分をどのように出せるのか、というところに重点が置かれたため、リアルな歌唱力を持つ。

02

>>>>>>>>>>>>02

ソフト作りの経験を生かして自然に伸びる音にチューニング

常に一定ではない人間の声に合わせて、AHSならではのチューニングを施している。たとえば、"イー""エー"といった、言葉を延ばす表現を、どのようなチューニングにすれば自然に聴こえるのか、というテストを経て制作されいる。"いかに自然に"というのが『結月ゆかり』の真骨頂である。

03

>>>>>>>>>>>>03

低音から高音までストレスを感じさせない音域の広さ

どっしりとした低音から、透きとおるような高音まで、広い音域をカバー。さらには、広い音域を単に出すわけではなく、いかにしっかりとした音程で発生ができるか、にこだわり開発されている。ボーカロイドの弱点でもあったが、そこを極限までカバーしている。音楽表現の幅がグッと広がるようになった。

04

>>>>>>>>>>>>04

作り手の技術が必要だったスローバラードもしっかり歌い上げる

『猫村いろは』を筆頭に、AHSが培ってきた独自のチューニングをフル投入して、ポップなサウンドはもちろん、ジャズやスローバラードに対応するボーカロイドに。さまざまな発音がV3エンジンと相まって、とてもキレイに進化している。多彩な音楽ジャンルに適した実力を備え、楽曲を作る楽しさが加わっている。

イラストレーターの渡辺浩彰（VODALES）氏が、『結月ゆかり』とボカロマケッツのメンバーをイラストで表現！

05

>>>>>>>>>>>>05

独自の追加素材「exVOICE」としゃべる「VOICEROID+」

表現が難しいとされ制作を諦めていたクリエイターのために、「ブレス」や「無声子音」、「カウント」、「笑い声」といった、数100種類の音声を収録した「exVOICE」を同梱。さらに同じ歌声で"しゃべる"ことを達成した、「VOICEROID+ 結月ゆかり」も、V3と同時にリリースする。歌声から話し言葉まで、表現の幅が格段に広がった。

© AHS Co.Ltd. ©2011 VOCALOMAKETS Powered by Bumpy Factory Corporation.

プロジェクトの結束をより高めた「言いたいことは隠さない」スタンス

7名のボカロPさんが集まり製品化されたボーカロイドは、V3の発表後すぐに開発がスタート。専業ではない彼らは、いったいどんな方法で開発を進めていったのか。理想を現実にした『結月ゆかり』誕生までの戦い（?!）はこうだった。

――理想のボーカロイド音源を作るにあたり、開発はどういったプロセスで進んだのでしょうか?

Bumpyうるし●ボーカロイドとして「歌声」「名前」「キャラクター」がマッチするように、まずAHS社でテスト版を作っていただきました。「歌声」を基に「名前」「キャラクター」を練っていきました。

PYS／ぱやP●自分が曲を作る際に、こういう声が欲しいなぁという思い……ですね。

アカサコフ●二次創作のしやすさというのも意識して、打ち合わせを重ねました。中の人選び、イラストレーターの選定、"exVoice" "voiceroid"の作成といったアイデアの提供です。

ちょむP●収録後の調整で低音部の魅力は失わないようお願いしました。

喜兵衛●ユーザー視点で作る、という部分にはこだわりました。曲の制作者だけでなく、イラストを書く方なども含めて……。

かごめP●とにかく"周りのボカロPさんに自信を持って勧められるボーカロイド"にすることでした。

azuma●むしろ、こだわる音源が完成してから。ここからこそが、ボカロPが作るボカロの本領ではないでしょうか。

――中の人はオーディションで決めたとお聞きしております。選考のポイントは?

Bumpyうるし●子音に艶があり、母音の息の抜け方がセクシーな大人っぽい声に仕上げることです。

PYS　ぱやP●個人的には、声に力、雰囲気がある点を気にしていたと思います。

アカサコフ●やはり新しい特徴の声になるかどうかです。幸い低音と語尾の音の抜け具合に、特徴のある声になるよう留意しました。

ちょむP●長時間の収録や、絶妙なリクエストに耐えられる方、さらに今回は追加音声がありますので、十分な演技力を持つ方という点です。彼女に決定してよかったです。

喜兵衛●声の素直さを重視しました。自分が推した方とは、別の方に決まりましたが、非常に素直でよい声だったと思いますね。

かごめP●「他とカブらない」ことはもちろんですが、それ以上に「この人の声がボカロになったら、どうなるかな」と考えて、ワクワクする人を選びたいと思っていました。

azuma●安定感だと思います。歌の良し悪しも大事でしたが、声のブレの無さに惹かれました。

――7名で開発に取り組んだわけですが、進行中のエピソードがありましたら、お願いします。

Bumpyうるし●すべてが急ピッチで、常に何かが締め切りに向かって進んでいる状態で、胃の痛くなる日々でした。今は楽しい想い出と充実感、達成感で満たされています。すべてが終わったらみんなで温泉旅行にでも行きたいです（笑）

PYS／ぱやP●1年が過ぎたころに、この企画はペンディングになるんじゃないか、という話をメンバーにしたこともありましたね。

アカサコフ●何かが決まるたび盛り上がる。オッサンたち（若者もおりますが）がひとつ何か進むたびに一喜一憂している様は、傍から見たらおかしいのかもしれません（笑）

ちょむP●厳しいスケジュールのなかで、これだけのものが用意できたことは、このチームの団結力の賜なのではないかと思います。

喜兵衛●意見が割れて、決めごとがすんなりいかないことも多かった。振り返ってみると、不思議とどの決めごとでも最終的には、最適な答えを出せたような気がします。

かごめP●いろいろありましたが、今はどんな曲を歌わせるか空想している段階。とても落ち着いた声で僕好みに仕上がっています。

azuma●いつも自分だけ、明後日の方を向いていた気がしますね……でも楽しかった。

――『結月ゆかり』で注目してもらいたい特徴をお教えください。

Bumpyうるし●目玉は同じ音声の『ボイスロイド』を、同時に開発したということですね。AHS社の尾形社長に「ムリ」と言われていただけに、実現できて本当によかったと思います。

PYS／ぱやP●歌の『ボーカロイド』、話の『ボイスロイド』。その他声のサンプリング音源「exVoice」と、同じ声で3つの事ができるのは注目です。

アカサコフ●ボカロPならではの視点から中の人による追加音源「exVoice」を付けました。今までは、表現しにくいスキャットや悲鳴、掛け声、セリフに加え、息を吸うときの音声をWAVEで収録。きっと音楽制作で、表現の幅は広がると思っています。

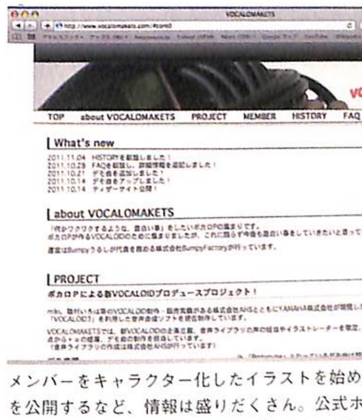
ちょむP●追加音声ライブラリは、使う側のワガママが叶った形です。

喜兵衛●「exVoice」ですね。自分が最も欲しかったもので、痒いところに手が届きます（笑）

かごめP●かつてない質感の"吐息"……「これが新しいボカロだ!」と、自信をもっていえる音質です。まずはベタ打ちから、真価を体感していただきたい。

azuma●ボカロPが抱く不満を、ライブラリで解決できる、可能な限りの挑戦をしています。

ユーザーとの"縁"を深めたい……メンバーの想いを込めた『結月ゆかり』



メンバーをキャラクター化したイラストを始め、開発中V3でデモ曲を公開するなど、情報は盛りだくさん。公式ホームページでは、ボカロマケッツの活動報告がアップされているので、ぜひ、チェックしたい。アドレスは、http://vocalomakets.com/

ボカロマケッツのボカロPさんたち

Bumpyうるし氏

創成期から活動するベテラン（?）。テクノをメインとした楽曲センスは抜群で、「ヤキイモ feat. 初音ミク」ほか、代表作は多い。ボカロマケッツの発起人のひとりで、同氏が代表を務める"BumpyFactory"が、公式HPの管理、運営を行っている

アカサコフ氏

伝説のライブイベント「ドキッ☆ボカロ曲だらけの生ライブ」の主催者。2009年10月下旬からプロジェクトに参加。にいとPの名で「リナリア」「本当の自分」「極楽蝶」といった、心にしみるバラード曲を配信するボカロPだ

PYS／ぱやP氏

楽曲投稿のみならず、ピアプロを筆頭に、ネットコミュニティに幅広く参加。Bumpyうるし氏が参加する「1mm♪」というアコースティックバンドにバイオリンで参加。ボカロマケッツ発起人として、またチームのまとめ役として活動中だ

azuma氏

CreaPとともにサークル「creazuma」で活動するほか、"UTAU"の制作者でもある。昨夏のコミケ78で配布された、ボカロP46人以上が参加したコンピCD「Try!」の企画者でもある。ボカロマケッツには、2010年8月から参加している

かごめP氏

『歌愛ユキ』をメインに使い、フルアルバム「GUILTY? or NOT GUILTY?」をリリース。"伝説のユキマスター"というタグがはられる実力派で、CDのマスタリングを手掛けるエンジニアでもある。2010年8月にプロジェクトの一員に

喜兵衛氏

ピアプロで作詞家、絵師とのコラボを積極的に行う腕利き。代表曲となる「アクアリウム」は、10万回再生を突破してVOCALOID殿堂入りを果たしている。巡音ルカを使った「if」は、カラオケ配信されている。2010年8月からボカロマケッツに参加

ちょむP氏

秋元結衣×CULデビュー曲「キミ、ボク、距離感」を制作したほか、幅広く活躍するテクニシャン。「教えて!!魔法のLyric」は、着うた、カラオケ配信され、ヒット曲に。サークル「ちょむ工房」を主宰。プロジェクトへの参加は2010年8月から

ボカロワールドに現れた身長150㎜の妖精。人気早くも上昇中！

『蒼姫ラピス』誕生の秘話

去る10月21日の『DC EXPO2011 AR（拡張現実）ライブ』で登場し、身長150㎜という姿を初めて披露した『蒼姫ラピス』。ボーカロイド3（V3）で新規参入を果たした「i-style Project」が提案するボカロプロジェクトに迫ってみた。

中の人も決まりました！

かつてない試みで始まる一大プロジェクト

キャラクターを先行で発表し、ネーミングと中の人（歌声ライブラリ）を、一般から募集するというアイデアで、ボーカロイドに参入した「i-style Project」。「ニコ生53時間生放送」で、『蒼姫ラピス』の中の人を公開するという仕掛けには、多くのファンが驚いた。現在、プロジェクトの中心となる、スタジオディーンの宮本逸雄氏は、その立ち上げについて次のように語る。

「グループ企業が初音ミクのCDをリリースする時に映像制作を受けたことが、今のボーカロイドに携わるきっかけでした。個人的に面白い企画だと感じていましたし、ニコニコ動画を見ていた時から、注目していたコンテンツでもありました。初音ミクの映像制作がなければ、関わっていなかったと思いますね。ボカロは、アニメを作って得られるレスポンスより、ユーザーの反応がとにかく早い。コンテンツの制作サイドとしては、そのスピード感が、いちばんうれしい。ユーザーとのコミュニケーションをもっと図りたい……という私たちの思いと合致していたんですね。その後、グループ会社でパートナーとなるサーファーズパラダイスから、新しいボーカロイドを作らない？　新バージョンがでるらしい……などと話がありまして、ヤマハさんに参加を申し出たんです」

身長150㎜という今までにないアプローチ

『蒼姫ラピス』は、他の参入メーカーとは異なり、キャラクター先行という独自のアプローチでデビューした。2011年6月のV3の発表会で、すでにイラストは完成。キャラクターの誕生から作画、設定までのスピードは、参入メーカーの中では随一の早さだった。身長150㎜に設定されたキャラクターは、ここにきてボカロ界の妖精として定着している。

「2011年5月にプロジェクトが始まりました。アニメは絵が先なんです。ラピスのイラストがすぐに出せたのもアニメ同様に進行しただけなのです。キャラクターのイメージに関しては、ほとんどカーネリアン氏に任せっきりでしたね（笑）。ただ、設定に関しては難しかったです。身長が150㎜という不思議な設定は、ユーザーが一緒に連れ添って歩くことを思い描き、ユーザーのガイド役になってくれたら、と提案したわけです。」

また『蒼姫ラピス』は、名前の公募に加えて、中の人をオーディションで決めることを発表し、関係者を驚かせた。応募には、日本のボカロファンはもちろん、台湾からのエントリーもあったそうだ。

「最初のコンセプトから、中の人はオーディションで選ぶ……ということは決まっていました。実際は、高校生から30歳代くらいまで、年齢層の幅広さにはびっくりしましたね。ヤマハさんに協力をお願いして、8月からオーディションをスタート。ようやくこの10月に声質、キャラクターも蒼姫ラピスにぴったりの方に決まってホッとしています。現在、商品化に向けてスタッフ一丸となってデータベースの制作を行なっております。2012年春までにはリリースできたら……とプロジェクトは進行していますので、成長した『蒼姫ラピス』の誕生まで、もう少しお待ちください」

ボーカロイド3
i-style Project

『蒼姫ラピス』

アニメ制作会社のスタジオディーンと、サーファーズパラダイスの共同プロジェクト「i-style Project」が手掛けるボーカロイド。キャラクター名、中の人を一般から公募する、新たな試みを採用した。身長150㎜の妖精というキャラクター設定も、アニメを手掛けるスタジオディーンならではのアプローチだ。キャラクターデザインは、ゲームクリエーターの肩書きを持つCARNELIAN（カーネリアン）氏が描いている。もっか、2012年春のリリースに向けて制作中だ

© i-style Project 2011

VOCALOID3 #03 キャラクター TOPICS

V3のリリースに合わせて初期の表情イメージが公開されるなど、キャラクターを先行させる仕掛けにも注目が集った

スタジオディーン
デジタルルーム統括
宮本逸雄 氏

1992年の入社後、『らんま1/2』を始めとしたアニメの制作進行を担当。現在は、撮影から3D処理、映像編集といった各セクションのマネジメント業務を行う。ボカロプロジェクトに参加する、中心的存在だ

身長150㎜の容姿を披露したARライブでは、妖精を思わせるその可愛らしさに、視聴者からのコメントも多かった

オーディション開始から6カ月。中の人が無事に決まりました！

2011年10月21日から23日にかけて、V3の発売を記念した『ニコ生53時間生放送（ボーナマ）』。その番組中で、『蒼姫ラピス』の中の人が発表となった。歌声ライブラリを担当する中の人を一般公募で選ぶのは、ボーカロイドでは数少ない。8月9日の募集開始から、オーディションを経て正式決定した中の人は、福岡県からエントリーした江口菜子さん（18歳）。「ラピスにひと目惚れ」とコメントした可愛らしい声と、周囲を和ませるキャラクターに、ユーザーから励ましのコメントが殺到。同席したヤマハの大島 治さんから「自分の声のボカロ曲がたくさん出るね」との言葉に、「想像したら、本当に眠れないです！」と初々しく応えた。

中の人決定記念に用意された、オリジナルクッキー。「ささりーなじゃないもん！」と、蒼姫ラピスが可愛らしく抵抗するコミカルなイラストが描かれていた

お待たせしました。ワタシの中の人が決定で～す！

ボーナマでは、可愛らしい姿の外の人が「中の人決定記念」に華を添えた。放送中に記念クッキーを完食し、会場は大盛り上がり！

中国、台湾、韓国のボカロ事情をレポート

アジアン・ボカロが熱いんです。

ますます盛り上がる

2011年5月22日に台湾で行われたライブイベント「ニコニコ大会議」を始め、リニューアルソフトの発売、韓流版の誕生……。今、アジアでボカロが大人気。

台湾の「Legacy 台北」を舞台に、国内で人気を博す"ニコニコ大会議"の初の海外開催が行われた

ボカロ専門ページの開設や、ネットを通したユーザーコミュニティを定着させた「ニコニコ動画」。"ニコニコ生放送"を始めとする盛りだくさんのコンテンツは、今や世界中にファンがいるほど。多言語に対応したV3の登場前から"ニコ動"では、中国や台湾の言語を使ったサイトを、アジアに向けて公開している

VOCALOID3 #04 キャラクター TOPICS

台湾が牽引する ボカロ=ニコ動の人気

2011年5月11日。台湾の空港では、"日本のスター"を待ち受けた、若い女性で大混雑。ゲートに姿を見せたそのスターとは、赤飯、Gero、clear、タイツォン、蛇足、ぽこた……おなじみニコニコ動画(ニコ動)の歌い手として人気の彼らだ。初の海外公演である「ニコニコ大会議」に出演するため台湾を訪れたのだ。

「台湾ユーザーは、ニコ動の開設初期から日本のファンと交流した経緯がありますからね。約26万人のID登録者がいて、アメリカやヨーロッパに比べて、ボカロ事情に精通しているんです」

と台湾公演の成功を支えたニコ動ユーザー文化推進部のあべちゃん。台湾のユーザーにとって、ニコニコ大会議の開催は、悲願(?)だった。前売りチケットは、発売開始から約1分でソールドアウト。さらにニコ動アーティストの入国を待つ……そんな盛り上がりは、ニコ動スタッフも想定外だったという。

ボカロによって 誕生した新たなムーブメント

「手作りのグッズ持ったファンはもちろん、サイリウム持参で来場する姿は、日本と変わらない。ボカロの存在にプラスして、台湾にニコ動の文化が受け入れられていることを実感しました」(前出・あべちゃん)

当日は、大会議の詳細を伝えるMCのために、通訳として台湾ユーザーのがいらく氏がステージに立った。しかし、彼が通訳する前に、素早く会場からリアクションが返ってくる。"通訳の必要はないねすね"とがいらく氏がコメントするほど、台湾のファンは日本語に堪能なようだ。

「今回は、香港出身のほんこーんさんや台湾のChiaさん、韓国のわたあめさんといったアジアンアーティストにも参加してもらいました。『つきうさぎ』や『メランコリック』、『Calc.』といったボカロ曲を歌ってもらいましたが、日本語の歌詞にもかかわらず、会場は大熱唱」(前出・あべちゃん)

男性の人気アーティストぽこたさんは、このイベントのために台湾語バージョンの楽曲を披露したほか、台湾から被災者に向けた義援金に対して、感謝の言葉を贈るなどファンを大切にする姿勢を見せていた。ちなみに、生中継をネットで視聴したユーザー数は、台湾で5万人。投稿されたコメント数は9万5000件に達したという。

V3の発売で盛り上がる アジアンボカロ

一方、10月23日には、アジアの人と人をつなぐをテーマにした「ASIA VOCALOID FESTA」というイベントが福岡県で開催された。"ボカロレイヤーアジア ナンバー1決勝戦"、やヤマハ開発者によるV3の製品説明会、ニコ動の踊り手によるパフォーマンスなど、内容は盛りだくさん。なかでも、ボカロレイヤー決勝戦では、日本はもとより中国、香港、台湾、タイ、韓国といったアジア6カ国の地域予選を勝ち抜いた8組が出場し、思い思いのキャラクターに扮してパフォーマンスを披露。優勝は、『雪ミク』のコスチュームに身を包み、タイから参加したaimさんが受賞、アジアのトップレイヤーに輝いた。

「アジアのボカロファンに向けて、交流の架け橋となるよう『アジアボーカロイドプロジェクト』という企画も始動しました。先のイベントでは、韓流ボカロで話題のSBSアートテックのスタッフも出演しました。V3は、一部制約はありますが、韓国語や中国語に対応したことで、アジアでは広がりを見せることは間違いありませんね。台湾版のリリースは、人気の高いアジアで起爆剤であることは確じゃないでしょうか」

と、「ASIA VOCALOID FESTA」に参加したヤマハ研究開発センターの木村義一氏。一方、コスプレの審査員で会場を訪れたニコ動のあべちゃんは、アジア人気を次のように見る。

「ニコニコ大会議のようなイベントを通して、音楽文化としての新しさを、海外に伝えていきたい。ニコニコ大会議の成功もあるとおり、台湾では聴き専のユーザーが多いので、今後はさらに激化するのでは……。『初音ミク』のように、キャラクター先行で成功したアメリカのライブとは違い、アジアの人気はボカロ文化が中心。ワールドワイドでの情報交換を支える"ニコ動"では、数は少ないもののシンガポールやインドからの投稿もあるという。

「ただ、アジアにはまだボカロPさんが少ないので、各国の言語に対応するソフトが登場すれば、日本に負けない名曲が生まれることは確実でしょう」(前出・あべちゃん)

ニコ動では、台湾や韓国、中国に向けた次なる仕掛けも検討中とのこと。今後はアジアからのボカロ情報もチェックせねばなりません!

台湾、香港、中国から参加したアーティストもステージで熱唱!

ニコ動で活躍するアーティストに加えて、台湾からは「Chia」、香港出身の「ほんこーん」、そして韓国「わたあめ」といった歌い手が参加し、ステージを盛り上げた。1000人を収容する会場は大盛り上がりで、日本語の歌詞にもかかわらず熱唱するファンの声に包まれた

日本でもファンが多い台湾のアーティスト「Chia」は、『メランコリック』を熱唱した

イメージを一新してリリースを待つ

台湾版 ボーカロイドソフト

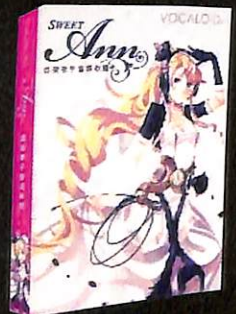
ボーカロイドソフトの開発を初期から支える、英国『ZERO-G』社、そしてスウェーデン『PowerFx』社の代表ソフトが、台湾版でリリースを予定。パッケージには、オリジナルをアレンジしたイラストが描かれて、ネットでも話題を呼んでいる。バージョンは、V1版、V2版をそのまま台湾語に言語変換したもの。リニューアルながらも、台湾版のオリジナルパッケージが登場した。

ボーカロイド・ソフトウェア『Sonika』

V2エンジンを採用したガールズ・ポップを歌い上げる英語版ソフト。リードシンガーはもちろん、コーラスやバッキングボーカルとして効果的。開発は、ZERO-G社が行った

ボーカロイド・ソフトウェア『Prima』

女性ソプラノ歌手の声をデータベース化。高音域でも音程がブレない、性能アップが図られている。萌え系(?)の可愛らしいイラストに注目だ。ZERO-G社が開発を担当

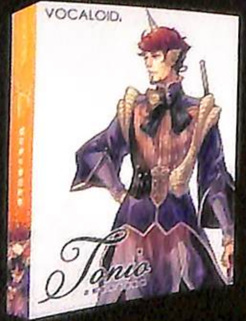


ボーカロイド・ソフトウェア『SWEET Ann』

スウェーデンのPowerFX社が開発した、V2エンジン採用の第1弾。人間に近い歌声を再現できるよう進化。女性ボーカルによる、暖かみのあるビブラートが特徴だ

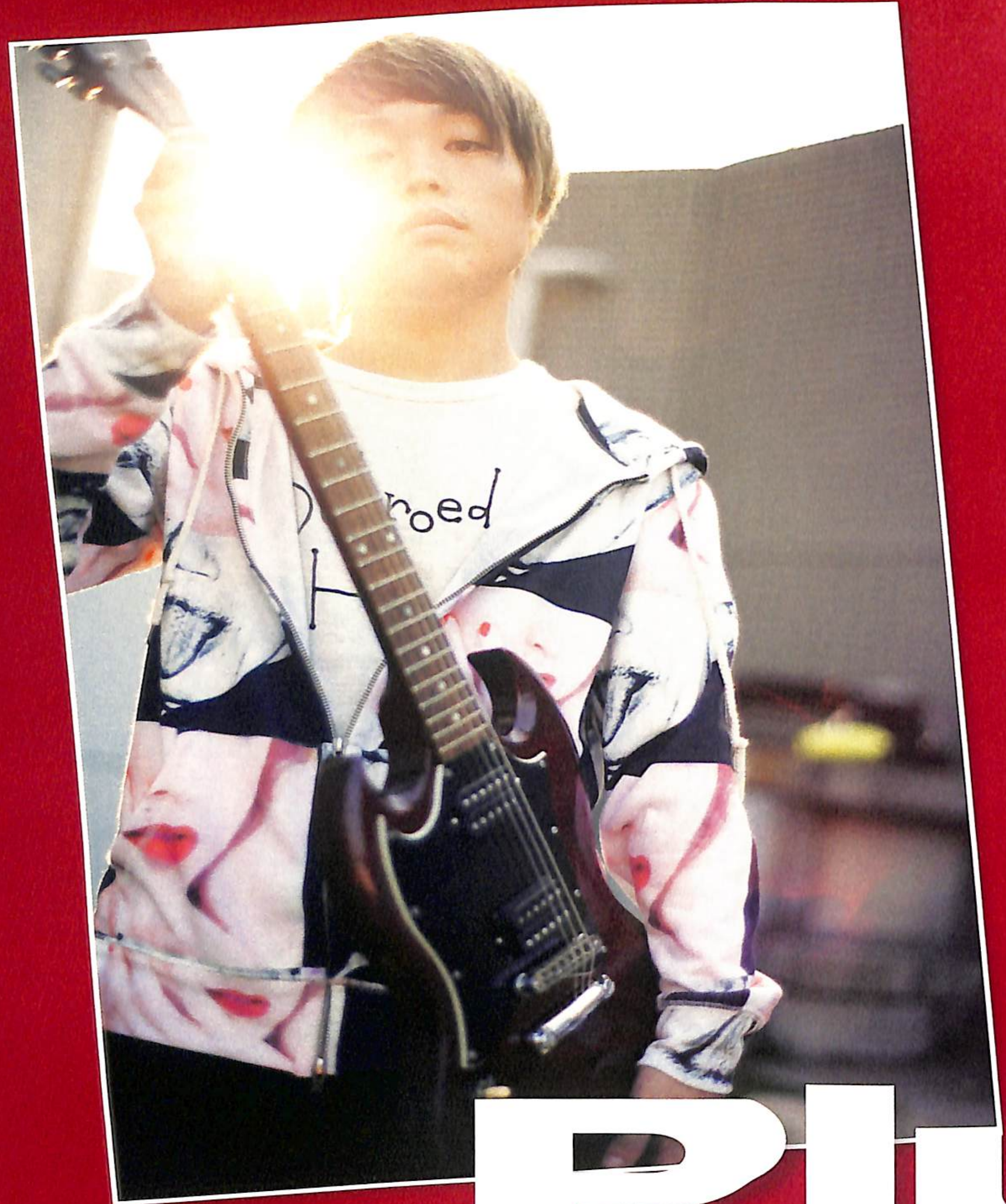
ボーカロイド・ソフトウェア『Big AL』

落ち着いた声質が魅力の英語版V2。ベースラインを受け持つ、バッキングボーカルとして楽しめる。派手な衣装をまとった、キャラクターが斬新だ。開発はPowerFx社による



ボーカロイド・ソフトウェア『Tony』

プロの男性シンガーを抽出して開発された、低音域でも正確な音程をキープする。バリトン/テノールシンガとして使える、特徴的な歌声が際立つ。ZERO-G社のV2仕様だ



DECO*27
supercell
ピコ
ゴム
あさまっく
√5
秋 赤音

2007年、「ニコニコ動画」が誕生して以来、歌い手＆ボカロPによって数々の伝説が作られた。そんなシーンを牽引してきた代表格のアーティストたちが登場。輝かしい軌跡とともに現在の活躍を追う。

Plus Meets Artist

写真／三浦孝明（P23-P24）、植本一子（P24-P25）、源賀津己（P30-P31）
取材・文／榑林史章（P24-P29）、斉藤碧（P30-P31）、市川誠（P32-P37）

Plus Meets Artist

DECO*27

Profile

●VOCALOIDをヴォーカリストに迎えた作品を制作し、バンド・サウンドに根差したライヴ感ある楽曲の作品性の高さが動画投稿サイトで評価され、大きな反響に。これまでに『相愛性理論』『愛迷エレジー』の2枚のアルバムをリリース。来年春に3rdアルバムのリリースを予定している。

自己愛だけを歌っては、利他愛の人には伝わらない。だからふたつ書いて、聴いた人が“私はこっちの気持ち”“僕はこっち”と、楽しんでくれたら…

『エゴママ／恋距離遠愛』

アーティスト、プロデューサーのふたつの顔を持つDECO*27。その才能はネットを飛び出し、スターダムのステージへ。今後の活躍が楽しみな彼の“今”を直撃した。

DECO*27

気づかされることも多かったし、くじけそうな時もコメントで励まされた…

柴咲コウのシングル「無形スピリット」を作曲する他、その柴咲とユニットgalaxias!を結成するなど、ネットのみならずリアルフィールドでも注目を集める、アーティストDECO*27。昨年以降、初音ミクに命を吹き込んだようなアルバム『相愛性理論』や、ボカロと生歌が混在するアルバム『愛迷エレジー』など、次々と作品を発表。言葉遊びを駆使した歌詞と、1度聴いたら耳から離れないメロディ、オリジナリティ溢れるバンドサウンドで、中高生の女子から絶大な人気を誇る。

最新シングル『エゴママ／恋距離遠愛』は、恋人同士の1年間の軌跡を、その月ごとに描くシリーズの一部として制作。ひとりの中に同居する、自己愛と利他愛の気持ちを歌った。

「自己愛だけを歌っては、利他愛の人には伝わらないし。だからふたつ書いて、聴いた人が“私はこっちの気持ち”“僕はこっち”と、楽しんでくれたらいいかな」

この『エゴママ』しかり、これまでも恋愛をテーマに、男性と女性のふたつの目線で歌詞を書いているのが、DECO*27の特徴。それについては「愛がこの世界でいちばん大切なものだと思うから」と話す。また、女性目線の歌詞については、子どもの頃から好きで読んでいる少女コミックの影響もあるのでは？と自ら分析する。

「妹の部屋に行ったら、まだ読んだことのない漫画がいっぱいあって、小学生の頃から読むようになった。当時好きだったのは『あずきちゃん』、今は『なみだうさぎ』かな」

少女コミックのきっかけを作ってくれた妹には「感謝しなきゃ」と笑う。もちろん実際の恋愛経験も影響している。

「実体験と少女漫画の物語が、シンクロすることがあって。そこがもっともグッと来るところだと思って、ピックアップするんです」

楽曲作りは主に、まず簡単なベーシックなトラックを作り、それを聴きながら鼻歌でメロディを考え、最後に歌詞をはめる。『エゴママ』の冒頭“愛or愛　選ぶよ”というフレーズも、鼻歌で出て来たそう。

「歌詞を付けるときがいちばん楽しいです。パズルと似ていて、言葉がメロディとぴったりハマったとき“ああ〜楽しいなあ！”ってなります」

楽器を始めたのは中学生の頃。音楽好きの父親の影響でアコギを始め、ゆずやコブクロ、19などに影響を受けながら曲作りを始めた。

「缶コーヒーの歌とか、フォークの曲を弾き語りで作って歌ってた。単純に弾き語りするのが楽しくて」

ボカロで曲を作り、ニコ動に投稿するようになったのは、大学生になってから。きっかけは「楽しそうだった」から。

「デビューとかプロとか関係なく、単純に面白そうだと思って。再生数が上がったり、コメントが付くのが嬉しくて、じゃあもっとたくさんの人に聴いてほしいと思うようになって、どんどん投稿するようになりました」

歌詞に対して意識するようになったのもこの頃。

「歌詞でも個性を出せるようになったら曲作りがもっと楽しくなるんじゃないかと。それから、自分でいろいろ研究して、気持ちを対比させたり、韻を踏んだり、主人公をふたりにして歌詞で会話を展開させたり……試しながら、今の形になりました」

ニコ動では『二息歩行』『モザイクロール』など多くの楽曲がヒット、殿堂入りを果たした現在も「歌ってみた」カテゴリーで根強い人気を誇る。そんなニコ動はDECO*27にとって「家」だそう。

「気づかされることも多かったし、くじけそうな時もコメントで励まされたし」

現在もボカロは、新バージョンが出るごとにチェックしているそうで、V3メグッポイドが気になっている。

DECO*27の音楽は、女優／アーティストの柴咲コウも認める。『相愛性理論』を聴き、柴咲サイドからコンタクトがあり『愛迷エレジー』収録「トリノアイウタ」を作詞提供された。逆に柴咲の『無形スピリット』の作曲を担当するなど、交流が生まれ、柴咲のツアーにギタリストで参加するほどに。

「日々勉強させてもらっています。ステージでかっこよく表現したい欲も出て来ました」

ギタリストとして、名を馳せる日も近いかも？

もともと楽しそうだからと、始めた音楽作りは、今も自分が楽しむことをいちばんに考えていると話す。だからこそDECO*27の音楽は、聴く者を無条件で楽しませてくれるのに違いない。

「何10年経っても、おじいちゃんになっても、楽しみながら曲を作っていたいです」

『エゴママ／恋距離遠愛』
U/M/A/A
NOW ON SALE
初回生産限定盤（CD+DVD）
XECJ-9014　¥1,500（税込）
通常盤（CD）
XECJ-1014　¥1,200（税込）

DECO*27×大物女優 超強力ユニット“galaxias!”

偶然DECO*27の音楽を知り気に入ってくれた柴咲コウ、「ライトラグ」のリミックスも手掛けたTeddy Loidと結成。アルバム『galaxias!』をリリース。DECO*27によれば「ギターロックとエレクトロがミックスされた、クラブよりのサウンドとのこと。柴咲との出会いについては「最初はスタジオで会ったんだけど、恥ずかしくて目が合わせられなくて。映画『バトル・ロワイアル』のDVDを借りて、目を合わせる練習をしました(笑)」

Plus Meets Artist

キャラクター原案も手掛けるアニメ
「ギルティクラウン」

フジテレビ系深夜ノイタミナで、話題のアニメ『ギルティクラウン』主題歌「My Dearest」と、EGOIST名義のエンディング曲「Departures ～あなたにおくるアイの歌～」をプロデュース。同アニメのキャラクター原案はsupercellのredjuiceが担当。「2年くらい前、「化物語」が終わってすぐに話をいただいて。曲を作ったときは台本がまだなかったので、作るのは大変でした。ジェットコースターのような構成を意識しているので、カラオケで攻略するのが楽しいと思います」

アニメ『ギルティクラウン』のヒロイン、楪（ゆずりは）いのりのバンド“EGOIST”が、同アニメのエンディング曲でCDデビュー。ヴォーカルを務めるのは、オーディションで約2000人の候補者の中から選ばれた17歳の新人歌手chelly（チェリー）。CDには、BOOM BOOM SATELITESのリミックスも収録。

©ギルティクラウン製作委員会

何かを喪失する時に引き替えにするもの その中にある葛藤という部分をフィーチャーしました… 『My Dearest』

作詞・作曲・制作、イラスト、アニメーションなどを一手に手掛けるクリエイターユニット、supercell。楽曲制作を担当するコンポーザーのryoにその軌跡を聞いた。

supercell(ryo)

最初はコメントが2、3コだったけど、コメントが付くたびにドキドキした…

07年以降、『メルト』『恋は戦争』など人気ボカロ曲をいくつも発表。ニコ動発のアーティストとしていち早くメジャー・レーベルに進出。アニメ『化物語』主題歌『君の知らない物語』など、フィールドを選ばない活躍をしているsupercell・ryo。自分の音楽のルーツは「ゲーム音楽」だと話す。

「小学1年生くらいからピアノを習うようになって。ドラクエなどの曲を楽譜を買って弾いたらエモーショナルで、聴くだけでなく演奏する楽しみを知りました」

高校以降は、いくつかバンドを結成しドラムを担当。JUDY AND MARYのカバーや、ニルヴァーナ、マリリン・マンソンなど「やれる曲なら何でもやっていた」。しかし家で一人になると、シンセで曲を作り楽しんでいたという一面も。

「20分もある曲で、プログレとエレクトロニカが合体したみたいな…ピアノの先生に酷評されてたけど、その時は自分がかっこいいと思えばそれでよかった」

supercellと言えば、ピアノが鳴り響く疾走感のある楽曲というイメージ。その基本スタイルが生まれたのは、初音ミクから。初音ミクが発売され、ニコ動に楽曲が多くアップされるようになったのを見て「新しい感じがしたし、自分でもやれそうな気がして」買ってみたと言う。投稿一発目は、坂本真綾『Gravity』のカバー。

「最初はコメントが2、3コだったけど、コメントが付くたびにドキドキした」

その後アニメ主題歌にオリジナルのアイデアを加えたものを経て、オリジナル曲第一弾となる『君を忘れない』を発表。ミクっぽくないという評価から、じゃあミクの設定である16歳の女子高生ぽい曲をと、作ったのが『メルト』。

「ミクの声で何をしたらリアルに聴こえるのか？　が重要だった」

実は、作詞も『君を忘れない』が最初。

「ネタを書く感覚だったけど、やれば何とかなるもんです(笑)」

メジャー・デビューのきっかけは、09年にリリースした初音ミク楽曲を集めた同人アルバム『supercell』を、もっと多くの人に提供したいと思ったことから。

「予想以上に好評で、欲しいけど買えないという人が多くいて」

様々な流通形態など調べたりしているうちに、紹介でたどり着いたのがソニー・ミュージックだった。最終的にソニーを選んだのは、系列にアニプレックスがあったことと、BOOM BOOM SATELLITESのいるレーベルだったから。

「僕、BOOM BOOMが大好きなんです。レーベルメイトって言えたらかっこいいじゃないですか(笑)！」

そういう単純で、衝動に素直なところも、実はアーティストとして必要なことかもしれないと思わせるエピソードだ。

最新曲となる『My Dearest』は、アニメ『ギルティクラウン』というタイトルから、罪の冠→宗教→キリスト→ニーチェ……と、連想ゲームのように言葉を紡ぎ、ピアノに向かって作曲したそう。

「何かしら文章や言葉を書いて弾くと、そういう感じになる。『My Dearest』は最終的に、何かを喪失する時に引き替えにするもの、その中にある葛藤という部分をフィーチャーして作りました」

ヴォーカルには、オーディションで選ばれた、歌い手のこゑだを起用。初音ミクしかり、声の存在が楽曲制作に深く関わっている。

「ギターも機種が違えば音も変わるし、それによって発想する曲も変わる。歌声は、曲を発想するものの中ではいちばん重要です」

ただ『My Dearest』は、アニメの関係で先に曲があり、最終的にそれを歌ってもらって決めたとのこと。

「こゑだちゃんは、歌が抜群にうまいので、次はどんな風に歌ってくれるのか、作る楽しみがある」

初音ミクの時はライヴという発想はなかったが、こゑだのすごさを多くのリスナーに知ってもらうためには、ライヴもやりたいと話すryo。ヴォーカリストとの出会いによって、自身も変化しているようだ。

ゲーム音楽で演奏する楽しみを知り、それまで自分の満足のために作曲していたのが、ボカロによって人に聴いてもらうよろこびを知った。

「ニコ動はホームグラウンド。今でも時間さえあればボカロで曲を作りたいです」と話す。

「ボカロは、発想に制限がないのが魅力。こういう曲を作りたいと頭で思ったものを、そのままトレースできるのがいいですね」

supercell(ryo)

Profile

●ニコニコ動画にアップした楽曲の総再生回数は2000万回を超えるコンポーザーのryoと多数のクリエーターからなるエンターテインメント・ユニット。2009年、1stアルバム『supercell』でメジャーデビュー。今年リリースした2ndアルバム『Today Is A Beautiful Day』はオリコンウィークリーチャート3位を獲得した。

『My Dearest』
ソニー・ミュージックレコーズ
NOW ON SALE
SRCL-7793～4
¥1,575（税込）

『Departures ～あなたにおくるアイの歌～』
Aniplex
NOW ON SALE
初回生産限定盤（CD+DVD）
SVWC-7796
¥1,575（税込）

Plus Meets Artist
ピコ

動画投稿サイト出身の歌い手として代表格であるピコ。
初投稿からメジャー・デビュー、現在の活動まで、
“両声類”と称される彼の活躍を振り返った。

ムリだろうと最初から諦めていたから、デビューは夢のまた夢だった。でも、ニコ動でもう少し頑張っていれば、やれるかもしれない！って。

初のソロツアー再追加公演「ピコ LIVE TOUR 2011～1PIKO～“ピコの夏祭り”」
2011年8月3日（水）東京・SHIBUYA-AX

ピコ
Profile
●07年に動画投稿サイトに自ら歌った曲を投稿し、その動画が各動画サイトの関連動画総再生数2500万回を超え、注目を浴びる。10年3月、CDデビューからSHIBUYA-AXワンマンライブの最短記録となる『「Infinity」～AXの無駄遣い～(仮)★』を開催。同年10月13日にシングル『Story』でメジャー・デビューを果たした。

ニコ動で誹謗中傷されるのなんか、まだ甘いと思うくらいメジャーは厳しい

昨年、両声類の歌い手として、初めてメジャー・デビューを果たしたピコ。07年よりニコ動「歌ってみた」カテゴリーに投稿を始め、08年に歌ったボカロ曲『恋は戦争』（作詞・作曲／ryo）が10万回再生を超えるヒットを記録。いちやく人気の歌い手となり、デビューのきっかけをつかんだ。しかし最初は「単なる興味本位だった」と話す。

「高校時代は友達とバンドを組んで、ジャンヌダルクさんのコピーなどやったり、大学の軽音部の活動など、友達はみんな“いいね”と言ってくれた。でも、実際僕の歌はどうなんだろう?と。ネットなら匿名だし、お世辞抜きの本当の評価を受けることが出来る」

ピコという名前は、そのときに付けたもの。ここまでの活躍は想像していなかったため、愛犬の名前をそのまま付けたとか。

決して最初から、反応がよかったわけではない。賛否両論あったが、中には的確なアドバイスをしてくれるコメントもあり「こういう意見が欲しかった」と、刺激を受けた。以降は、アドバイスを採り入れながら投稿を続けた。

「RPGで、経験値を増やして行く感覚だったかもしれない」

少しずつピコという名前も広まり、同カテ内の歌い手とも活発に交流し、イベントにも出演。活動の幅が広がるにつれ、自分の中でニコ動のピコの比重が大きくなる中で「やっぱり僕は音楽が好きで、音楽の仕事をしたいんだ！」と、気づく。

「デビューしたいと思ったのは、ニコ動を始めて1年半後くらい。バンドをやっていた頃に漠然とデビューを想像したことはあったけど…まあムリだろうと最初から諦めていたから、デビューは夢のまた夢だった。でも、ここ（ニコ動）でもう少し頑張っていれば、やれるかもしれない！って」

メジャー・デビューの声がかかったのは09年1月。前年12月30日の「ニコニコ年忘れ大感謝祭2008～Music2.0の息吹～」に出演時のプロデューサーが、現在のレーベル関係者につないでくれた。年明けに京都のイベントに出演後、友達の家に泊めてもらっていたときに電話が鳴った。

「朝だったんで、寝ボケて出たんですけど、明日東京に来られないか？って。驚いたし嬉しかったし。でももともと、親には1年やって芽が出なかったら諦めるという約束で、大学を休学させてもらっていて。約束の期限ぎりぎりのときだったから、正直ホッとしたところもありました」

そうしてメジャー・デビューしたピコは、現在までに4枚のシングルと1枚のアルバムをリリース。最新シングル『ユメハナ』は、情緒豊かで和テイストのナンバー。艶やかなヴォーカルが話題になっているが、ピコのような両声類は、声のレンジが広く多彩な楽曲が歌えるメリットがある一方、男女など声を使い分けることによって、イメージが統一されないというデメリットもある。

「その点で、芯となる“ピコの声”を必ず意識するようにしています」

実は、この『ユメハナ』を作曲したsamfreeは『ルカルカ★ナイトフィーバー』のボカロPでも有名。偶然同じ事務所だったことで意気投合した。

また、C／W『Immoral』では、そのsamfreeの手を借りて、ピコが初めて作曲を手がけ、新たな一面を覗かせている。

「スマホに鼻歌を録音したものをsamfreeのところに持って行って、ピアノなど打ち込んでもらって。一緒にアイデアを出し合いながら作っていきました」

学生時代もバンドをコピーし、これまでもバンドサウンドが中心だったピコ。ダンスミュージックを歌ったことはなかったが「新しい一面を出したい」と一念発起しチャレンジした結果、アゲアゲで、ライヴで盛り上がること間違いナシの楽曲に仕上がった。

「女同士の掛け合いになっているところは、ライヴではひとりでどう歌おうか、ちょっと考え中です（苦笑）」

実際に『Immoral』が好きと言ってくれるファンも非常に多いとのこと。今後のピコの、人気の路線になるかも。

ライヴの経験が少ないという弱点を克服するために、現在は、歌や音楽性だけでなく、パフォーマンスにも磨きをかけるべく、努力の日々を続けるピコ。

「分かったのは、ニコ動で誹謗中傷されるのなんか、まだ甘いと思うくらいメジャーは厳しいということ」

まだまだ進化の途中だと話す。今後どんな羽を広げるのか。

「誰かのマネにはなりたくないし、毎回新しいことをやりたい。声を聴いてピコだ！と、誰でも分かってもらえるのが目標です！」

『ユメハナ』
キューンレコード
NOW ON SALE
KSCL-1865
¥1,200（税込）

ピコ注目！歌い手出身アーティスト“ちょうちょ”

アニソンバンド「ロータス★ロータス」で活動、08年にボカロ曲『ブラック★ロックシューター』を投稿し話題。今年7月にアニメ主題歌『カワルミライ』でランティスよりメジャー・デビュー。11月23日に3rdシングル『ハルモニア』をリリース。「ちょうちょさんは、歌い手の中でも仲がよいひとりで、よく飲みに行ったりもしています。同じメジャーのフィールドにデビューしてくれて、すごく嬉しいです」（ピコ）

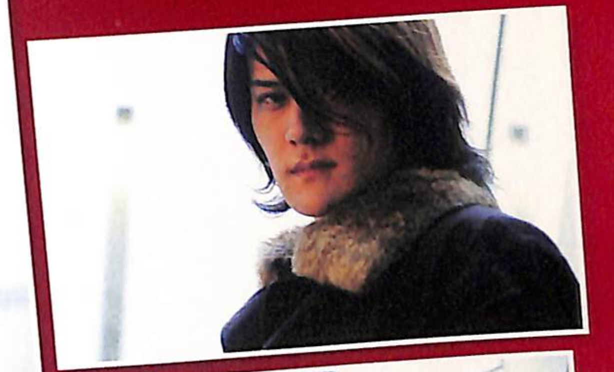
Plus Meets Artist

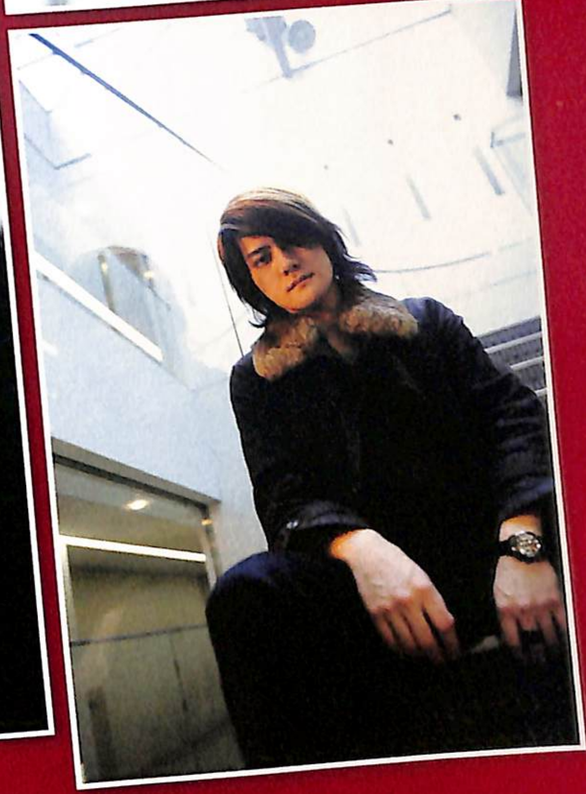
ゴム

「ニコ動」で驚異の580万再生を記録し、一躍時の人に。
歌い手、ボカロP、ギタリストとして活動するゴムが
メジャー・シーンに身を投じて感じたこととは？

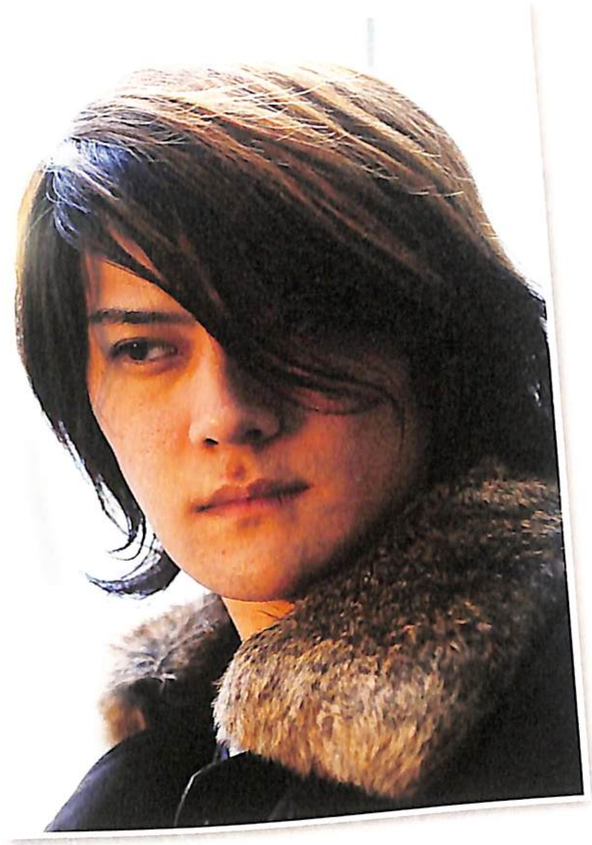
みんなが盛り上がってくれたのが
すごく嬉しかったから、
今後は曲提供ももっと積極的に
やっていこうかなと思っています。

ゴム
Profile
●高音から低音まで、様々な表情で歌い分ける個性派の歌い手。ニコニコ動画に投稿した『ロックマン2 おっくせんまん！Versionゴム』が580万再生を記録し、「歌ってみた」史上、圧倒的な最多再生回数を保持するシーンの象徴的存在。今年6月、カバー・アルバム『Version ゴム DX』でメジャー・デビュー。





まさか自分が歌手としてデビューするなんて考えもしなかった



ニコニコ動画発のアーティストやクリエイターが、ネット上からリアルな世界へ挑戦していくことが劇的に増えた昨今。それこそ、ニコニコ動画の黎明期を支えた歌い手や奏者の半数が、今ではメジャーの舞台で脚光を浴びるようになってきている。そして、07年に歌ってみた動画でニコ動デビューを飾り、2作目の『ロックマン2 おっくせんまん！(Version ゴム)』以来「歌ってみた」カテゴリの第一人者として活躍するゴムが、今年、満を持してメジャー・シーンへと進出した。

「そもそも僕は作曲がやりたかった。その練習のためのカバーや録音したものをネット上にアップするようになったので、まさか自分が歌手としてデビューするなんて考えもしなかったですよね。オケを作った時に歌が入ってる方が反応がよかったから、歌も自分で歌うようになって。それに対する反応が楽しくてどんどんネタに走っていったら、狙い通りにウケちゃったっていうだけなので（笑）」

彼を一躍人気歌い手にした楽曲『思い出は億千万』は、当時からとても人気の高い曲だった。だが、ほとんどの人が低音で歌っている中、敢えてオクターブ上を今にもはち切れそうなハイトーンボイス&シャウトで歌い上げたところ、あっという間にトリプルミリオン（現在は500万再生超え）を獲得したという。

「あれは、歌っていうよりネタを詰め込んだって感じで、勢いに任せて録ったんですよ。自分が狙ってやったネタに的確なツッコミが入るとたまらないっていうのもあるけど、動画を見ている人が僕にそういうものを期待しているんだろうなって思うと、それに応えなきゃってなってしまうのは嫌ですね」

動画を通して繰り返されるネット上の交流に魅了され、ニコ動に溢れている人気曲達を歌い続けるうち、ついにニコ動関連のイベントにも出るようになったゴム。そこで彼の歌っていた楽曲（原曲）を制作したsupercellのｒｙｏさんと知り合い、その出会いがゴムを現在の事務所、そしてメジャー・デビューへ導く大きなきっかけとなった。

「自分でも〝プロならこれくらい出来て当たり前〟っていう水準にまだ届いていないことはわかっていました。実際人前でライヴをしてみれば、自分がプロとして足りていないところを自覚させられますしね。だけど、メジャーに踏み込んだ方が自分の音楽家としての幅が広がるって思ったし、デビューしたからといってニコ動や同人活動が制限されるわけではないので、挑戦のひとつとしてやってみることにしたんです」

初めは、今までニコニコ動画に投稿してきた歌ってみた動画の曲をまとめてリリースしようという話だった。しかし、「結果的には自分が好きな曲だけを詰め込んだ作品になった」と彼は言う。アニソン・ボカロ曲・J-POPといったバラエティに富んだ楽曲に、個性的な歌声がその都度色を変えながら重なる…まさに良い意味で掴みどころのないアルバム、『VersionゴムDX』。そのボーナストラックには、彼自身が作詞・作曲を手掛けた『スキキライ』のセルフカバーも収録され、ボカロPとしての実力も見せつけている。

「歌い手としての活動をする半面、プロデューサーとしての活動も多いんですよ。最近だとGeroくんに曲を提供して、ライヴにもゲスト出演させてもらったんですけど、自分の作った曲でみんなが盛り上がってくれたのがすごく嬉しかったから、今後は曲提供ももっと積極的にやっていこうかなと思っています」

歌い手・ボカロP・ギタリストといろんな顔を持ち、時にはネタに走りながらも音楽に貪欲に生きる。B'zに憧れて音楽の道を歩み出した少年は、いつしか歌い手を目指す人達の憧れの立場へと変わっていた。

「ニコ動は今もよく見ているんですけど、僕がアップし始めた頃と比べると上手い人もかなり増えたし、今ではもうクリエイターの集まる場所になってるじゃないですか？ でも、ニコ動は鮮度が大事だから、自分の色と、思い立った直感と瞬発力を出せば面白いものは作れるんじゃないかな。きっと」

数々の挑戦を乗り越えるたび、自分の持つ音楽の力に自信を深めていったのだろう。「最終的にはロック系のフェスに出たい」と話す彼の視線は野心に満ち溢れていた。

Gero>>>>>>>>>>>>

ニコニコ動画・歌ってみたカテゴリにおいて、カバー曲・ボカロ曲を歌っている、熱いシャウトやビブラートが特徴の人気歌い手。彼のソロアルバム『"Gourmet"』に、ゴムは『The Bandits (The Six Little Bandits)』という曲を提供しており、ライブなどで共演することも多い。

『Version ゴム DX』
ソニーミュージック・ダイレクト
NOW ON SALE
MHCL-1881
¥2,300（税込）

Plus Meets Artist

1stミニアルバム『Gift』

あさまっく

Profile

●あさまる（左）、じゃっく（右）。動画サイトの「歌ってみた」カテゴリで絶大な人気を誇るふたりの歌い手、あさまるとじゃっくからなるユニット。2008年の初デュエット『magnet』で一気に人気を得て、2010年にメジャーデビュー。ニコニコ生放送でのネットラジオ「あさまっくらじお」は700日以上毎日放送という驚異的な記録を打ち立てている。

1stシングル『Stray Sheep』

2ndシングル『マテリアル』

音楽を出すからラジオをやってるわけじゃなくて、CDを出したらラジオを聴いてくれてる人たちが喜んでくれるんで、じゃあ出すかみたいな。

親しみやすく爽やかな歌声で人気を集める歌い手ふたり組は、3年続けているネットラジオでも話題を集めている。二人にとってネットラジオとは、そして歌とは。本音を直撃してきた。

あさまっく

幽霊になってもやってるよという自分たちのネットラジオをテーマにした曲

あさまるとじゃっく。「歌ってみた」シーンの歌い手として、それぞれソロでも多彩な活動を続けるふたりの男性ヴォーカリストが組むユニットが「あさまっく」だ。ネット上での活動を経て、2010年の暮れにミニ・アルバムでメジャー・デビューを果たし、話題をさらった彼らは11年に3枚のシングルをリリース。12月7日に店頭に並んだばかりの最新シングルは、タイトルを『ゴーストレディオ』という。

新曲のテーマは自分たちのネットラジオ

「僕たち、ニコニコ生放送で毎日ネットラジオをしていて、それが700日以上連続っていう結構な記録なので、今回のシングルはラジオをテーマにしようと。このまま続けて、幽霊になってもやってるよという自分たちのネットラジオをテーマにした曲です」（じゃっく）

「沙Pに作ってもらった曲は、これまで歌ったことのないような……。ラップってわけじゃないんですけど、言葉をダダダダっと早く言うところが何箇所かあって、レコーディング中に3回舌を噛みました（笑）」（あさまる）

子供の頃から歌うのが好きで、一時期は週に4回もカラオケに行っていたというじゃっく。よく歌っていたのが安室奈美恵だというので、難しくないですか？ と聞くと「完璧ですよ、完璧！」とあさまるが口を挟む。あさまるは小学生から中学生になるころ姉がCDを持っていたaccessにはまり、access一色の生活を送っていたそうだ。そんなふたりが出会ったのは6年ほど前。

「某巨大掲示板サイトでカラオケのめちゃめちゃうまい人を見つけて、それがじゃっくさんだった。MOON CHILDの『ESCAPE』を歌っているのを聴いて、これは声をかけねばとメールを送ったんです」（あさまる）

それをきっかけに、ぽつりぽつりとメールのやりとりがはじまり、歌を録音するのに相談したいことがあるとじゃっくがあさまるに連絡したことで、距離が縮まり、ネットラジオの開始に繋がっていく。

「僕はじゃっくさんをすごく評価していたので、とにかく有名にしたくて。それでネットラジオを始めたんです。いちから全部勉強して環境を整え、無理やり連れてきて、〝はい喋って！〟って。じゃっくさんは自分からは絶対にやらないので」（あさまる）

「（笑）。それが2008年の春です」（じゃっく）

その年の10月には、はじめてふたりのデュエットをネットで発表した。

「作者のminatoさんが、女の子同士の関係を描いた『magnet』って曲をボカロでアップしたんですね。それをふたりで見て、これを男同士でウホッてやったら面白いだろうと思ったので、歌ってアップしたらお前らなにしてるんだって速攻で作曲者から反応があって（笑）。しめしめという」

「ラジオあっての歌ですね それはもう完全に」

ラジオとあさまっくとしての音楽活動はほぼ同時期に始まり、それが現在まで続いている。ラジオと音楽のふたつがあさまっくの活動の両輪になっていると言っていいと思うが、その比重はフィフティフィフティではない。

「ラジオあっての歌ですね。それはもう完全に」（じゃっく）

「音楽を出すからラジオをやってるわけじゃなくて、CDを出したらラジオを聴いてくれてる人たちが喜んでくれるんで、じゃあ出すかみたいな」（あさまる）

11月に行なわれた満員御礼の日比谷野音公演をもって惜しくも活動休止となった、「PointFive(.5)」というグループがある。〝歌ってみた〟シーンで人気の歌い手ばかり5人が集まったこのグループ。

結成する際、メンバーのひとりとしてあさまるに声がかかり、その流れで、あさまっくとしてもCDを出すことになった。いまのふたりは〝歌ってみた〟は自分にとってターニング・ポイントだったと声を揃える。また、CDデビューの時点で、人気・実力ともに十分だったものの、いやいやと彼らは謙遜する。

「たまたまこうやってお話をもらい、CDを出させていただいてますけど……、（CDデビューできたのは）運です」（あさまる）

「オレらよりも歌のうまい人なんていっぱいいるもんね」（じゃっく）

「いや、じゃっくさんはコラボにひっぱりダコで何を歌ってもじゃっくさんになるんです」（あさまる）

「そんなことないよ」（じゃっく）

「普通に歌ったらじゃっくさんになるの？」（あさまる）

「そんなことは……、アハハハハ（照）」（じゃっく）

『ゴーストレディオ』
ティームエンタテインメント
NOW ON SALE
KDSD-00511
¥1,260（税込）

ニコ生で放送中の「あさまっくらじお」

インタビューでも語っているとおり、ふたりがあさまっくの活動の中心に据え、もっとも大事にしているのがニコニコ生放送でのネットラジオ番組「あさまっくらじお」。毎日、生放送で、という気の遠くなるようなこの番組を700日以上続け、現在も更新中というからすごい。この調子でいけば、新曲『ゴーストレディオ』の歌詞にある44万1回目の放送も夢じゃない!?

ひとりひとりのスキルアップや それぞれの活動にプラスになっていければ

ニコニコ動画の人気カテゴリ「歌ってみた」のなかでも特に人気の高い5人の歌い手が集結。夢の組み合わせとも言われるスーパー・グループが√5だ。2011年の7月、蛇足、ぽこた、みーちゃん、けったろ、koma'nの5人がニコファーレでのライヴ「歌会360°LIVE」に揃って出演したのをきっかけに、「なぜかとんとんとCDの話につながり…」（koma'n）。12月14日にはファースト・シングル『MERRY GO ROUND』をリリース。メンバーが集まった経緯について、けったろは「神の声が聞こえた」と冗談を飛ばす。

これまでソロで活動してきた5人。しかも歌のみならず、楽器を演奏したり作曲したり、ドラマやミュージカルに出演するなど、多彩なキャリアと個性的な才能を持ち合わせた面々ばかりのため、グループとしての活動はなかなか大変なのではと思いきや……。

「（気をつけていることは）個人個人のよさを消さないことです。もちろん、グループとしての歌も大事なのですが、各個人のよさを活かしつつ5人で新しいものを作れるよう心がけています」（ぽこた）

「5人で集まってこそできる音楽を通じて、そこからひとりひとりのスキルアップや、それぞれの活動にプラスになっていければいいなと思っています」（koma'n）

個人のよさをグループに反映し、それを再び個人にフィードバックすることで、個人とグループが共鳴しつつ共に成長する。そんな、憎らしいほどの“大人力”も持ち合わせているのがこのグループだ。

メンバーは年齢もバラバラ。koma'nが「影でみんなを操ってます。大人の力です」と評する最年長の蛇足は、“脅威の年齢差”にこそ√5の可能性を感じるという。年齢の差が広がれば広がるほど出てくるはずの多様な意見に接することで、音楽だけではなくグループ活動のあらゆる点で深みを増していくということか。その一方で、「かっこいい系なのに中身はかわいい」とkoma'nが指摘するみーちゃんは、√5は「ご近所で毎週ひらかれるお茶会!」だという。

こんな激しい温度差もこのグループの魅力のひとつかもしれない。

グループ結成のきっかけ「歌会360°LIVE」

オープンしたばかりのライヴ会場、ニコファーレにて、2011年7月30日に行なわれたライヴ。ニコニコ動画の「歌ってみた」カテゴリで絶大な人気を誇る歌い手の5人、蛇足、ぽこた、みーちゃん、けったろ、koma'nが一堂に会し、その模様はニコニコ動画でも配信された。ライヴでは、それぞれがソロで歌を披露した後、アンコールで5人の共演が実現。これがきっかけとなり、√5として活動をスタートすることになった。

クラブ・シーンからニコニコ動画まで、さまざまな音楽シーンを取り上げているテレビ朝日系の人気番組『Future Tracks→R』の12月度オープニング・トラックでもある『MERRY GO ROUND』と『Blowback』を収録するファースト・シングル。本作は、発表しているボーカロイドオリジナル楽曲11曲の全てがニコ動で殿堂入りを果たしているdorikoと、今年8月にちょうちょをヴォーカルに迎えたアルバム『LAPIS』でメジャー・デビューしたJunkyのふたりの人気ボカロPが楽曲を書き下ろした。

「歌声に統一性がない5人組なので、みんなの個性を活かした曲になるようにお願いしました」（koma'n）

それを受けてdorikoが書いた『MERRY GO ROUND』。

「5人の得意分野を集約した曲です。それぞれの歌い方による“曲の色”の変化、サビで集まったときの盛り上がり。今後の√5の進む道そのものだと思っています」（ぽこた）

その通り、次々に現れる雰囲気の異なるメロディを各メンバーがリレー形式で歌い継ぎ、サビで全員が声を合わせる、個人とこのグループの歌の力を端的に伝える挨拶代わりの1曲になっている。

それとは対照的に『Blowback』はスピード感あふれるハードなロック・ナンバーだ。

「Blowbackはすごくノリのいい曲です。ロックですね。ニコニコ動画発のアーティストなので、やはりライヴで盛り上がれる曲が必要不可欠です。ノリのよさで突っ走って、ライヴでみなさんと盛り上がれると思います」（ぽこた）

ついにスタートを切ったスーパー・グループの今後を、本人たちはどう考えているのだろう。

「曲をどんどん増やしていって、ライヴをたくさんやっていきたいです!」

「ボイスドラマや声優的なものをやってみたいです」（ぽこた）

「美味しいもの巡りライヴ」（みーちゃん）

「美味しいもの食べに行きたいです」（蛇足）

「√5でやりたいこと? 旅行?（笑）」（けったろ）

アイデアはいろいろとありそうだが、とりあえず日本各地、美味しいものがある場所でのライヴは期待してよさそうだ。

「歌ってみた」は趣味であり、大きな可能性が広がる場所。彼らは異口同音にそう語る。その「歌ってみた」から出発し、勢いのある5人組がその枠を超えていく。

『MERRY GO ROUND』
avex
12.14 ON SALE
初回生産限定盤（CD＋DVD）
AVCD-48316/B ¥1,890（税込）
通常盤（CD＋DVD）
AVCD-48317/B ¥1,890（税込）
通常版（CD）
AVCD-48318 ¥1,050（税込）

より、蛇足、けったろ、koma'n（こまん）、みーちゃん、ぽこた。リーダーは、グループ内最年少であるkoma'n。

√5
Profile
●動画共有サイト「ニコニコ動画」内のカテゴリ「歌ってみた」で人気のある5人の歌い手が結成したヴォーカル・グループ。投稿動画総再生回数が蛇足は1700万回以上、みーちゃんは1000万回以上など歌い手としての人気はもちろん、ぽこたはミュージカル俳優、けったろは俳優、koma'nはピアノ演奏者、ボカロPなど幅広く活躍している。

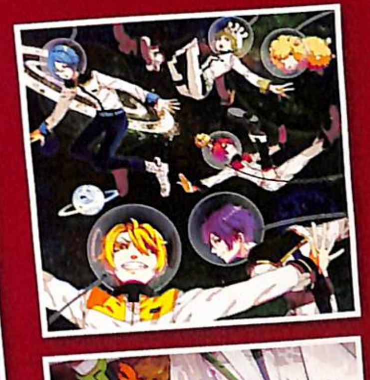
それぞれの歌い方による“曲の色”の変化、サビで集まったときの盛り上がり。今後の√5の進む道、そのものだと思っています。

Plus Meets Artist

ニコ動の歌い手5人が結成したヴォーカル・グループ√5。人気ボカロPのdorikoとJunkyが書き下ろした楽曲で12月にいよいよCDデビューを果たす。

√5

昨年から現在までに制作された彼女の人気作品。上から「PointFive(.5)の2ndアルバム『ドウシンエン』のCDジャケット」「机上の戦争」「最期の花」「触れたい」「満足？」。



©2011COCHITORA,Inc All Rights Reserved

秋 赤音
Profile
●2008年よりニコニコ動画で活動を始めた歌い手、絵師の顔を持つ女性アーティスト。8月17日に『antinotice / 花弁』でメジャー・デビュー。ゆずの最新シングル、「歌ってみた」で活躍するアーティストのCDジャケットやイラストを手掛けるなど、イラストレーターとしても注目を集める。

どっちもやるときが一番楽しいですし、よいものが作れる気がしますね。私にとって歌と絵はライバルで、どっちも負けずに頑張ろうと思える関係です。

歌手、イラストレーターのふたつの顔を持つ秋 赤音。夏にCDデビューを果たすと、11月にはゆずの最新シングルのジャケットイラストを担当。絶好調な彼女の素顔に迫る。

Plus Meets Artist

秋 赤音

上手い下手は別として自分にしか表現できない歌い方をしてるとは思ってます

ゆずの最新シングル『翔』のジャケットにイラストを提供した秋 赤音（あき あかね）は、イラストレーターとして活躍する一方、「歌ってみた」の歌い手として人気を集め、今年8月にシングル『antinotice／花弁』でメジャー・デビューを果たした。イラストレーターと歌い手、ふたつの顔を持つ20歳のアーティストだ。

歌を聴いて、まず気づくのが、そのエモーショナルな歌い方。歌う、というより、身を投げ出して全身で訴えるような、のっぴきならぬ切実な空気に満ちている。

「上手い下手は別として自分にしか表現できない歌い方をしてるとは思ってます。というか本当に好きなように歌ってるとしか……」

そんな歌と鋭利な刃物を思わせるギターが火花を散らす、ひりひりしたロック・ナンバーで、シングルに収録されている『antinotice』は、ライヴで観たらさぞかし映えるだろうと思うのだが、「ライヴは苦手です。チキンだし本番にめっぽう弱いです。ひとりで歌うと顔とか動きとか（人目を）気にせず歌えるので楽ですねー」と繊細な一面をのぞかせる。

彼女の描いたイラストには、強くヴィヴィッドで色使いの大胆なものがある一方、微妙なニュアンスに富んだものも。その大胆さと繊細さはまた歌にもあるのだが、歌では両者が別々にではなく同時に表われる。

CDの帯には〝絶叫シンデレラ〟とあるものの、ただの絶叫ではなくそこには消え入りそうな呟きも内包しているのだ。

また、歌詞では何かを皮肉るようなものがいいと言う。直球なものよりひねくれたものが好き。

「これまでに歌ってきた曲のなかでは、あわあわPさんの『君が悲しいときには』の『誰かが泣いていてそれが君だったって、ポケットのハンカチがお気に入りじゃちょっと迷う』です。なんか共感できるなーと思って。全体的にこの歌の歌詞は大好きです。直球のようで、どこか捻くれてる感じが」

歌といい好きな歌詞といい、重層的でふくらみがあるのだ。

ゆずの新譜「翔」でジャケットの絵を担当

フジテレビ「世界体操 東京 2011」番組テーマソングとして番組を盛り上げた、ゆずの新曲『翔』が11月30日に発売となり、そのジャケットのイラストを秋 赤音が手がけた。蝶と植物をモチーフに、細かく描き込まれたイラストで、散りばめられている落ち着いた色使いが美しい。力強いタイトルの文字は女流書家の金澤翔子が書いたもの。

ご両親がCDやレコードを持っていたのだろうか。子どもの頃から中島みゆきを聴いていたという話を聞いたときには、どうも違和感を覚えたが、彼女の話を聞き、歌を聴いたりイラストを見たりしていくうちに、中島みゆきと秋 赤音の世界にはどこか強い繋がりがあるような気がしてきた。ちなみに初めて自分で買ったCDは、チャットモンチーだそうだ。

歌とイラスト、どちらでも「褒められたときがいちばん嬉しいですよ、やっぱり…。大変なことは、集中力がいることですかね。歌にはそれプラス体力って感じです」。また、「録音しているときには、その曲で頭がいっぱいになってしまって、トイレでもお風呂でも、ずっと歌ってます」と言うから、あの作品のクオリティの高さは才能と集中力のたまものなのだろう。

歌を歌っている人はたくさんいる。イラストを描いている人もたくさんいる。だが、その両方で大勢の気持ちを掴んでいる人はなかなか見当たらない。そんななか、いまや音楽雑誌でも美術雑誌でも特集を組まれるほど注目の存在となっている秋赤音にとって、歌とイラストは、互いに影響を与え合うなんらかの関係を持つものなのだろうか。

「関係はあると思います。絵も歌も好きですが、両方を組み合わせて作品にするときがいちばんモチベーションが上がります。歌うことをやめても絵は変わらないし、絵をやめても歌は変わらないと思いますが、私はやっぱりどっちもやるときが一番楽しいですし、よいものが作れる気がしますね。私にとって歌と絵はライバルで、どっちも負けずに頑張ろうと思える関係です」

自ら制作しているミュージック・クリップでは、アニメーションだったり、実写とイラストを重ねたり、歌詞の言葉をさまざまなかたちで画面に表示させたり。アイデアを駆使して、彼女のなかでライバル関係にある絵と歌を組み合わせている。そこにはふたつの才能をフルに発揮して完成させた、ほかの誰にも真似のできない世界があった。

これからのことを聞いてみると「作曲とかも出来たら楽しいだろうなぁと思います」。そして、「自分で考えた物語がアニメ化！ キャラがアニメ化！ ですかね。そして主題歌を担当できたらもうすごく嬉しいです」。そんな希望が叶う日も遠くはないはずだ。

では、最後にひとことどうぞ。

「わっほい！」

『antinotice / 花弁』
トイズファクトリー
NOW ON SALE
DVD付初回盤（左）
TFCC-89338 ¥800（税込）
通常盤（右）
TFCC-89339 ¥500（税込）

「来風館であいましょう〔平成版〕」

絵師さんぽ

第1回 水野 歌さん

イラスト活かしながら、物語をどう表現出来るか？ ノベルゲームという作品形態に行き着いた水野 歌さんの〝表現〟から目が離せません！

編集部スタッフがうろうろしていたら運命的に出逢ってしまった素晴らしいイラストレーターさん（絵師さん）をご紹介する当企画『絵師さんぽ』。さんぽする人は編集S井、ナビゲーターはA川でおおくりします。

さて、話はちょっと遡るのですが、2011年の8月お盆です。みなさん、何してましたか？　わたくしどもは、ご先祖さまの供養もぶっちぎって東京の埋め立て地におりました。

では、さんぽ担当のS井に今回出会った水野 歌さんとの出逢いを思い出してもらいましょう。

「水野 歌さんと出会ったのは、**パンツまで汗で濡れてしまう**ほど暑い2011年の夏のコミケでした。ボーカロイド関連の同人ブースに足を運んだときのことです。ボーカロイドの同人誌や同人CD、コスプレイヤーを見ながら歩いていると、**見たことのないボーカロイドキャラクターの本**が売っていました。

本の前に座っていた女性に、見せてほしいと交渉すると快諾していただき本を渡されました。

開くと、そこには**美しい色彩と魅力的なキャラクターが描かれており**、最後まで見終わった私は、それが当然のかように財布を出して購入していました。

本を渡され、**ふと気がつくとそれはボーカロイドとは、まったく関係のない本**でした。

なぜボーカロイド関連のブースに？

彼女に尋ねると、コミケに出展するのが初めてだったので、**気がつくとボーカロイド関連のブースだった**とのこと。このドジッ娘め……これが出会いでした」

水野さん、S井に〝ドジッ娘〟呼ばわりされて腹が立つかもしれませんが、ひとつここはこらえてくださいね。

さて、そのあと編集部まで来ていただいていろいろお話させていただいたのですが……。ものすごい才能を持った、ものすごい小田さん好き（小田和正氏）のイラストレーターさんでした。

しかも、その表現領域は一枚絵では終わらず、『イラストレーションを多用した、新しい形の物語表現の追求』とのこと。**2011年・第4回デジタル・コミック大賞 インタラクティブ部門優秀賞**を受賞した彼女の作品、**『来風館であいましょう〔平成版〕』**はまさにそれ（※鎌倉を舞台にしたSF青春ノベルゲーム）。

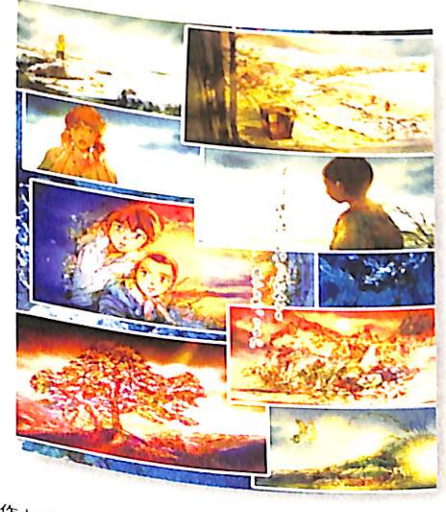
「物語性のある、アニメのように生きたキャラクターを描きたいと以前から思っていたんです」

イラスト活かしながら、物語をどう表現出来るか？　という模索の中、彼女はノベルゲームという作品形態に行き着いたそう。そこには彼女の大好きなテーマである〝近代建築（西洋建築）〟も活かされており、イラストや音楽の演出つきで、雰囲気を楽しみながら物語を楽しめる。

取り組みとしては作詞作曲とDTMとPV制作もひとりでこなしてしまうタイプのボカロPさんに似ている。そういう意味で、ボーカロイド関連の同人ブースに出展していたのはミスマッチではないのです。

ボカロ好きの読者諸兄こそ、水野 歌さんの『来風館であいましょう〔平成版〕』を彼女のウェブサイトで、ぜひとも体験してみてください。

…向けサウンドノベル
…/キャラクターデザイン・作画・演出：水野歌
…ジタル・コミック大賞インタラクティブ部門優秀賞



…［しずかな石］
…みらいフィルムフェスティバルで佳作となった彼女の映像作品「しずかな石」のイメージ…地方などで産出される、叩くと音が鳴る"カンカン石"を題材にした物語。作品の…時代の山峡の村。主人公の石好きの少年を通して、作品を見た方が自然の音に……聴こ…め、耳を澄ませてもらえたら……というメッセージが込められている。

水野 歌

…ストレーター/映像クリエイター。1978年2月15日生まれ。神奈川工業高…デザイン科にてグラフィックデザインを学ぶ。東京理科大学理学部化学…在学中にセツ・モードセミナー美術科1年修了。映像、Webコンテン…ノベルゲーム等、普遍性があり老若男女問わず楽しめる、イラスト…に多用した様々な形式のコンテンツを制作している。今までのスキル…アニメタッチの絵にイラストレーションの普遍性を持たせることに…これまでアニメやゲームに興味を持たなかった層にも広く受け入れられ…ック文化とイラストレーションの垣根を越えた作品の制作が目標。

Web:http://mizunouta.net

ILLUSTRATION
いっすん帽子
COMMENT
GUMIは元気な女の子という印象が強かったのですが、あえて物静かな女の子として描いてみました

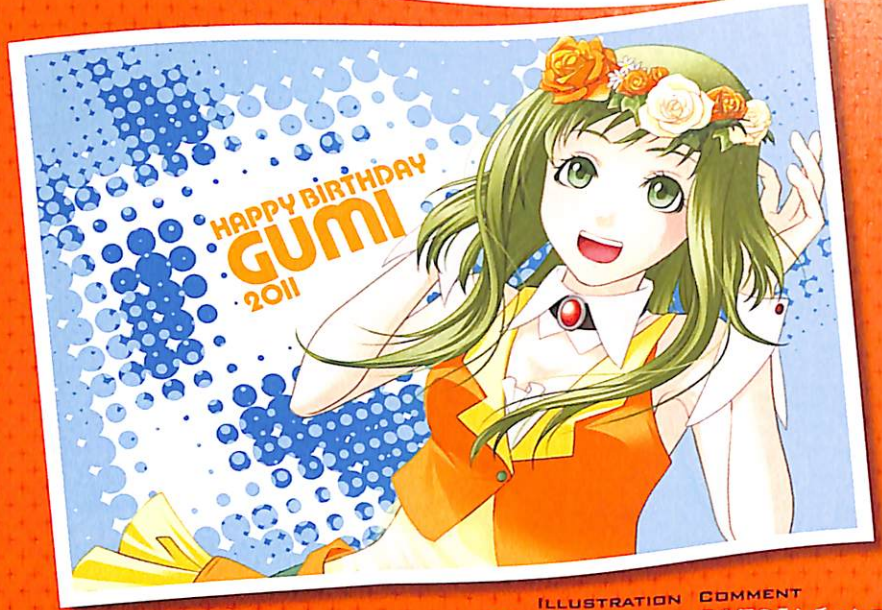


ILLUSTRATION
藤代叶
COMMENT
誕生祭のランチョンマット用だったので、シンプルかつお祝いの気持ちを込めて

ニコニコ動画でアップロード数急上昇中☆

『GUMI』がスゴいことになってます!!

VOCALOID3「メグッポイド」が発売され、ますます人気と注目が集まっている「GUMI」。音楽アップロード数も2010年から飛躍的に多くなり、もはやなくてはならないソフトへと成長した。今回は、そんなメグッポイドの「スゴい」ところをフィーチャー！　既にファンの人も、これからメグッポイドを扱いたい人も集合だ！

CONTENTS

大ブレイク中の「メグッポイド」にZOOM IN!

▼スゴイこと

01 >>> かわいいキャラ
02 >>> GUMIの声
03 >>> CDアルバム
04 >>> 各地でGUMIイベント
05 >>> 名曲が豊富!!
06 >>> 「V3」の声!!
07 >>> 開発者魂
08 >>> 楽曲制作者たち
09 >>> イラストがいっぱい!!
10 >>> カラオケ100曲以上

GUMIっていいよね♪

イラスト／秋月ルコ

メグッポイド

大ブレイク中の「メグッポイド」に ZOOM IN!

VOCALOID3も発売し話題沸騰中！「人間らしい歌声」にますます磨きがかかってます!

「メグッポイド」を使用した楽曲は、2010年頃から動画サイトにてアップロード数が急増。かわいらしくポップな歌からロックまでこなせるとあり、バリエーション豊富な歌声に楽曲制作者たちはトリコ。ここでは「メグッポイド」の製品を紹介します。

「メグッポイド」って何？

インターネットから発売されている女性の声をしたVOCALOID。歌手・声優として活躍している中島愛（なかじまめぐみ）の声を元に制作されている。またイメージキャラクターGUMIのデザインを担当したのは漫画家のゆうきまさみ先生。現在VOCALOID2バージョンに加えVOCALOID3が発売中。

インターネット
大阪府大阪市淀川区西中島7-1-5
HP　http://www.ssw.co.jp/
問い合わせ（購入前）：☎06-6309-1002
問い合わせ（購入後）：http://www.ssw.co.jp/support/contents/support_access/
※購入後の問い合わせは登録ユーザー専用窓口で受付

VOCALOID3「メグッポイド」

2011年10月21日にインターネット社より発売された初のVOCALOID3。「Power」「Whisper」「Adult」「Sweet」の4種類のライブラリ（声）が発売された。推奨テンポは60BPM～175BPM。推奨音域はF2～A4。

開発Comment

V2とV3は声質が異なりますが、V3は新合成エンジンにより歌声の品質が向上しており、より自然な歌声になっています。また、ライブラリ（声）が4種類発売されているのでバリエーションが豊富です！（インターネット代表取締役社長・村上氏）

VOCALOID2「メグッポイド」

2009年6月26日にインターネット社より発売された女性VOCALOID。声を担当した中島愛さんの特徴が反映されており「人間らしいVOCALOID」に仕上がっている。推奨テンポは60BPM～175BPM。推奨音域はF2～A4。

開発Comment

調教しだいではありますが、可愛い声で歌わせることが可能です。意外とロック調の曲に合うと楽曲制作の方々からの評価をいただきました。（インターネット代表取締役社長・村上氏）

聞きたい！ 知りたい！ Q&A

Q　もっと調教が上手くなりたいんだけど……

A　作曲の方法や調教の上達に悩んだら、インターネット社が配信しているネット番組「めざせ！　ボカロP」を観よう。作曲はもちろん、コンプレッサー、ギターの収録、ドラムパートのMIX方法まで公開されている。ニコニコチャンネルにて配信中（http://ch.nicovideo.jp/channel/ch1001）

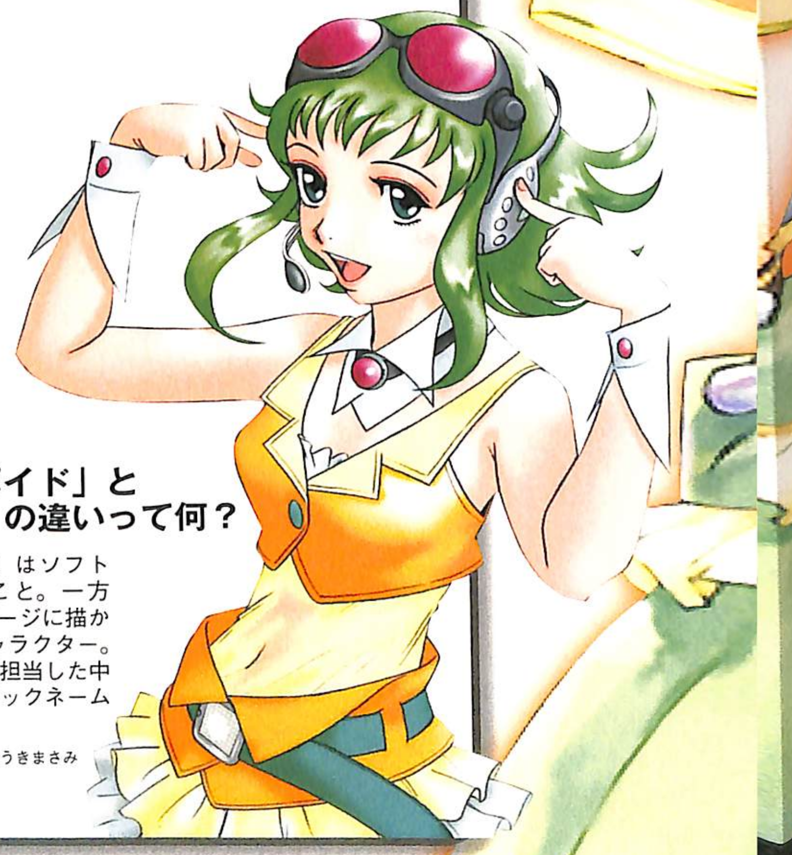
Q　GUMIのグッズが欲しい!!

A　GUMIのグッズはインターネット社オンラインショップ（http://shop.ssw.jp/）にてシール、マウスパッド、ストラップが販売されている。また、キャラクターアパレルグッズショップCOSPA（http://www.cospa.com/）にてTシャツとマグカップ、ペーパートイのグラフィグが購入可能。

© INTERNET Co., Ltd.　ALL RIGHTS RESERVED

Q　「メグッポイド」と「GUMI」の違いって何？

A　「メグッポイド」はソフトウェア全体のこと。一方の「GUMI」はパッケージに描かれているイメージキャラクター。GUMIの名前は、声を担当した中島愛さんの幼少期のニックネームに由来している。



GUMI© ゆうきまさみ

ひと目でわかる"メグッポイド&GUMI"ヒストリー

2008年12月
VOCALOID2の第2弾制作案決定・TVアニメ「マクロスFRONTIER」を観たインターネット社の代表取締役社長・村上氏が、中島愛さんの声に運命を感じVOCALOID 2の声を依頼する。
中島愛さんのボイス収録が行われる。

2009年　2月26日
ニコニコ動画にて、ゆうきまさみ先生へ「お客様呼び出し」時報が0:00分に流れる。

2009年　4月
VOCALOID2「メグッポイド」のデータベース完成。

2009年　5月15日
メグッポイドの発売第1報、ゆうきまさみ先生によるGUMIのイラストが公開される。

2009年　5月22日
メグッポイドのサンプル曲「Be MYSELF」が公開される。

2009年　6月26日
VOCALOID2「メグッポイド」発売。

2009年　6月28日
投稿者samfree氏による「メグメグ☆ファイアーエンドレスナイト」がメグッポイド初の殿堂入りを果たす。

2009年　9月12日
PC系雑誌「Windows100% 2009年10月号」付録DVDに、MMDでも使用可能なGUMIの3Dモデルが収録され話題となる。

2010年　6月21日
KarenT in ピアプロ（提供：クリプトン・フューチャー・メディア）にて「メグッポイド1周年記念祭」が実施される。

2010年　8月10日
投稿者DECO*27氏による「モザイクロール」が17時30分頃にメグッポイド初の再生回数100万回を突破。

2010年　8月17日
「メグッポイド」発売日より募集されていた「Megpoid歌わせてみた祭」終了。投稿者のぼる↑P氏による「恋はきっと急上昇☆」が大賞に輝く。

2010年12月
村上社長がTwitterで追加ライブラリ構想「メグッポイドextend」をつぶやき、ネット上で話題になる。（※現実としてはVOCALOID 3として発売された）

2010年12月21日
アニソン紅白にGUMI出演。

2011年　1月
VOCALOID 3用のボイスを中島愛さんの声で収録。

2011年　6月26日
GUMI誕生祭2011開催。

2011年　9月27日
VOCALOID3「メグッポイド」の発売告知と、ゆうきまさみ先生が描く新作GUMIイラストが発表される。

2011年10月21日
VOCALOID3「メグッポイド」のライブラリが4種類＋「complete」の5製品と、それぞれにVOCALOID3を同梱したStarter Packを発売。

スゴイこと 01 かわいいキャラ

全部見せます｜「V2」&「V3」の衣装を総チェック!!

GUMIイラスト設定画!!

緑の髪の毛にオレンジの洋服、そして笑顔眩しい元気っ子。GUMIのイメージは2次創作しやすいように作られただけあって、イラストを描く絵師たちからは自由度の高いキャラとして人気だ。ここではゆうき先生が描いたキャラクター設定画の一覧を紹介します。

GUMI© ゆうきまさみ

VOCALOID2

「V2」のGUMIは幼さ残る愛くるしい笑顔が特徴的。ゆうき先生のイラストは2次創作しやすいものを意識して描かれている。GUMIといえば「オレンジ×グリーン」のイメージはここから定着した。

おへそはチラっと……

実はおへそがちょっぴり見えている。腰回りは薄手の素材で仕上げられおり、左足のみピンクのガーターをはめている。

電子楽器モデルのベルト

ベルトのバックル部分はヤマハより発売されている電子楽器「TENORI-ON」をイメージしたデザイン。

VOCALOID3 Whisper

基本ベースの衣装はAdultと同じ。腰周り緩めのスカートを、上半身からのサスペンダーで吊り、固定している。

…トブーツが見せる…表情

…のGUMIは淡い色…かれており、優しい表…ている。足下はおしと…ョートブーツ。

VOCALOID3 Adult

成長した「V3」のGUMIは顔立ちがぐっと大人びた。ライブラリに合わせて少しずつ衣装が違っているが、オレンジのジャケットとインナー、ゴーグルとヘッドセットは統一されている。

ロングブーツの絶対領域

膝より上の位置まであるオレンジのニーハイブーツを着用。スカートからのぞく絶対領域が、大人の雰囲気を醸し出している。

VOCALOID3 Sweet

Powerと同じ衣装ながらも表情はお嬢様風と180度真逆。かぼちゃパンツのポケットにはジャケットと同じ金色の飾りリングが備え付けられている。

カラフルなネイルに注目!!

5本の爪すべてが見えているのはSweetだけ。ネイルは親指・人差し指・薬指がオレンジ、中指と小指がグリーンになっている。

VOCALOID3 Power

笑顔が眩しいPowerだが、実はSweetと同じパンツルックの衣装。はだけた肩から覗くサスペンダーから、金具に「GM」の文字が確認でき、ベルトは肩部分が1本、中間部分から2本に別れるタイプ。

ゆるダボがぼちゃパンツ

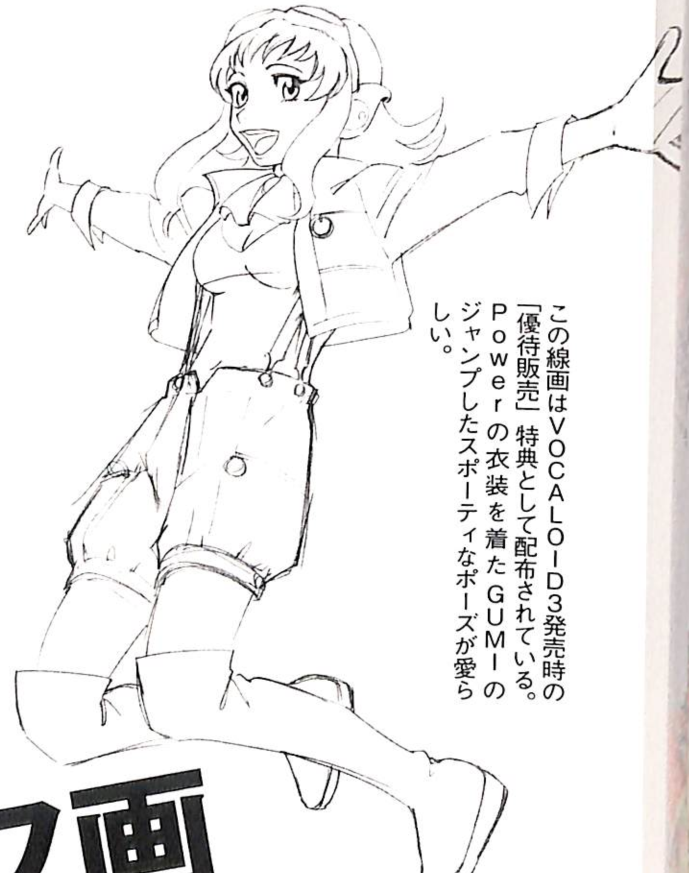
笑顔眩しいPowerはアクティブなかぼちゃパンツ。ブーツはAdultと同じ膝上のニーハイとなっている。

ゆうきまさみ先生からのメッセージ

VOCALOID3 メグッポイド発売おめでとうございます。GUMIのキャラクターデザインをさせていただきましたゆうきまさみです。コスチュームデザイン、特に若い子の着るものを考えるのは大変なのですが、今回は前のアイドルっぽい衣装から、すこし成長したGUMIということで大人っぽいジャケットを着せてみました。

ゴーグルがひとつの特徴付けになっているので、それに合わせて心持ちフライトジャケット風味にまとめてみましたが、いかがでしょうか。最初に描いたのがPowerのイメージで、アクティブな印象のバルーンパンツをはかせていたのを、村上社長から「もっと可愛らしくしてほしい」という注文があり、短めのかぼちゃパンツにしました。後から、SweetとWhisperは女の子っぽいイメージがほしいということで、ミニスカートのデザインも追加して、最終的に衣装は2種類になっています。自分としては前のGUMIの絵でも大きめのつもりでいたのですが、今回最初の打ち合わせで「もっと胸を大きくしてほしいという意見がある」と強調されたものですから、あれでも足りなかったかと反省し、これならどうだ！　という気持ちで筆を滑らせてしまいました。後悔はしてません。それから、村上社長はあまり大変なデザインを発注しないでください！　もっと若い絵描きさんがいっぱいるので、ムチャ振りはそちらにしてもらえると、僕が助かります。でもちょっとだけ仕事ください。最後に、いつもGUMIで曲をつくったり、イラストを描いてくれているみなさん、ありがとうございます。

これからもGUMIでいろいろ楽しく遊んでください。ついでに小学館ビッグコミックスピリッツで連載中の『鉄腕バーディー EVOLUTION』も応援よろしくお願いします！　（ゆうきまさみ）



この線画はVOCALOID3発売時の「優待販売」特典として配布されている。Powerの衣装を着たGUMIのジャンプしたスポーティなポーズが愛らしい。

大胆セクシー × 元気っ子

インナー部分の構図案としてジャケットを脱いで少し大胆に見せてくれた。さすがのGUMIも頬を染めて少し恥ずかしそう？

GUMIラフ画 先生の下絵案

スゴイこと 04
各地でGUMIイベント

日本中で活躍中！　沢山イベントが開催されてました！

GUMIがいっぱい イベントレポート

様々な技術を使ってVOCALOID3のメグッポイドが日本中で活躍。明るい笑顔と一緒に、ファンの前に姿をみせるGUMIの姿をレポートします！

Dance Project vol.2「VOCALOID3 × LiveAR」

10月21日（金）in日本科学未来館イノベーションホール

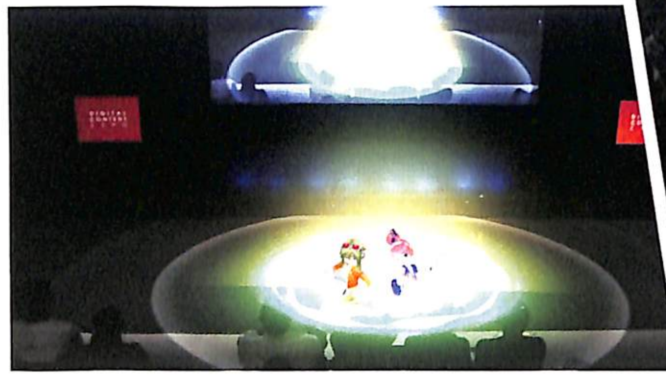
デジタルコンテンツ産業の将来像を描くイベント「DIGITAL CONTENT EXPO 2011」が10月21日に日本科学未来館で開催され、ステージパフォーマンスとして「VOCALOID3 × LiveAR」が行われた。

ヒューマノイドロボットHRP-4C "未夢" と共に、VOCALOID3バージョンのメグッポイドがAR技術を使いステージ上で華麗な歌とダンスを披露。AR技術とは、拡張現実とも呼ばれ、カメラが読み込んだマーカーに合成したい3Dを加えることで、瞬時に合成し立体映像の映し出しを可能にした仕組みのこと。

今回のステージでは、舞台の前の観客が見ているのは、巨大スクリーンのみであり、レポート写真のような立体映像は見ることができない。しかし、現地ではなくカメラを通し録画されたライブ画像を見ている視聴者は、AR技術を使い瞬時に合成された3D画像を楽しむ事ができるので、まるで目の前で炎が飛び出たり、GUMIがリアルに踊っている姿を味わうことが出来る。

また、当日は「VOCALOID3 × LiveAR」の制作者たちが登場し、制作秘話や技術開発についてのトークショーも行われ、VOCALOID3の魅力やAR技術の将来的な可能生などが語られた。

GUMIが舞台上で立体映像として登場。前方には炎が飛び出る演出がなされた。



© DWANGO Co., Ltd.

未夢と共にステージを繰り広げるGUMI。モーションキャプチャーを使った新たなダンスパフォーマンスが披露された。

VOCALOID3　日本ジャック計画

10月21日（金）～11月27日（日）inビッグエコー

10月21日～11月27日までVOCALOID関連商品やサービスを取り扱う参加店舗にて特製クリアファイルや豪華景品が当たる応募券がもらえる「VOCALOID3日本ジャック計画」が開催された。

ビッグエコーでは23店舗がスタンプラリーに参加し、うち7店舗では「INFOSOUNDイラストダウンロードサービス」が実施され、店舗に設置されているキャラクター看板（サウンドサイネージ）にスマートフォンをかざすとキャラクター画像が受け取れる（事前にINFOSOUNDブラウザをインストールしていることが前提）など、ファンにとっては嬉しいサービスが盛りだくさんだった。なお、キャラクター看板（サウンドサイネージ）にはTLFスピーカーが搭載されており、ポスターから音楽が流れる仕組みになっていた。

さらに、ビッグエコー25池袋西口店と、ビッグエコー25名古屋錦通り店ではLIVE DAM × VOCALOIDコンセプトモデルが展示された。LIVE DAM機はVOCALOID自身のハードウェアが搭載されており、リアルタイムで合成しながら歌う様が楽しめた。（※イベントおよびキャンペーンは現在終了。）

ビッグエコー25池袋西口店にて展示公開されていたLIVE DAM GUMI機とキャラクター看板（サウンドサイネージ）。

愛くるしいGUMIの声。中の人にズームイン！

スゴイこと 02
GUMIの声

中島愛さん インタビュー

VOCALOID2、3とメグッポイドの声を担当している中島愛さんに収録中の思い出やVOCALOIDそしてGUMIの魅力をお伺いしました。

——[illegible]VOCALOIDの[illegible]でしょうか

[illegible]は「ひとりひとりが育て[illegible]プロデューサーになってくれる」[illegible]やはり一番の魅力だと思いま[illegible]GUMIの世界観が拡がっ[illegible]は皆さんのパワーのおかげで[illegible]

——[illegible]曲は聴かれますか？

曲はもちろん、絵やアニメーションな[illegible]様々なクリエイターさんがすてきな作品を生み出されているので、いつも聴かせていただいています！

——[illegible]思い出をお願いします

VOCALOID2ではナチュラルさを意識[illegible]VOCALOID3ではそれぞれのテーマに沿った声で、ということが挑戦でもありワクワクしました。「VOCALOID3」は4つすべて録ったのでボリューム満点で、特に思い出に残っています。トータルで約12時間かかりました。

——最後にメッセージをお願いします。

いつもGUMIの応援ありがとうございます！　皆さんのチカラでGUMIは前進していきますので、これからもたくさん愛してください！　よろしくお願いします。

Profile
中島愛（なかじまめぐみ）
「マクロスF」でデビュー。歌手・声優として活躍。主な出演作に「マクロスF（フロンティア）」ランカ・リー役、「セイクリッドセブン」藍羽ルリ役など。2012年2月6日には6thシングル「TRY UNITE！／Hello！」がリリースされる。

「GUMI」コンピレーションアルバム第3弾!!

[illegible]ッポイドだらけの[illegible]UMIコンピ」

スゴイこと 03
CDアルバム

[illegible]を堪能したいなら、コンピレーションア[illegible]いてみよう。エグジットチューンズより発[illegible]る「GUMI」だけのアルバムに大注目！[illegible]も間近なので予約必至！

[illegible]の楽曲のみを収録し[illegible]ョンアルバムがエグ[illegible]ズより登場。第1弾[illegible]第2弾「GUMItive」[illegible]2月21日に第3弾[illegible]が発売される。

[illegible]新のGUMI楽曲をもちろん、CDのた[illegible]た楽曲も含まれて[illegible]イドのファンなら手[illegible]バムになっている。[illegible]ストは大人気絵師な[illegible]下ろし！／エグジッ[illegible]（http://9819.jp/

▲「EXIT TUNES PRESENTS GUMism from Megpoid (Vocaloid)」価格：¥2,000（税込）　発売中　ジャケットイラスト：左　特設サイト：http://gumism.com/

▲「EXIT TUNES [illegible] from Megpoid [illegible] 価格 [illegible]

「EXIT TUNES PRESENTS GUMish from Megpoid (Vocaloid)」価格：¥2,000（税込）　発売日：2011年12月21日　ジャケットイラスト：なぎみそ　特設サイト：http://gumish.com/

6大特典として、数量限定の全4種類オリジナルマウスパッド、携帯ストラップが同封。そのほかにも、クレジットカード型フェイクカード（クレジットカードではございません）、クリアファイル、ポスターなどが付いてくる。※特典は数に限りがありますので詳細は購入店舗に問い合わせください。

[収録予定タイトル]
●シリョクケンサ／40mP feat.GUMI ●ディーゼルの咆哮／buzzG feat.GUMI ●たってだってだって／タカノン feat.GUMI ●格子の心臓／TOKOTOKO（西沢さんP）feat.GUMI ●キッチンでカッパがタニシ茹でてる／家の裏でマンボウが死んでるP feat.GUMI ●あいからかいあ／MARUDARUMA feat.GUMI ●ドリーマイーター／yukkedoluce feat.GUMI ●I／フェイP feat.GUMI ●GIFT／花束P feat.GUMI ●ノーナイテンバ／YM feat.GUMI ●嘘とダイヤモンド／ゆちゃP feat.GUMI ●ハレハレバイバイ。／otetsu feat.GUMI ●赤ずきん／kyoki feat.[illegible] vataco（パタパンP）feat.GUMI ●ゆるゆらり。／cosMo@[illegible]トダウン／Dios／シグナルP feat.GUMI ●レクイエ[illegible]P）feat.GUMI ●ヤクシクの種／40mP feat.GUMI

[illegible]LL RIGHTS RESERVED

ゴイこと 05

名曲が豊富!!

これだけは押さえないと損するかも!

楽曲セレクション!!

2010年に突入するとGUMIの魅力にどっぷりハマった作曲者が続出!!
アップロード曲は、前年度から飛躍的に増大した。GUMIを語る上では外せない名曲を一挙大公開！

※「ニコニコID」とは「ニコニコ動画」にアップロードされた投稿IDをあらわしています。ニコニコ動画（http://www.nicovideo.jp/）

VOCALOID2 有名楽曲 —これを聴かなきゃ始まらない—

TITLE ▶▶ 『弱虫モンブラン』

投稿者 DECO*27
ニコニコID sm10393864

…から32時間40分という…的なスピードで殿堂入りを…し、VOCALOIDのランキ…「ぼからん＃145」にて…MIオリジナル楽曲として…て1位の座に君臨。

TITLE ▶▶ 『十面相』

投稿者 YM
ニコニコID sm13304052

…だいに加速していく曲構成が…的な楽曲。現在は、より表…力が高まったVOCALOID3…調教されたバージョンもアッ…されている（ニコニコID：…15944604）

TITLE ▶▶ 『ポーカーフェイス』

投稿者 ゆちゃP
ニコニコID sm12894209

…作「Blackjack」に引き続き、…ランプをテーマにして作られ…る。投稿者いわく曲調は「あ…ぽよ」。疾走感と爽快感が混…ったロック調のサウンドが特…

TITLE ▶▶ 『キリトリセン』

投稿者 40㍍P
ニコニコID sm13715524

…は「捨てるのが下手くそな…歌」とのこと。金管系の楽…多用したオーケストレーシ…が印象的。楽曲だけでなく…ストも自ら手がけている。

TITLE ▶▶ 『パンダヒーロー』

投稿者 ハチ
ニコニコID sm13386216

2ndアルバム「OFFICIAL ORANGE」のファーストトラックをロックにアレンジしてリリースした。わずか30時間16秒で再生数が10万回を記録している。

TITLE ▶▶ 『ぼくらの16bit戦争』

投稿者 ささくれP
ニコニコID sm7610111

「終末」シリーズの2作品目として発表されている。「本日より16bitを所持している者並びに其れを指示する者は、厳正に処分する」というメッセージが印象的な曲。

TITLE ▶▶ 『天ノ弱』

投稿者 164
ニコニコID sm14583646

ハードコアが好きという投稿者らしくロック調のGUMIが人気。「天ノ弱」は「天邪鬼」であり「天性の弱虫」ということ、と説明されている。同氏の24作品目。

TITLE ▶▶ 『会いたい』

投稿者 Dios/シグナルP
ニコニコID sm11713594

VOCALOIDの楽曲を多く手がける投稿者による初のGUMIオリジナル曲。まるで本人が歌っていると間違えてしまいそうな調教が聴き所となっている。

イラスト もうり

VOCALOID3の曲も続々登場

—幅広い声の表現力に注目—

TITLE ▶▶ 『アイセンサー』

投稿者 buzzG
ニコニコID sm15785925

インターネット社のデモ曲としても採用された楽曲のひとつ。Powerを使用している。

TITLE ▶▶ 『スイートフローアパート』

投稿者 家の裏でマンボウが死んでるP
ニコニコID sm15977003

幸せは、絡まる。アパートをメインに奇想天外なストーリーが描かれている。

TITLE ▶▶ 『Sweet Shackles』

投稿者 maya
ニコニコID sm157944368

VOCALOID3 Sweetにあえてハードロック調で狂気的な歌詞を合わせている。

TITLE ▶▶ 『狂躁ヒュプノシス』

投稿者 れるりりP
ニコニコID sm15699585

元は投稿者が作成した巡音ルカのオリジナル楽曲。ファンクな楽曲が特徴的。

TITLE ▶▶ 『メガネの向こうの世界』

投稿者 キャプテンミライ
ニコニコID sm15882016

VOCALOID3公式デモソングのひとつ。Whisperを使ったアップテンポの曲。

TITLE ▶▶ 『A Little Ogre』

投稿者 あ・め・だ・ま
ニコニコID sm15955790

「激しいギターサウンドの中に優しい声がよく溶け込んだ」と投稿者の言葉にある。

知ってるかな？

—意外と知らない？それとも常識？—

▶最初にアップロードされた曲（※デモ版を除く）

『ハロー! ハロー!』

投稿者 かたほとりP
ニコニコID sm7443613

2009年6月25日にアップロードされたGUMI最古のオリジナル楽曲。

▶再生数ミリオン1号目の曲

『モザイクロール』

投稿者 DECO*27
ニコニコID sm11398357

GUMI殿堂入り1号。時間は投稿からわずか32時間40分という伝説を持っている。

▶もっとも「踊ってみた」が多い曲

『ハッピーシンセサイザ』

投稿者 EasyPop
ニコニコID sm12825985

めろちん氏による振り付けアップ後(sm12926280)、伝説の振り付けに認定された。

▶もっとも「歌ってみた」再生回数が多い曲

『マトリョシカ』

投稿者 ハチ
ニコニコID sm11809611

Vip店長による「歌ってみた」(sm11857330)の再生数が300万回を突破。伸びやかな高音の歌声に注目。

デュエットソング —違った魅力に出会えるはず! —

×初音ミク

TITLE ▶▶ 『マトリョシカ』

投稿者 ハチ
ニコニコID sm11809611

投稿者初のGUMI使用曲。2011年7月1日に再生400万回を突破。

×鏡音リン

TITLE ▶▶ 『Always and Forever』

投稿者 べべろんP
ニコニコID sm7755997

落ち着いたGUMIとパワフルなリンの歌詞と調教の違いに注目。

イラスト／もうり

×鏡音レン

TITLE ▶▶ 『嗚呼、素晴らしきニャン生』

投稿者 Nem
ニコニコID sm14990051

野良猫レンと飼い猫GUMIが贈るほのかなラブストーリー。

×巡音ルカ

TITLE ▶▶ 『ハートフルシーケンス』

投稿者 EasyPop
ニコニコID sm14406520

明るくポップな曲になったと思っています。（投稿者コメント）

×がくっぽいど

TITLE ▶▶ 『テレパシー』

投稿者 M@SATOSHI
ニコニコID sm12856598

メインのメロディはメグッポイド。がくっぽいどはコーラスとして参加。爽やかな曲が印象的。

デュエット曲が多いのは ×初音ミク

『フタリボシ』 ニコニコID: sm11302054

『離逃げ』 ニコニコID: sm9901754

『ユメネコ』 ニコニコID: sm13807329

『WINE BERRY』 ニコニコID: sm13673832

『全力失踪。』 ニコニコID: sm10882570

違うからイイッ!! 4種類の声 ―特徴を把握して、制作しよう―

耳元で感じる「吐息とささやき」

『Whisper』

推奨ジャンルはバラードだが、調教しだいではポップな楽曲にもピッタリはまる。マイクに近づき、優しい声で収録されたため、吐息の成分が多い。耳元で囁かれているような感覚を味わうことができる。

「無表情な声」で収録

『Adult』

推奨ジャンルはジャズなどの落ち着いた曲調。収録は「無表情で、上から目線で物を言う」声として行われた。感情を抑えているため、太く大人っぽい仕上がりになっている。

可愛く元気なキュートボイス

『Sweet』

推奨ジャンルはアニメ調のリズミカルな曲調。「かわいらしい」「子供っぽく甘い声」を意識して収録しているため、ハツラツとしたキュートな女の子の歌声に仕上がっている。

「アタック」が効いた迫力

『Power』

推奨ジャンルはアタックが強めの楽曲。「明るさと迫力」をイメージして収録されているのでハードな曲調で魅力を発揮する。より本格的なロック調の曲にも対応できるパワフルボイス。

VOCALOID3 あれこれQ&A ―今さら聞けない？ でも、分からない!!―

Q 「メグッポイド」はもちろんVOCALOIDのソフト自体初めて触るのですが……。まず購入するなら「V2」それとも「V3」？

A これから VOCALOID を始めるなら「V3」を購入しよう。「V2」に比べてエンジンとデータベースがバージョンアップしているため、細かい作業の負担が以前より軽減されている。よくある質問だが「V2」を持っていなくても「V3」は起動できる。

Q 4種類の声を揃えたらどんな事ができるの？

A 1曲のなかで GUMI による4つの声を使用するコーラスが可能に！ もちろん、ひとつのライブラリでも調教しだいで声色にかなりの変化を付けられるので、コーラス人数も無限大。また、フレーズによってライブラリを変えることも可能。（投稿者 YM さんによる「十面相 colorful」を聴いて見よう。http://www.nicovideo.jp/watch/sm15944604）

Q VOCALID2「メグッポイド」を持ってるんだけど……「V3」を買ったらどーなるの？

A 今まで VOCALOID2 で作った歌声を VOCALOID3 の Editor に読み込ませることが可能になっている。以前に作った曲をいろんなライブラリを使い調教しなおしてみよう。曲の印象がぐっと魅力的になること間違い無し！

Q VOCALOID3の「Editor」と「ライブラリ」って何が違うの？

A Editor は VOCALOID3 の音楽を作るための本体。ライブラリは声のこと。どちらかひとつのみでは本格的な音楽を作ることはできない。（家庭用ゲーム機で遊ぶ時に、本体とソフトが必要なのと同じ感覚）購入を検討している場合は、P48 のチェックを行ってみよう。

スゴイこと 06 「V3」の声!!

進化したVOCALOID3

「メグッポイド」の魅力

10月21日に発売されたばかりの「VOCALOID3」メグッポイド。4種類のライブラリ（声）が同時発売されたとあって、作曲をするファンたちの好奇心を刺激。新曲が続々アップロードされている。ここでは、「V3」についてズームイン！

ココが凄い!

☆子音がハッキリ!!☆

エンジンの改良により「子音」をハッキリさせることが可能に！ VOCALOID2 は「母音→子音」もしくは「子音→母音」の音素を連動させるデータのみであったが、VOCALOID3 では「母音→子音→母音」が扱えるようになり、発音が滑らかになっている。

ココが凄い!

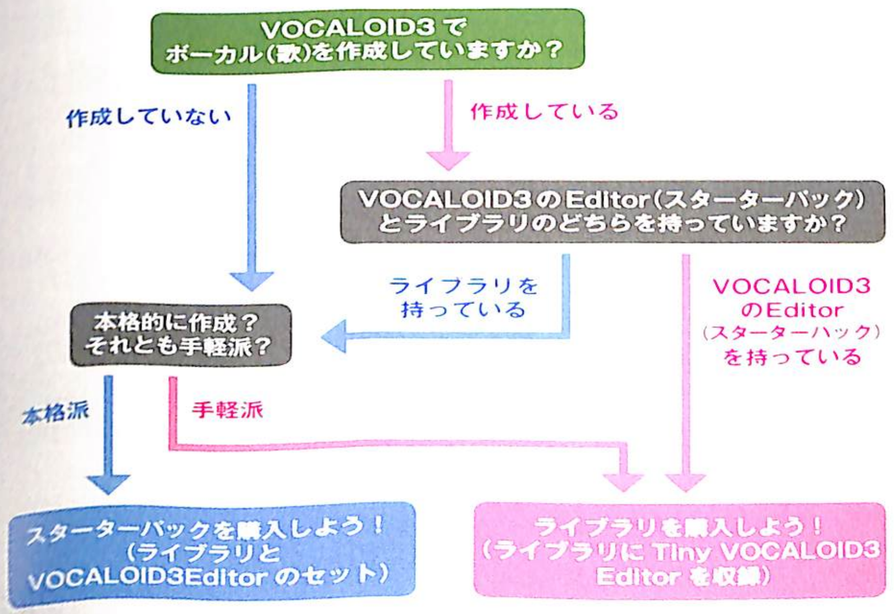
☆ダイナミクスの調教が楽☆

合成音の波形を比較してみると一目瞭然だが、音量のバラつきが改善され、平均的な音量で歌わせることができるようになった。ダイナミクスのコントロールも以前に比べて少ない作業量で、音と音の繋がりを自然に聞かせることが可能になっている。

少し触れるともう、虜になっちゃう！

収録言語　日本語
推奨音域　F2 ～ A4
推奨テンポ　60 ～ 175BPM
歌手・声優「中島愛」の歌声をベースに作成された VOCALOID3 専用のライブラリ（声）。「Adult」「Power」「Sweet」「Whisper」の4種類と全ライブラリを収録した「complete」版を発売。「VOCALOID3 Editor」をセットにした Starter Pack も発売されている。

VOCALOID3 購入前チェック!! ―より楽しんで制作するために―



VOCALOID3 を起動させるには、「ライブラリ（声）」と「楽曲制作ソフトウェア」が必要となっている。VOCALOID3 の GUMI にはライブラリと同梱で、本格的な楽曲制作ができる VOCALOID3 Editor セットの「スターターパック」と、簡単な曲の制作が可能な Tiny VOCALOID3 Editor を収録した「ライブラリ」の2種類が発売されている。

<スターターパックを買う人>
- ○これから本格的に VOCALOID3 で音楽を作ってみたい
- ○ライブラリ（声）を既に持っているが、本格的なボーカルを作成できる VOCALOID Editor はまだ持っていない！

<ライブラリを買う人>
- ○気軽に VOCALOID3 を扱ってみたい
- ○ライブラリ（声）のみ増やしたい
- ○以前にスターターパックを購入したので VOCALOID3 Editor を持っている

※気軽な音楽制作ソフト Tiny VOCALOID3 Editor には機能制限があるので注意してください。

ゴイこと
ロ7
開発者魂

インターネット代表取締役社長

村上昇氏が語る「メグッポイド」の魅力

メグッポイドの魅力を語る上で欠かせないのは、もちろん生みの親でもある開発者。社長みずからデータベースの開発にあたるなど徹底したこだわりが「GUMIブーム」を牽引している。VOCALOID3の発売を終えた今だから振り返る思い出や、これからの展望を聞いてみた。

© INTERNET Co.,Ltd. All Rights Reserved.

GUMI© ゆうきまさみ

Profile
作曲・音楽制作を楽しめるPCソフトウエアの「Singer Song Writer」シリーズなど、音楽や動画を編集するソフトウエアの開発および販売を行っている。VOCALOIDのデータベースは自身で作成している。

人間の声に近いVOCALOID2の第2弾として「メグッポイド」の開発が始まったのは2008年12月のことだった。

VOCALOID2「メグッポイド」が誕生したきっかけは、第1弾としてリリースした「がくっぽいど」の声をGACKTさんが担当されたので、次は女性のボーカルが欲しいなと思ったからです。そこで、歌手として活躍されている方々の声を聴き始めました」

ボーカルが決定した2008年当時はテレビアニメ『マクロスFRONTIER』のブームが到来していたころと重なっている。

「当初は歌手として活動されている方を探していたのですが、声優として楽曲をリリースされている方に幅を広げたところ、中島愛さんの声に出会いましたね。『マクロスFRONTIER』で担当していたキャラクターのランカ・リーが歌う「星間飛行」が強く印象に残ったのを覚えています。そこからじっくりと聴かせて頂き、声のバリエーションが多い方だなと感じたので第2弾として発売するVOCALOIDの声をお願いすることになりました。収録現場では、慣れない言葉を言い続けるため、アニメの収録と違い大変だったと思いますが、収録自体はスムーズに行われました」

「メグッポイド」の開発で意識したのは〝元の人の声を再現する〟という点

「弊社のVOCALOIDコンセプトは〝人間に近い声〟ですから、声の再現に重きを置いています。それまでのVOCALOIDといえば収録した声にあえて加工をするというタイプが主流でしたので、人の声質を再現するVOCALOIDとしては「がくっぽいど」「メグッポイド」が初だったと思います」

2009年6月に発売を迎えた「メグッポイド」のブームが到来したのは2010年の夏。急速にアップロード数が増えていった。

「DECO＊27さんがモザイクロール（http://www.nicovideo.jp/watch/sm11398357）を投稿されたあたりからでした。そこから、結構イイよ、使いやすいよという感じで広まっていきましたね。調教をする立場からすれば、音の分解を工夫することで、可愛くや強く歌わせることが出来るからではないでしょうか？

また、buzzGさん（http://www.nicovideo.jp/mylist/13954828）はブレス成分を少し多く取り入れられて声を作りあげるため、デフォルトとは違ったハスキー声が聞けたりします。このように調教しだいで、変化に富んだ声を出せるところがメグッポイドの魅力のひとつですね」

人気が絶頂となった2011年にVOCALOID3が発売となり、「メグッポイド」も4種類の声をリリースすることになった。その制作過程にまつわる話を……。

「実は、VOCALOID2を発売した頃から既に、違うパターンの声は収録したいなと思っていたんです。今回発売となったVOCALOID3の声を収録したのは2011年1月でしたね。収録自体は「V3」用に録音していたのですが、なにぶんVOCALOID3の起動ソフトである「Editor」の発売が、いつになるか分からなかったんです。そのために、開発はVOCALOID2で行っていました。生放送などでお聴かせしていたものは「V2」で調教を加えた曲でした。そんな開発中に「V3」のソフト発売日が秋と分かったんですよ。ですから、開発も「V3」に合わせて最初から作り直し。「V2」のツールでは上手く発音が出来ていた音も「V3」では微妙だったりすることが多く、本当に「やり直し」といった感じでしたね」

メグッポイドを使用した曲の投稿が増えるにしたがい、2010年から2011年はGUMIのイラストも格段に増え、キャラクターの魅力も急上昇となっていった。

「キャラクターの魅力といわれると、すこし困ってしまうかもしれません。VOCALOID2のGUMIのイラストが発表された時は、もう……。VOCALOID2の時は、中島さんの声とコンセプトをお伝えしただけで、色の指定などはしてません。

まぁ、VOCALOID3の時は少し意見を出しましたけど……。「V2」に比べてGUMIも成長させたかったので少し「V3」の表情は大人っぽくとオーダーしました。なんといっても〝Adult〟というライブラリもありますから。また〝Whisper〟に関しては囁きがコンセプトなので耳に近づいているイメージから、横顔が希望ですとお伝えしました。

様々な開発を経てVOCALOID3が発売されて2ヶ月あまり、制作者、聴き手、絵師、コスプレイヤーなどそれぞれのファンへのメッセージを頂いた。

「VOCALOID3で楽曲を制作される方は4つのライブラリが発売されたので、曲のイメージに合う声を選んでいただけるようになったと思います。メインボーカルとコーラスのライブラリを分けることも出来ますし、フレーズや構成によって声質を変えることも可能になっていますから、楽曲のボーカル表現力は飛躍的にアップしたと思います。いろいろなメグッポイドを使って下さい。

メグッポイドの曲をいつも聴いて下さっている方々には、ぜひ4つのライブラリによる表現の違いに注目をして頂きたいですね。この声はどれだろう？と考えながら聴いたりするのは新鮮だと思います。楽曲の制作者さんたちも、同じ曲をライブラリのみ変えて投稿する……。なんてことも出てくると思います。そうなると声の違いをより一層楽しんで頂けると思います。

イラストを描いて下さっている絵師の方々にとって、GUMIはいい意味で〝いじるポイント〟が満載なのではないでしょうか？描いて頂ける絵師の方々にそれぞれGUMIに対するイメージがあり、毎回可愛い絵を楽しませて頂いております。……過激すぎない程度によろしくお願いします。GUMIのMMDなどももっと増えて欲しいなぁ〜という思いでいっぱいです。

また、いつもGUMIのコスプレをしてくださるコスプレイヤーのみなさま。VOCALOID3の衣装はちょっぴり過激に仕上がっております。もしかしたら会場によっては規定でNGが出てしまうかもしれません……。気をつけてコスプレを楽しんでください」

今後VOCALOIDでチャレンジしてみたいことは？

「今後のメグッポイドを含むVOCALOIDの展開は未定ですが、やはり現在は不可能とされている「シャウト」機能にチャレンジしてみたいですね。VOCALOIDは、まだまだ機械的な部分が多いので、一定箇所だけ声色を変えるということが出来ないんです。合成音が一緒のために、同じ音程の発音は声が全て同一になってしまうんです。つまり、歌い方によって音質を変えることが出来ない。だからライブラリを出していくという手法になってしまいます。将来的には、合成音を進化させて「シャウト」機能のようなものが再現出来るようにしていきたいです」

GUMI© ゆうきまさみ

VOCALOID3のメグッポイドは、より人間らしい歌声をお届けしています。4種類のライブラリの使い分けがポイントですね。

スゴイこと 08
楽曲制作者たち

メグッポイドの楽曲を手がける、制作者たちの生の声！

Dios/シグナルP × 家の裏でマンボウが死んでるP

メグッポイド楽曲制作の魅力

人間らしい歌声、表情を表現できるということで、メグッポイドは楽曲制作者の間でも話題のソフトとなっている。Dios/シグナルPと家の裏でマンボウが死んでるPにメグッポイドの魅力やVOCALOIDの楽曲制作について伺った。

Dios/シグナルP
2008年よりニコニコ動画で投稿を開始し、数多くの楽曲を制作している。VOCALOIDの歌声に感情を表現させる技術に惚れるファンが多い。／主な楽曲:『リンリンシグナル』『サンドリヨン』『会いたい』など

家の裏でマンボウが死んでるP
2009年よりニコニコ動画にて投稿を開始。独特的で奇想天外なストーリー内容が人気。／主な楽曲：『家の裏でマンボウが死んでる』『クワガタにチョップしたらタイムスリップした』『スイートフロートアパート』など

――メグッポイドを楽曲に使用したきっかけをお願いします。

Dios/シグナルP（以下シグナルP） メグッポイドを使い始めたのは「VOCALOID2」版の発売から半年ぐらい経った2010年の始めでした。VOCALOIDを増やしたいなと思った時に、使いやすそうだったんです。最初の頃は、新曲をGUMIに歌わせるというよりは、既存曲を歌わせて同人アルバムに収録する程度でした。ニコニコ動画にGUMIとして初めて『会いたい』をアップしたのは2010年の夏でしたから、ソフトを買ってから半年ほど経っていました。自分の納得できるレベルで歌わせられるようになったのがその時期になります。

家の裏でマンボウが死んでるP（以下マンボウP） 僕が購入したのは2010年の夏の終わりでしたね。ちょうど、シグナルPさんが「会いたい」をアップしてからひと月後ぐらいだったと思います。最初聞いた時に、あまりにも凄くてヒックリしたというか、ビビったと言いますか……。GUMIを初めて真剣に聴きました。僕としては、自分の所属してたバンドの曲をVOCALOIDに歌わせていたので、パワーのある歌声が欲しかったんです。今まで使っていたミクはどちらかというと可愛い声だったので……何かないかなぁ～と探していた時に目に止まったのがメグッポイドだったんです。実際に使ってみたら僕の楽曲とメグッポイドは相性が良かったので、すぐにハマりました。

――実際にメグッポイドを使ってみた感想はいかがでしたか？

シグナルP 声が既存のVOCALOIDと被っていなかったですし、全体的に扱いやすかったですね。

マンボウP 滑舌が比較的良いのも魅力的でした。

シグナルP 僕はそれまでリンレンを使うことが多かったのですが、その時は子音の発音記号を前の言葉の最後につけ、さらに波形を書き出して子音部分を少し突き上げたりという作業をしていました。

マンボウP こっ、細かいですね……。

シグナルP そういう作業が好きだったんですよ（笑）。とはいえ。メグッポイドはそういった作業の手間があまりかからない。逆に、少しリズムがもったりしてしまう時はありますけど……。

マンボウP たしかに、もたつく時がありますね。まぁ、リズム面に関しては波形を動かすだけですから気楽な部分があります

シグナルP そうなんです。だからGUMIには歌声の表情をつけようと思いました。ミクやリンレンはバーチャルアイドル的なイメージが強いんです。だから、機械っぽさをあえて強調させた曲を作っていました。逆に、メグッポイドはバーチャルというよりは、リアルに近い曲が似合うVOCALOIDではないでしょうか。

マンボウP 僕の場合は、毎回GUMIを酷い目に合わせてしまう曲を作っているので、一見すると「リアリティ」とはかけ離れていますが、GUMIは何をやらせても悲愴的にならず、明るくしてくれるんです。

シグナルP さすが、ドSですね（笑）。

マンボウP （笑）。同じこと別のVOCALOIDにやらせてもリアリティーが生まれないのに、メグッポイドを使ってGUMIにやらせると、急に人間味がでてくるんですよ。そういう意味では、やはりリアリティーのあるVOCALOIDなんだと思います。

シグナルP 確かに人間味やリアリティーを出せるのはメグッポイドの魅力ですよね。GUMIは等身大の女子高生や女子大生を演じさせると似合いますし。そのため、僕は現実味のある設定の曲にすることが多いですね。「会いたい」は女子大生という設定ですし、「トロピカル・サマー」は女子高生という設定があったりします。

――VOCALOID2と3を使って感じた違いなどはありますか。

マンボウP VOCALOID3になってから「アンドゥー」が無制限になった事が嬉しかったです。

シグナルP 大きなポイントですよね。

マンボウP VOCALOID2の頃は「control z（戻る）」が一度だけだったので困っていました。

シグナルP あまり大胆なエディットをする気にならなかったですよね。試そうと思っても戻れない……。

マンボウP 1回ですからね。

シグナルP ええ、冒険出来ませんでしたね。

マンボウP 今は無制限になったので、いろんなことにチャレンジしやすくなりました。

シグナルP 逆に、VOCALOID3が発売されて、みんなが一番困ったのは、DAWと音楽を同期させて同時に編集できるリワイヤー機能がなくなったことですね。その変わりにオーディオトラックがついているので、オケをボカロエディターに取り込んで流せば編集は出来ますけれど……。

マンボウP らしいですね。僕はMacをつかっているので、その辺りはへぇ～そうなんだ、と思って眺めていました。現時点ではSweetとPowerを使いましたが、個性もありつつ、滑舌もしっかりしているので調教が楽になっています。まぁ、もともと調教と言われるものは音の強弱を表すベロシティぐらいしか触っていませんでしたが、VOCALOID3はその必要もないくらい上手に歌ってくれるので進化したなぁ～と感じています。

シグナルP それに、VOCALOID2のライブラリをVOCALOID3にインポートした場合もほとんど違和感なく「V2」の時と同じような歌い方をしてくれるんですよね。さらにベロシティの効きがよくなっているから嬉しいです。埋もれがちになってしまう子音を強調できたり、子音の長さが変わる事によってリズム感も調整できます。

マンボウP やっぱり子音を綺麗に聴かせることがVOCALOIDにとっては大切な部分になりますからね。

シグナルP そうなんですよ。VOCALOID単体で聴いていると完璧に聞こえていても、いざオケと合わせると発音が埋もれてしまったりしますから。

マンボウP 周波数がちがったりしていますもんね。

シグナルP その点、オケと一緒に合わせて調整出来るところが良いと思っています。

――これから楽曲制作をスタートする方へひとことお願いします。

シグナルP 今からメグッポイドに挑戦される方にはVOCALOID3をお勧めします。

マンボウP VOCALOID2とは操作が異なる点も多いですからね。今の時点でしたらVOCALOID3の扱いになれたほうが便利です。

シグナルP 僕は、どんなソフトを使って曲を作っているんですかってよく聞かれるんですけど、実はHPで全部公開しているんです。

マンボウP ……いやいや、本格的過ぎてマネできませんよ（笑）。

シグナルP お勧めできるかというと、かなりお値段が張ってしまうので気合い十分の方はどうぞ……ということで（笑）。とはいえ、今はフリーソフトがかなり優秀です。昨日初めて「REAPER」というフリーソフトを使いましたが、僕が使っているソフトと遜色なかったですね。これにプラグインやフリーの音源を集めれば、かなりクオリティーの高いものがつくれると思います。「REAPER」はシェア版も安いのでお勧めできます。

マンボウP 僕はMac派ですね。VOCALOIDを始めるまではDTMに挑戦したことがなかったので、最初は付属している「GarageBand」というソフトを使っていました。直感的に操作出来ますし、ループも多く揃っているので組み合わせるだけで良いオケが作れます。ただ、VOCALOIDはMACに対応していないのでメロディを作り、MIDIを書き出しWindowsに持っていって……という作業は生まれます。今は「Logic Studio」というソフトを使っています。これもアップル社純正のソフトになります。

シグナルP 音楽制作者の人はMac使いが多いですよね。

マンボウP フリー音源があまりないので拡張するのにお金がかかりますけどね（笑）

シグナルP まぁ……そのかわり安定してるじゃないですか（笑）。Twitterで「ソフトがまた落ちたー」というボカロPたちの悲鳴って多いですから。

マンボウP 「落ちたー」の悲劇報告は、けっこう多いですよね。

シグナルP Windowsはソフトやパーツ、フリー音源などの相性で不安定になりやすいんですよ。

マンボウP その点、Macは落ちませんね。……まぁ、VOCALOIDを作る場合は、ひと手間かかりますけれど。

シグナルP WindowsでもMacでも始めようとおもえば、ツールはフリーソフトやDAW付属の物で始められますので是非。

――今後メグッポイドを使って挑戦したいことは何ですか。

マンボウP VOCALOID3全てのライブラリを使ってみたいので、それにあった歌詞はどんなのかな～と考えています。AdultやWhisperを扱ってみたいですね。まだ何も決めていませんが、曲の路線は変わらないので、また酷い目に合っちゃってるかと……。

シグナルP 現在はVOCALOID2と3で合わせて5つのライブラリがあるので、ひとつの楽曲の中で5つを使い分けてみたいですね。そしてライブラリの切り替えが、ばれないように曲の中で表情をつけられたら……と思いますが、なかなか難しいので時間はかかりそうです。

――最後にメグッポイドとGUMIへ一言お願いします。

マンボウP いつも酷いことさせちゃってゴメンね。

シグナルP ……本当に思ってます？

マンボウP いえ、あまり（笑）。一時はハッピーエンドの曲も作ろうと思ったこともあったんですけど……合わなかったんですよ。これからもイジメちゃうけれど頑張ってね。

シグナルP GUMIはやはりリアリティを演じることのできるVOCALOIDだと思うので、これからもいろんな役を演じてくれたら嬉しいです。

『会いたい』
http://www.nicovideo.jp/watch/sm11713594
メグッポイドを使いニコニコ動画にDios/シグナルPが初めてアップロードした楽曲。切ない女の子の気持ちを歌い上げている。

『スイートフロートアパート』
http://www.nicovideo.jp/watch/sm15977003
VOCALOID3を使用しアップロードされた楽曲。天真爛漫なGUMIが、マンションの同居人と巡うストーリーになっている。

厳選イラストコレクション

もちろん絵師たちもGUMIの愛くるしい魅力のトリコ。パッケージ衣装はもちろんオリジナルの衣装を着せる人も多く、GUMIカラーのオレンジとグリーンが定番の様子。今回は絵師として活動している方々のイラストを厳選紹介します。

スゴイこと 09

イラストがいっぱい!!

ILLUSTRATION

▲ 猫谷美甘

COMMENT

2周年おめでとう！なイラストでした。元気いっぱいアイドルー。

ILLUSTRATION

▼ 真田なこ

COMMENT

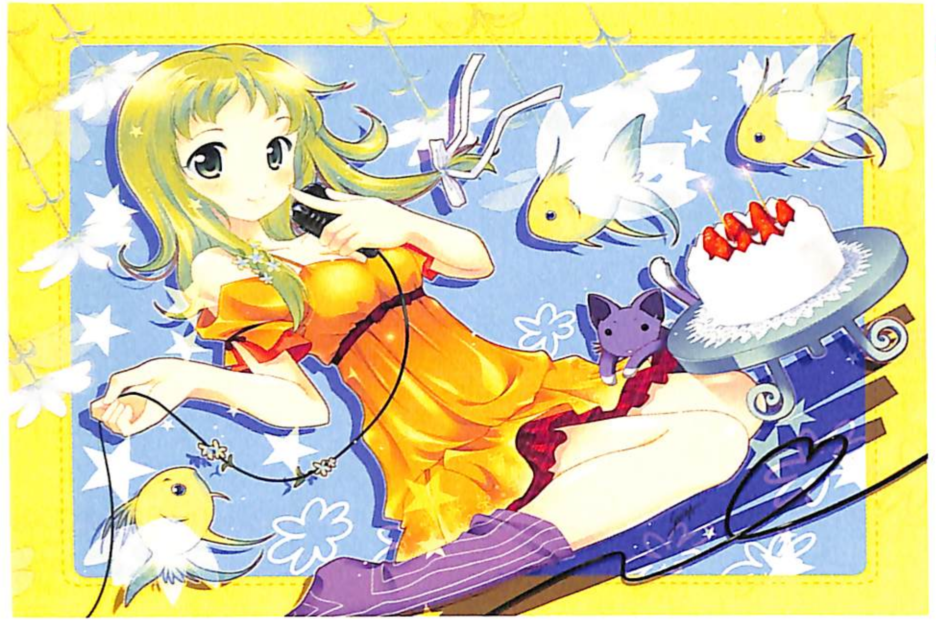
初夏らしいさわやかなGUMIちゃんとリボンを楽しく描きました。色合いもお気に入りの作品です。

ILLUSTRATION

▲ ニコリーナゆち

COMMENT

GUMIちゃん誕生日おめでとうー!! スタイリッシュを目指しました（笑）。ありがとうございました！



ILLUSTRATION

◀ しーな

COMMENT

GUMI誕生2周年に描いたお祝いイラストです。GUMIの可愛らしさや明るさをイメージして描きました

ILLUSTRATION

▲ のほほ

COMMENT

GUMIの持ち味である元気と可愛さに、ちょっと大人な雰囲気を持たせてみました。

ILLUSTRATION

▼ のう

COMMENT

GUMIの優しい歌声に、たくさんの希望を貰いました。イラストで少しでも恩返しできればと思い描きました。

全ては「愛」故に。時間、労力、費用……コスプレの魅力はそんなものでは計れない！

VOCALOID COSPLAYの深層をご覧あれ!!

コスプレって、衣装を用意して写真を撮るだけでしょ？　答えはNO！
そこには、膨大な時間と労力と愛がある。
今回はコスプレコミュニティサイト「Cure」の協力を仰ぎ、
VOCALOIDのコスプレをされている方々に集まって頂いた。
こだわり尽くしたコスプレイヤーたちの思いがここに！

Cosplay Community Site Cure

VOCALOIDのコスプレを中心に活動しているアイダユキコさんに、コスプレの魅力を伺ってみた。

「コスプレの写真って、見ていると“意外と簡単そうだな”って思いませんか？　でも、実際は違うんですよ。ひとつの衣装を撮影するまでに数カ月の準備期間が必要になることもあります。

私は衣装を手作りするタイプなので、VOCALOIDの場合は、曲を聴いたらまずPVと格闘します。平面のイラストを立体にするわけですから。そして、楽曲にあう布の素材を探します。本当に最初から制作しますね。売っていない衣装も多いので、無い物は作る精神です。

時々、自分で作ってるの？　って訊かれますが……。本当に自分で作っていますよ。最初は難しかった洋裁も、何着も作っていると上手くなるんです。小道具も自分で作ったり用意したり……。愛がないとできません」

一番日数がかかったVOCALOIDのコスプレ衣装は？

「pixivに投稿されている、瀬奈さんという方が描かれた「ロミオとシンデレラ」の初音ミク衣装です。コスプレの許可をいただいたのですが、ピンクの布に小さく無数の星模様が……。布を探しても売っていなかったので奮起してひとつひとつ布に星を500個ぐらい貼り付けました。その作業だけで、ひと月以上かかりましたね。Cureに写真をアップしているので見て下さい（笑）」

そこまで愛を投入できるVOCALOIDのコスプレとは？

「無限大なんです。楽曲が増えれば増えるほど世界観が広がるんです。終わりがないといいますか……。いろんなシチュエーションがあるんですよね。だから選びたい放題！」

これから挑戦したい衣装は？

「『Project DIVA』の衣装です。そのために楽曲のクリアを目指しています。コスプレイヤーは、ただ衣装を着ているだけじゃなくて、本当に作品のファンなんですよ。しかも、コアな人が多いです。これからも一緒にVOCALOIDを応援しましょうね！」

パンク
（『初音ミク -Project DIVA-』）
セガより発売しているリズムアクションゲーム『初音ミク -Project DIVA-』。その中に登録されているモジュール（衣装）のひとつパンク。普段はツインテールのミクが、さらりと流すロングの髪が魅了的。

MODEL PROFILE
アイダ　ユキコ
Cure No:6314
好きなキャラクター：初音ミク
好きな楽曲投稿者：ハチさん
最初に惚れた曲：みくみくにしてあげる♪
VOCALOIDを中心として女の子のキャラクターはもちろん、男装をして男の子のキャラクターに扮することもある。ファンクラブが900人を突破しているカリスマコスプレイヤー。

またまた、あります！
アクセスしてみよう！

初音ミク大好き♪
まだまだ、たくさんコスプレしたいな

誰もが知ってるコスプレコミュニティサイト Cure

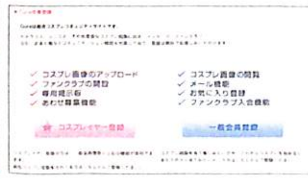
登録会員が60万人を突破している世界最大級のコスプレコミュニティサイト。イベントなどで撮影した写真が日々アップロードされている。英語対応も可能となっており、日本人にとどまらず世界中のコスプレイヤーたちに愛用されているグローバルなサイト。

イベント日程の一覧はもちろん、同じ作品のキャラクターたちを全国から集めて撮影する「あわせ」を募集する掲示板など、魅力的な要素が横溢。コスプレイヤーなら誰でも知っているサイトになっている。

アニメ、ゲームなど多くの作品が乱立するなかVOCALOIDが写真投稿枚数ではここ数年間、ナンバー1の位置に君臨。

その理由として、パッケージの衣装だけでなく、楽曲が増えるとともに新たな「派生作品」といわれる曲が無限大に増え続けることがあげられる。

コスプレに興味をもったら一度HPを訪問してみよう。



会員登録（無料）にはコスプレイヤー用と一般会員用がある。写真が見たい方はまず「一般会員」に登録し、マナーを守って楽しもう。「今度、撮影させて下さい」なんて、いきなりメッセージを送るのはNG！　コスプレイヤーさんたちに迷惑をかけないよう、会員規約にはキッチリ目を通してね。

http://curecos.com/　cure 検索

スゴイこと 10 カラオケが100曲以上

100曲以上配信中☆　さぁ、カラオケへGO！

JOYSOUNDで歌える GUMI曲カラオケ一覧表

カラオケに行った時、「あれ？　あの曲が見つからない」ってよくあるよね。特にVOCALOIDの楽曲は歌手名で探すのが結構大変。そこで今回はGUMI曲として配信されているカラオケを一覧表にしてみました！　その曲数は100曲以上。喉が枯れ果てるまでGUMIの曲を熱唱しよう！

歌手名	曲名	曲番号
…ルカP feat.初音ミク、GUMI、開発コードmiki	スタッカート：	145018
	ハートフルシーケンス	109419
…Pop feat.巡音ルカ、GUMI	ハッピーシンセサイザ	106500
	ハッピーシンセサイザ さつき が てんこもり's "radial call remix"	110885
…Pop feat.巡音ルカ、GUMI、初音ミク	マイルームディスコナイト	107367
	おニューのかさぶた、ヘッドに食われろ	108012
	おニューのかさぶた、ヘッドに食われろ（レコオト）	665016
	キッチンでカッパがタニシ茹でてる	108302
	筋肉痛駆け落ちの滑稽な結末	108669
…の書でマンボウが死んでるP	クワガタにチョップしたらタイムスリップした	110158
	クワガタにチョップしたらタイムスリップした（本人映像）	180912
	クワガタにチョップしたらタイムスリップした（レコオト）	665015
	スイートフロートアパート（レコオト）	665036
	スイートフロートアパート	145785
…4 feat.GUMI	天ノ弱	116054
…tsu feat.GUMI	カーニバル	108113
	チョコレート	109544
…tsu feat.巡音ルカ、GUMI	speed	106801
…ワタP feat.巡音ルカ、GUMI	大丈夫だ、問題ない。	107323
	恋のビーチフラックス	110202
	桜咲く頃	110201
	Stargazer	110198
	Song In My Heart	110199
…mit	Non-Stop Revolution	110195
	Parallax	110196
	ハロー・スター	110200
	Midnight Cookies	110194
	LIGHT OF LIFE	110193
	Rendezvouz	110197
…hito feat.GUMI	アビサス・アビサム	109591
…わた feat.GUMI	ラフケノミクス	111300
キャプテンミライ feat.GUMI	メガネの向こうの世界（レコオト）	665032
	メガネの向こうの世界	116293
…らP feat.GUMI	大丈夫だよっ!	104521
…sakure.UK	カムパネルラ	103382
	ぼくらの16bit戦争	103384
	雨の日のこと	110849
	キミ想い、片想い	109679
	キミが好きて	109680
…カノン	たってたってたって	116292
	旅立つために	110850
	次咲く花の色は	110851
…a feat.巡音ルカ、GUMI	Lady Face	111684
…amatt feat.GUMI	Just a game	102710
…CHE	それいけ!自分大革命!	100800
…ック二階堂 feat.GUMI	キタナツカセ	111298
…ルビッシュP feat.GUMI	Holography	109057
…々P feat.GUMI	はちみつハニー	108267
	会いたい	116267
…シグナルP feat.GUMI	トロピカル・サマー	116248
	トリノアイウタ	104821
…CO*27	それだけじゃためだよ	111682
…るぎP feat.GUMI withバナナイス	blue bird	128690
…くP feat.GUM	泣き虫アンサンブル	107361
…OTOKO(西沢さんP) feat.GUMI	チクリと	108599
…トトム(汽笛P) feat.GUMI	寒がりミートハイ	145231
	Touch!エモーショナルステージ	145186
	都会のドロシー	145188
	ハートに描いたアルカディア	145189
…ぎP	フォーリン・ラブ	145234
	リンゴジュース	145235
	ローレライの衣	145236
	コローンコローン～フンコロガシ～	145442
	さよならホラリス	145390
…m feat.GUMI	スターマイン※12月末ころ配信予定	145401
…る１ feat.GUMI	恋はきっと急上昇	101488

歌手名	曲名	曲番号
	赤い雨	108926
	AGAINST	102318
	COIN	108925
	Sirius	108915
	SNOW NOISE MONSTER	108923
	月の羅針盤	108927
buzzG feat.GUMI	D.P.C.W	108924
	西へ行く	108918
	name of memory	108919
	星の唄	108928
	祭囃子	108916
	Marygold	105258
	LAST YEAR	108917
ハチ feat.GUMI	パンダヒーロー	145546
ハチ feat.初音ミク、GUMI	マトリョシカ	145551
はんにゃG	雛逃げ	109572
	わんわんお!	106230
Bumpyうるし feat.GUMI	わんわんお!（レコオト）	665017
	わんわんお!（本人映像）	700913
フェイP feat.GUMI	きみにごめんね	129839
ぷりる feat.GUMI	私の彼は戦国武将	104246
	Synapse doll	110764
	snowdust memory	116246
maya feat.GUMI	snowdust memory（レコオト）	665029
	夏の風と、キミと私と麦わら帽子。	109986
	raid of glass	106697
muhmue feat.GUMI、鏡音リン	ケミカルエモーション	111725
	彗星	145472
	彗星（レコオト）	665034
	マーメイド	109870
monaca:factory feat.GUMI	マーメイド（本人映像）	701052
	ロゼッタ	103452
	ロゼッタ（本人映像）	700961
	二重のキセキ	145660
ゆうP feat.GUMI	二重のキセキ（レコオト）	665035
ゆちゃP feat.GUMI	ポーカーフェイス	106917
	青空ライン	129866
	キリトリセン	145212
40mP feat.GUMI	シリョクケンサ	116414
	シリョクケンサ（本人映像）	701065
	ヤクソクの種	145213
40mP feat.初音ミク&GUMI	フタリボシ	108089
Last Note. feat.GUMI	ノイジーラバーソウル	116189
蘭 feat.初音ミク、GUMI	WINE BERRY	116247
	WINE BERRY（本人映像）	701063
	雨が降って。	116240
れるりり feat.GUMI	雨が降って。（レコオト）	665031
	ずっとこのまま	116241
	ずっとこのまま（レコオト）	665030
れるりり feat.初音ミク、巡音ルカ、鏡音リン、鏡音レン、GUMI、歌愛ユキ	Mr.Music	111912
	アオハススメ	108598
	オーバーテクノロジー	109622
	十面相	106905
	十面相（本人映像）	700990
	十面相 colorful ver.（レコオト）	665033
YM feat.GUMI	ナガレボシ	106902
	ノーナイデンパ	107254
	ハンコウセイメイ	106621
	ヒネクレタシンプル	107125
	未完成人間	110766
	レゾンデートル頂戴	105138

JOYSOUND ▶ http://joysound.com/ex/
※「本人映像」を選択するとPVが流れます。※「レコオト」とは楽曲をそのままの音源で歌唱できるシステムのことです。※対応機種のシステムによっては選曲できない場合があります。※EnjoyStage/Portableは、店舗によって入曲状況が異なります

MUSIC DATA

結ンデ開イテ羅刹ト骸

花札をモチーフにした楽曲。(http://www.nicovideo.jp/watch/sm7550182)。投稿者ハチさんのコメントは「無邪気というだけで、何でも許されてしまう」と記載されている。狂気じみていて、どこか不安にさせてしまう曲調。

SIC DATA

ick and treat

わふわシナモンさんによ
アップロードされたハロ
ィン定番の曲(http://
w.nicovideo.jp/watch/
5094908)。
らしい鏡音リンとレン
こか摩訶不思議で妖艶
雰囲気を醸し出してい

写真ごとに雰囲気が違うけれど、同一人物ですよね？

もちろん全て同一人物です。違って見え
りはアイダさん曰く「コスプレイヤーです
ら！」とのこと。衣装はもちろん、メイク
ポーズの研究をして手に入れる技であり努
りたまもの。

Q. 衣装や小道具って買うのですか？なんか高そうですけど……。

A.「私は全部手作りです」とアイダさん。最近は安価な海外業者製も増え、気軽にコスプレが出来るようになったけれど、やはり自分の体型や、イメージに合わせて型紙から作る方が多いようです。「作ると、以外と安いんです」と笑っていた。

Q. どこに行ったらコスプレイヤーさんに会えるの？

A.Cure には「イベント開催地」を検索できる項目があるのでチェックしてみよう。ただしコスプレイヤーさんの写真を撮影したい場合は、カメラ登録料がかかるのでご注意！イベントは有料撮影会だ。

Q. 写真って誰が撮ってるの？

A. 今回のグラビアはプロのカメラマンが撮影しているが、土日に行われるイベントやロケ、撮影会ではコスプレイヤーさんたちは友達同士で撮影をしあうのが普通。アイダさんは「一眼レフの使い方も勉強しますよ。構図なんかはセンスが問われますし！」と答えてくれた。

MUSIC DATA

龍ノ啼ク箱庭拠り

原曲は弱音Ｐさんによりアップロードされたミクが歌う曲(http://www.nicovideo.jp/watch/sm1804377)。今回の衣装はちり紙さんがアップロードしたVerの衣装。コスプレイヤーたちは「衣装案に布まで指定されており、細部まで詳細に描かれているのでありがたい！」と絶賛している。

思わずうっとり……。画面から飛び出てきた!?

カリスマコスプレイヤーの豪華競演

～これが本気1000%のコスプレだっ!!～

コスプレコミュニティサイトCureに登録しているコスプレイヤーの中から、選りすぐりの写真を頂いた。
衣装を着て撮影するだけでなく、ロケーション、カメラのアングル、
表情などこだわり尽くした写真はまさに本物!! とくとご覧あれ!!

▶MODEL PROFILE

KANAME☆

Cure NO：72203
作品：VOCALOID
衣装：パッケージ衣装
キャラクター：KAITO

COMMENT

知人のカメラマン宅で、マスターとのやり取りの様子を想像して撮りました。『何処か少年ぽさが残る愛すべきおバカ☆』が僕の好きなKAITOのイメージですが、3次元でそれを違和感なく再現するのは本当難しいッス。切実に若返りたい……ボソリ。

▲MODEL PROFILE

三鷹

Cure NO：32110
作品：VOCALOID
衣装：雪KAITO
キャラクター：KAITO

COMMENT

長野の自然の中で色合いを大事にして撮影しました。

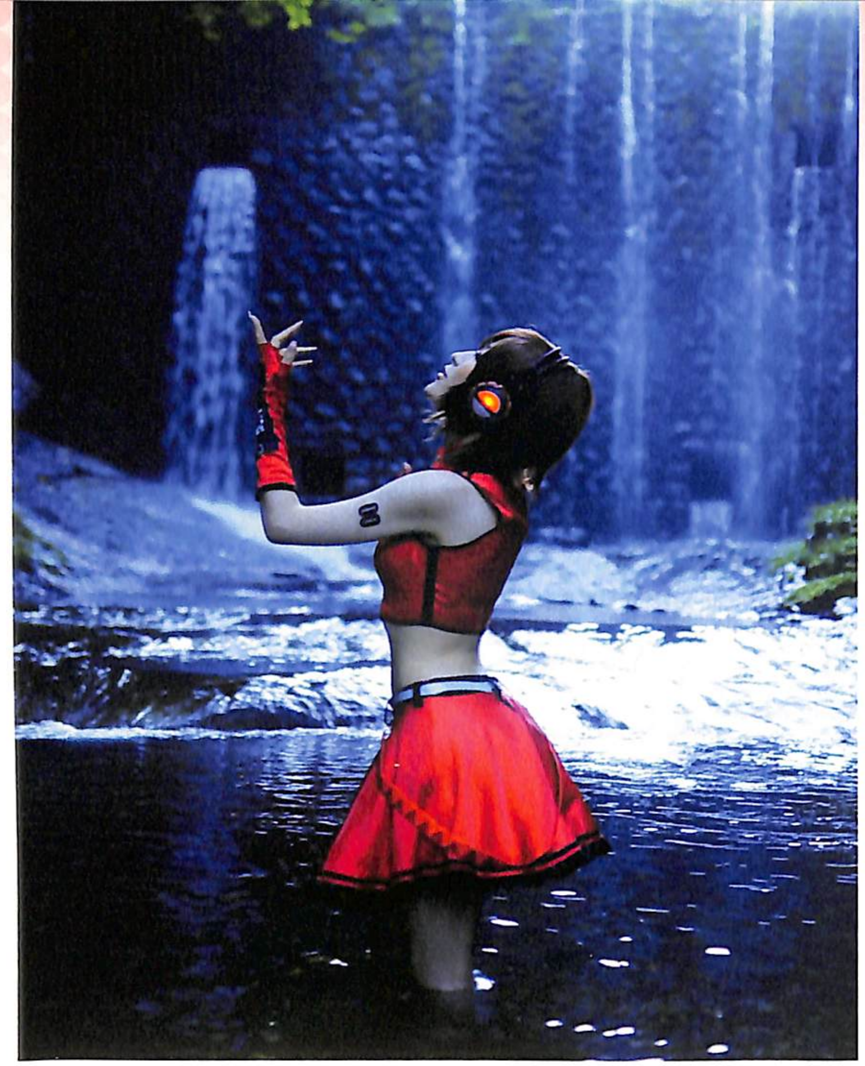
◀MODEL PROFILE

ユジン

Cure NO：44261
作品：VOCALOID
衣装：パッケージ衣装
キャラクター：神威がくぽ

COMMENT

こだわりポイントは「ヘッドフォン」と「扇子」と「アイメイク」です。ヘッドフォンは発泡スチロールで作って、ステッカーを張っています。また中にはライトも入っていて光ります。扇子は柄のないものを買って自分で本物と同じ柄を書きました。アイメイクはキャラクターのイメージの紫色を選びました。



▲MODEL PROFILE

Usagi

Cure NO：99169
作品：VOCALOID
衣装：シリーズ派生衣装
キャラクター：咲音メイコ

COMMENT

イメージは水の中で歌うメイコ。水の中に入って撮影しました。顔を全面に出さずに背景も沢山入れて一枚の写真にしました。ヘッドフォンが光る仕様なので、それが見えるように横にむいて撮りました。

▲MODEL PROFILE

Tocchi

Cure NO：39000
作品：VOCALOID
衣装：ローリンガール
キャラクター：初音ミク

COMMENT

ローリンガールの歌詞、とてもいい感じでした！「もう一回！もう一回！！！」歌詞大好きです。とにかくミクがケガしても可愛いです。ローリンガールの初音ミクコス1回しかやりませんでしたが、今度再挑戦したいと思います。

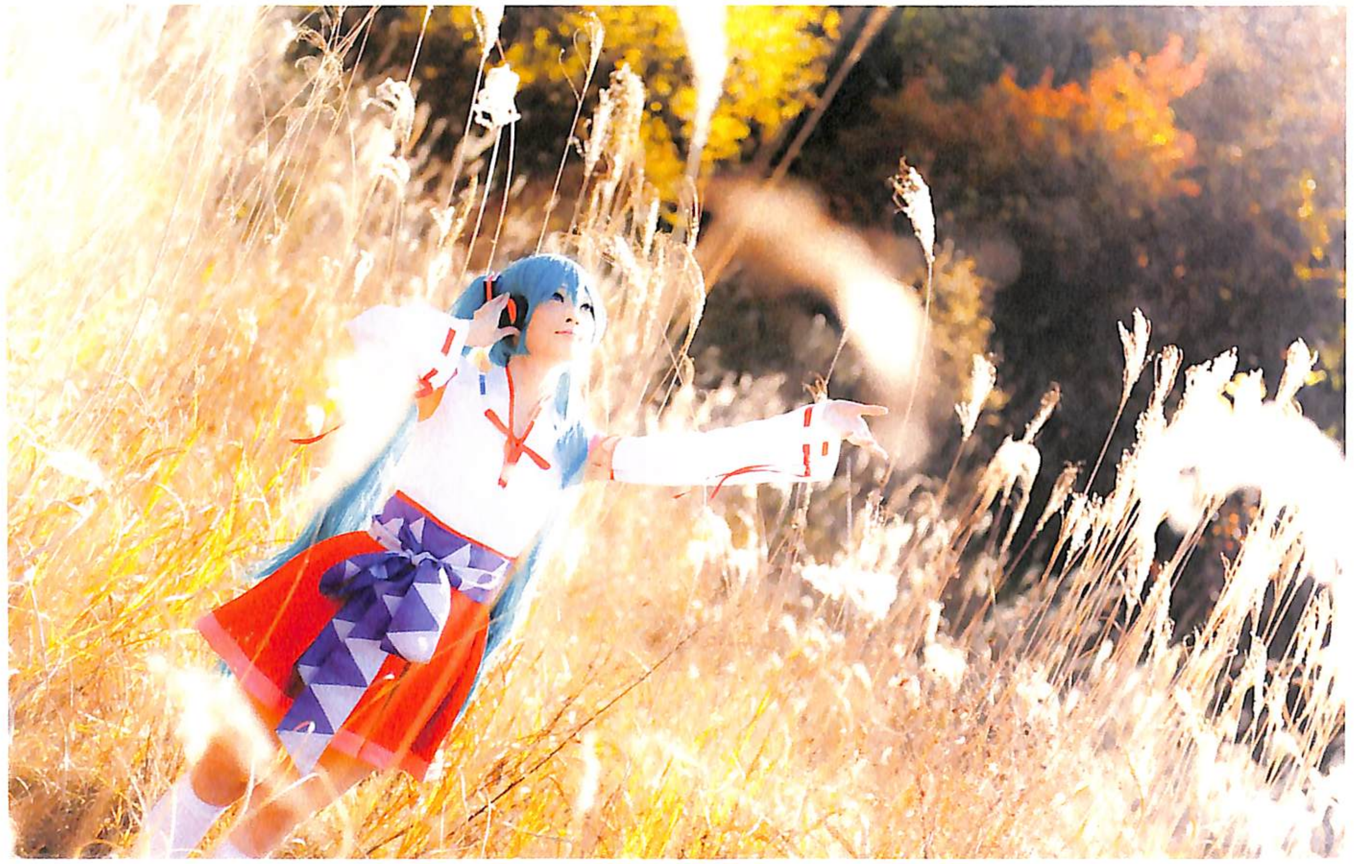
▶MODEL PROFILE

アゲハ

Cure NO：21299
作品：VOCALOID
衣装：Project DIVA
　　　よりミコ
キャラクター：初音ミク

COMMENT

和風な衣装なので、ノスタルジックな雰囲気が出るようにしてみました。



国内最大のボカロの祭典といえば〝ボーマス〟ですよね

"THE VOC@LOiD M@STER" これまでと、これから…を鷲見さんに聞いてきました

「THE VOC@LOiD M@STER」（ボーマス）は、参加者に支え続けられている、ボカロオンリーの同人イベントだ。2007年11月の初開催から数えて18回を迎えた現在、国内屈指の催しとして成長を遂げた。そこで代表の鷲見氏に継続できた理由と、今後の展望をうかがった。

一般の参加者は、カタログ（1000円）を購入して入場する仕組み。開場前は、イベントスペースの周囲に長蛇の列ができる人気振りだ。入場カタログが完売する、開催日もあるという

編集者・ニコニコ大百科で、文章の執筆、編集などを行うユーザの総称。

ケットコム代表
鷲見英典氏

すみひでのり●同人イベント情報サイト「ケットコム」代表。ボーマス以外にも、アニメやコミックに関連したイベントのプロデュースを手掛けている。イベントの詳細は、http://ketto.com/ まで

HOW TO

"THE VOC@LOiD M@STER"

同人誌即売会として2007年11月から始まる、ボカロ一色のイベント。サークル形式での参加が中心で、全国から出展者が集う。現在は、ボカロPや絵師、楽師とファンの交流の場として、国内最大級のイベントとして確立している。CDや同人誌の配布のほか、ボカロキャラをモチーフにした手作りのTシャツ、ストラップまでを扱うサークルもある。ヤマハを始め、インターネット、エグジットチューンズといった関連企業も出展中だ

作り手と参加者が待ち望むコミュニケーションの場を提供する

ボカロ最大の同人イベント、ボーマス18が開かれた11月19日。嵐の中での開催にも関わらず、会場となった池袋ワールドインポートマートは、多くのボカロファンであふれかえっていた。全国各地で開かれる同人誌即売会の中で、特別の存在になったボーマス。ボカロpを始め、絵師や楽師が一堂に介し、ファンとの交流をサポートする。ボーマスは、ボカロのオンリーイベントとして、今や欠かせない存在となっている。初めての開催から約4年が過ぎた今、その発起人であり、現在もボーマスを切り盛りするケットコムの代表、鷲見英典氏に、作り手にもファンにも愛されるイベントに成長した理由をたずねてみた。

「ボーマスは、2007年11月3日に、隙間ジャンルの総合イベント『2007年スキマフェスティバル』の中でひっそりと始まったのです。今でこそ、参加者が増えてここまで成長しましたが、当初は初音ミクを中心とした小さなボカロイベントでしたね。出展者は、同人誌と音楽の比率は半々ほど。400サークルの今と違って、50サークルほどで行われていました」

今でこそ、コスプレやイラストコンテストといった、参加者を楽しませるプログラムを導入しているが、ボカロに興味はあったのだろうか？

「実は、DTMをやっていたことがあるんです。NECの〝PC98〟時代というと、年がバレますね（笑）。MIDIキーボードも購入しましたが、才能ないな……と。そこからは聴き専ですね。ボカロは、バージョン2の発売前からニコ動で知っていまして、ある作品を聴いて〝ここまで進化したか〟と驚かされました」

自身の趣味が活きたイベントのコンセプト

初開催の前に、ニコ動で見た〝levanPolka〟を「歌わせてみた」で『初音ミク』に出会いみくみくにされたという。また、DTMの経験がイベント開催のアイデアを膨らませていく。

「初音ミクのソフトを購入して、歌わせたこともありました。ただうまくいかず、音楽は才能なんだな、と。そのとき、作品を発表できる場を作れたら……と思ったんです。今思えば、ボカロイベントを立ち上げたきっかけだったと思います。他にも数多くの同人誌即売会を開催していますが、ボーマスは参加者が育てていった特異な例です。展示即売会だった様相が、ボカロPが購入された商品にサインをしたり、サークル参加の際に名札を付けたり……と、参加者が見どころをプラスしていった。ほかのイベントでは、見かけない仕掛けを自分たちで考えたのでしょう。自己主張というか、ニコ動の投稿でコメントをみるだけでなく、ファンとの交流が楽しくなったのでしょうね。入場者を増やしたのは、そんな理由からだと思っています」

初開催の翌年には、サークル数は150に増え、2009年を過ぎた当たりから参加者が急増。2010年には用意したカタログ（入場証）が完売し、入場規制を行うまでに飛躍した。そんな鷲見氏は、開催を重ねるごとに苦労している点もあるという。

「いちばんの苦労は、イベント会場の確保ですね。会場内を自由に歩くことができないほどの賑わいをみせるときもあります。都内近郊の大きな会場は、ボーマスのような同人イベントは受け付けてくれないんです。数日間をとおしてのイベントが優先され、スケジュールを押さえるのにいつも頭を抱えています」

参加者に愛されるイベントに成長したボーマス。継続は力なりというものの、参加者を飽きさせない展開も必要だ。今後は、どんな仕掛けを考えているのだろうか？

「会場を盛り上げる内容は、ボカロPや絵師の方々がフォローしてくれているので助かっています。楽曲の発表はニコ動でできますので、とにかく作り手とファンが言葉を交わせる機会を提供する。〝交流〟の場、というスタンスは、ずっと変わりませんね」

ボカロ一色に染まることができる作り手とファンの交流を支える一大イベント

巻頭インタビューに登場していただいた、エハミックさんも参加。ご自身でプレス、制作したというアナログレコードは興味深かった

家の裏でマンボウが死んでるPさんは、手作り感あふれるブース作りで親しみやすい。新譜の完成に多くのファンが並ぶ、人気のサークルだ

アキバオタPのブースを発見。新曲を加えた『猫村いろは』のフルアルバムの陳列に、ブースは数多くのファンで盛り上がっていた

れるりりさんのブースは、10曲入りのフルアルバム『Rhythmism（リズミズム）』を用意。こちらも人気サークルで、ファンの多くが列を作った

INFO

ボカロPと共存する企業が出展

ボーマスの会場には、サークルのほかにソフトメーカーやレーベルといった企業ブースもある。ヤマハでは、新作『メグッポイド』に合わせてグッズを販売。毎回、凝った演出で会場を沸かせているインターネットでは、新作GUMIのコスプレイヤーがブースに華やかさを加えていた。企業ブースでは、待望の新作をチェックできるほか、特別プライスで販売されている場合もあるので必見だ。

ボーカロイドの進化を誌面で伝え続けている

DTM MAGAZINE の偉大なる軌跡！

パソコン（PC）で音楽を作るDTM愛好家が信頼を寄せる月刊誌『DTMMAGAZINE』。V1からV2に、そしてV3まで進化を見続けて、情報を発信し続けている。同誌の編集長の上林将司氏に、ボーカロイドの推移と今後の飛躍を聞いてみた。

手軽な作曲ツールとして、一般に浸透しつつあるボーカロイド。ここにきて情報誌は増えたものの、最初期V1から見続けてきた雑誌は数少ない。1994年の創刊からコンピュータを使った音楽制作の情報を発信し続けてきた『DTMMAGAZINE』誌。現在の編集長であり、また創刊以前からDTMの世界を見続けてきた上林将司氏は、ボーカロイドについて最初はどんな印象を受けたのだろうか？　また発表された当時は、音楽業界でどんな存在だったのか？

「概要は把握していましたが、はっきりと意識したのは、2004年に日本語ボーカロイドとしてリリースされた『MEIKO』からですね。歌声事体のリアルさは、ヤマハがそれ以前から開発していた音声合成技術『フォルマントボード』をはるかに凌ぐ完成度だったと記憶にあります。シンセもここまできたか……と。当時は、本当に一部のDTM愛好家のみのツールでしたが、今、ボーカロイドといえば、メジャー、っていう感じですね」

他誌に先駆けて連載開始！ボカロがヒートアップ

2005年には、誌面で『MEIKO』にJポップを歌わせる連載をスタート。2007年11月号で『初音ミク』をメインにした特集は、売り切れが続出という、プロアマを問わずDTM愛好家を刺激。ボーカロイドの存在を世に広める起爆剤となった。

「ボーカロイド関連の企画は『初音ミク』以前から進めていたので、反響あるとはまったく考えていませんでした。ただ、制作している最中にミクの人気がエスカレート。体験版付きと告知したこともあって、期待されているのかなあ、と感じてはいました。ただ、それに応えるため、必死で特集を増ページするなど、誌面作りに精一杯だった気がしますね（笑）」

『初音ミク』の発売からすぐに公開された代表曲『みくみくにしてあげる♪』は、ニコ動で50万回の再生数を記録。『初音ミク』は、月刊誌の制作が追い付かないほどの勢いで、ビッグアイドルに急成長を遂げたことになる。

「PCで音楽が作れることを知らない方が多いので、DTMファンを増加させる意味では『初音ミク』は偉大でした。継続的に特集を組んでいますが、読者アンケートを見ても、非常に高く興味を示しているようですし、ネットでの反応も高い。ボーカロイド関連の記事を楽しみにしている読者は、確実に広がっています」

ただ、打ち込みの作業やアレンジを分かりやすく解説した誌面展開も必要と上林氏。ボカロファンを支えるための企画は、常に模索中とのことだ。V3のリリースよって参入するメーカーが増殖し、さらなる活気が予想される。

「ボーカロイドによって、音楽を〝聴く側〟から〝作る側〟になるハードルは下がったと思います。DTMに接するきっかけとして、ずっと人気を持続してくれたら……というのは正直なところです。この秋から、付録のDVDに初心者用の教材セットとして、音楽編集用のMIDIシーケンサー『Domino』と、DTMの解説テキストを毎月収録しています。少しでも曲作りの参考にしてもらえれば、うれしいですね。もちろん、続々と登場するV3の新作をご紹介していきます」

寺島情報企画 DTMマガジン

DTM（デスクトップミュージック）に関する情報を専門に扱う毎月8日発売の月刊誌。DTMを支える雑誌として読者を獲得している。体験版などを収めたDVDを付録にした装丁も特徴だ。http://www.dtmm.co.jp/

…Mの基本を解説…パートも、イラ…を使って説明

項目を立てた分かりやすい解説は、ボカロ初心者に有り難い

『初音ミク』をよく知らないユーザーに向けて、基礎を解説

2011年9月号（8月8日発売号）
「初音ミク 電子の歌姫が作りだした世界」

今夏発売号では、『初音ミク』の始まりを追った特集を展開

2011年9月号では、『初音ミク』の4年間を追った総力特集を展開。開発者インタビューを始め、ボカロの全容を解説している

※ MIDI シーケンサー『Donimo』（http://takabosoft.com/domino/）

ボーカロイド『MEIKO』の登場が新たなDTMのカタチになると実感

「初音ミク うたう電子の声」

2007年11月号（10月8日発売号）

『初音ミク』のメイン特集を掲載し、未開拓とされた日本語ボーカル音源の世界を総力取材。キャラクターの詳細から藤田 咲のインタビュー、曲作りをサポートする打ち込み方法までを解説。『初音ミク』のイラストを配した表紙が話題に。体験版、デモソングを収録したDVDが付いた

「初音ミクを拡張せよ」

2010年7月号（6月8日発売号）

強烈なインパクトを放った『初音ミク』

拡張音源として発売された『初音ミク Appennd "Solid"』のインプレッションに合わせて、同ソフトの体験版DVD付き。「少々P」のインタビューに加え、「sasakure.UK × DECO*27 × Treow × 喜多島時透」がそろった対談記事など、見どころ満載の最新情報が掲載された

「新作VOCALOIDが体験できる！ 初音ミクAppend」

2010年1月号（12月8日発売号）

当時の新作4タイトルを収めた体験版付き

「ソフトウエア音源コンプリート」の中でボカロを紹介。リリースに合わせて『初音ミク Append』の文字を打ち出した表紙が印象深い。『SF-A2開発コード miki』『歌愛ユキ』『氷山キヨテル』といった、AHSが2009年にリリースした3作品の体験版を収めたDVDが付録だった

「鏡音リン・レン・アペンド 体験版」

2011年3月号（2月8日発売号）

キャラを押し出すシンプルなカバーに注目

付録の『鏡音リン・レン Append "Power"』の体験版DVDとリンクして、クリプトン・フューチャー・メディアの佐々木 渉氏のインタビューを掲載。リン・レンを配したカバーデザインも美しかった。2011年に入り、メイン企画のタイトルが分かりやすくなった

「新VOCALOID Lily 最速攻略」

2010年9月号（8月8日発売号）

V2の新生『Lily』のニュースをいち早く掲載

「Lily歌わせてみたコンテスト開催！　どこよりも速いLily最速攻略」と題して、インターネットから発売したての新作を掲載。「無料DTMはじめるガイド」と称して、世界のフリーウエアを解説した特集は、DTMに精通した同社ならではの企画だ。体験版DVDも『Lily』だった

FROM キューンレコード

「歌ってみた」でブレイクしたアーティスト

ピコをプロデュースしたキューンレコードの八代さんにいろいろ聞いてきました。

アーティスト、ピコの歌声に惚れて、ついにボーカロイドソフトにしてしまった、キューンレコードの八代さん。ボカロの世界をどうとらえているのか。

アーティストのイメージを漂わせボカロ界に飛び出したキャラクター

“両生類”といわれる個性的な声に注目してください！

キューンレコード
A&R2部
八代冨士夫氏

IT系の企業を経て、キューンレコードに入社。ボカロプロジェクトを立ち上げ、V2の企画・制作に従事。現在も、アーティスト、ピコを協力にバックアップする腕利きスタッフだ

ピコとピコは独立したキャラクターイメージ

アーティストをボカロ界に送り出したキューンレコードの八代冨士夫氏。初めて聴いたボカロ曲は「KAITO」という、ベテラン（？）だ。レーベルが主軸の同社から、ボーカロイドをリリースすることに対し、社内では反応があったのだろうか？

「新しい試みをしてきているレーベルなので、反対の意見は特にありませんでした。むしろ“面白いんじゃない？”という応えが多く、企画はすんなり。ただ、リリースまでには試行錯誤がありました。ディスクってどう焼いたらいいのとか（笑）」

アーティストのレコーディングとボカロの収録は違いますが、その制作に当たって気を使われた点はあったのだろうか？

「“両声類”というピコの特性、男声と女声の両方を使えることを意識しました。性別はどちらにも取れる、まずは可愛らしいキャラにしたかったですね。『歌手音（うたたね）』という名前は、社内から募りました。“歌い手”と“歌の種”のキャッチを重ねた形なんです」「髪型は若干ですがピコを意識していますが……（笑）。キャラクターのイメージを、本人に似せるという意図はありませんでした」

『歌手音ピコ』完成後の周囲の反応はいかがでしたか？

「ピコ本人も含めて、社内では予想以上の完成度だと驚きの声が多かったですね。ピコは曲を聴いて“自分の声で歌われていることに対して、不思議な感じがする”と感じたようです。ピコは、冗談めかして“ボクは必要なくなるんじゃないですか”といってましたね（笑）」

V3のリリースが間近に迫っていますが、今後、新たなライブラリをリリースする可能性はありますか？

「残念なが……っ、今のところありませが、個人的に、ボカロ曲を実在のアーティストがカバーすることは興味深いですね。メチャクチャ格好いいものができると思います。ピコのアルバムには最低1曲、ボカロ曲を入れています。レコーディングに参加したアーティストは、ボカロ曲のクオリティに驚く人も多いんですよ」

アーティストとボーカロイドの世界は異なるものの、リンクすればすごいパワーを秘めたコンテンツになるという八代氏。それを融合させた理由を、こう語ってくれた。

「ピコは、やはりニコニコ動画でボカロ曲を歌い、ファンからの後押しでデビューした背景があります。『歌手音ピコ』で、もっと楽しんでくれれば……と思っています」

『ユメハナ』
1500円
（初回限定版DVD付き）

前作から7カ月ぶりにリリースされた、メジャー4枚目のシングル。秋をイメージしたという、癒やされる曲調が特徴だ。テレビ東京系列で放映中の音楽番組『Vの流儀』のオープニングテーマとして、採用されている

ニコ動の「歌ってみた」の動画投稿をきっかけにアーティストとしてデビュー。同じ歌い手である、赤飯と“赤ピコ飯まー☆”というユニットを組み、活動もしている。ちなみにピコとは、愛犬の名前からとったものだ

『1PIKO』
3500円

2011年5月にリリースされた、記念すべきファースアルバム。samfree、DECO*27といった、ボカロP作曲のタイトルを収録。ジャケットの雰囲気は、どことなく“歌手音ピコ”のイメージを受け継いだように感じられる

キューンレコードでは、ニコ動でボカロ曲のカバー“歌ってみたアーティスト”が、ボーカロイドキャラになる、初めての逆転現象……とうたっていた

ボーカロイド2
『開発コード PIKO 歌手音ピコ』
1万5000円

アーティスト、ピコの声をサンプリングしたボーカロイド。声域が広いその特徴を活かし、女性と男性の声質を合わせ持つ特徴がある。“両声類”と呼ばれている、個性あふれるライブラリだ

可愛らしく「ピコ」をイメージしたオリジナルアイテムもリリース中

ピコミラー VOL.02
1500円

オリジナルキャラ“ピコパペット”のイラストを全面に配した立てかけ式ミラー。ゆるい猫の顔が印象的な逸品だ。ほかにもTシャツ（2500円）やタオル（1500円）、カチューシャ（1200円）など、オリジナルグッズもある。詳細は http://pikopikogoods.cart.fc2.com/ でチェック！

商品の問い合わせ：キューンレコード http://www.kioon.com/ © Ki/oon Records Inc, All Rights Reserved.

FROM ニコニコ動画（あべちゃん）

ボカロサウンドが中心の踊ってみたの祭典！　ニコ動の人気イベント

ダンスマスターに行ってきました!!

ニコニコ動画の人気カテゴリー「踊ってみた」で活躍する踊り手が、ボカロ曲などに合わせて熱いダンスを披露する。LEDで装飾されたニコファーレにファンが集結。大いに盛り上がりを見せた3回目となるダンマスの模様を、レポートする

皆さんの熱い踊りをぜひ体感してください！

ドワンゴ ユーザー文化推進部 部長代理見習い あべちゃん

創成期からボカロを聴き続け、2010年に運営スタッフに。ダンスイベントの出場経験に加え、舞台公演で演出・振り付けを行う経歴を持つ。「ダンマス」を盛り上げる、ニコニコ運営さんだ

HOW TO NicoNico D@nce M@ster

ニコニコダンスマスター（ダンマス）は、ニコニコ動画の「踊ってみた」カテゴリーに参加するユーザーが集まり、ステージで踊りを披露。ダンサーとしての経歴や肩書きは一切必要なく、踊りを通して自分を主張する、会場すべてが一体となって盛り上がるダンスの祭典だ。エントリーするダンサーは、6歳のキッズから57歳のサラリーマンまでと、年齢層の幅広さも特徴だ。第1回目の開催は、2010年12月12日。

2011年10月15日19時。今回で、3回目となるニコニコ動画から発生した注目のイベント、ダンマスの幕が上がった。舞台は東京六本木のニコファーレ。ステージの壁面360度、そして天井に設置されたLEDモニターには、しっかりと〝弾幕〟が映し出され、演出もバッチリ。580組のエントリーから選抜された踊り手たちが、ボカロサウンドをバックにノリノリで踊りを披露する。〝ダンマス〟の略称で話題のイベントを〝ニコ動〟の仕掛け人、あべちゃんに解説してもらった。

老若男女が参加できるエンターテインメント

「ダンマスは、普通のダンスイベントじゃないんですよ。何年踊っているとか、昨日はじめたばかりとか、経歴や肩書きは一切関係なく、自分の個性を踊りで表現するのがルール。ストリートダンス、オタ芸……ジャンルの垣根は無く、会場にいるみんなが盛り上がればOKという、今までのダンスシーンにはなかった新しいエンターテインメントです。踊りたいと思うユーザーは、動画投稿でエントリーしてもらって、ジャンル別に設けた審査基準をクリアした踊り手がステージに立てます」

「踊ってみた」には、ライブやストリートダンスなどとは異なり、独特の楽しさがあるという。

「ダンマスは、メインアーティストはいないので、とにかくダンサーが引き立つんです。また、会場にいるみんなが踊れちゃう、ということも魅力ですね。ダンスの本質は、みんなで踊ること。観るのではなく、参加する。それがダンマスなんです」

〝ニコ動〟が得意とする生放送配信での視聴数は、なんと20万人を超える。この熱きダンスの祭典は、今後、どのように動くのだろうか。

「上手い人や超人気な人だけで成り立ってしまうと、先鋭化されていって広がりのない文化になってしまうので、素人さんにも開かれた今の状態が続くといいな、と思っています。ボカロサウンドは今後、多言語化していく現象が確実に起こるので、国境を超えてひとつの文化として共有したい。言語に関係なく世界中ファンと一緒に踊れるのが「踊ってみた」の文化なんです。国籍に関係なく、みんなでボカロサウンドと踊りを共有できるようになったら、本当に幸せですよね」

観客と一緒になって踊りまくる、それがダンマスデス

LEDによる最先端の演出が魅力 ダンマスの聖地「nicofarre」

「ネットとリアルの融合」を目指し、2011年7月18日にオープンしたイベント会場。従来のライブハウスの枠を超えた、まったく新しい形のエンタテインメントを創造する

メインステージには、360度の全壁面、及び天井にLEDモニターを設置。コメントに加え、生放送視聴者のためのバーチャル演出といった、独自の演出装置を備えている

INFORMATION
㊟東京都港区六本木7-14-23 セントラム六本木ビル地下1F
㊫ http://nicofarre.jp/

10・15 ステージを盛り上げた注目のユニットたち

約100組名の踊り手の中から光るダンスを披露したユニットをピックアップしてみた。ダンマス公式サイトに動画がアップされているので、華麗なダンスを、ぜひ、チェックしたい

ちびなっつ

おむぎ、おりん、おルゥの3人組のキッズダンサー。素晴らしい踊りを見せてくれた

まり☆るき

初音ミクの映像に合わせた踊りを披露した。全身を使ったパワフルなダンスが印象的

DANCEROID

シークレットゲストとして登場した、女性4人組。DVDもリリースする人気のユニット

ABC48歳

平均年齢48歳というマダム3人も、会場を沸かせて、最後まで気持ちよく踊りきった

じょっぴん+℃-ute

つんくがプロデュースしたアイドルユニット"℃-ute"の登場で会場は大興奮だった

Gachi♂Gachi+ゲッツ

6人組ユニット"Gachi♂Gachi"は、シークレットゲスト"ゲッツ"のコラボダンス

S@PPOROID

北海道から参加した人気の女性ユニットで、美しいフォーメーションに感激

From GoodSmile Racing

5ポイントの差を最終戦で見事に逆転！ Super GT GT300クラス総合優勝に輝いた

ミク号を祝福してきました。

優勝

ボカロのキャラクター『初音ミク』をデザインしたマシンで、日本のカーレース〝Super GT〟に参戦したGSR（グッドスマイルレーシング）。終わって見ればシーズン3勝、そして総合優勝という最高の結果。クルーをひとつにまとめて、トップチームに導いた大橋逸夫監督にお祝いの言葉を贈るため、千葉県松戸市にあるオフィスにうかがった。

優勝おめでとうございます。『ミク』号は速かった！

「ありがとうございます。最終戦での5ポイント差の逆転劇……終わったからこそいえることですが、ドラマチックな展開でシーズンも盛り上がったと思います。ただ、ライバルのフェラーリに前戦でポイントをひっくり返されていますし、最終戦の予選は雨。BMWでツインリンクもてぎは未走行ということも重なり、最後までドキドキでしたよ」

チームの設立から4年目での悲願達成でしたが、今季はポルシェからBMWにクルマをスイッチ。また、チーム体制を一新してのチャレンジでしたが、開幕前の手応えはどうでした？

「実は、ミク号ができたのはギリギリ。開幕直前に全部がそろった状況だったので、当初は不安でしたね。震災の影響もありましたが、テストもなく初戦を迎えたので、煮詰まっていない感じ満載でした。とにかく人為的なミスを減らすように、チーム内の引き締めに入りました。それとSuper GTは、経験値の高いドライバーは勝利に必然なんですね。今シーズン走ってもらった谷口信輝選手は、ドライバーとしてのスキルは高く、より速く走るにはクルマをどう修正するか、的確なんです。」

元F1ドライバーの片山右京氏がチーム加入という、頼もしいニュースを聞きました。ピットでも目立つクルマに合わせて、その注目度は高かったように思えます。

「チームの経験値を上げるまとめ役は不可欠と思い、加入していただきました。ドライバーの気持ちを察して、メンタル的な部分をサポートしてくれる。チームの士気を高めることでは、大変、助かりましたね」

勝利に執着する体制作りを常に意識したという大橋監督。スタッフのモチベーションを高めるために奮闘した背景には、さらに先を見据えた考えもあったようだ。

「ボカロのキャラクターで走ることは、違った視線からレースを知ってもらえる。それでSuper GTに興味を持つファンが広がれば、日本のモータースポーツの発展にもつながると思います。来シーズンの体制はまだ分かりませんが、また鮮やかなミク号で走りたいですね」

GSR&Studie with Team UKYOチーム監督
大橋逸夫氏
2010年にチーム監督に就任。2年目を迎えた今シーズンは、体制を一新。スタッフの役割をはっきりさせることで、チームをひとつに。ミク号を見事にチャンピオンにエスコート

最終戦の予選は、路面に雨が残るコンディションで行われたが、ミク号は絶好調。谷口＆番場の両選手は、高タイムを連発して総合優勝が期待できるポールポジションを獲得

GSR&Studie with Team UKYO、2011年の激戦を振り返る

シーズン3勝をあげての総合優勝。大きな浮き沈みもなくチーム、ドライバーの頑張りで常に好位置をキープし続けてきたミク号。最高の結果を残した、総合優勝までの道のりをここで振り返ってみる。

Rd.1 岡山国際サーキット

4位

大震災の影響を受けて、第2戦の後に繰り越し開催となった。直線が早いミク号にとっては、やや苦手なコース。予選8位から追い上げたものの、表彰台を逃す結果となった

Rd.2 富士スピードウェイ

5位

大震災により、2011年の開幕戦となる。デザインを一新したミク号のデビューレース。クルマのテストもなく、ぶっつけ本番でレースに挑むことに。予選は4位だった

Rd.3 セパンサーキット

優勝

チーム初の優勝をゲットしたメモリアルレース。谷口信輝選手がスタートを決め、番場選手に交代。ラストラップまでもつれたものの、後続を振り切りトップチェッカーを受けた

『イカ娘』『涼宮ハルヒ』を退けて主役になった『初音ミク』

シリーズチャンピオン獲得！

Rd.8 ツインリンクもてぎ シリーズチャンピオン獲得！

総合順位トップを行くフェラーリ458GTCとの直接対決。優勝すればタイトル決定という緊張感にあふれていたが、なんとミク号は、予選から決勝まで絶好調。〝ポールトゥウイン〟で今季3勝目となる快走を見せた。スタートドライバーを務めた、番場琢選手の頑張りも光った

チーム一丸となっての快挙とあって、表彰台での歓声は長く続いた。大橋監督とともにトロフィーを掲げる谷口＆番場の両選手も感無量の様子だ。ミクちゃんの後押しもあった結果？

Information

悲願の初優勝記念モデルが1/43スケールのミニカーで登場！

初音ミク GOODSMILE BMW Z4 2011 セパン初優勝 Ver 9800円

㊐グッドスマイルカンパニー 0120-915-391

Super GTを戦ったBMW Z4が、いよいよ精密ミニカーでリリースされる。ホワイトボディにミクちゃんが描かれた美しいフォルムもそのまま。仕様は、第3戦セパンで初優勝を遂げた記念バージョンだ。2012年2月発売予定

© Yuichi Murakami / Crypton Future Media, Inc.

谷口選手の約束どおりに、総合王者の証となるチャンピオントロフィーをゲット。1年をともに戦った、ミクちゃんに最高のプレゼントとなったようだ

Rd.4 スポーツランドSUGO

6位

シーズン折り返しの戦いとなった第4戦。連勝を狙うミク号だったが、GT500の車両と接触、スピンにより不運の結果。巻き返しを図るもシングルフィニッシュに留まった

Rd.5 鈴鹿サーキット

5位

シーズン最長のレースとなった鈴鹿決戦は、天候が激変する難しいコンディション。序盤に11位まで下がったミク号だったが、怒濤の追い上げを見せて500kmを走りきった

Rd.6 富士スピードウェイ

優勝

「最初から狙っていた」と谷口選手の言葉どおり、シーズン2勝目をゲット。予選トップから後続を引き離しての貫禄のレース、シリーズ王者の栄光が現実味を帯びてきた

Rd.7 オートポリス

9位

予選7位から挑んだものの、シーズンワーストの成績でフィニッシュ。この結果により、ライバルのフェラーリにポイントで先を越され、勝負は最終戦で決着をつける展開に

チームスタッフと総合優勝の記念撮影。今季より、スポーティングディレクターとして加入した元F1ドライバー、片山右京さんもうれしそう。4年目にして最高の結果を残した

歌声にとことんこだわった新作の話題とともに！

AHS尾形代表のボカロ開発魂にふれてみた！

『ボカロ先生』を始め、意欲的なラインアップでボカロ界に新たな風を吹き込み続けているAHS。最新作となるV3がいよいよ12月22日にリリースされる。歌声にとことんこだわったという新作について、尾形代表にその魅力を聞いた。

AHS
代表取締役 兼 CEO
尾形友秀氏

ソフトウエアの開発、音楽制作といった会社を経て、2005年に輸入ソフトを扱うAHS（エーエイチエス）を設立。4歳からピアノを習い始めたという、生粋の音楽人でもある

持てる技術をフル投入して開発した新作は

いよいよ新作『結月ゆかり』のリリースが2011年12月22日に迫ったAHS。V3の可能性をとことん突き詰めたという新作は、ボカロP＝作り手の意見を採り入れ、開発されている。その注目のポイントを代表の尾形氏はこう答える。

「ボーカロイド2（V2）は、今まで4製品リリースしましたが、声のバリエーションに注目しました。2010年10月に発売した『猫村いろは』に関しては、V2のエンジンで、どこまで人の声に近づけるかがひとつの挑戦でしたね。私は、いまでもボーカロイドは楽器のひとつととらえていますが、『猫村いろは』はV2の可能性をかなり引き出せたと思います」

手応えは十分だった『猫村いろは』の表現力

滑舌や声の延び、低音から高音までをスムーズにする。『猫村いろは』は、尾形代表が思い描く、扱いやすいボーカロイド＝楽器としての成功例だったという。

「昔のシンセサイザーは、いろんな表現ができたけど、ピアノの音をそっくりに出せなかった。今は、どちらの性能も上がって楽器らしくなっていますが、それと同じなんです。反省点は多々ありますが、『猫村いろは』は、素直に歌ってくれる楽器に近づけられた……と感じています。V3は、発音がはっきりしたり、音の要素が増えたりといろいろと進化してます。今回の『結月ゆかり』は、V2で技術的に難しかった部分を、どこまで補えるか、また人の声のニュアンスをどこまで残せるか、をポイントに開発しました」

V3では、エディターと歌声ライブラリが別になりましたが、開発には影響はありました？

「これは、変わらないですね。V2でも、エディターを加えて製品化するだけなので、歌声ライブラリが独立しても作業は同じ。ただ、エディターのバージョンが上がったことで、変更点はたくさんあります。V3は、基本的にV2の正常進化版といわれているとおり、音の要素（音素）が増えています。その分、我々は音を作らなければならないので、ずっと研究していたんです。ただ、この音素を追加しようと思ったら、かなりできるんですね。50音にさらに子音を組み合わせるなど、日常会話で使わない音が数多く含まれるのですが、ボーカロイドではそれを作ることができてしまう。V3は、音素を追加したことで、つながりが自然になったことは事実なんです。でもV2では不可能だったこの技術は見逃せません。そこで、音素が増えてつながりが滑らかになった、その部分をどこまで追求できるのか。今までの課題であった〝人が歌ったときのニュアンス、声の変化〟という部分をどこまで出せるのか。〝人間っぽい〟という感覚的な話ですが、楽器としての使いやすさより、〝声の楽器〟としての表現力に、力を注いで作りました」

V3のポテンシャルをフルに活用

『結月ゆかり』には、実力派ボカロPさんの意見を採り入れて、ソフト作りを行った。これは開発する上での刺激になったのだろうか？

「ボカロPさんが創造するボカロと、開発者が思うことは違います。エンジニアは、ソフトウエアの限界は分かっていますが、やはり作り手との隙間はありました。何ができて、何が不可能か……細かい部分をヒアリングしつつ、問題をひとつひとつ解決していくわけです。時間はかかりましたが、高いクオリティを目指したスタンスは共通しているので、楽しく作れましたよ（笑）」

いよいよV3版が発進！尾形代表の理想が現実に

ボカロ曲の表現力は高いものの、まだ人の声に間違えるまでには至っていないという尾形代表。最後に『結月ゆかり』で達成できた、満足度はどのあたりにありますか？

「究極は、ボーカロイドでしかできない音なのですが、その前に、人の声はしっかりと表現できなくてはならない、と思います。歌う楽器なので、まずは人の声にどれだけ近づけるかは、初期の頃から変わってませんね。声のパワーは凄いので、それをクリアすることが、ボーカロイドが世間に認められる最低条件ではないかと考えています。完成した『結月ゆかり』は理想に近いですね。ただ、艶っぽく語尾を延ばすことは難しかったのですが、その部分や早口はもちろん、上から下まで滑らかに歌える声質は、かなり表現できているんじゃないでしょうか。歌声を聴いて〝もしかしたらこれ、人じゃない……〟と思ってもらえるかな（笑）。『猫村いろは』とは異なる視点からの試みを加えて、表現力は確実に広がっていると思います」

HELLO KITTY：著作 ㈱サンリオ ©1976,2011 SANRIO TOKYO,JAPAN W
イラスト：okama ©2009,2011 SANRIOWAVE

同社からリリース中のタイトルは『ボカロ小学生』『ボカロ先生』『猫村いろは』『SF-02開発コードmiki』の全4作品。どのソフトにも尾形代表が秘めた"歌声"を追求、製品化されている。去る10月22日には、『猫村いろは』発売1周年のイベントが行われた

ボーカロイドを楽しむためのサポートソフトが勢ぞろい！

VOICEROID＋ 結月ゆかり 9800円

テキストを入力するだけで、流暢に文字を読み上げるソフトも同時発売。V3と同じ声を収録している点も注目だ。ふたつそろえれば、最強の制作環境が整う

Music Maker MX ボカロパック『結月ゆかり』 2万1800円

ボカロと作曲ソフトがワンパッケージ。ソフトひとつで、オーディオ編集からMIDI打ち込み、マスタリングまでが行える。ボカロとの組み合わせで、楽曲作りの楽しさが広がる

AHSでは、ボーカロイドを使った作曲に加えて、アレンジや動画制作までを支援するソフトウエアをリリース中だ。ボカロ初心者でも、簡単に曲作りを楽しめるラインナップなので、V3と合わせて、ぜひそろえたい

ボーカロイド3『結月ゆかり』 1万1800円

美しい女性の歌声を秘めた同社初のV3版。従来では難しかったジャズやバラードといったスローテンポの楽曲にも対応する、シリーズ最高の完成度を誇る。ダウンロード版（8800円）も同時リリースされる

イラスト：文倉 十（あやくら じゅう）

© AHS Co.Ltd.
© 2011 VOCALOMAKETS Powered by Bumpy Factory Corporation
商品の問い合わせ：AHS http://www.ah-soft.com/

グッドスマイルカンパニーが生み出す基本3シリーズをチェック！

ボカロフィギュア制作の発端は、開発部門のニコニコ動画ユーザーが、クリプトン・フューチャー・メディア社に申請したことから始まる。「ねんどろいど」の商品化からスタートしたボカロフィギュアは、パートナー企業「マックスファクトリー」とタッグを組んで、さらに拡大。現在のメインストリームとなる「スタチュー」「figma」「ねんどろいど」の基本シリーズを生み出している。『初音ミク』で各シリーズの違いを確認する。

SERIES03 ［ねんどろいど］

デフォルメした見た目が可愛らしい「ねんどろいど」は、ボカロフィギュアのきっかけとなった、記念碑的な存在。表情や手足を付属パーツに付け替えて、ポージングを楽しめるのが特徴。価格を下げて購入しやすくした「ねんどろいどぷち」もラインナップ。

ねんどろいど 初音ミク　3000円
2008年3月の誕生から、ロングセラーを記録する中心的なモデル。その注目度は衰えることなく、現在でも多くのユーザーを虜にしている。『鏡音リン』『鏡音レン』といった、人気のキャラクターがそろうのも人気の理由だ

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

デフォルメされつつも、ツインテールの形状ほか、背面の作り込みに妥協はない。原型制作は、初期からマックスファクトリーのあげたゆきを氏が手掛けている

「ねんどろいど」は、遊び心を膨らませる表情パーツ、小物が付属するのも魅力の要因。『初音ミク』には、定番のネギを同梱し、『はちゅねミク』にアレンジすることも可能だ

SERIES02 ［figma］

マックスファクトリーが提案する「美しさ」と「可動」の両立を目指した人気シリーズ。手足はもちろん、膝や肘までに関節パーツを設けて、自由なポージングが楽しめる。また、同梱する表情パーツの組み替えで、好みの表情にアレンジできる特徴もある。

figma 初音ミク　2500円
独自の関節パーツを組み込むことで、多彩なポージングまでが楽しめる新感覚フィギュア。『初音ミク』を象徴する、ツインテールを始め、袖口の作り込みやコスチュームといった各部のディテールは精巧だ

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

長く伸びたツインテールにも、関節と同様にジョイントを封入し、髪の毛の動きまでが楽しめる。さまざまなポーズでディスプレイできる、可動支柱付きの専用台座が付くのも、同シリーズの特徴だ

可愛らしい2種類の顔パーツと、多彩な手首パーツが付属。同梱するマイク、スタンドを組み合わせれば、躍動感あふれるステージシーンが思うままに再現できる

SERIES01 ［スタチュー］

原型師の理想を追求して造形されるシリーズで、可動ギミックはなく、ディスプレイモデルとしてリリースされている。作り手のこだわりを注入したリアルさはピカイチで、他のシリーズには少ない独創的な作品が数多くラインナップされている。

マックスファクトリー 初音ミク 8800円
パッケージに描かれたイラストのポージングをそのままに、衣装に寄った細かなシワまでを、忠実に立体化。全高約22cmの本体は、キャラクターの設定に合わせて1／7スケールと表記されている

© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

背面の作り込みは、原型師の見せ所だ。担当したシャイニングウィザード@沢近氏は、『初音ミク』を象徴する、背中越しに延びるツインテールの形状を、見事なまでの躍動感で表現した

愛らしい表情も、パッケージのイラストそのままに表現。ヘアスタイルに加えて、ヘッドマイク、コスチュームまで細かく作り込まれている

情報発信拠点、秋葉原にフィギュアの魅力が詰まったカフェがニューオープン

「グッドスマイル&カラオケ鉄人カフェ」
㊟東京都千代田区外神田 1-7-6 AKIBA カルチャーズ ZONE 5F
㊎11:00～22:00（ラストオーダー 21:00）
㊡無　問☎03-6206-8390

去る10月28日、GSCはカラオケチェーン「カラオケの鉄人」を運営する無人化計画社とタッグを組んで、東京秋葉原にコンセプトカフェをオープン。ライブなどのイベント開催に向けたステージを設置するほか、無料で利用できるカラオケルーム3部屋が用意されている。

商品の問い合わせ：グッドスマイルカンパニー 0120-915-391
※掲載した商品の中には、本誌発売日に生産・販売が休止しているため、入手しにくいモデルがあります

初音ミク、鏡音リン・レン、巡音ルカ……
人気のキャラクターが勢ぞろい。
グッドスマイルカンパニーの最新&定番を徹底取材！

ボカロフィギュア最前線

素材の進化や技術の革新に、作り手サイドの情熱をプラスして、ますますリアリティが高まるボカロフィギュア。現在、その中心となる「スタチュー」、「figma」、「ねんどろいど」の特徴を、グッドスマイルカンパニーの宮原 恵さんに解説してもらった。

写真／田中一也

ディスプレイを飛び出して、フィギュアやアパレル、トイなどで続々と商品化されているボカロキャラクター。その中でも、ファンの間で爆発的な人気を博している、ボカロフィギュアの現状をグッドスマイルカンパニー（GSC）マーケティング室の宮原 恵さんに解説してもらった。

「現在、大きなシリーズとして展開していますカテゴリーは、"figma"と"ねんどろいど"になります。共通して手足が可動するギミックを備えていて、アクションまでが楽しめるモデルになっています。ほかには、"スタチュー"と呼ばれる、ディスプレイモデルがあり、ボカロフィギュアは、この3カテゴリーに大別されます」

ここでは、ボカロフィギュアの中心になる"figma""ねんどろいど""スタチュー"の3つのカテゴリーをピックアップ。巧みなフォルムに見とれてしまう……ボカロフィギュアの魅力を再確認する。

グッドスマイルカンパニー

㊟千葉県松戸市本町14-2 松戸第一生命ビルディング2F
http://www.goodsmile.info/

ボカロを筆頭に、アニメキャラクターの玩具・フィギュアの企画、開発・製造・販売を手掛けるトップブランドだ。『初音ミク』を筆頭にしたボカロフィギュアでは、緻密で情感豊かなラインナップに多くのファンから高い評価を受けている。最近は海外アーティストとのコラボ企画のほか、カフェの運営など、幅広く展開中だ。

© supercell／CFM

造形の極みここにあり!

作り手の魂が宿るスタチューシリーズ。ファンを虜にさせる驚嘆のリアリティ

マックスファクトリー 初音ミク VN02 mix

キャラクターを原型どおりにトレースするだけに留まらず、原型師の意図をプラスするなど、あらゆるベクトルからリアリズムを追求するのが「スタチュー」シリーズ。ここにピックアップする「VN02mix」は、精密造形の粋を集めて立体化された逸品だ。

モチーフは、『初音ミク』のオリジナル曲「moon」の『VN02mix』に寄せて、なぎみそ氏が描いたイラストを、フィギュア向けにアレンジして立体化したものです」

スタチューフィギュアは、1/7または1/8といったスケールを設定して制作される、とGSCの宮原さん。また、受注生産を基本にしているので、予約を受けて生産する。過去には、1万件を超える人気作品もあったという。

「この『VN02mix』もそうですが、スタチューの商品化には時間がかかります。まずは、ポージングを含めて原型師の型起こしから始まりひととおり固まった時点で、メーカーの許諾を得ます。その後は、修正を繰り返す地道な作業の連続。『VN02mix』では、イラストイメージを打ち出そうと、PVC（ポリ塩化ビニル）を使った淡いクリア素材を多用しつつ、塗装を施すことで、イラストのイメージを表現してあります」

『VN02mix』の制作は1年がかり。造形師とメーカーの物作りへの強いこだわりが生みだした、ボカロフィギュアの大作なのだ。

マックスファクトリー 初音ミク VN02 mix
1万2800円
人気イラストレーター、なぎみそ氏とマックスファクトリーがコラボレート。同氏が描く作品のイメージが、メカニカルかつデコラティブに仕上げられている。原型制作は、シャイニングウィザード@沢近氏が担当。全高約27㎝
©なぎみそ／CFM

フィギュア化までの流れ

モチーフ決定 ◀ 原型制作 ◀ 造形確認 ◀ 彩色チェック ◀ 完成

スタチューを始めとしたフィギュアは、企画から発売まで8カ月から1年かかる。彩色前の輪郭やウエアの設定チェックは、緻密なやりとりを繰り返す。素材の使い分けは、原型師によって、ケースバイケースだという

オリジナル曲「moon」に寄せた5つの装飾

モチーフは、iroha(SASAKI)氏が手掛けた『初音ミク moon（Fullver.）オリジナル』を、ゆうゆ氏がアレンジした『初音ミク MOON REMIXIES』。その動画に描かれた作品の未来的な装飾をそのままに、なぎみそ氏がイラスト化している。

ボディスーツに入った細かなシワの形状までをリアルにモデルアップ。鋭い眼光が凛々しい『初音ミク』の表情も、他のシリーズにはあまりない演出だ

飛翔感にあふれた流麗なポージングが美しい。ボリュームを持たせた、ツインテールはクリア素材で表現されている。ディスプレイは、淡いグリーンに彩色されたPVC製だ

両腕には、SF宇宙映画を思わせるメカニカルなパーツを設定。背面にから胸回りに装飾された脊椎状の装飾は、プロテクターをイメージさせる力強い演出だ

ヘッドマイクのデザインも近未来的な形状で、作り込みも繊細。従来の『初音ミク』とは異なり、作品の世界観を表現した、大人の雰囲気が感じられるフィギュアだ

作品どおりに浮遊感が漂うイメージでまとめられ、背中から延びたアーム状の装飾も緻密だ。タイトなコスチュームに身を包んだ、セクシーな『初音ミク』が美しい

商品の問い合わせ：グッドスマイルカンパニー☎0120-915-391
※掲載した商品の中には、本誌発売日に生産・販売が休止しているため　入手しにくいモデルがあります

スタチュー LINE UP

細部の作り込みにうっとり。造形師がこだわった力作

ボカロキャラの中でも『初音ミク』は、多彩な造形師が手掛けるスタチューが数多くリリースされている。どれも個性的でインパクトにあふれた作品ばかり。ここでは、造形師がこだわりを注ぎ、フィギュア化された名作の一部を紹介する。

初音ミク　5500円
キャラクターデザインを手掛けた、KEI氏のイラストをそのままに立体化。髪の毛、スカートの一部にクリア素材を使い、透明感あふれる作品に仕上がっている。全高22㎝。原型制作は、シャイニングウィザード@沢近氏が手掛けている
© Crypton Future Media, Inc.

マックスファクトリー 初音ミク・アペンド
7800円
追加音声ライブラリ・パック『初音ミク・アペンド』より、原型師の浅井真紀氏が新たにコスチュームデザイン。全長31㎝の1/8スケールフィギュアとして立体化。パッケージのイラスト同様に、透明感にあふれる優美な姿が見事に再現された
© Crypton Future Media, Inc.

マックスファクトリー 初音ミク Tony ver.
5500円
人気イラストレーター、Tony氏が描く『初音ミク』の透明感あふれる色彩、柔らかく繊細なタッチを忠実に再現。イラストでは見えにくい部分のポージングにこだわったという力作だ。全高21.5㎝。原型制作は智恵理氏
© Crypton Future Media, Inc. ALL RIGHTS RESERVED

RACING ミク 2010ver.
7800円
2010年のSuper GTを駆け抜けた『GSR with COX』。公式マスコットキャラクターとしてイラストレーター、redjuice氏が描き下ろした「RACING ミク」を全高20㎝で立体化。原型制作は、石長櫻子（植物少女園）によるもの
© redjuice/ © Crypton Future Media.INC

“美しさ”と“可動”を両立させるfigmaシリーズ。

4つの開発コンセプトで知るfigmaのこだわり

GSCが取り扱うリアルフィギュアとして、中心的な存在がここに紹介する「figma」シリーズだ。「figma」は、ベテランモデリングライターであるMAX渡辺氏と、フィギュアアーティストの浅井真紀氏がタッグを組み、2008年に誕生した。PVCスタチューと可動フィギュアのそれぞれが持つ、造形美とギミックの完全なる両立を目指し、現在までのラインナップは100モデルを超える。肘や膝に設けた専用のジョイントで自由にポージングが楽しめるのが特徴。元のイラストを崩さずにモデル化する開発テーマもあり、登場するボカロキャラの仕上がりは秀逸だ。

マックスファクトリーは、MAX渡辺氏が代表を務めるフィギュア、玩具の企画制作、製造メーカー。「figma」のほか、アニメキャラクターやロボットものなど、幅広いアイテムを手掛ける。「figma」の販売は、GSCが行っている

「figma」4つの開発コンセプト

POINT 1 美しい造形と自然な動き

シリーズ最大の特徴は「美しさ」と「可動」の両立だ。モチーフのシルエットを崩さないよう配慮し、独自の関節ユニットによって、キャラクターの造形を損なわず、自然に「演技」をさせることを目指している

POINT 2 キャラクターデザインの尊重

肘や膝、腰周りなどに可動機構を組み込む際に、分割ラインを最適な形状にアレンジ。ポーズを付けた際に、キャラクターのプロポーションを崩さないよう、高いレベルで両立している

POINT 3 手のひらサイズの実現

サイズは、手のなかにしっくりと収まり、気軽に動かして遊べる大きさに設定。場所を取らないミニマムサイズのコレクション性を重視しつつ、各フィギュアの大きさまでが、緻密に計算されている

POINT 4 高精度の関節パーツ

「figma」に合わせて、関節パーツは高精度、高トルクを重視した専用設計。ユーザーが気持ちよく“スッ”と動き、望みのポージングが“ビシッ”と決まる、独自の構造を採用している

figma 初音ミク Append ver.
3000円
原型師の浅井真紀氏がコスチュームデザインを手掛けた『初音ミク・アペンド』が、透明感あふれるグラデーションをそのままにモデルアップ。近未来的なコスチュームに包まれた優美な姿が美しい。可動支柱を設けた、専用台座が付属する
© Crypton Future Media,Inc. All Rights Reserved.

ツインテールが立ち、腰と上腕、胸といった衣装の各部が展開する。パッケージイラストの状態も、差し替えパーツで再現可能だ。関節パーツの動きも十分で、ストレスなくポージングが決められる

figma レーシングミク 2011 初優勝記念ver.
参考商品
初音ミクGTプロジェクトのキャラクター「レーシングミク2011年ver.」を、クラス初優勝を記念して制作。「GSR & Studie with TeamUKYO」の個人スポンサー特典として作られた記念モデルで、残念ながら一般入手は不可だった
© Yuichi Murakami / Crypton Future Media, Inc.

レースクイーンとおそろいのコスチュームは、眩しいほどの美しさ。優勝トロフィー、サインボード、チェッカーフラッグ、パラソルといった付属品を初音ミクが持ち、ポージングが付けられる

figma LINE UP

ボカロ人気を支える主要キャラが勢ぞろい

『初音ミク』に加えて、クリプトン・フューチャー・メディア社がリリースする、人気キャラクターをフルラインナップ。パッケージに描かれるイメージを、細部のディテールをそのままに表現。プロポーションを崩さない、各部の動きを実現した技術力は見事だ。

figma 鏡音レン
2500円
2種類のフェイスパーツと、多彩な手首パーツで、自由なポージングが思いのまま。ヘッドセットからベルトに至る細部の形状、彩色など、完成度の高さに驚き。『鏡音リン』とセットで陳列できる、専用台座が付属する

『鏡音レン』を象徴する、ショルダーキーボードのフィギュアを付属。ストラップにより、パッケージに描かれるイラストのイメージどおりに吊り下げることが可能

figma 鏡音リン
2500円
チャームポイントであるリボンの作り込みも可愛らしく、インパクトあふれる造形がポイントだ。スムーズかつかっちり固定できる、独自設計の可動パーツにより、好みのポージングが自由自在。可動支柱採用の台座付き

付属する専用マイクをセットすれば、パワフルに歌い上げる『鏡音リン』の姿が再現できる。『鏡音レン』と組み合わせれば、ツインボーカルステージも構築可能だ

figma 巡音ルカ
2800円
メタリックカラーを施したベルトやブーツを始め、細部の彩色が美しい、キャライメージをそのままにモデル化。「通常顔」のほか、ボーカロイドらしい「歌い顔」の表情パーツを同梱。専用のディスプレイ台座付き

新たに造形した、クラシカル・スタイルのマイクに加えて、おなじみのマグロ“オオマさん”フィギュアも付属。イラストに描かれた剣を振るう姿を再現できる

figma 初音ミク 応援ver.
3000円
東日本大震災の復興を祈願する「Cheerful JAPAN!」企画の第3弾としてリリース。ボディの要素に、軟質素材を採用することで、プロポーションを崩さずに可動領域を確保。自然なポージングが楽しめるよう、モデルアップされている
© Crypton Future Media, Inc.

躍動感あふれるアクションも自在です

「微笑み顔」のほか、慈愛に満ちたを「応援顔」を同梱。新規に制作した「応援ポンポン」「応援旗」と合わせて、元気いっぱいの初音ミクをアレンジできる

マイクやマイクスタンドといった定番アイテムも付属。「ねぎ」を片手にノリノリのポーズまで付けられる。可動支柱を設けた専用台座付き

© Crypton Future Media,Inc. ALL RIGHTS RESERVED
商品の問い合わせ：グッドスマイルカンパニー 0120-915-391
※掲載した商品の中には、本誌発売日に生産・販売が休止しているため、入手しにくいモデルがあります

シリーズの幅広さがポイント。

クリプトン・フューチャー・メディアのボカロラインナップ完成！

触って楽しいそろえてうれしい！

数あるボカロフィギュアの中でも、ここに紹介する「ねんどろいど」は、ロープライスな設定もあり最も親しみやすいシリーズだ。付属のパーツで表情を替えたり、アクションを加えたり……。クリプトン・フューチャー・メディア社の人気キャラクターを、フルラインナップする点にも注目だ。

初音ミク　3000円
公式イラストを、ギュッと凝縮した、可愛らしさで人気爆発。2008年3月の誕生から、シリーズを象徴したモデルとして不動の人気を誇る。表情や手足の組み替えで、ボーカロイドをイメージした姿にアレンジできる

シリーズの中でも、断トツの人気を誇るモデル。同梱する「はちゅねミクVer.」の表情とおなじみの「ネギ」パーツをセットすれば、定番のネギ振りシーンが再現できるのだ。表情パーツを付け替えて、自分好みの「初音ミク」をアレンジしてみたい

MEIKO　3000円
"姉さん的"キャラが、ラインナップに新登場。日本語版ボーカロイドの第1弾として登場した彼女が、いよいよシリーズに加わった。躍動感あふれるパッケージイラストを、マイクやボディといった付属パーツで表現できる

「グラス」や「一升瓶」、「ワンカップ」といったパーツを同梱。ファンには、おなじみのお酒好きな姉さんキャラに変身する……コミカルな一面も楽しめる。マイクを片手に元気いっぱいな姿から、酔っ払いキャラまで、リアルなアクションが満喫できる

KAITO　3000円
2009年の発売から、ファンからのリクエストに応えていよいよ復活！　公式イラストのイメージを守りつつ表情、ボディを大胆にアレンジ。マフラーをなびかせた定番のポージングも、しっかりと再現できる

キャラクターを象徴する、微妙な動きを表現したマフラー形状がリアル。3種類の表情パーツに加えて、ファンならピンとくる「棒アイス」がしっかりと付属する。小物を付け替えてのアレンジは、マニアならずとも可愛らしく、堪らない魅力を秘めている

ねんどろいどのキホン

その1 表情パーツで感情を表現

「ねんどろいど」は、笑顔や泣き顔、眼をつぶった表情といった、キャラクターに合わせて個性あふれる表情パーツを同梱する。それらを付け替えるだけで、感情の変化までが楽しめるのだ。他のフィギュアにはない「ねんどろいど」の特徴だ

その2 付属パーツでアクション

手足に可動ギミックを備えるほか、キャラクターに合わせた小物、さまざまな動きを表現した手足パーツが付属する。「ねんどろいど」は、それらのパーツを交換することで、自由なポージングが楽しめるのだ。キャラを自分流にアレンジする面白さは、同シリーズの真骨頂だ

その3 ディスプレイできるミニマムサイズ

約10cmの高さで成形される「ねんどろいど」は、複数集めてディスプレイするにはぴったりの大きさ。素材はPVC（ポリ塩化ビニル）製でタフなスタイルにも注目だ。現在、ボーカロイドモデルは派生型を合わせて全14種類をラインアップ。彩色済みという　手軽さも魅力だ

鏡音リン　3000円
超フレッシュなツインボーカルの女の子『鏡音リン』。大きなリボンに、マイクを持ったチャーミングな姿がデスクトップに出現する。表情パーツに互換性がある、『鏡音レン』とセットでそろえたい「ねんどろいど」だ

CGM（Consumer Generated Media）サイト「ピアプロ」とのコラボ企画で生まれた表情パーツを同梱。シリーズ初となる「のっぺら顔&表情シール」が付属するのも特徴だ。手足パーツのアレンジ次第で、ポージングの幅が拡大。遊びの幅がグッと高まっている

鏡音レン　3000円
ツインボーカルという設定で誕生した『鏡音レン』もリリース中。「ねんどろいど」仕様にアレンジした、キーボードが付属し、パッケージ同様に元気いっぱいの姿が表現できる。『鏡音リン』とセット買いがマストな1体だ

『鏡音リン』と同様に「のっぺら顔&表情シール」で遊び方は無限大。リンと顔パーツに互換性があるのも特徴だ。『初音ミク』、『鏡音リン』と一緒に並べて、クリプトン・フューチャー・メディア社の「キャラクター・ボーカル・シリーズ」完全制覇を目指したい

巡音ルカ　3000円
公式イラストが放つ、クールでミステリアスな雰囲気をゆる〜く再現。手足の交換パーツで、シンガーとして可愛らしい姿にアレンジできる。公式イラストで見られない、コミカルな『ルカ』を手にしたい

心地よく歌う表情のほか、"ウルウル眼"を同梱するなど、表情パーツもバラエティに富んでいる。さらに、髪の毛をタコ足に見立てた派生デフォルメキャラクター『たこルカ』が「ねんどろいどぷち」で付属するダブルで癒されるパッケージングに注目だ

その4 収集欲をくすぐる派生・限定モデル

おなじみのキャラクターがそろうほか、イベント用に作られた派生・限定シリーズがあるのも、「ねんどろいど」の魅力を引き立てる要因だ。「第61回さっぽろ雪まつり」で雪像になった記念に発売となった『雪ミク』（左）や、「初音ミク ライブパーティー2011-39's LIVE IN TOKYO」の来場特典でモデル化された『初音ミク 桜バージョンチャーム』（中央）は完全限定モデル。最近では、東日本大震災の復興を願い"応援顔"と"応援旗"といったパーツを同梱した特別仕様『初音ミク 応援 Ver.』をリリース。1体に付き1000円がGSCを通じて日本赤十字社に寄付される試みも展開している。限定品については、ウェブサイトで公開されるのでチェックしたい

収集欲をくすぐるねんどろいどワールド

「ねんどろいど」をひと回り小さくし、1体500円というリーズナブルな価格設定での展開が「ねんどろいどぷち」シリーズだ。ラインナップがそろえやすく、セットで購入すればシークレットモデルが付属する特典付き、コレクションには最適

ねんどろいどぷち　ボーカロイド#01
『初音ミク』『鏡音リン・レン』『巡音ルカ』『KAITO』『MEIKO』といったクリプトン・フューチャー・メディア社の公式キャラクターが、全長6.5cmのフィギュアで勢ぞろい。『亞北ネル』『弱音ハク』といった派生キャラクターに、シークレットをプラスした全11種類のモデルをラインナップする。各500円

ねんどろいどぷち　レーシングミクセット
『レーシングミク』と『鏡音リン』『巡音ルカ』をメカニック姿にアレンジしたセット。レースで活躍したGTカーをイメージしたプルバックカーが付属する。3500円

ねんどろいど」は、基本形にプラスして「ぷち」というバリエーションがそろう、デフォルメフィギュアだ。前者が高さ10cm、後者は6・5cmの仕様で、他のフィギュアに比較して、ロープライスでコレクションのしやすさが特徴だ。

「見た目の可愛らしさもありますが、付属の手や足、小物などの付け替えのほか、表情パーツを交換して遊べるんです。3000円から3500円と、若いユーザーが多いことをふまえて、価格を下げています。また、イベント限定品など、特別モデルを待つ愛好家もいますね」

と解説するGSCの宮原さん。初音ミク、鏡音リン・レン、巡音ルカ、KAITOにプラスして、この冬にはMEIKOがラインナップに加わった。クリプトン・フューチャー・メディアの人気キャラが勢ぞろい……というのもニュースだ。

同じ可動ギミックを備えた「figma」と比較すると、サイズに加えてデフォルメされた造型が確認できる。「ねんどろいど」と「figma」を並べてディスプレイするのも、面白い

© Crypton Future Media, Inc.　© Yuichi Murakami / Crypton Future Media, Inc.　商品の問い合わせ：グッドスマイルカンパニー ☎0120-915-391
※掲載した商品の中には、本誌発売日に生産・販売が休止しているため、入手しにくいモデルがあります

plus NEWS HOBBY

RCレース、京商「F-GPX」に『アイスマウンテン』号が参戦！

本誌チームは、エンジンR／Cカー〝KF-01で行うシリーズ戦「KYOSHO F-GRAND PRIX」（F-GPX）への参戦を決意。すでにシリーズにチャレンジしている、弊社の商品情報誌『グッズプレス』とのコラボチームだが、10月30日に行われた第3戦にスポット参戦という形でレースに挑んだ。F-GPXは、実車両に例えると、モータースポーツの最高峰〝F1〟に相当するR／Cフォーミュラのワンメイクレース。専用サイトを介した〝チーム登録制度〟、ドライバーに発給される〝ライセンス制度〟など、競技規則は、実車両で争われるレースの現場を思わせる。さらにNFOでは、オフィシャルサイトを開設し、レースリザルトや獲得ポイントを随時紹介。ドライバーをはじめとしたチーム情報を公開する、広報活動までバックアップしてくれるのだ。チームの状況は、常に専用サイトに公開されるので、実際のF1やインディカーレースと同様、マシンのカラーリングが広告塔として成り立つ要素も秘めている。

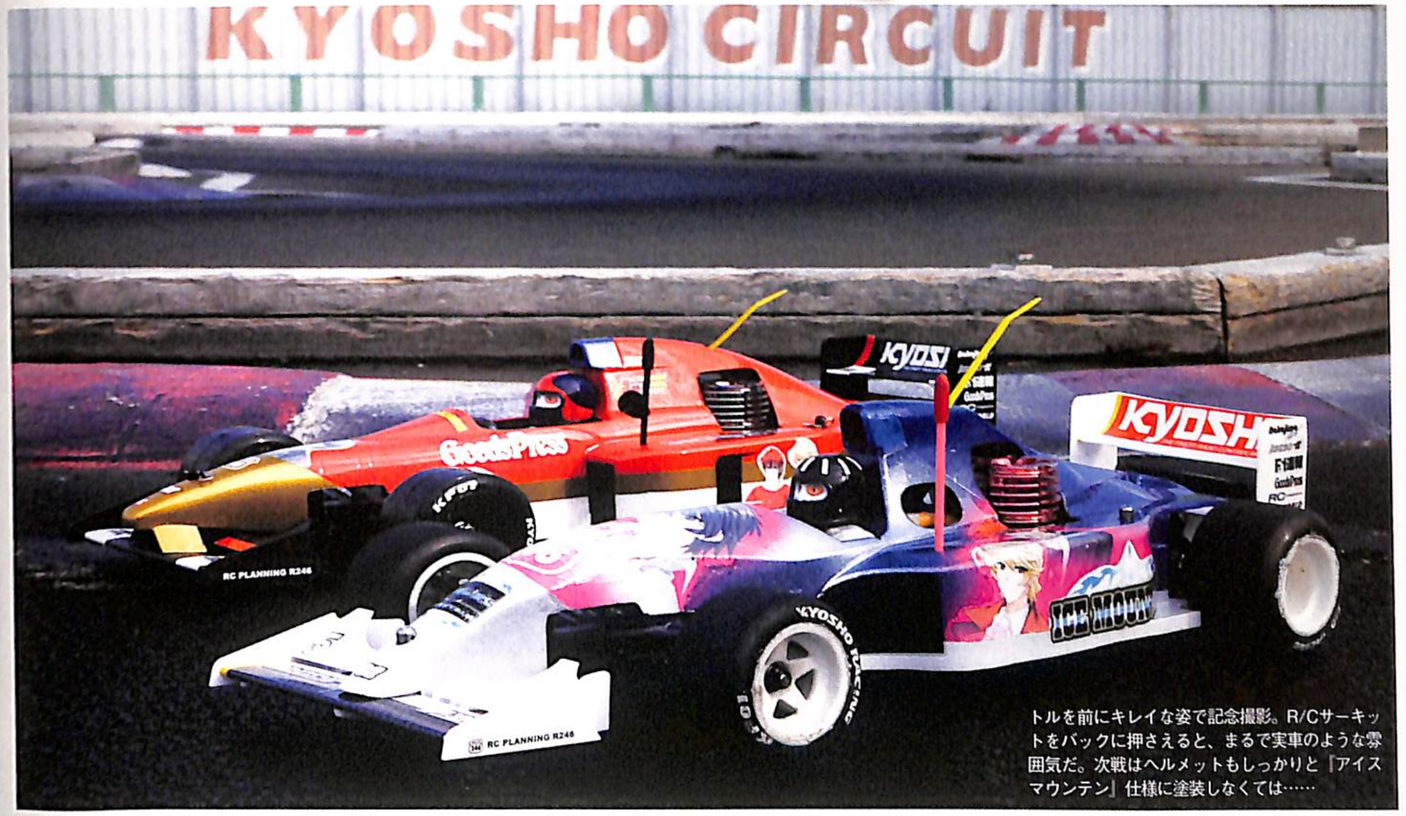
そんなR／Cレースの中では〝痛車〟となる『アイスマウンテン』号は、参加ドライバーはもちろん、取材に訪れたメディアからも注目されていたようだ。ホワイトを基調とした1号車は、フロントに『氷山キヨテル』をペイントした鮮やかさに注目。2号車は、情熱のレッドカラーをあしらい、ボディサイドにメンバーをあしらったデザインになる。どちらも、編集部のスタッフが、ペイントを行い仕上げたマシンだ。

さて、テクニシャンが集う本気のレースに『アイスマウンテン号』はどう挑んだのか？予選、決勝とヒートアップする展開にコースアウト、クラッシュが続出。美しいボディを傷つけたくないドライバーの心境か、マイペース走行でまずは予選をクリア。下位に沈んだものの、ピットを含めて、ド派手なボディに周囲の視線が集まる。それだけでも『アイスマウンテン』をアピールする上では、大きな収穫。また、R　Cカーレースに新しい息吹を注ぎ込んだようだ。4グループに分かれての決勝は？　というと。1号車は、スタートの混乱を避け快調にトップを独走したものの、途中でガス欠というトラブル。同グループで走行していた2号車にも抜かれて、惜しくも下位に沈んでしまった。その結果は……イベントは参加することに意義がある。2台とも大きなトラブルもなく無事に完走。『アイスマウンテン』号の登場で、サーキットが華やかになっただけでも、よかったよかった。次戦は上位目指して『アイスマウンテン』号の走りに期待してください！

去る10月15　16日に幕張メ　セで行われた「全日本模型ホビーショー」で、いち早くマシンを展示。模型メーカー、京商の展示ブースでメンバー全員をデザインした鮮やかなボディを披露した

京商　1／10
GPフォーミュラカー
KF01　2万4990円
(エンジン付き組み立てキット)
問京商TEL046-229-4115

F-GPX参戦用に開発された、オープンホイール仕様のR／Cカー。耐久性の高いジュラルミン製シャシーに、ハイトルクのシリオ社製09エンジンを搭載。実際のF1マシンと同様に、駆動方式は後輪2WD方式のレイアウトとなるボディは、1990年代のF1マシンを想起させるオリジナルデザイン。キットには、未塗装のポリカーボネイト製のものが同梱されているので、好みのカラーリングに仕上げることができる



トルを前にキレイな姿で記念撮影。R/Cサーキットをバックに押さえると、まるで実車のような雰囲気だ。次戦はヘルメットもしっかりと『アイスマウンテン』仕様に塗装しなくては……

直線をかっ飛ばす1号車はこの後に横転、ガス欠というアクシデントが発生

1号車とは違い、終始安定した走行で周回を重ね、無キズでレースを終えた

ボカロ曲コンシェルジュが教えてくれる！

本当にスゴイボカロ曲

「もっと評価されるべき！」と誰もが叫びたくなる名曲110～

ダブりもあります♥

毎日たくさんのボーカロイド曲がニコニコ動画で公開され、ヒット曲が生れている。その中で、さまざまな原因で埋もれてしまう名曲があります。そんな名曲を偶然見つけたときに、人に伝えたくなる気持ちと、そんな名曲を教えてほしい気持ちが出会う場所が、当企画です。今回も11人のボカロ界隈で活躍をする有識者の皆さん（コンシェルジュ）のご協力をいただき、本当にスゴイと実感できるボカロ曲をご紹介します。きっと自分にピッタリの曲があるはず……。

いぶし銀次
アンメルツＰ
imgd@パッチワークＰ
らぶ
Kuoki
ヒロトＰ
灯下はこ、
週刊ニコニコ歌ってみたランキング
ヒゲノフ・ダンスカヤ（るかなんＰ）
DJ Takuma 2000
HazardLamp

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 01

[ライブ主催者] いぶし銀次氏

ユーザー発ライブを主催・サポートする ロックンロールな 前説職人！

伝説のボカロライブ「ドキ生」の副主催として活躍したいぶし銀次さん。現在はおっさんホイホイな歌謡曲・アニソンをおっさんたちがカバーする「OSSAN IS ALIVE」というライブの主催も行っています。「聴きやすい曲、ライブで聴いたら盛り上がる曲、とにかく『わかりやすい』曲が好きなので、選曲もそんな感じです」とのこと。

Title \\ VOCALOID 初音ミク

よるのひと

うp主：手タレP
投稿日：2010／4／21

ジャンル：ワールドミュージック(ブラジル)
第一印象：手タレPさんがいっぱい！

打楽器とミクの声が幻想的 楽しいよるのお供に

Review

パンデイロをはじめとした、さまざまな楽器の演奏技術への評価も高い手タレPさん。「ブラジル東部・北東部のヘギやアフォシェといった音楽のごった煮」という本作でも、そのマルチプレイヤーぶりを堪能できます。打楽器・弦楽器のグルーヴと、ミクの声の融合が幻想的。熱帯雨林ような楽しく騒がしいパラダイスな楽曲は、夜中にテンションあげたい方にお勧め。もっとも、トリップ要素があるので、作業は進まないかもしれません。

付けたいタグ：VOCALOIDトリップ曲

Title \\ VOCALOID MEIKO

はつゆき◇リマインド

うp主：negoto（ドッP）
投稿日：2008／11／14

ジャンル：チップチューン、ポップス
第一印象：うおお、めーちゃーん！！

可愛いMEIKOを堪能できるアイドル・チップチューン

Review

MEIKOは「昔アイドルだった」というユーザー独自の設定、「咲音」という苗字も浸透しましたが、ドッPさんの作品は少なからぬ影響を与えていると思います。そんな「アイドル」MEIKOの魅力を存分に味わえるのが本作。ピコピコ動くドット絵、アイドルような甘い調声と曲調、歌詞の出し方、曲中「マイクオフで呼びかける」というコンサートの一場面のような演出、何よりコメントの一体感がすばらしい、楽しい作品です。

付けたいタグ：MEIKO親衛隊リンク

Title \\ VOCALOID 初音ミク／鏡音レン

Science Fiction Night

うp主：Plutonius（ハヤカワP）
投稿日：2009／11／23

ジャンル：テクノロック
第一印象：テンション上がってきたー！

SF！ スピード感抜群のテクノロックで宇宙飛行

Review

SF小説のタイトルをちりばめた歌詞で、ミクが歌うのにぴったりのテクノでロックでポップな一曲。冒頭のシンセとギターの音からドキドキワクワクします。サビで一気にテイクオフして、宇宙空間までとんでいくような、スピード感がある楽しい曲です。ライブでお客さんと掛け合いとかしたら、きっと盛り上がるだろうな、と思います。ちなみに、同じハヤカワPさんの作品『涙のウィニングボール』はおっさん的に激しくお勧めです。

付けたいタグ：SFロック

Title \\ VOCALOID 初音ミク

虹の伝説

うp主：堤逢叶（Tsuzumi Aito）
投稿日：2011／5／27

ジャンル：ポップス（バラード）
第一印象：綺麗な歌だなあ

柔らかで美しい曲・歌詞・調声。心やすらぐバラード

Review

自分もそれなりにおっさんでして、古きよき歌謡曲・フォークなどを好んで聴いています。堤逢叶さんは、「そんな時灯るのが愛なんだ」という曲を聴いて以来、村下孝蔵さん、チューリップなどに通じる、優しいメロディやコーラス、ストリングス、美しい日本語の歌詞に魅かれ、新作を楽しみにしています。本作もそんな"堤さん節"を堪能できる優しいバラード。「思い出すのさ」という歌詞の「さ」の部分の感情のこもり具合に注目。

付けたいタグ：日本の心

Title \\ VOCALOID 鏡音レン

Blur（ブラー）

うp主：宇宙帝国P
投稿日：2009／9／26

ジャンル：メタル
第一印象：やっぱり、そうなりますよね

見えそうで見えない何かを求める……ボカロメタル

Review

説明文が真面目なだけに嫌な予感がする本作。その予感は冒頭の哀愁漂うギター、ツーバスに乗った迫真のギターサウンドによって高められ、徐々に様子がおかしくなり、1分55秒で的中。中盤の「ブラー」という響きの一点突破としか思えない、どこかで聴いた感じのフレーズなど、突っ込みどころ満載。帳尻あわせの如く猛り狂うかっこいいギターソロにも注目。最後に求め続けた先の奇跡が、とか何とか。「おしまい」じゃねえよと。

付けたいタグ：ドリームス・カム・トゥルー

Title \\ VOCALOID 初音ミク

初音ミク／ハチミツとクローバー／イメージソング／オリジナル曲

うp主：宇宙帝国P
投稿日：2008／3／22

ジャンル：ポップス（バラード）
第一印象：まさかの超展開で笑死寸前

あれ……『ハチクロ』ってそんな話……だったかな！

Review

自分がボカロを聴き始めて最初にハマったのが宇宙帝国Pさん。超展開な楽曲の数々に、腹筋をやられ、ハートを鷲掴みにされました。ネタ曲の中でもキラリと光る、魂のギター演奏にも注目。かの名作の『ハチミツとクローバー』のイメージで作ったという本作は、春らしいバラードにセンチな歌詞……と思いきや、Bメロのひと言でまさかの展開に。そしてそのまましれっと押し切る横綱相撲。宇宙帝国Pが宇宙帝国Pたるゆえんがここに。

付けたいタグ：超展開

Title \\ VOCALOID MEIKO

-Last Terrorism.-

うp主：BingoBongoP
投稿日：2011／2／5

ジャンル：メタル
第一印象：黙ってヘドバン

正統派メタルで張り倒せ！ ボカロメタルのド真ん中

Review

当年とって33歳、メタルにあまり触れずに育ってきたハズなんですが、何でしょうこの血沸き肉踊りながらも落ち着く感じ。ツーバス、ツインリード、タイトなベースに、パワフルな高音ボーカル。あるべきものがあるべきところに。この説得力。まさに王道、ド真ん中。メタル的ビブラートが気持ちいいMEIKOの調声は「伝説のMEIKOマスター」の面目躍如。既に熱烈な支持を集めているBingoBongoPさんですが、あえて！

付けたいタグ：VOCALOID鹿鳴館入り

Title \\ VOCALOID 初音ミク

東京モノフォニック

うp主：MIDNIGHT OFFICE（真夜中P）
投稿日：2010／6／9

ジャンル：テクノ
第一印象：気持ち良い！

ベースラインが心地よい四つ打ちテクノファンク

Review

ベースラインが痺れるファンキーなトラックに、乾いた感じのする、ミクのつぶやくような声がぴったりハマっていて、気持ちよく体を揺らせる一曲。真っ赤な背景に東京タワーのシルエットという一枚絵がスタイリッシュです。「サイケデリックなシティ」という歌詞の言葉選びも、この曲には似合っていて、むしろかっこいいですね。聴けば聴くほどハマっていく、中毒性の高い、いわゆる「スルメ曲」。深夜のドライブのお供に是非。

付けたいタグ：スルメ曲

Title \\ VOCALOID 初音ミク／GUMI

ミライノート。

うp主：ばん
投稿日：2011／6／26

ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：爽やかだなあ～

ピアノが印象的な爽やかで軽やかなエレクトロニカ

Review

曲も歌詞も「さわやか」「みずみずしい」という言葉がよく似合うエレクトロニカ。とっても「青春」という感じがします。冒頭から繰り返されるピアノのフレーズがとても印象的で、軽やかで気持ちよく、スッと入ってくるような曲だと思います。ぼうし屋さん制作のPVもハイクオリティ。ブレザー姿のミクとGUMI、いいですね。ふたりのキャラクターとか関係も色々想像できます。なんだか女子高生の箱庭を覗いているような感じです。

付けたいタグ：新世代の渋谷系

Title \\ VOCALOID GUMI

星落ちる

うp主：MARUDARUMA
投稿日：2011／7／4

ジャンル：ロック
第一印象：ライブで聴きたい

確かな個性を持ったVOCAROCKの新星

Review

冒頭のシンバル4発と前奏でズバーっと魂持っていかれました。いわゆるひと聴き惚れ。疾走感のあるバンドサウンド、リズミカルで独特な歌詞、調声と、魅力的で確かなものを感じ、手描きの絵もよい味出しています。「どうして？」という歌詞の切実さが心を打ちます。2011年ボカロPデビューのMARUDARUMAさん。先般『あいからかいあ』がスマッシュヒットしましたが、ロック好き・ライブ好きはこれから要注目です。

付けたいタグ：期待の新人

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 02

[ボカロP] アンメルツP氏

曲を作って、聴いて、つないで…… ボカロの可能性を追い続けるPさん

鏡音コンピCD＆画集企画「kagamination」を主催するボカロPさん。楽曲制作のほか、ボカロ曲によるメドレー動画制作や、その収録曲を紹介した個人誌を発行する活動も行う。P名の由来はAnnで「メルト」をカバーしたことから。代表曲は「トモエ」「まちがいレター」など。どんな鏡音リン・レン曲をオススメしてくれるのかも注目です！

Title \\ VOCALOID 巡音ルカ／歌愛ユキ

ベツレヘムの雪

うp主：人工モノクローム
投稿日：2009／12／5

ジャンル：ポップス
第一印象：切なくも暖かい

ルカとユキが優しく語るクリスマスの切ない奇跡

Review

クリスマスソングといえば、恋愛ものや、中止を叫ぶネタ曲などが多くありますが、この曲はそのどちらでもなく、ある雪の降らない街に訪れる物語音楽です。ストーリーは決して一辺倒に明るくはないのですが、聴き終えたときにやるせなさにも似た切なさと、温かい気持ちが同時にこみあげてくる不思議な歌です。ルカとユキのデュエットは、まるで母が子どもに絵本を読み聞かせるような味わいを持っています。優しいオケも素敵です。

付けたいタグ：ルカユキの伝道師

Title \\ VOCALOID 鏡音リン

曼荼羅

うp主：FMAK（曼荼羅P）
投稿日：2009／6／4

ジャンル：プログレッシブロック
第一印象：長編映画を見たような気分

11分間に及ぶ壮大なドラマがここにある

Review

「傷付け合う為に、出会ったわけじゃないよね？」曼荼羅Pさんの P名由来となった作品。11分34秒という長さで綴られるロック。序盤の静寂を引き裂くように轟くギター、人間の本質に迫る哲学にも似た歌詞、後半間奏部分でのリンの絶叫、エンディング前の壮大なブラス。何も言わず最初から最後まで通してぜひ聴いていただきたい。いつかは自分も死ぬまでに一曲はこのような曲を完成させてみたいものです。

付けたいタグ：鏡音リン名曲リンク

Title \\ VOCALOID 初音ミク

Between the sheets

うp主：mirgliP
投稿日：2010／12／23

ジャンル：ドラムンベース
第一印象：クールでオシャレ

都会の夜がよく似合う大人のドラムンベース

Review

mirgliPさん初ボカロ曲。ドラムンベースのリズムに上モノがブラス。一見異色の組み合わせがばっちりと噛み合っており、サウンドメイキングの実力の高さを感じさせる作品となっています。軽快なリズム、オシャレなベースラインとカッティングギター、ちょっと低音で落ち着いた感じに調整されたミクの声。その声によく合う歌詞は、まさに大人の女性の余裕を感じさせるものとなっています。都会のナイトスポットで聴きたい一曲。

付けたいタグ：大人のミク曲

Title \\ VOCALOID 鏡音レン

Anthem

うp主：相崎（ワールドワイドP）
投稿日：2009／10／19

ジャンル：ポップス
第一印象：そうきたか！　うおおおお

ありったけの想いを込めてレンが語りかける応援歌

Review

レンがバンドを引っさげてライブで歌う応援歌。これまで歩いてきた苦難の道を振り返りながら、満員の観客とレン自身へと語りかけていきます。そして最後には、レン本人も知らされていなかった思わぬ展開が！　ニューミュージックと2000年代J-POPのいいところ取りの曲調です。この物語の前にあたるバラード「SUiTE」と共に聴きたい一曲。「鏡音新曲ランキング」1位獲得作品ですが、このランキングすらストーリーの一部に感じてしまいます。

付けたいタグ：3：25

Title \\ VOCALOID 鏡音レン

遠いいざなみ

うp主：クラフトP
投稿日：2009／12／24

ジャンル：バラードロック
第一印象：言葉にならない

今を生きる人間すべてに捧げる祈りの歌

Review

音楽で世界を変えられるかどうかなんてわからない。それでも……。2009年のクリスマスイブの日、クラフトPと裏花火さんがたくさんの仲間と共に作り上げ、インターネットの隅っこから全世界へ向けて発信された、平和への祈りの歌。この曲は、ぜひ原曲動画で、寄せられた渾身のイラストや写真とともに7分間を過ごしていただきたい。これが、人の心を動かす創作の力だ。タグ「百億分のいくつかの中に私の願いも篭ってる」

付けたいタグ：鏡音レン名曲リンク

Title \\ VOCALOID 鏡音リン

いま、ここで

うp主：やまだ
投稿日：2009／2／25

ジャンル：バラードロック
第一印象：心に刺さる曲

帰りの電車で聴きたいそれぞれの別れの歌

Review

別れの際の寂しさや孤独感、痛みなどさまざまな感情が沸き上がってくる、リンによるミディアムスローなバラードロック。ピアノとブレイクビーツが響く序盤の展開から、サビでギターが入り一気に盛りあがります。サビの歌詞は極限まで削ぎ落したシンプルな表現だけに、曲を聴いたそれぞれの人にそれぞれの別れの情景が思い浮かぶような楽曲になっており、聴けば聴くほど、また大人になっていくほどに味が出てくるものとなっています。

付けたいタグ：もっと評価されるべき

Title \\ VOCALOID 鏡音リン

次元カンパネラ

うp主：150P
投稿日：2009／7／19

ジャンル：ポップス
第一印象：胸が熱くなる

ボカロの存在意義を綴る暖かい打ち込み曲

Review

「銀の少女」「Lost Destination」などのヒット曲を持つ150Pさんの記念すべきボカロデビュー曲。「次元なんて、なくなってしまえばいいのに」が直接のテーマなのですが、それを通してリンが「うたうこと」という自分の存在意義を見つめ直すという、自己言及的なキャラソンでもあります。ミドルテンポの四つ打ち曲でありながら、随所に暖かみを感じるサウンドも特徴で、ボカロに対する氏の愛情が注ぎ込まれた仕上がっています。

付けたいタグ：伝説のリン廃

Title \\ VOCALOID Sweet Ann

Very7

うp主：andromeca
投稿日：2008／8／23

ジャンル：ロック
第一印象：怪しい雰囲気

果たして犯人は誰だ？ Annが投げかける事件

Review

「伝説のAnnマスター」andromecaさんによる作品。Sweet Annはそれ自体がもっと評価されるべきボカロで、素直な英語のつながりはVOCALOID2で初めての製品(発売はミクよりも前)とは思えないほど高性能です。この曲はややミディアムスローのロックナンバーで、歌詞は英国の推理モノを思わせるものとなっています。やや幼い感じにコントロールされた声や、不穏なベースラインなどが一体となって、この「事件」を引き立てています。

付けたいタグ：脳内Ann

Title \\ VOCALOID BIG−AL

Little Toy Robot

うp主：さささP
投稿日：2010／1／25

ジャンル：ポップス（みんなのうた）
第一印象：あったかくて泣ける

BIG-ALの低音が魅力 優しいみんなのうた

Review

優しさとノスタルジーに溢れたみんなのうた的一曲。おもちゃのロボット視点という設定が、海外組VOCALOIDのBIG-ALの特徴である、暖かみのある低音とよくマッチしており、かつて子どもの頃ブリキのおもちゃなどで遊んだ経験のある大人が聴いたら、泣きながら久々に押し入れの奥を整理したくなる衝動に駆られるかもしれません。この曲の派生PV（sm12924592）がまた至高の出来なのでそちらも必見です。涙腺崩壊注意。

付けたいタグ：セルフエコノミー

Title \\ VOCALOID 巡音ルカ

Fantastic

うp主：モノローグP
投稿日：2009／11／18

ジャンル：テクノポップ
第一印象：これぞルカさんの真骨頂！

英語ルカのかわいさ全開踊れるテクノポップ

Review

ルカの持つ無邪気なかわいさを引き出した、踊れるテクノポップ風味の四つ打ちダンスナンバーです。この曲は、とにかくルカの自然な英語が魅力です。ルカの英語DBは、エディターで発音記号をうまく分割したり、高音の摩擦音を取り除くのに苦労したりと、扱いの難易度がやや高いのですが、氏の非常に高い調声技術、また土台となる歌詞制作にネイティブの協力を得たことにより、完全に洋楽の気分で聴けるものとなっています。

付けたいタグ：かわいいルカうた

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 03

[聴き専／ボカロP]
imgd@パッチワークP氏

「ONETOP」でVOCALOID楽曲紹介キュレーターを担当中！

アイティメディアのキュレーションメディア「ONETOPI」で、VOCALOID楽曲紹介 (Twitter ID : @vocalosong1topi) を担当しているボカロPさん。前回紹介しきれなかったオススメ曲を新たに選んでいただきました。普段からジャンルを問わず、たくさんのボカロ曲を聴いている聴き専として、今回も多彩なジャンルの曲を選んでいただきました。

Title VOCALOID 初音ミク

夜を抱きしめて～あかさたな

うp主：けいこうと
投稿日：2010／5／1
ジャンル：アナクロ歌謡
第一印象：何事だこれは？

デジタルでアナログな香りただよう逸品

Review

ボーカロイドと動画サイトの組み合わせによって、世に埋もれていた天才、というより異才・鬼才が数多く表に現れるようになり、その層の厚さに改めて感嘆することになった。氏もその中のひとり。あまりにもナンセンスな歌詞やレトロな曲調のどちらも素晴らしいが、やはり特筆すべきは、手書きの動画であろう。8mmフィルムの自主制作映画を思わせるその出来栄えを、ぜひともご堪能いただきたい。

付けたいタグ：らりるれろ～♪

Title VOCALOID ミク／GUMI／miki

粉雪メロディー

うp主：M@SATOSHI（あルカP）
投稿日：2009／12／18
ジャンル：90年代ポップ
第一印象：TKチルドレンだ！

靴下を3つぶら下げて待っています

Review

人工合成の唄声に個性は宿るのかという問いには、数を聴けば誰でもそのうち答えられるようになるのだが、手っ取り早く済ますなら、合唱曲をいくつか聴いてみるとよい。ライブラリごとの声色に加え、作り手の細かな調整によって、個性としか表現しようのない特徴を得られることが理解できるだろう。この作品は、各キャラクターを生かしつつボーカルパートを順に回す演出などを加えた、キュートなアイドルソングに仕上がっている。

付けたいタグ：電脳キャンディーズ

Title VOCALOID 鏡音リン

tear

うp主：ラマーズP
投稿日：2011／6／13
ジャンル：リリカルポップ
第一印象：切ないなあ

音楽好きなら！！聴き逃すわけにはいかない

Review

いわゆる祭の引き金になることが多いので誤解されているかも知れないが、ワタシは氏を、稀代のメロディメーカーだと思っている。一度耳にすれば誰でもすぐに覚えられる、インパクトが強くて底抜けにポップな作品群は、国籍、言語、人種、性別、年齢の壁を越えて、広く訴えかける力がある。そういう氏がいまだに真面目でシャイなのは、これを聴けばお分かりいただけるだろうが、それはとても嬉しいことなのだ。

付けたいタグ：隠れた名曲

Title VOCALOID 歌愛ユキ

ボカロ小学生にとても暗いオリジナル曲を歌わせてみた

うp主：sapara（あしたのP）
投稿日：2010／1／16
ジャンル：根暗フォーク
第一印象：暗っ！（褒め言葉）

誰か幸せにしてあげて頼むから……

Review

正式な曲名は「世界なんて一瞬で変わる」。実によくできた内省的なフォークのリバイバルだが、ユキちゃんの幸せ薄そうな唄声があまりにもフィットしていて、聴いているうちに複雑な表情になる。祖父母の家に遊びに行った小学生の女の子が、古いギターとスコアを見つけて弾き語りしてるうちに感情移入しちゃって、周りの大人がそれを聴いて思わず泣きだしたような、いたたまれない空気感がたまらない。

付けたいタグ：元気を出してほしいうた

Title VOCALOID MEIKO

sad song

うp主：function
投稿日：2008／10／05
ジャンル：R&B
第一印象：渋いなあ

MEIKOさんがステキ 年長組の魅力を再確認

Review

MEIKOとKAITOは年長組と呼ばれ熱狂的なファンを獲得しているが、その理由のひとつは、皆で寄ってたかって肉付けしたキャラクターの魅力である。パッケージイラストと、初音ミクより先に発売されていたという事実のみを根拠に、（呑んべえな）姉と（いじられ役な）兄のイメージをつくり上げ、さらにはこんなアダルトな作品まで生み出してしまう。そのパワーにひたすら脱帽する。

付けたいタグ：きれいなお姉さんは好きですか

Title UTAU 重音テト

重音テトの嘘八百

うp主：グロイ・アンダーソン
投稿日：2009／4／1
ジャンル：いたずらポップ
第一印象：無邪気だなあ

これは嘘です 嘘なんです……

Review

ボーカロイド界隈はちょっとメジャー志向になってしまったとお嘆きのあなた。UTAUを忘れちゃいないかい？ キャラクターも音声ライブラリも大量に揃っていて、何よりも自由で尖った才能の宝庫である。その中から今回は、氏のこの作品を紹介したい。馬鹿馬鹿しい内容でも決して手を抜かずエンターテインメントに徹するその姿勢は、もっとリスペクトされて然るべきである。

付けたいタグ：USO800

Title VOCALOID 鏡音リン

魔法が解ける前に

うp主：FMAK（曼荼羅P）
投稿日：2011／6／20
ジャンル：バラード
第一印象：涙

あのときを忘れずに いまを生きるための魔法

Review

もしも叶うことなら、時計の針を巻き戻したい。楽しく過ごした時間を、夢心地のまま繰り返していられるのなら。だけど、そんな方法はどこにもない。眼前には、つらく悲しい現実が横たわるだけだ。でもひとつだけ、夢を見続ける魔法がある。2011年の記憶とともに、スピーカーから聴こえる天使のような唄声が、それをあなたに教えてくれるだろう。次も笑顔で逢おう。そう約束しよう。

付けたいタグ：切ないうた

Title UTAU 雪歌ユフ

冷たい記憶

うp主：シュールレアリスムを正しく理解するP
投稿日：2011／4／16
ジャンル：キラキラひねくれポップ
第一印象：これは後を引くなあ

音楽で聴く、脳とセンスのストレッチ体操

Review

P名が示す通り、ボーカロイド・UTAU界隈きっての知性派・理論派である氏の作品群は、常にひと筋縄ではいかない。コードの展開でポップソングのお約束の裏をかきつつスリリングに紡がれるメロディは、さながらプリズムを通して覗いた七色の光の点描のよう。しかしこの快感こそ、氏の思惑通りである。それを見た氏がポーカーフェイスのまま心の中でほくそ笑んでいる姿が想像できて、かなりくやしいのが正直なところ。

付けたいタグ：ふんわりやさしいうた

Title VOCALOID 巡音ルカ

青百合の女主人

うp主：ドグマ虫（南欧P）
投稿日：2011／5／28
ジャンル：タンゴ
第一印象：なにごとが起きたんだ？

ホンモノの味が分かる方にオススメの一曲

Review

あらゆる音楽ジャンルが交錯するこの界隈は一種のパロディ合戦みたいな状況なのだが、ある日突然、それを突き抜ける「ホンモノ」が現れて、心の底から驚かされることがある。この作品は、そういう種類のものだ。どこをどう聴いても、オーソドックスなタンゴの文法そのまま。オケも、かなりのパートが生録音であろう。ボーカロイドの楽曲で、ここまでできるという好例である。

付けたいタグ：これぞホンモノ

Title VOCALOID 猫村いろは／吉田くん

伝説の阿婆擦れ女

うp主：秋葉原ヲタ夫（アキバヲタP）
投稿日：2011／8／13
ジャンル：あばずれロック
第一印象：吉田くんいい仕事してる

うさんくささ全開！猫村巻き舌ロック！

Review

猫村さんの可能性を多くの人に気づかせたのは、ひとえに氏の功績であろう。キャラクターに隠れた唄声のポテンシャルを引き出して丁寧に作品世界へと落とし込む手腕には、唸るしかあるまい。夜の薄汚れた繁華街の路地裏で、陰鬱な影とすえた匂いを帯びながら、誰に遠慮することなく思い切り生を謳歌する。そんな時代錯誤で不器用で憎めない奴らは、いまは少なくなっちまったかも知れねえが。

付けたいタグ：姐△

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 04

[聴き専]
らぷ氏

隔週でボーカロイド曲を紹介するメルマガ「Vocapedia」を発行中！

隔週で発行しているメルマガ「Vocapedia」の中で、ボーカロイド曲を紹介している聴き専のらぷさん。曲を紹介してくださいとオファーしたところ、埋もれ名曲の中で、らぷさんが本当に好きな曲から10曲選んでいただきました。この紹介曲を聴いて、もっとらぷさんが選ぶ曲を聴きたくなった方は、メルマガ「Vocapedia」に今すぐアクセス！

Title VOCALOID 初音ミク

インセクト・ラブ

うp主：山本ニュー
投稿日：2008／3／15
ジャンル：フォーク
第一印象：なんじゃこりゃあ！

推敲され尽くした音楽！フォーク好きは絶対聴け！

Review

この曲には何か秘めた力が宿っている。そう感じずにはいられない！ 今にも爆発しそうなエネルギーをたっぷりと、でもそれを優しい力で包み隠している不思議なパワーがあるように感じられる名曲。ミクの優しい歌声に怖いくらいマッチしているフォークギターは必聴！ 優しいミクの声だからいいのです。一時期取り憑かれたようにヘビロテしてました。洗練された音に推敲された歌詞。どれをとっても山本ニューさん、すごすぎるよ！

付けたいタグ：過剰埋没動画

Title VOCALOID 鏡音リン

ハルマゲ音頭

うp主：キャプテンミライ
投稿日：2010／11／6
ジャンル：ロック
第一印象：タイトル詐欺

どんどんハルマゲドン♪……だまされたな？

Review

どんどん！ ハルマゲドン♪タイトル詐欺なこの曲、ハルマゲ「音頭」といってもそんなことはないぞ！ 聴くときは爆音推奨。動画を開いて真っ先に耳に飛び込んでくるのは暗い音を掻き鳴らすギター。チャカチャカとしたリズムに、リンの鋭気に溢れた歌声。そしてどことなくダークな雰囲気。コレをかっこいいと言わず何をかっこいいという！ あっ今「マルハゲ音頭」に見えたとか言った人！ 怒らないから後で職員室まで来なさい！

付けたいタグ：爆音推奨

Title VOCALOID 鏡音リン

トキメキ×ミサイル

うp主：マクガフィン
投稿日：2009／7／21
ジャンル：ポップス
第一印象：テンション上がりすぎてヤバイ

なんだこの曲可愛すぎ！後味爽やか気持ちポップ！

Review

リンちゃんかわいいいい！ ……っと、またしても失礼。今度はポップでキュートなポップスだ！ いいからいいから1分15秒までは絶対に聴こう。最初はゆっくりエンジンをかけて……サビでばーっと盛りあげる！ わかってはいるけどこの盛りあげ方は反則！ 気持ちよすぎ！ 曲の終わりに向けてどんどん盛りあげてきて、気持ちよさだけ残して去っていく、後味すっきりのすっごく気持ちいい曲だ。聴いてノリノリになること間違いなし！

付けたいタグ：ミサイルが俺に直撃

Title VOCALOID 初音ミク

スタートライン

うp主：ヤブイヌ
投稿日：2011／6／16
ジャンル：テクノポップ
第一印象：曲もいいしPVも凄い！

やる気を与えてくれた名曲 スタートラインを超えろ！

Review

PV曲ともによし。何故こんなに評価されてないのだろう。まず耳に飛び込んでくるのは暗い音色のかっちょいいベースそしてPV！ イントロの時点からもう鳥肌！ 小気味好いリズムに可愛いPVが相まってすばらしいのひと言。家でじっと聴くよりバイクか何かで外に出て、そこで爽やかな風を受けながら聴きたい曲。個人的な話、僕もメルマガを出すまで言い訳つけて何もやってませんでした。まずはスタートラインを踏み出すのが大事だね！

付けたいタグ：おれらのうた

Title VOCALOID 開発コードmiki

うぇんずでー・ぶるー

うp主：ミキト（みきとP）
投稿日：2010／3／28
ジャンル：ロック
第一印象：調教すげぇ……

だるだるな水曜日 うぇんずでー・ぶるーに

Review

mikiちゃんかわいいいいい……っと失礼、取り乱しました。だってこんなに可愛いんだもの！ 気怠いギターに気怠いmikiの声。ゆるーいロック！ 気怠い歌声にのせて響くかっこいいギターサウンド、ドラムスなんかもう最高！ サビの盛り上がりなんて、気持ちよすぎて鳥肌通り越して涙が出てきました。これを聴いて惚れないわけない！ ノリにノったら一緒に口ずさめば気持ちいい！ 水曜日に、ウェンズデーブルーに、どうぞ。

付けたいタグ：魂実装済み

Title VOCALOID リン／レン／ミク

boring bowling

うp主：すんzりヴぇrP
投稿日：2011／7／19
ジャンル：カントリー
第一印象：うおおリンちゃんかわええ……

全米が萌えたぁぁぁぁ！曲、歌詞、PVよしの名曲

Review

ボカロでカントリー。聴いた事ありますか？ ない？ ならばこの曲がおすすめだ！ 実はアメリカのANIME EXPOでも流れた……っと、ご託は置いておいて。とにかくいい曲なのですよ。ギターサウンドはなんだかロックっぽいけれど、途中で口笛入っちゃってたりとか。でもカントリーって悪くないでしょ？ PVもボーリングのピン風の衣装がとってもかわいい！ そういえばすんzりヴぇrPさんのリンちゃんは球技が苦手なのかな？

付けたいタグ：リンちゃんマジ天使

Title VOCALOID 初音ミク

一時、迷いのおままごと

うp主：hara（フナコシP）
投稿日：2010／8／5
ジャンル：歌謡曲
第一印象：詩がよすぎる！

心の芯から暖まる！幸せ一杯の超・名曲！

Review

歌謡曲とはとても詩に力が入っている曲の事で、この曲はまさにソレだ！ 結婚式用に作ったというこの曲、幸せな気分で一杯にしてくれる詩が書かれている。そしてこれも好きすぎて涙がでた曲だ！ 曲はエレピとクラシックギターをメインに使われていて、音は優しく、曲は楽しいけれど癒されるものに仕上がっている。PVは歌詞の出し方がとてもうまく、曲を盛りあげるいいポイントとなっている。詩、曲、PVどれももっと評価されるべき！

付けたいタグ：末永く爆発しろ

Title VOCALOID 初音ミク

さよなら、ロックスター

うp主：あつぞうくん
投稿日：2009／4／5
ジャンル：ロック
第一印象：うおおおおおおおお（涙）

爽やか過ぎて涙が出る！このロック、至高

Review

よってらっしゃいみてらっしゃい。軽い爽やかなロックはいかがですか？ あつぞうくんお得意の渋谷系ソング！ 底抜けに爽やかで、なんだか懐かしい音で、キラッキラしてて……涙が出そうな曲だ。曲を見つけたばかりの頃、好き過ぎて不思議と涙が出てきたんだよなぁ。実話ですよ。元々は英語歌詞で、カタカナ英語で歌うミクさんが可愛かったんだけど……今は非公開みたい。うーん残念！ さあ、そこのあなたも箒片手にレッツエアギター！

付けたいタグ：爽やかなミクうた

Title VOCALOID 初音ミク

まってて

うp主：cls（innocentCore）
投稿日：2010／10／29
ジャンル：ポップス
第一印象：えっ伸びてなさ過ぎでしょ……

カワイイPVにカワイイ曲！曲を聴いて駆け出そう！

Review

ぽっぷで可愛いぴこぴこちゅーん。大好きな君の事を思って何も手がつかない！ ああ、早く君に会いたい！ ……そんな気持ちが満ち溢れてるとっても可愛い曲だ。陽気な日に聴いていればこのPVのように駆け出したしたくなること間違いなし！ 曲はキラキラしすぎず穏やかで、だけどピコピコ可愛らしい。Azusa氏の絵にくろねい氏作成のPVも必見！ コメントでは英語圏の人に愛されているみたい。我ら日本人もコメントしに行こうぜ！

付けたいタグ：かわいいミクうた

Title VOCALOID 鏡音リン

dolly dolly

うp主：曲者P@SWANTONE
投稿日：2009／11／4
ジャンル：テクノポップ
第一印象：キラキラでピコピコで甘ーい！

キラッキラでピッコピコ！超絶かわいい渋谷系ポップ

Review

どーりぃーどーり♪スキップで歩きたくなるような渋谷系ポップス。なんだこの販促動画！ と思わずつっこみを入れちゃうほどのドール愛に満ちたおされなPV&曲。お人形さんは好きかな？ それほどでもない？ この曲を聴けば好きになっちゃうよ！ 可愛い渋谷系テクノポップだけどこれは他のものとは明らかに違う、最初から最後までキラッキラであまーい曲だ。ボカロPVでは珍しい町中で撮影した実写PVは必見！ さあ、動画の再生だ！

付けたいタグ：萌えリンソング

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 05

[聴き専]
Kuoki氏

ボカロ情報を取りまとめる ボカロ界のフィールドワーカー

ボーカロイド・シーンに魅了されて、さまざまな切り口でボカロ文化を観察し続けている聴き専のKuokiさん。ご自身の「VOCALOID・UTAU関連のまとめ of まとめ」というブログで、「処女作ピックアップ！」「期待の新人＆埋もれた良作ピックアップ！」など、ボーカロイド関連の情報を取りまとめている。紹介曲に期待が持てます！

Title VOCALOID 開発コードmiki

真夜中に

うp主：shamas
投稿日：2011／2／4
ジャンル：エレクトロニカ・ポップ
第一印象：mikiの時代がきた！

よく眠れない方へ贈る よく聴く睡眠薬

Review

mikiのちょっとかすれ気味だけど可愛い声質が曲調にぴったり。日中に聴いても布団敷いてほしくなります。優しいバイオリンの音色に包まれてはじまるイントロから、徐々に音が重なりあっていきます。曲が進むに従って、文章ではなく単語を細く長く紡ぐmikiの声が深い眠りに落ちていくような錯覚を与えてくれますおやすみなさい。

付けたいタグ：miki革命

Title VOCALOID 初音ミク

アンプリファー

うp主：Bos
投稿日：2011／1／29
ジャンル：ロック
第一印象：動画から風が！

背中にジャックが ついている人用の歌

Review

イントロから徐々に加速度があがってピークのサビがくるとまるでスポーツカーに乗っているような印象。感想はピアノのジェットコースターに強制的に乗り換えさせられた後に三回転半決めさせられて、もう一回スポーツカーに乗せられて地平の向こうにぶっ飛ばされます。音が増幅されるだけでなく没入感も増幅されるアンプリファー。

付けたいタグ：全力疾走しながら聴く曲

Title VOCALOID 初音ミク

けいおん!映画化を祝って初音ミクが歌ってくれました☆

うp主：majet
投稿日：2011／7／25
ジャンル：ロック・青春
第一印象：JKになりたい

今年の卒業式はこの歌で 新しい一歩を踏み出します

Review

実は「けいおん！」は最終回を見ただけなんですが、曲自体は「けいおん！」を頼ること無く、学生時代を友人たちと過ごした青春時代を思い出させてくれます。まるでこの曲を聴いている間は友人が隣にいてくれて「あんなこともあったねー」と笑って話しかけてくれているような気持ちにさせてくれる曲です。卒業式にみんなで合唱したい！

付けたいタグ：けいおん二期のED曲希望

Title VOCALOID 初音ミク

Summer in Nostalgia

うp主：Sugimoto Kasuga
投稿日：2011／6／13
ジャンル：ポップス・夏
第一印象：溶ける

節電対策に貢献した？ 聴くと涼しくなれる曲

Review

梅雨の時期に投稿された曲です。聴き終わった後、あまりの爽やかさに梅雨終わったんじゃないか！　と思いましたが次の日は曇ってました。ノスタルジックで子ども時代の夏の日を思い出させてくれる歌詞と、ふわふわしたミクさんのバックコーラスが髄に直接染み渡って体中とろとろ溶かしてくれます。ストレスも追い出してくれるとことん気持ちのいい作品です。

付けたいタグ：涼しくなれるミク曲

Title VOCALOID 巡音ルカ

and　me

うp主：Rubik
投稿日：2011／6／6
ジャンル：ラウンジ
第一印象：バカンス行きたい

曲を聴き終えると そこはリゾートだった

Review

再生するだけであなたの部屋の空気をちょっぴりゴージャスにしてくれます。そうRubikさん曲ならね。バカンスに行くことがあったら旅行カバンにこの曲が入ったCDを忘れずにおいてください。この方の作品はどれもアダルトなカッコよさがあります。リゾートホテルのCMで使われていても違和感全然なく耳に入ってきてくれそうです。

付けたいタグ：R26くらい

Title VOCALOID 初音ミク

デーヴァナーガリー

うp主：SimSweMis
投稿日：2011／2／10
ジャンル：ロック
第一印象：ベースは刃物

死因：ショック死 凶器：鋭い切れ味のベース

Review

殺人現場でこの曲がかかった痕跡が見つかったら凶器はベースと特定されそうな切れ味満点のベースがかっこいい。一気通貫で厨ニ病全開の歌詞と設定もここまでくる逆に清々しい。厨ニ病にありがちなありえない設定もスーパー気持ちいいスラップベースで妙に説得させられます。

付けたいタグ：カレー食べたい

Title VOCALOID 初音ミク

最後の季節

うp主：木下あんず・木下のぼる
投稿日：2011／10／7
ジャンル：ポップス
第一印象：作詞家さんの話聞いてあげたい

やぶれた恋の絆創膏 この曲で癒して下さい

Review

歌詞と曲を書くお姉さん、それを聴いて編曲する弟さん。それを歌うミクのやり取りを想像すると、とってもほっこりしてしまいます。でも、これだけ聴きいってしまう歌詞だと「姉ちゃん何があったんだよ……」と気が気でない弟さんの心情にまで思いが及んでちょっと心配。そんな気も知らずに淡々と歌うミクさんは何を思っていたんでしょうか。

付けたいタグ：失恋の心構え

Title VOCALOID 鏡音リン

solubility

うp主：rena（R6 project）
投稿日：2011／10／1
ジャンル：エレクトロポップ
第一印象：リンちゃんも苦労が多いな

冷静なリンちゃんの 冷静じゃない恋の歌

Review

真っ白な壁の部屋にプラスチックな皿に乗せられて出てきたメロディ。でもほのかに温かみを感じるのは恋を歌った曲であるのと、隠れた言葉遊びが効いているせいかも。歌詞は恋する気持ちに翻弄されるツンデレっ子の山あり谷ありの心境の変化を綴っているので、同じ状況にある人はキュンキュンしちゃうんじゃないでしょうか。題名の「solubility」も和訳するとボカロ曲好きなら例の曲と繋げて考えてしまうかも。

付けたいタグ：リンちゃん恋をする

Title VOCALOID 鏡音リン

LStDream

うp主：jestar
投稿日：2011／9／23
ジャンル：ピアノ・バラード
第一印象：リンちゃんも大変だな

リンちゃんになら 殺されて許します

Review

ピアノにウッドベース、上モノが乗ったジャジーな構成。そこに元気娘の印象が強いあのリンちゃんがささやき声で糸を紡ぐように歌います。女子にも厨ニ病があるのならこういった気持ちが渦巻いているんでしょうか。感受性豊かな方は天気の悪い日や暗い部屋で聴くと滅入ってしまったり、意味もなく人の首を締めたくなるのでご注意。

付けたいタグ：リンちゃん人を殺す

Title VOCALOID 初音ミク

nighter noise

うp主：Olmi
投稿日：2011／8／4
ジャンル：ロック・バラード
第一印象：銀河鉄道のミク

夜汽車に乗ってひとつの イヤホンで二人で聴こう

Review

イントロの国に住むギター王子の作品。キャッチーではあるけれど嫌味の全くないフレーズは清涼飲料水のようです。イオン分も含んでいるので、耳から入って体の芯まで潤されている気分にしてくれます。雲や水や月を思い起こさせる曲調と相まって、ディスプレイからマイナスイオン出ているんじゃないかと思わせる程の癒し効果があります。

付けたいタグ：月が綺麗ですね

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 06

[メディアプロデューサー]
ヒロトP氏

地上波初のボーカロイド番組 「ボカロレボリューション」の中の人

ボーカロイドに関する番組やイベント、VOCALOID3のCULをプロデュースしているヒロトPさん。ボカロが生み出すさまざまなカルチャーをウォッチしており、同人イベント、ボカロ関連イベントには積極的に顔を出されています。1万再生前後より再生数が少ない曲を中心に選んだところ、10曲に絞り込めなくて紹介を諦めた曲もあるとのこと。

Title VOCALOID 鏡音リン

茜色

うp主：れるりり
投稿日：2011／8／20
ジャンル：至高のバラード
第一印象：しっとりと切ない

れるりりさんとリンの よさが出ている良曲

Review

れるりりさんのアコギのカッティングが好きなんです。ストリングスの使い方もキレイ。感情を伝える調教がすばらしく、しっとりと歌いあげています。子どもの頃のことをつい思い出してしまうような……。れるりりさんらしさがよく出ている作品だと思います。

付けたいタグ：しっとり切ない曲

Title VOCALOID 初音ミク

歌いながら歩こう

うp主：TakeponG@ちょむP
投稿日：2008／5／21
ジャンル：爽やかなミクうた
第一印象：切ないけど明るい

なぜか評価されなさぶりが ハンパない曲。ちょむP節

Review

明るくて切ない歌詞が印象的。メロディラインも綺麗でポップ。ちょむPさんらしい曲だと思います。2008年春の投稿ですが、ありえないくらいに再生数が伸びていないのは……なぜなんでしょうかね？「ボカロP本人が好きな自曲は再生数が伸びない！」を地で行く作品ですね……。

付けたいタグ：爽やか切ない曲

Title VOCALOID GUMI

月の羅針盤

うp主：buzzG
投稿日：2009／9／24
ジャンル：VOCAROCK
第一印象：重さがかっこいい感じ！

buzzGさんらしい重い曲 かっこいい曲です！

Review

初投稿からGUMIを使っていたbuzzGさん。さすがにGUMIの魅力をよく引き出していますよね。buzzGさんらしい重くてカッコイイ曲です。ミクバージョン（sm8288378）もあるので、聴き比べるのも楽しいと思います。CULバージョンもぜひ聴いてみたい！

付けたいタグ：GUMI MASTER

Title VOCALOID GUMI

A・Re・Re

うp主：Bumpyうるし
投稿日：2009／11／3
ジャンル：かわいい電波ソング
第一印象：可愛くて楽しい！

わんわんおー的な 可愛い電波ソング

Review

うるしさんと言えば「ブラトップ☆ラブ」（nm11738199）でしょうが、ここは自重してw　わんわんおが大好きなのです。なので、この曲も大好きです！　うるしさんは1mm的なチェロを使った曲や壮大な曲も素晴らしいのですが、こういった電波ソングも最高ですよね。

付けたいタグ：GUMI電波ソング

Title VOCALOID 初音ミク

コイはフィッシング（解答編）

うp主：キセノンP
投稿日：2010／5／8
ジャンル：ギョギョ！　ダジャレソング！
第一印象：どうしてこうなった！？

君は、いくつわかるかな？ ギョギョなダジャレソング

Review

「歌詞の中に魚類の名前を探してみよう！」という曲の解答編がこれです。キセノンさんと言えば「重金属ヒーローシリーズ」や「みんなのうた的な」曲が有名ですが、これはこれでアリかと。ポップな曲の中にもキセノンさんらしさが見えて楽しいです。

付けたいタグ：釣られに来ました

Title VOCALOID 鏡音リン

ファーストキス

うp主：キャプテンミライ
投稿日：2008／6／4
ジャンル：キャプミラ
第一印象：キャプミラ！

とてもキャプミラさんな曲 このタイトルなのがすごい！

Review

幻想論シリーズその5。キャプミラさんの曲のジャンルはキャプミラです。わざわざアナログを経由させた独特の音作りであったり、独特な歌詞の世界観であったり……。ピコピコサウンドにリンの可愛い声を独特の歌詞で……稀有な存在である「キャプミラ」をよく表現した作品だと思います。

付けたいタグ：キャプミラ

Title VOCALOID 初音ミク

つれてって

うp主：エハミック（ehamiku）
投稿日：2011／1／11
ジャンル：VOCAFUNK
第一印象：ボカロぽくない曲調にワクワク

エハミックさんのよさが よく分かる曲と歌詞

Review

2010年の夏に未完成版のデモCDが配布されており、それで初めてこの曲を知りました。独特のポップさやギターの気持ちよさ、特徴的な歌詞に衝撃を受けました。ボカロ53時間放送でも分かったようにとても面白い方ですが、こういう人が本物の天才なんだと思います。

付けたいタグ：エハミック

Title VOCALOID 初音ミク

ふわりクレヨン

うp主：ふわりP
投稿日：2010／9／11
ジャンル：爽やかなミクうた
第一印象：完成度に驚いた！

ふわりPの名前の由来に なった、元気が出る名曲

Review

ふわりPさんの名前の由来となった曲。ピアノやギターのカッティングが気持ちいい。優しいメロディーと歌詞で癒されます。CULテーマソングコンテストのグランプリ曲。UHF6局でVY1バージョンのこの曲がボカレボDVDのCMとして流れていました。

付けたいタグ：爽やかで元気が出ます

Title VOCALOID 鏡音リン

もうおとなだもン！

うp主：かたほとり
投稿日：2010／10／28
ジャンル：ちかたほとリン
第一印象：リンちゃん可愛すぎ！

ベースラインが気持ちいい！ ロリコンホイホイ曲

Review

かたほとりさんと言えば「たゆん！　たゆん！（sm5100643）」や「聖ボーダーニーハイ学園（sm12892917）」な訳なのですが、もっと評価される曲としてはこれでしょう！　かたほとりさんのリンの可愛さは、また格別ですね。ノリノリでベースラインが気持ちいい曲です。

付けたいタグ：ロリコンホイホイ

Title VOCALOID GUMI

ドキドキ×ドキドキ

うp主：Eon
投稿日：2011／2／8
ジャンル：ときめきラブソング
第一印象：甘酸っぱい感満載！

切なくてときめいて そんな楽しいラブソング

Review

とても可愛らしい曲です。nuruさんの歌詞も切なくてトキメキ感があって、とてもいいですね。CULテーマソングに応募され、インターネット賞を受賞したGUMI曲。もっと多くの方に聴いてほしい曲です。

付けたいタグ：GUMI LOVESONG

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 07

[作詞家]
灯下はこ、氏

作詞の投稿数は300曲を超える！『リア充爆発しろ！』を作った才女

「桃華なゆた」名義で活動していた灯下はこ、さん。「、」までが名前です。普段は作詞をしつつ新着オリジナル曲漁りにいそしんでいるとのこと。作詞、歌ってみた、画伯、動画師と、各方面でボカロに関わっています。“作者のやりたいことが見える曲”が好きな灯下はこ、さんが選ぶ、埋もれ過ぎている……と思う曲を聴いてみましょう。

Title VOCALOID 初音ミク

Aun Breath

うp主：Wonderlandica
投稿日：2010／4／20
ジャンル：アンビエント
第一印象：溶けそう

たおやかな圧倒に ただ飲み込まれていく

Review

殆どがミクの声を加工して作られたというアンビエント。歌詞はなく、包み込むような音の中に漂うミクの声がたまらなく綺麗。何もない世界に投げ出されたまま身を任せている感覚がします。ひたすら音に飲み込まれたい！ って時にお勧めです。

付けたいタグ：ミクビエント

Title VOCALOID 初音ミク

デスカレーション

うp主：翁
投稿日：2010／11／6
ジャンル：ロック
第一印象：カッコイイイイ！

混沌が描く線をなぞる カッコイイVOCAROCK

Review

激しく掻き鳴らされるギター、感情を叩きつけるような歌詞の織りなす音の奔流。奔流は時折その勢いを緩めながらも緊張感を忘れることなくひとつの線を描き、激情を音楽としてかたち作る。とにかく問答無用でかっこいいので、「VOCAROCK」タグを愛する人には是非とも聴いてほしい名曲です。

付けたいタグ：VOCAROCK

Title VOCALOID 初音ミク

panorama

うp主：ごはんP
投稿日：2009／4／18
ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：きもちいい……

夜明けに聴きたい ほのかに優しい、そんな曲

Review

どこか、きっと近くて、狭い世界でぼうっと歌うミクを彷彿とさせるエレクトロニカ。緩やかかつ軽快な曲調に添えられる程度のミクの声が気持ちいい。ごはんPさんの曲はどれもこれも夜明けになると、はっと聴きたくなります。

付けたいタグ：ミクトロニカ

Title VOCALOID 初音ミク

みらい平

うp主：やうり（sho_soar）
投稿日：2010／11／4
ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：どこかに行きたくなる

たまには……鈍行に乗って ちょっと遠くに行きたいな

Review

柔らかに降る音と、アナログな映像が交差するノスタルジックな一曲。優しいギターが耳に心地よく沁み渡って、昔住んでいた街のことを思い出させてくれます。この曲を聴くと小さな旅をしたくなるんです。30分くらいで行ける、名前は知ってるけど行ったことはない街に。電車に揺られて。もちろんカメラも持って。

付けたいタグ：ミクトロニカ

Title VOCALOID 初音ミク

F.M.S

うp主：36g（風呂埋葬P）
投稿日：2009／10／30
ジャンル：シューゲイザー
第一印象：ずっと聴いていたい……

堰き止められた憂鬱 にじり寄る爆発の予感

Review

けだるく歪み、鳴るギター、鬱屈とした空気、緊張感、じわじわと時間をかけて高まるそれが爆発する瞬間は何度聴いても麻薬みたく魅力的。どこまでも落ちていける気がします。

付けたいタグ：ミクゲイザー

Title VOCALOID 初音ミク

どうせ、夢みたいな。

うp主：ぼこのすけ（厨二病P）
投稿日：2009／12／10
ジャンル：シューゲイザー
第一印象：サムネ損してる！

時として…… 諦めは優しく寂しい

Review

ミクのかすれ気味な低音と、個性的な響きのオケがマッチしたシューゲイザー。諦めを歌うミクの声は、淡々としているのに抑えきれない感情をそこに滲ませて聴く人の心を静かに揺さぶります。作曲者本人により、無料で配布されているアルバムもハイクオリティなので必聴。

付けたいタグ：ミクゲイザー

Title VOCALOID 鏡音リン／巡音ルカ

in be dance

うp主：temporu
投稿日：2010／4／1
ジャンル：テクノ
第一印象：低音ヤバイ

CuteなDance HardなDance

Review

temporuさんの持ち味はなんといっても低音のブリブリベースと、どこまでも自由でやりたい放題（褒め言葉）でさえあるのに全く崩壊しない曲の展開。渋いテイストで纏めあげられた電子音に、可愛い「FL-chan」がコミカルに画面を飛び回る動画が絶妙に中和する。この感覚は唯一無二です。

付けたいタグ：ミクノ

Title VOCALOID 初音ミク

flowerless world

うp主：かめりあ
投稿日：2010／4／17
ジャンル：ポストロック
第一印象：なんだこれ！

出口のない音の迷路 行きつく先もきっと迷路

Review

頭を酩酊させるような奇妙な音とつかみどころのない歌のメロディがまるで迷路に誘うように重なる。聴けば聴くほど、曲の深みに腕を掴まれて引きこまれていく。すべてがぐにゃぐにゃと曲がって見えるのに頭に刻みつけられていく。まさに中毒。そんなかめりあさん独特のコード感が最大限に発揮されたポストロック。

付けたいタグ：感性の反乱β

Title VOCALOID 初音ミク

Chrysalis dream

うp主：タイスケ（乙女回路P）
投稿日：2010／2／9
ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：夢の中で夢を見てるみたい

今日も眠る蛹は 夢から醒める夢を見る

Review

「Chrysalis」とは蝶の蛹。つまり蛹の夢。タイトルの通り全体的に夢を見ているようなゆらゆらとした電子音、そして途中で蝶に移り変わっていくような曲の展開が光る。夢の中で夢を繰り返して見て、醒めない夢にどんどん落ちていくような、ほんのり妖しい魅力をもった曲です。

付けたいタグ：ボーカロイドおふとん入り

Title VOCALOID 巡音ルカ

逃火項

うp主：ふゆ
投稿日：2010／7／11
ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：無性に胸に迫る

「忘れたい」歌 「忘れられない」歌

Review

「理科室」をテーマにして作られた楽曲。まるで思い出を拾いあげるように逆再生される楽器を交え、温かく、優しく、切ない色合いを醸しだす音、それに寄りそう少し幼いルカの声が胸に迫ります。嫌いになるぐらいなら忘れて……と、ドキッとするような思いを歌う歌詞も好きです。

付けたいタグ：エレクトロルカ

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 08

[ランキング動画]
週刊ニコニコ歌ってみたランキング氏

「ニコニコインディーズ」と「歌ってみた」のランキング動画を作っている方です

「週刊ニコニコ歌ってみたランキング/月刊ニコニコインディーズランキング」の作者さん、ハンドルがなくて申し訳ありませんとのこと、3年にわたって毎週歌ってみた動画と、ニコニコインディーズを約2年間聴き続けている氏が選んだ10曲は、初音ミクから海外ボーカロイドまで、たくさんの歌声を聴くことができます。

Title VOCALOID MEIKO

誰がために

うp主：fukuda yuichi
投稿日：2008／7／21
ジャンル：
第一印象：バーの似合う曲

ロックのウイスキーが 似合う大人の哀愁ソング

Review

MEIKOを使ったしっとりとした一曲です。VOCALOIDシーンには若い方が多いのでなかなか評価されづらいところがあるのですが、ロックのウイスキーなんかを飲りながら聴くと心に沁みてくる名曲だと思います。ピアノの旋律も素敵です。三十代を越えてくるとこの曲の持つ哀愁や哀しみなどがわかってくるのかもしれません。そしてこの哀愁はMEIKOだから出せる味なのでしょうね。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク／鏡音リン

peace of the world

うp主：LOVE&P
投稿日：2008／4／23
ジャンル：
第一印象：世界平和

日本のサブカルチャーから 世界へ平和を訴える歌

Review

私はほんこーんさんとりるさんの歌ってみたで知りました。VOCALOIDオリジナル曲を中心とする日本のネット音楽は、せっかく世界に通じ始めたのですから狭い世界での笑顔を求めるだけではなく、もっと広くそしてストレートに世界中の笑顔を訴えてもよいのではないでしょうか。VOCALOIDという日本の技術とミク・リンという日本のサブカルチャーから世界へ直球で平和を訴える歌として、多くの人にぜひとも知ってほしい曲です。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク

Skyscraper (-retake)

うp主：ゆちゃ
投稿日：2010／5／5
ジャンル：VOCAROCK
第一印象：これはすごい！

歌詞もイントロもメロディ ラインも私の心を貫いた

Review

既に評価されているという声があがりそうですが、ゆちゃさんの楽曲は心に元気がほしい時に何度も繰り返すくらいに大好きでして、私の中ではどうしても外せないないため、こちらでも取り上げさせていただきます。2009年05月発表の原曲を初めて聴いた時、歌詞もイントロもメロディラインも私の心を打ち抜きました。そしてこのリテイク版はゆちゃさんの1年間が詰められて進化しており、さらに好きな楽曲となりました。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク

ハナムケ

うp主：←P
投稿日：2009／5／22
ジャンル：VOCAROCK
第一印象：気持ちの入った心地よさ

私がVOCALOCKのよさに 気が付いた作品

Review

それまでほとんどロック音楽を聴いたことのない私がVOCALOCKのよさに気が付いた作品のひとつが←Pさんのこの曲です。歌詞はもちろん、楽曲の心地よさに惹かれます。ロックというはどうしても歌っている人の色が前面にでやすいので、私のようにそれほど音楽を聴いたことがない人にとっては取っつきにくくなってしまいます。VOCALOIDというのは歌っている存在そのものに色が少ない分、入りやすいのかもしれないですね。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク

しらゆき ～卒業の日に～

うp主：アカサコフ（にいとP）
投稿日：2009／3／25
ジャンル：卒業ソング
第一印象：涙

卒業シーズンに聴いてほしい 切ない別れを歌った曲

Review

卒業シーズンにわかれゆく二人を歌った切ない楽曲。作詞はぐろーずさんで作曲はアカサコフさんです。人というのはさまざまな形で転機を迎え、そして離れていかなければなりません。その別れには意志に反した別れもあります。この楽曲はちょうど自分の身辺が大きく変化し、意図しなかった別れを経験して本当に精神的にも肉体的にもきつく追い込まれていた時期に発表された楽曲だったこともあり、深く心に刻まれています。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク

抱いてください

うp主：碧海吟遊（さだまさP）
投稿日：2008／7／31
ジャンル：ムード歌謡
第一印象：ミクの低音もいいものだ

異色なムード歌謡も 結構マッチしている

Review

VOCALOIDにムード歌謡という取り合わせは、全く異色なようで結構あうもんだと面白く思った曲です。歌ってみたでも流行は高音で音圧高めなのですが、日本酒の本醸造は温めた時にその真価を発揮するようにVOCALOIDも低音のよさがもっと引き出されてもいいのではないかと思います。2008年に既に発表されているこうしたムード歌謡のようなジャンルに挑戦される方が増えてほしいものです。

付けたいタグ：

Title VOCALOID ボカロ10人

こころみらい

うp主：イメソラP（コラボレーション）
投稿日：2011／10／27
ジャンル：
第一印象：復興祈念

VOCALOIDがもつ個性を 生かした震災復興祈願曲

Review

最後はVOCALOIDの合唱曲です。VOCALOIDファミリーも人数が増えてこうした合唱曲を発表できるにまでなったというのが本当にすごいことです。この曲はそれぞれのVOCALOIDがもつ個性を生かした合唱曲で、東北地方への思いが詰まった本当に素敵な楽曲になっています。VOCALOID系のイベントで震災復興祈願などを題したときにはぜひとも流していただきたい、そんな思いになるすばらしい曲です。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 巡音ルカ

記憶の海

うp主：Libra
投稿日：2011／10／9
ジャンル：VOCAROCK
第一印象：ルカが活きている

巡音ルカを活かした アダルトな名曲

Review

ルカを使用したアダルティな一曲です。MEIKOもアダルティな曲が似合いますが、ルカになるとまた違った感じになります。おそらくこうした楽曲を好むのは三十代以上の世代になってくると思うのですが、最近のルカ曲に爆発的なヒットが少ないのはこうしたアダルティの楽曲が似合うこともあると思っています。三十代以上のリスナー層がもっと増えてくると、こうした曲とルカの相性が再評価されて来るのではないでしょうか。

付けたいタグ：

Title VOCALOID LEON

Sweet Insanity (Long ver.)

うp主：D.F.K.Soundsystem（大福P）
投稿日：2011／8／18
ジャンル：ハードコア
第一印象：これがボカロ曲！？

クラブに流れても 違和感のない完成度

Review

海外組はあまり使われることが無く、使われたとしてもネタ系の曲が多い状況の中、実質的に孤軍奮闘状態でLEON曲を発表している大福Pの楽曲の中からハードコアなこの一曲をご紹介します。この曲がDJプレイでクラブに流れて、VOCALOIDを使用していると気がつく人がどれくらいいるでしょう。VOCALOIDというものを意識させない完成度です。この曲を聴くとLEONのポテンシャルというのはもっと注目されるべきだと感じます。

付けたいタグ：

Title VOCALOID VY1

marble

うp主：喜兵衛
投稿日：2010／11／6
ジャンル：VOCAJAZZ
第一印象：ジャズが気持ちよい

VOCALOIDで楽しむ オリジナルのジャズ曲

Review

私のよく行くバーへではBGMとしてジャズがかかっています。それもあってジャズも結構聴くのですが、残念なことにVOCALOIDでオリジナルのジャズ曲を歌わせているケースというのはあまり多くありません。ジャズを好む人たちにまだVOCALOIDという存在が知れ渡っていないというのもあるかもしれないですが、この曲などを聴いていただければ判るようにVOCALOIDとジャズはかなり素敵な組み合わせになると思っています。

付けたいタグ：

※欄に思いあたることがない場合は、空欄になっております。

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 09

[ランキング動画]

ヒゲノフ・ダンスカヤ(るかなんP)氏

週刊「巡音新曲ランキング」など、複数のランキング動画に関わる動画師

ニコニコBKホットリストや、週刊「巡音新曲ランキング(るからん)」をはじめ、VOCALOID別ランキング動画を作ったり、手伝ったりしている、るかなんPさん。選ぶオススメ曲は巡音ルカの曲が多くなるのかな？ と思いましたが……少しだけルカ多めですね（笑)、選んだときの再生数とマイリス数が書かれており、その変動も気になります。

Title VOCALOID 巡音ルカ

タチムカウ

うp主：初等
投稿日：2009／5／3
ジャンル：フォーク
第一印象：お肉も入れようよ

**変わらない今日にも
変わりゆく明日にも**

Review

執筆時点で再生1323。マイリスト55。巨大な組織とか闇の結社ではなく日常にタチムカウ歌。ギター一本に伸び伸びとしたボーカル。非常に素朴なフォークソングですが、その味わいが、世の中や日々ヘタチムカウことをリアルに感じさせてくれているなーと。この作品はタイミングの巡り合わせでヒットしたかもしれないんじゃないかなーと、いまでも思っています。作者さんは最近Lilyを中心に据えて活動しておられます。

付けたいタグ：おれらのうた

Title VOCALOID 巡音ルカ

ピーチミント

うp主：ラス
投稿日：2009／7／5
ジャンル：ロック
第一印象：元気が出るね！

**伸びて縮んでくっついて
勢いまかせでいいじゃない**

Review

執筆時点で再生356。マイリスト14。もう80%くらい勢いなんですよ。ああそれでピーチミントか、みたいなw。いやーでもこういうコと一緒にいると楽しいだろうなー、幸せだろうなーとか、ストレートな感情が移入して直撃して元気になってしまえるテンポの良さ。とても楽しいです。いつかこの曲でMMDのPV作ってみたいなー(ヒマないけど)。作者さんはいろんなボカロを使って息の長い活動を続けておられるようです。

付けたいタグ：元気が出るぼかうた

Title VOCALOID 巡音ルカ

サトシ△

うp主：写楽（NANA）
投稿日：2010／8／14
ジャンル：ジャズ
第一印象：身も蓋もないwww

**ポケットの中のモンスター
あたしが狂わせてアゲル♡**

Review

執筆時点で再生1518。マイリスト66。ジャズには定評のあるルカさんに、期待しました。絵が人気ゲームキャラっぽいのと、不穏な雰囲気が気になりましたが……音は期待通り、口ずさみたくなるくらい素敵でした。私もぜひ妙齢の女性の歌ってみたを熱望します。歌詞は……読めない方が幸せかもしれません。お父さんお母さん、お子様がサムネに釣られてホイホイ見ないよう気を配ってください。意味を聞かれたら……困りますよね？

付けたいタグ：ゲーム

Title VOCALOID 猫村いろは

おまはやSAAAAD!

うp主：トマ豆腐
投稿日：2011／8／4
ジャンル：ポップ
第一印象：全俺が泣いた。

**越されちまった悲しみに
（略）なんぼのもんじゃい**

Review

執筆時点で再生2939。マイリスト249。感想をお話しさせていただく中でマイリスト数が最多です。タイトル通りいわゆる「おまはや」（お前には速さが足りない……同じネタがかぶって先を越されること）の悲しみ、そしてインターネット創作社会におけるオリジナリティを面白おかしく仕上げていますが、ボーカルがいろはさんなだけあってガチなので吹かざるを得ません。

付けたいタグ：VOCALOID名PVリンク

Title VOCALOID miki／巡音ルカ

つきはでてるか

うp主：kou
投稿日：2011／2／25
ジャンル：フォーク
第一印象：酒が飲みたい。

**灯りがなくとも君がいて
月が出てればそれでよし**

Review

執筆時点で再生732。マイリスト54。この曲は手元に日本酒（飲めないけど）を置いてススキを徳利に……風流という言葉がぴったりです。イントロが長い（2分20秒くらい）ので時間がない人はチェックしにくいかもしれませんが、せっかくなのでこのあと一回聴いてほしい。あまりボカロを前に押し出さないので目立たないかもしれないけど、逆に、ボカロを知らない人にすすめるならこういう曲がいいかもと個人的には思います。

付けたいタグ：お酒が飲みたくなる動画

Title VOCALOID 巡音ルカ

THE SEVENTH B

うp主：Yellow Squadron
投稿日：2010／4／25
ジャンル：ロック
第一印象：鬼や……鬼ギターや……！

**愛するお前の屍を越え
俺は神になるんだ……！**

Review

執筆時点で再生4403。マイリスト179。あーセカチャク惜しかった〜。元曲聴きに行ってこようか、え、この人フォークとか歌謡曲っぽいの出していた人じゃん、なんだこの狂っている曲はギニャー！……鬼気というものをここまで感じた曲も珍しいです。この曲の題材はギタリストですが、いつかボカロPさんからも、この曲の主人公のような鬼気迫る作品や人が出てくるのかな、それまで私もここに残っていたいなと思いましたまる。

付けたいタグ：新世界の神になる

Title VOCALOID 初音ミク

しながら

うp主：hi／ミチバタ
投稿日：2009／5／15
ジャンル：歌謡曲
第一印象：えろせつないなぁ

**わからないけど、嘘みたい
本音だけど、わからない**

Review

執筆時点で再生9590。マイリスト202。何を「しながら」かは……うん。わけありなのか、逆になさすぎるのか。初めてでもなく、でも深入りもせず、君の下で考えごとをする私。名前すら本当かわからない、そんな微妙な関係をまたい〜意味で軽いオケが引き立ててくれるんです（フリー音源使用とのこと）。こういう題材の曲だけど聴後感が爽やかなのはきっと若さだ。でも未成年さんはこの曲は聴かなかったことにしてください。

付けたいタグ：VOCALOID裏メニュー

Title VOCALOID GUMI

無間煉獄

うp主：たかP（ほら貝P)
投稿日：2009／6／26
ジャンル：ポップ
第一印象：発売日からこれかw

**もっと、もっと、もっと、
もっと、はてしなく**

Review

執筆時点で再生8182。マイリスト168。GUMI発売日に颯爽と登場して度肝を抜いてった作品です。ひどいです。いや、ひどいんです。この曲の紹介部分だけボツ喰らうんじゃないかってくらいひどい。でもイントロからサビまでの曲の一連の流れ、盛りあがりが本当にストーリーしていて引き込まれる。リアルタイム世代ではないですが昭和の日活ロマンなんたらってこうだったのかな。若い子にはあかんと言うか、オススメしません。

付けたいタグ：にっかつロマンボカロ

Title VOCALOID キヨテル／巡音ルカ

ふたりのエンジェル

うp主：少々P
投稿日：2009／12／17
ジャンル：歌謡曲
第一印象：お、綺麗な声

**いずれ生まれくる
愛の結晶に祝福を**

Review

執筆時点で再生1591。マイリスト40。このキヨテルとルカ、非常に声が生き生きしています。実は名コンビなのではないかと。特にキヨテルは音域やテンポがちょうどいいのか、持ち前の声の伸びのよさがいかんなく発揮されていて、ルカもキヨテルと合わせることで声に秘められた芯の強さを感じることができます。いろいろな意味で聴いていて気持ちいい曲です。こちらも若い子はお父さんお母さんに詞の意味を聞いたりしないように。

付けたいタグ：少子化対策

Title VOCALOID 歌愛ユキ

鶯谷で待っています

うp主：かしほり/No-H
投稿日：2011／2／20
ジャンル：歌謡曲
第一印象：ココロが寒い……

**南から降る涙ユキ
〜もう来ないでください〜**

Review

執筆時点で再生3160。マイリスト212。最近はすっかり温暖化が進み冬でも雪をめったに見なくなった東京ですが、画面の中では今日もしんしんと……いや、画面を見なくても、歌詞をなぞらなくても、ユキのせつなげな声とせつない旋律を聴けば、温もりを受け入れることを許されず降り続けるしかない雪を……。じゃばゆきさんという単語を知っているくらいの年の人向け。若い子はお父さんお母さんに詞の意味を聞いたりしないように。

付けたいタグ：アンダーグラウンドボカロジャパン

ボカロ曲コンシェルジュ ▶▶ 10

[DJ]

DJ Takuma 2000氏

ゲーム音楽とクラブ音楽を好み、ネットの大海から曲を発掘するDJ

ニコニコ動画系クラブイベント、ニコニコキャラバン（NC）主催。ニコニコ動画がきっかけでDJをしたり、クラブイベントを開いたりしているDJ Takuma 2000さん。歌ものよりもコーラスなど楽器としてボーカロイドが使われているボカロ曲を好むDJ Takuma 2000さんが、本当にスゴイボカロ曲10選を紹介してくれました！ Check it out！

Title VOCALOID 初音ミク

miku you, fxxk you

うp主：RED ALiCE
投稿日：2008／6／23
ジャンル：NU-STYLE GABBA
第一印象：この発想はなかった

**超攻撃的初音ミク
ヘッドホンで大音量推奨**

Review

同人音楽、特に東方Projectのアレンジでその名を知らぬ者はいないRED ALiCE氏の曲。いきなり初音ミクの挑発する台詞で始まり、怒濤のガバキックが響き渡る。初音ミクの使い方としてはまず思い浮かばないであろうNU STYLE GABBAで徹底的に攻めてくる意欲作。ぜひヘッドホンを付けて、大音量で聴いてほしい。

付けたいタグ：この発想はなかった

Title VOCALOID 初音ミク

初音ミクのあたまのたいそう

うp主：hapi⇒
投稿日：2009／5／11
ジャンル：GABBA
第一印象：なごみ

**あたまのたいそう
はじめるよ〜〜！**

Review

ニコニコ動画で星のカービィメドレーやポケモンメドレーを手がけるhapi⇒氏の曲。洗練された初音ミクの歌声が聴く者に優しい気持ちと癒しを与えてくれる。とにかく優しく、そして可愛く歌いあげるミクの声に癒される人は多く、ニコニコ動画内ではリピーターが多い。壮大な世界観に裏打ちされた癒しの世界は癖になり、初音ミクの歌声と一緒に首を振りたくなるほど。

付けたいタグ：癒し系ミク

Title VOCALOID 初音ミク

Civi t aS Re/ constructioN

うp主：ニシジマユーキ（キョトンP)
投稿日：2011／9／6
ジャンル：DRUM'N BASS
第一印象：高速変拍子

**6拍子と7拍子
神が語りかける歴史**

Review

響き渡るベースと疾走する高速ドラム。変拍子であるが故にリズムが安定しないが、初音ミクが神となりこの世に築き上げられた人類の歴史と文明を振り返る1曲。曲に乗るというよりも、静かに耳を傾け、ミクが神の視点で語りかけるこの星の歴史を感じ取ってほしい。

付けたいタグ：高速変拍子

Title VOCALOID がくぽ／MEIKO

Dancing Love

うp主：MineK
投稿日：2010／7／28
ジャンル：DANCE POP
第一印象：クール

**静かに飲みたい時に合う
お酒が欲しくなる曲**

Review

四つ打ちのリズムとジャジーなサックスの音色に、神威がくぽとMEIKOの二つの歌声が響き渡る、都会の夜の雰囲気が漂う曲。神威がくぽとMEIKOという組み合わせはあまり数がない上、声質からも大人の雰囲気が漂っている。四つ打ちということでクラブにも合うが、夜の都会のドライブにBGMとして流すのもいいし、静かに飲みたい時にも合う。

付けたいタグ：お酒が欲しくなる曲

Title VOCALOID 巡音ルカ

組曲光導第5曲 暴君 -Azulia Remix-

うp主：AZULIA XECTYER
投稿日：2011／3／20
ジャンル：TRANCE
第一印象：神秘的世界

**巡音ルカ×DARIUS
WARNING！！**

Review

アーケードゲーム、ダライアスバースト・アナザークロニクル内で使用されている楽曲のピアノトランスミックス。ゲーム本編で歌われているVOCALに代わり、巡音ルカを起用。あくまでバックコーラスとして使用されているにすぎない巡音ルカなのだが、トランスの世界観に見事にマッチし、元曲の壮大さも相まって奥深い1曲に仕上がっている。

付けたいタグ：ゲーム音楽リミックス

Title VOCALOID GUMI

ruinsymmetry

うp主：AIR田
投稿日：2011／2／26
ジャンル：DRUM'N BASS
第一印象：言葉を失いました

**民族楽器とドラムンベース
突き抜ける音たち**

Review

叙情的なGUMIの歌声をコーラスとして使うドラムンベース曲。疾走するドラムンベースとギターのカッティングが冴え渡る。突き抜ける音の数々に何とも言えない浮遊感と高揚感を与え、異次元の世界を繰り広げてくれる。ドラムンベースを主としながらも、ロックの要素とバグパイプなどの民族楽器を取り入れた意欲作。交錯することのない楽器の数々を織り交ぜることにより、楽曲の世界観を大きく広げることに成功している。

付けたいタグ：進化系民族楽曲

Title VOCALOID 初音ミク

Tears of palm

うp主：Clean Tears
投稿日：2011／6／5
ジャンル：DUB STEP
第一印象：刹那系

**美しさと重さが混ざる曲
響き渡る初音ミクの声**

Review

重低音が炸裂するDUB STEPと相反するように、透明感のある切ない初音ミクの声が響き渡る。重さの中に爽快感が突き抜ける1曲。歌詞の美しさも相まって、聴く者を清らかな気持ちにさせてくれる。それでいて音作りもしっかりしていることから、リスニングでもクラブでも十分に楽しめる曲となっている。

付けたいタグ：ミクステップ

Title VOCALOID 初音ミク

8760センチメンタル

うp主：emon（Tes.）
投稿日：2010／6／6
ジャンル：POPS
第一印象：さわやか

**さわやかな初音ミク
曲名の意味とは……**

Review

ニコニコ動画内で数多くの踊り手に踊られたHeart Beatsの作曲者、emon(Tes.)氏の処女作。さわやかな歌声にさわやかな音色が聴いていて気持ちいい。何度も繰り返し風情を歌い上げる詞も素敵で、この曲が埋もれているのが本当にもったいない！ 8760センチメンタルの8760の意味に気付いた人は、おおっ！ と唸るはず。

付けたいタグ：まわるまわる

Title VOCALOID 初音ミク

恋は戦争

うp主：DJシガニー・ウィーバー
投稿日：2009／8／12
ジャンル：SPEEDCORE
第一印象：重低音爆撃

**初音ミクの咆哮
あの名曲のRemix**

Review

一世を風靡したSupercellの名曲、恋は戦争のSpeed Core Remix。オリジナルの訴えかけるような歌声とは程遠く、400BPMを超える重低音爆撃と、怒り声にも感じる狂った初音ミクの歌声に楽曲の迫力が格段に増している。重低音と怒りの感情に任せて全身を思いっきり振りたい時に聴くことをオススメします

付けたいタグ：初音ミクの咆哮

Title VOCALOID 初音ミク

Phase:01

うp主：KITさん
投稿日：2010／7／2
ジャンル：MINIMAL
第一印象：無限ループ

**ミクマルテクノ
全15シリーズの1作目**

Review

Phase……ただそれだけをつぶやき続ける初音ミク。反復するリズムが繰り返されるミニマルテクノの要素を盛り込んだ1曲。音楽を聴くというよりも、実際にクラブなど大きな室内で音を浴びて踊って楽しむ曲なのかもしれない。ヘッドホンを耳に当てながら首を動かしているとノリノリになって楽しめること間違いなし！ このシリーズはKITさんによりPhase:15まで投稿されている。

付けたいタグ：無限ループ

[ニコニコ大百科編集] HazardLamp氏

ニコニコ大百科の編集を積極的に行っている聴き専マイスター

ニコニコ大百科でボーカロイド関連の記事を積極的に編集している陰の貢献者、ブログや同人誌でボーカロイド曲アルバムの紹介文を書いているHazardLampさん。前回に引き続き、ボカロ曲を紹介していただきました。ジャンルは不問で、筋の通ったこだわりが垣間見えるボカロ曲が好きとのこと。Twitterで『#onigiri_mogmog』とPOST中。

Title VOCALOID 初音ミクAppend
水彩ラフ

うp主：とりっちょ／36g
投稿日：2011／7／26
ジャンル：ロック
第一印象：刹那的

生き方に息苦しさを覚えたときに聴く『諦観』の曲

Review

「とりっちょ」さんが映像を付け、投稿したもの。36g（風呂埋葬P）さんの1stアルバム『The raingazer's song』の1曲目を飾る、アップテンポのロックである。が、その声は寝不足気味にかすれており、曲もどこかしらギスギスしている。平凡でモノクロな毎日を過ごすこの人に、カラフルな色合いの水彩は受け止め切れたのだろうか？ イラストはゴローさん。あと、このPVに出てくる子、可愛いですね。僕としては結構好みでした。ハイ。

付けたいタグ：VOCAROCK

Title VOCALOID 初音ミクAppend
Blood Music

うp主：siestaonsunday（ノイズP）
投稿日：2011／10／24
ジャンル：シューゲイザー
第一印象：美しい

すべてから解き放たれたいときに聴く『夕紅』の曲

Review

シューゲイザーを基調としながらも、その枠だけでは語り切れない奥深さを持つ。血のように赤い夕焼けに、隅々まで染められたギター。その音色はあまりに深く、これほどまでに美しい轟音が聴けることに、無上の喜びを見出さずにはいられないのだ。その透明感は、ガラスのコップのような、すっきりとした飲みごたえ。五感が夕紅に染め上げられ、すべてを飲み干したくなりそうなほどいとおしい。イラストは「その」さん。

付けたいタグ：ミクゲイザー

Title VOCALOID 初音ミク
detune (dull shower ver.)

うp主：FuzzP
投稿日：2011／9／29
ジャンル：サイケデリックロック
第一印象：カバーってすげえ

轟音に浸かりたいときに聴きたい『堅実』の曲

Review

ごはんPの地味で物静かなエレクトロニカ(sm9703330)が、FuzzPのファズファズしいギターサウンドに染められると、こうまでガラっと雰囲気が変わってしまうものなのか。それでも原曲を形作るフレーズはきちんと残っている。カバーというものの奥深さを味わうことができた。9分半にも及ぶ長い曲ながら、途中で一度もダレることがない、とても秀逸で堅実な曲構成。イラストは「白熱灯」さん。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 初音ミク
花を焼く

うp主：シメサバツイスターズ
投稿日：2009／6／13
ジャンル：ロック
第一印象：神秘的

壮大な物語に浸りたいときに聴く『鮮烈』の曲

Review

ゴリゴリの変拍子プログレの作り手としてブイブイ言わせている人だが、このようなバラード路線でも確かな名曲を残している。格調高い詩に六拍子を基本とした壮大な音楽。聴きどころは間奏。ピアノソロから重々しいギターサウンド、不穏にうねった後高速化、炸裂するギターソロ！ この七変化が孕む緊張感と開放感の連鎖は、脳内の様々な感覚を大いに刺激してやまない。イラストは「SHO」さん、作詞・ギターソロは「不破いく」さん。

付けたいタグ：

Title UTAU UTAUの4名
join + sleeping now

うp主：akamimi
投稿日：2011／6／3
ジャンル：アンビエント
第一印象：重厚

溶けてしまいたいときに聴きたい『夢幻』の曲

Review

UTAU音源「ほのか鳴」のために捧げられた作品。前半は「mia子」の曲『join』(sm10592025)のカバー、後半はakamimiのオリジナル曲。自己と他者の、自我と無我の境界線、すべては「つながり」、形を残さない。そして、なし崩し的に後半へと流れて行き、そこではすべての物事が混濁とした世界であり、あるのはただ許された「快感」のみである。刮目せよ。これが芸術だ。イラストは「林」さん。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 鏡音リン
Equilibrium

うp主：ボッチ
投稿日：2009／3／6
ジャンル：エレクトロニカ
第一印象：神秘的

この世のものでない何かを感じたいとき『白寂』の曲

Review

幽世からふと迷い込んだような、神秘的なメロディ。心に穴がぽっかり空いたような、寂しげに響く鏡音リンの歌声。そのいずれもが強い「非現実感」に覆われており、聴き惚れているうちに浮き足立ったような、不思議な感覚に陥る。この理解不能な快感を表す言葉は何だろう。そしてこの曲の作者、ボッチさんには、世界はどのように見え、どのように聴こえるのだろう。誰か教えてくれないか。イラストは「ミズイロ」さん。

付けたいタグ：

Title VOCALOID 巡音ルカ
ex machina

うp主：やひろ/kvold
投稿日：2011／10／14
ジャンル：ポストロック
第一印象：太っ腹

童話の世界に浸りたいとき聴く『メルヘンチック』曲

Review

2010年11月にリリースされたアルバムを、廃盤に伴い全曲アップロードという豪胆っぷり。オリジナル曲というよりは、オリジナルアルバムと言った方がふさわしいだろう。ボーカルは全曲巡音ルカ、ころころ踊るようなピアノが主役の、氏としては比較的ポップな曲が集まったアルバムだ。不思議な緊張感を醸し出すストリングスは、とても静かながら圧倒的な存在感を示す。静をもって動を語る作品群。イラストは「独楽子」さん。

付けたいタグ：ニコニコ休憩所

Title VOCALOID 初音ミク
あやかしの夏

うp主：あすは
投稿日：2011／8／7
ジャンル：ポストロック
第一印象：儚い

夏の思い出を作りたいときに聴く『夏の妖精』の曲

Review

いくつもの層に重ねられた、柔らかなギター。遠くより届く乾いたドラム、脳の奥から響くおぼつかない歌声。互いに決して主張し合うこと無く、とてもたやすく「なかったこと」にされてしまいそうなほど、儚い音楽。しかし、それは確かにそこにあって、夢の中で逢ったような情動が、心にわずかに跡を残す。思い出せない夢を思い出そうとして、切れ端をたぐり寄せる感覚。イラストは「白熱灯」さん。

付けたいタグ：VOCALOID夏曲

Title VOCALOID 初音ミク
銀河

うp主：peakedyellow
投稿日：2009／2／18
ジャンル：ロック
第一印象：硬派

あの空へ旅立ちたいときに聴きたい『硬派』の曲

Review

ニコ動で公式に配信されたのを機に、アニメ「COBRA」を見ていたのだが、この作品の主人公がまさにこの曲の状況とシンクロしたような感覚を得た。ただ一人のパートナーとともに、宇宙をあてなく放浪する。その姿はどこまでも渋く、硬派な立ち位置から孤高で在り続けること。「漢という名の物語」の語り手がこの曲に居ることを、改めて見出したのだった。

付けたいタグ：宇宙ヤバイ

Title VOCALOID 鏡音リン
_floating_on

うp主：hazy
投稿日：2011／7／21
ジャンル：メタル
第一印象：恍惚

店に召されたいときに聴きたい『幽世』の曲

Review

ときに、「ハードな重い音」を聴いた時、多くの人は「暗く濃い色」を思い起こすだろう。が、この作品は違う。眼前には、見渡す限りの花畑。どこまでも続く青い空、白い雲。徹頭徹尾重いスローテンポのメタルに、どこか虚ろながらも晴れやかな笑顔。絶望の往く果てには希望がある。天に召されるまでに、どのような感情を経てきたのか、想像を巡らせるのもまた面白い。イラストは「飯時」さん、映像編集は「tokatoto」さん。

付けたいタグ：VOCALOID冥界入り

※特に思いあたることがない場合は、空欄になっております。

plus NEWS

れれれレジェンド始動！ れれれP、メジャーデビュー決定

ボカロPさんの中からまたひとり、メジャー進出が決定。れれれPさんである。それも発売元であるメジャーレーベル、ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントにおいて、初のボカロ曲作品となるいきなりの快挙だ。

れれれPさんのことはご存知と思うが、個人ブログ「れれれ〝レン愛〟いたしませんかぁ！」のタイトルが示すとおり、〝レン愛〟に満ち溢れた、鏡音レンの恋歌シリーズを中心にオリジナル・カバー曲を制作するボカロPさんである。

早速、発売元のジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントにお伺いしたところ、幸運にもご本人からコメントをいただくことができた。

「こんにちは、れれれPです。12月21日にジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメントからメジャーデビューアルバム『LELELEGEND』をリリースすることとなりました。『イケ恋歌』『ツンデ恋歌』などの恋歌シリーズを始めとする自身の代表曲13曲に加え、このアルバムのために書き下ろした新曲2曲の計15曲が収録された、鏡音レンがメインのベストアルバムです。3年間のボカロ活動の集大成となるこのアルバムは、全曲新たにミックスをやり直し、スタジオマスタリングを行ったので、これまでよりもさらに耳ざわりのいい音に仕上がったと思います。是非一度聴いてみてください。よろしくお願いします」

『LELELEGEND』は、ジャンルをあえて決めるとすれば正統派ポップス。80〜90年の歌謡曲黄金期に通じる曲調は、アニメ・アイドル曲、CMソングなど、さまざまなシーンを想像して当てはめながら聴くとおもしろい。収録曲は、コメントのとおりマイリスト登録数3万越えの人気曲『イケ恋歌』および恋歌シリーズ全曲を筆頭に、6人のレンの調声が冴える〝ひとりの時に聴きたい〟大人の曲『KEEP×OUT！』、海を感じさせるさわやかな曲調『One Promise』、きらきらディスコサウンド『ディスコティック★ラヴ』など、さまざまなレンたちの表情を垣間見ることが出来る。そして今回書き下ろされた新曲『漆黒王子・dark prince・』は、軽快なビートに童話を連想させる歌詞を見事にレンが歌い上げる。黒スーツに身を包んだレンがマントをなびかせ活躍するダークファンタジーを髣髴させるその完成度は、実際にアニメのオープニング曲として聴いても遜色のない仕上がりだ。もうひとつの新曲『新説少年進化論』は訴えかける歌詞の意味深さに脱帽。全曲、ニューミックスおよびマスタリングはうれしいかぎり。また初回限定盤のみの特典『イケ恋歌』カラオケver.は、初回限定版がなくなり次第、特典が収録されていない通常版となるので早めの購入をオススメする。

れれれPさんのメジャーデビューは、ニコニコ動画視聴者ならびにボカロ曲ファンなど、多くの支持によって実現したことは間違いない。これからも多くのボカロPさんが知識や才能を発揮し、さまざまな分野に活躍の場を広げていくだろう。その先駆者として、そしてボカロPさんの代表のひとりとして、これからも引き続き応援してほしい。れれれPさんの伝説は、はじまったばかりなのだ。

▶れれれP

PROFILE

2008年2月から鏡音レンを中心にボカロ曲の制作を開始。恋愛シリーズを代表する『イケ恋歌』では86万再生を記録し、ニコニコ動画でのオリジナル曲の総再生数は290万再生を突破している。（2011年11月現在）J-POP系の正統派ポップスを得意ジャンルとし、自身も日頃J-POPを好んで聴く。本作『LELELEGEND』で遂にメジャーデビューを果たす。

Web http://lelelerecords.web.fc2.com/
blog http://yaplog.jp/lelele-p/

収録曲

01. イケ恋歌
02. 漆黒王子-dark prince- （新曲）
03. ヤンデ恋歌
04. KEEP×OUT！
05. マセ恋歌
06. 新説少年進化論 （新曲）
07. パレードオンパレード
08. ツンデ恋歌
09. ボクとアリスのワンダーランド
10. タップ アンド ビート
11. ディスコティック★ラヴ
12. ヘタ恋歌
13. One Promise
14. ねこかぶりなぼくら
15. HOW TO LOVE
BONUS TRACK
16. イケ恋歌［カラオケ］（初回限定盤特典）

れれれP/LELELEGEND
〈初回限定盤〉[LIMITED EDITION]
発売：2011年12月21日
価格：2100円

ニコニコ動画で大人気のれれれPさんのボーカロイド“鏡音レン”を中心としたオリジナルメジャーデビューアルバム。『イケ恋歌』『ツンデ恋歌』などのヒット曲を中心にコンパイル、ベスト的内容に加え未発表の新曲も収録。ジャケットは初（ブリオッシュ画伯）さん描き下ろし。全てニューミックス&マスタリングという意欲作。初回限定盤のみ、スリーブ仕様・ステッカー封入、人気曲『イケ恋歌』のカラオケをボーナストラックとして収録！ 発売元：ジェネオン・ユニバーサル・エンターテイメント ㈲☎03-3513-4417

初音ミク誕生から今日まで、ボカロ曲の歴史を振り返る！

座談会

2007年8月「初音ミク」の登場以来、音楽だけにとどまらずキャラクターエンタテインメントとして一大ジャンルとなった「ボーカロイド」。その誕生から現在へとつながる歴史の中で、歴史に名を刻んだボカロPさんや出来事を、第一線で活躍するボカロPさん４名にお話を伺いました。ベテランのボカロファンには懐かしく、最近聴きはじめた人には新鮮な話題が続々。ボカロの過去を振り返れば、未来も見えてくるかも！？

いぶし銀次（世話人）

2011年7月に最終回を迎えた「ドキッ☆ボカロ曲だらけの生ライブ～Pもあるよ～」の副主催をはじめ、多くのユーザー発ライブの立ち上げに参加したイベント主催者。ライブでは前説の名手としても活躍。

ゲスト キャプテンミライ

ゲスト buzzG

ゲスト ハヤシケイ

ゲスト 一／ichi(ichiP)

「初音ミク」誕生から始まったボーカロイドムーブメントとは？第一線で活躍するボカロP４人が歴史を振り返る！

いぶし銀次（進行役・以下、いぶし）●今回の座談会、テーマは「ボーカロイドの歴史」についてということで。お集まりいただいたボカロPのみなさんに、ボーカロイドのユーザーとして、リスナーとして、さまざまな面からボーカロイドの歴史を振り返っていただきたいと思います。

全員●よろしくお願いします！

いぶし●みなさん、ボカロPとして活動していらっしゃいますが、デビュー時期はバラバラ。このメンバーではichiさんが一番早いですね。

ichi●そうですね、2007年11月からになります。

いぶし●次がハヤシケイ（以下、ケイ）さんで08年2月から、キャプテンミライ（以下、キャプミラ）さんが08年4月から、一番デビューが遅いのがbuzzGさんで、09年8月からですね。

buzzG●そうです、若手です（笑）。全然、歴史を語れない可能性が出てきたんですけど……（笑）

いぶし●で、初音ミクの発売が07年8月31日。ichiさんはそれから2カ月後と比較的早い段階でボカロPデビューしていますよね。

ichi●最初は歌い手として投稿をしていたんですが、知り合いから"初音ミクって知ってる？"って、話を聴いて。当時、DTMをやり始めようかな、と迷っていた時期で、興味があったので、それからしばらくは、動画サイトでミクばっかり聴いていました。

いぶし●その当時は初音ミクのオリジナル曲はすでにたくさん？

ichi●そうですね。kzさんとかbakerさん、デッドボールPさんとか。

キャプミラ●ああ、そうなんだ！『みくみくにしてあげる♪』とか？

ichi●そうですね、もうありましたし、ワンカップPさんの『初音ミクがこない』シリーズとか、Otomaniaさんの「初音ミクに『Ievan Polkka』を歌わせてみた」もありました。

いぶし●ご自身がボカロ曲を投稿し始めたきっかけは？

ichi●DTMマガジン（※1）という雑誌で、クリスマスソングコンテストがあって、その締め切りが11月末だったんです。当時まだパソコンのこともよくわからない状態だったんですが、クリスマス曲コンテストに応募しよう！という目標を立てて。DTMと初音ミクを同時に学びながら作曲をしていました。で、せっかく作ったしニコニコ動画にアップしようと。

キャプミラ●それが07年の11月？結構発売してすぐに注目されていたんですね。

ichi●ですね。発売してすぐのころ、DTMマガジンに体験版が付いていたんですよ。それでDTMマガジンがバカ売れして（笑）

いぶし●当時は体験版で作ってみたという動画も多くありましたね。

ichi●そうですね、North-T（畳P）さんの『タイムリミット』とか。ボカロオリジナルはその頃4つ打ちのテクノポップが主流で、kzさん、OSTER projectさんなどがすでに活躍されていました。

いぶし●さて、初音ミク以降たくさんのボカロPが誕生するわけですが、ボカロPをはじめ、ボカロの歴史を語る上で欠かせない"キーマン"について伺いたいと思います。

あのボカロPが歴史を変えた！ボカロの歴史を彩った名ボカロPたち。

ichi●初期のボカロPの中ではbakerさんの影響力は大きいと思いますね。現在までつながるバンドサウンドの先駆け。（※2）

いぶし●バンドサウンドが登場したことが、ケイさん、buzzGさんの活躍する土壌にもなっている。

ichi●ただそれでも、バンドサウンドはまだそんなに多くはなかったですね。当時はまだミクのキャラクターが可愛い！という時代でした。

いぶし●リスナーが歌声に慣れていない時期でもありましたね。

ichi●そうそう。で、いじりすぎると"えー、気持ち悪い"って言われたりとか（笑）

キャプミラ●なんか"そのままがいい"っていうかね。

ichi●作り手としてはやっぱり作りこみたい。でもそうするとあまり評価されない。相当悩みましたね（笑）。初音ミクのキャラクターとしての可愛さが注目されていたので、サムネイルも分かりやすくミクの絵が使われることが多かった。

いぶし●そんな中、07年12月7日に投稿されたのがryoさんの『メルト』ですね。事前のアンケートでもみなさんryoさんの名前を挙げています。

ケイ●いやー、やっぱりryoさん、そして『メルト』ですよね。

いぶし●「『メルト』ショック」といっても過言ではない。（※3）

ケイ●歴史的ですよね。

いぶし●ryoさんが登場したときの印象はどうでしたか？

ichi●当時はまだ、アマチュア的というか、DTMはじめたばかりの初心者でも評価されていたんですね。そこにryoさんが出てきて"なにこれ、ヤバい！"って（笑）

ケイ●自分はリアルタイムで追ってたわけではないんですが、後から見ても『メルト』という曲が大流行したのは大きかったなと。曲云々っていうより、あのころあれだけ流行したということ自体が事件でしたね。

いぶし●ボカロと関係の深い"歌ってみた"も、メルト以降は大きく流れが変わりました。

ケイ●そうですね、halyosyさんの"歌ってみた"動画も大ヒットして。ボカロ曲をさまざまな歌い手さんがカバーする、という大きな流れができたと思います。

いぶし●『メルト』以前にもボカロ曲の"歌ってみた"はありましたが、当時はアニソンや"組曲ニコニコ動画"（※4）などが全盛でしたね。

ケイ●『メルト』は"歌ってみた"に限らず、ボカロ曲から派生して"原曲をいじり倒してみんなでニコニコしようぜ"というカルチャーを作った曲だと思いますね。

ichi●演奏してみたや歌ってみたとの関連でいうとデッドボールPさんも歴史的ですよね。

いぶし●曲を発表して、翌日に歌ってみた、演奏してみた動画がアップされる、いわゆる"ジェバンニ"（※5）のブームを作ったのがデッドボールPさんでした。

ichi●"機械じゃないと歌えない曲"ブームっていうか（笑）cosMo（暴走P）さんもですよね。

ケイ●その辺はもう、引き継げる人自体いないですよね。あえてそこに行くこともできない（笑）

キャプミラ●ひとりで1ジャンルを築いたという意味で歴史的なボカロPですよね。

※1：寺島情報企画が出版している月刊の作曲と音楽制作の総合情報誌。2007年11月号は、初音ミクの特集記事と体験版DVDが付いた。※2：ボカロ初期にバンドサウンドを取り入れた ボカロPさんとして、多くのフォロワーを生んだ"baker"。初期の代表曲である『celluloid』は非キャラクターソング・実写PVの原点とも言われている。※3：投稿は2007年1 … にはマイリスト数・総合ランキングで、『メルト』の本動画と歌い手がカバーした歌ってみたの動画が多数同時にランキングの上位を独占した。作者はryo氏 …

※4：2007年6月23日に、ニコニコ動画で人気のあった曲を作者である「しも」氏がメドレー形式の楽曲にして公開した動画。2011年2月21日には700万再生を超えたニコニコ動画を代 … する作品。※5：漫画「DEATH NOTE」に登場する「ステファン・ジェバンニ」が元ネタ。短時間で素晴らしい動画を作る人に対して使われる驚きと賞賛の意味を含む言葉。「ジェバンニが一晩でやってくれました」

初音ミク誕生から今日まで、ボカロ曲の歴史を振り返る！座談会

一／ichi(ichiP)

2007年11月『ひとひら』でボカロPデビュー。複数のボカロPが集まったアコースティックバンド「1mm♪」では、ギター&ボーカルを勤める。今回の座談会メンバーでは「最古参」のボカロP。代表作は『落ち葉とワルツを』。

ハヤシケイ

2008年2月『スターシップ』でボカロPデビュー。『ピエロ』『タワー』『Hello,Worker』など多数のヒット曲を持つボカロPとして活躍する一方、バンド「NO LEAF CLOVER」のフロントマンとしてライブハウスを中心に活動中。

初音ミク登場『メルト』に沸いた2007年。2008年にデビューしたボカロPとボカロ曲の特徴は？

いぶし●その他、ichiさんが挙げているのが小林オニキスさん。

ichi●そうですね、動画も絵も曲も全部ひとりでやるという。

キャプミラ●元祖、総合Pという感じですね。

ichi●歌い手のうささんと組んだ"うさころにー"というサークルは、ボカロPと歌い手が組んで大きなことをやる流れの、たぶん先駆けでしたね。他にも、サイハテをフルカワミキさんが歌ったりとか。いまでこそよくある流れですが、当時はまさかそういうことになるとは……と。様々な面で活躍されたPだと思います。で、聴いたらデザイナーもやってるっていうし（笑）

いぶし●この辺から、ちょっとオシャレ感が出てきますよね。

ichi●そうそう。それまでは公式イラストを使ったサムネが多かったんですけど。

ケイ●ちょっとそれまでなかった新しい流れを持ってきた。

いぶし●元祖オシャレPだ（笑）

キャプミラ●kzさんとかbakerさんといったクラブよりの方が、ごく初期からいたというのも面白いですね。

いぶし●ichiさんはkiichiさんを挙げていますね。

ichi●kiichiさんが『Miktronica』という曲をアップして、それ以降ミクトロニカというジャンルが確立されました。

キャプミラ●テクノポップやバンドサウンド中心だったところに、アンダーグラウンドの文脈を持ってきたのがkiichiさんですね。

いぶし●と、ここまでが07年デビュー。で、キャプミラさんが挙げているのが08年デビュー組ですね。

キャプミラ●悪ノPさん、アゴアニキさん、Dixie Flatlineさんですね。大体同時期にボカロをはじめて、それぞれ大ヒットを飛ばして、今に続く3つのジャンルの原型になっていると思います。

いぶし●3つのジャンルとは？

キャプミラ●まず、悪ノPは物語系の連作。アゴアニキさんはロック系で、ギターを全面に推し出したバンドサウンド。（※6）

ichi●キャッチーで親しみやすいロックという感じですね。

キャプミラ●アゴアニキさんの大ヒットから進化して、今のバンドサウンドの流れにつながっていると思います。で、Dixieさんはテクニカルな音楽、クオリティの高いダンスミュージックの代表という感じ。『Just Be Friends』の大ヒットは、多くのフォロワーを生み出したと思います。

いぶし●08年前半デビューのボカロPの特徴ってありますか？

キャプミラ●そうですね……07年は、初音ミクのキャラクター性を中心に盛り上がっていたんですが、もう一歩進んで、ちょっと創作キャラっていうか、オリジナルな設定が入ってきている。まだボカロのキャラクターから完全に飛び出てはいないんですが、その中でオリジナリティを出そうとしてきていると思いますね。

いぶし●トラボルタPさんの『ココロ』もこの時期ですね。キャプミラさんも同時期に『幻想論』でデビューしていて、その後シリーズ化していますね。（※7）

キャプミラ●そうですね。そういう流れになりつつあった。

いぶし●キャプミラさんがボカロのキャラクター性から離れて独自の設定で曲を作ったのは、なにか理由があったのですか？

キャプミラ●本当はもっと離れたかったんですよね。たとえばケイさんがやっているみたいに、自分のバンドがあってボカロがある、という感じにしたかった。でも、当時の空気的にはそこまで離れられなかった。なので「じゃあ自分の好きな世界をボカロに投影して演じさせればいいんじゃないか」と。そういう考え方は、作り手のほうにもあったんじゃないかなと思いますね。

※6：『悪ノ娘』は「物語系」の原点となった悪ノPの代表作。その後に続く『悪ノ召使』と表裏一体のストーリーが話題を生み連作へ発展。2010年1月に舞台化、同年8月には小説化されるなど、メディア展開を見せた。※7：「ロボット」と「心」というSF的・普遍的なテーマを題材したトラボルタP氏の代表作。ドラマティックな歌詞、完成度の高い楽曲が話題を呼んび、2009年には石沢克宜氏の脚本・演出によって舞台化もされた。

キャプテンミライ

2008年4月『幻想論』でボカロPデビュー。「幻想論シリーズ」のほか、リンを加えた架空バンド「リン＆フューチャーナウ」シリーズの投稿、個人レーベル「バイバイレコード」の立ち上げなど、ボカロの可能性を広げる活動を展開。

buzzG

2009年8月『LAST YEAR』でボカロPデビュー。第2作『赤い雨』が「Megpoid歌わせてみた祭」で特別賞を受賞し、一躍脚光を浴びる。2011年3月にビクターエンタテインメントよりメジャーデビュー。6月にアルバム『祭囃子』をリリース。

バンドサウンドの隆盛とジャンルの多様化、メジャーへの進出も続々の2009～2010年。

いぶし●ボーカロイド製品としては07年12月27日に鏡音リン・レンが発売されていますね。名前が挙がったお三方の楽曲も、リン・レンを使用しています。

キャプミラ●やっぱり、リン・レンというキャラクターが創作に向いていたんじゃないかと思いますね。

いぶし●初音ミクまでは、初音ミクというキャラクターの歌、という部分もありましたよね。

キャプミラ●そうですね。リン・レンはふたりでひとつ。だから、色々設定を作りやすかったのかなと。

ichi●公式キャラクターで遊べるような流れになりましたよね。

いぶし●ケイさんも、ほぼ同時期にボカロPデビューして、現在までバンド活動と並行して活動していますよね。ギターロックということに関してはケイさんも先駆者のひとりでもあります。

buzzG●その辺から、着々とバンドサウンドが受け継がれていって……、僕にまで（笑）

いぶし●ケイさんがボカロ曲を投稿し始めたきっかけは？

ケイ●はじめたのは、バンドで没になったネタを供養したくて（笑）

ichi●供養なんですか？

ケイ●自分じゃ歌わないよな～っていう曲、でもいい曲だよな～っていうのを供養したくて。で、やっているうちに「こんなに聴いてもらえるんだ！」って。バンドのライブでは考えられないぐらい多くの人に聴いてもらえるっていうのが大きかった。だからって、バンドをやめる理由も全然ないし、並行して活動を続けています。お互いの活動が結びついていくのは面白いですね。

いぶし●08年後半以降からはバンドサウンドが爆発的に増えた印象がありますよね。

キャプミラ●アゴアニキさんを契機に、09年デビュー組のハチさんやWowakaさんなどにつながるというのが、バンドサウンドの系譜かなと思います。

いぶし●最近の流れとしては、やはりバンドサウンドが中心になってきているんでしょうか？

ケイ●そうですね……でも、ハチさんとかWowakaさんは、バンドサウンド的だけどバンドで簡単にやれる曲じゃないっていう（笑）

キャプミラ●でも、大体の曲でギターは鳴ってるよね。そういう意味では中心にはあるのかも。

ichi●以前はギターが入ってるだけでも珍しかった。僕がデビューした当時だと僕ぐらいしかいなくて。「ロックな曲、2曲見つけました！」みたいな（笑）

いぶし●buzzGさんがデビューした09年当時は、状況としてはどうでしたか？

buzzG●まわりは……俺、ボカロ曲作ったとき、他のボカロ曲とか全然聴いていなくて。『メルト』しか聴いたことがなかった（笑）

ケイ●そりゃアンケートにryoさんって書くしかないですね（笑）

buzzG●そうそう（笑）。でもその時期にはやっぱりバンドサウンドがかなり多かった印象ですね。

いぶし●その後、状況が変わったなと思うところはありますか？

buzzG●なんか、作り手の年齢層が下がった気がしますね。

ケイ●そうそう。最近は学生がメインになってきている。

キャプミラ●今はソフトを買うと、聴こえ方はバシっとしたものができる。だから、すごく不思議なバランスの音楽が増えてきたよね。ミックスとかしっかりできているんだけど、初めて作った曲――みたいな。

ichi●昔はテラMIDI！みたいなのが多かったですよね。

ケイ●そうそう。昔のMIDIサイトから流れてきた人が多かった。だからおっさんも多かった（笑）

キャプミラ●テラMIDIみたいな曲は、だんだんなくなってきました。

ケイ●これだけ流行ったから、作り方の情報があふれていて、初心者でもそれだけ作れる状況になってきたんだと思いますね。

いぶし●09年デビューのボカロPでいうと、古川本舗さんが6月に初投稿していますね。

キャプミラ●古川さんはいわゆるポストロックを流行らせた元祖のボカロPですよね。

いぶし●ボカロPからみて古川本舗さんの印象は？

キャプミラ●そうですね、とにかくオシャレだなーと。

ichi●ずるいなーって（笑）。音楽ももちろんですが自分で動画もサイトも作れるし、全部自分でマルチにできるって、強いですよね。

キャプミラ●古川さんも、ボカロPをはじめたきっかけは小林オニキスさんだって聞きますね。

ケイ●デザイナー系オシャレPの系譜ですね。

いぶし●それと09年ごろからはプロ志向的な人が増えたかなと。

buzzG●そうですね、モテそうな感じがようやく出てきた（笑）

多数発売されてきたボーカロイド、ボカロPが語る「歴史的ボーカロイド」とは？

初音ミク誕生から今日まで、ボカロ曲の歴史を振り返る！座談会

キャプミラ●10年以降の流れはどうかなあ。

ケイ●10年以降だと、メジャー流通のCDリリースが増えてきたのかなと。言い方は悪いかもしれないですが、ボカロを足がかりに、いろいろなところに飛び出していく人が増えてきたという気がしますね。

キャプミラ●最近だとどうだろう、もうちょっとキーマンがいそうなんだけどね。

buzzG●個人的にはゆよゆっぺさんとかハード系のボカロPですね。エモ系の作家さんと話す機会がよくあるんですが、始めたきっかけを聞くと大体、ゆよゆっぺさんの名前が挙がる。

ケイ●僕たちがbakerさんを聴いて〝バンドサウンドでもアリなんだ〟と思った感覚が、ゆよゆっぺさんを聴いて〝ああ、エモでもありなんだ〟っていう感覚なのかな。やっていいんだ！　みたいな。

いぶし●ジャンルも細分化されてきていますよね。ハードコア、エモ、ジャズ、民族調……。

ケイ●今はないジャンルがほとんどない。各ジャンルの〝元祖〟という人は、すごい人が多いと思います。

ichi●ボカロやってよかったと思うのは、色々なジャンルを聴けたなっていうこと。今までトランスとかテクノとか聴かなかったのに〝あぁ、こんな曲あるんだー〟って。自分にとってもボカロが新しい音楽との出会いの場になっています。

いぶし●さて、ここまでは〝人〟にフォーカスを当ててきたんですが、ボーカロイドもさまざまなメーカーが参入して、かなりの数が出てきました。これまで登場したボーカロイドの中で、印象的だったものを振り返っていきたいと思います。

キャプミラ●KAITOやMEIKOが出たときは、雑誌で記事を読んだ記憶がありますね。ただ当時はプロの人が仮歌を録るために使うツールという印象が強かった。

ichi●あんまり〝楽しむもの〟ではなかった。

いぶし●その当時のDTM界はどんな状況でしたか？

キャプミラ●多分そうですね……けっこう酷い時代（笑）

いぶし●氷河期ですね。

ichi●初音ミクで本当に復活しましたよね。

ケイ●うん、やっぱり初音ミクの登場が一番の事件。ミクの登場でいろいろな人が出てきた。そして、それに応えるだけの性能がミクにあったことも大きかったと思います。

いぶし●初音ミク以降のボーカロイドでは、先ほど鏡音リン・レンの名前も出ましたが、ichiさんがアンケートで挙げているのが「巡音ルカ」ですね。

ichi●ルカは英語対応、バイリンガルということで注目していました。ミクが出て、リン・レンが出て、次が出るってなったときに〝日本語も英語もできたらいいよね〟っていう話はあって。そこに〝英語できます〟〝うおー！〟〝ハスキーボイスです〟〝うおおー！〟っていう（笑）

いぶし●英語ライブラリが使えるのは大きかったと。

ichi●でも結局、僕は英語ライブラリはほとんど使ってないんですけど。英語できないんで……。

全員●えー！（笑）

いぶし●ルカの代表曲というと『ルカルカナイトフィーバー』……。

キャプミラ●あと『ダブルラリアット』……。

全員●英語全然関係ない（笑）

buzzG●でも、架空言語の言葉とか歌わせている人もいますよね。

いぶし●ルカをメインで使っているボカロPは、どんな部分に惹かれて使っているんでしょう？

ichi●うーん、いろいろあると思いますが、やっぱりキャラですかね。

ケイ●そうですね、やっぱり選択肢が増えたから……結局「誰をペロペロするか」っていう（笑）

全員●ワハハハ（爆笑）

キャプミラ●僕はmiki（SF-A2開発コードmiki）のコンセプトを聴いたときに「すごい！」と思いました。特に、フルカワミキが声をあてているということが。

buzzG●うんうんうん。

キャプミラ●そしたらバンドをしている人がいっぺんに流れてきてすごいことになるんじゃないかと。

ichi●それと、いい意味で一番裏切られたのがメグッポイドです。

キャプミラ●そうそう。メグッポイドはデータベースの質もすごくいいですよね。

いぶし●その辺、GUMI使いのbuzzGさんは？（※8）

buzzG●満を持して（笑）。そうですね、やっぱりGUMIが登場したことでいろいろ変わった気がするんですよね。

キャプミラ●アーティストが使って映えるボーカロイドという気がするよね。

buzzG●個人的な感覚なんですけど、人間の質感に近い、と感じています。バンド畑でずっとやってきた人たちだと、ミクの声からいきなり入っちゃうと、違和感バリバリなんですよね。

キャプミラ●キャラクターの設定もすごくよかったですよね。上手い人が描くとものすごく可愛くなる。

ケイ●ユーザーの「キャラクターをいじり倒したい」という心理にも応えていますよね。

いぶし●結構、スキがあるほうが人気は出やすいのかもしれませんね。

buzzG●あと、中の人が中島愛さんじゃないですか。僕はその頃はもう、「マクロスフロンティア」全盛期だったから。（※9）

全員●ハハハ（笑）

buzzG●ああ、もう、かわいい～！　つって（笑）

ケイ●ランカちゃんが僕のために歌ってる！　って（笑）

buzzG●そういう気持ちになった人も多いんじゃないかなと。GUMIは中島愛さん本人の声とギャップが少ないから〝おい、ホントにランカ・リーが歌ってるよ〟みたいな。

ケイ●界隈との親和性が高かったことが、GUMIが受け入れられた大きな要因かな。

キャプミラ●いまやGUMIは鏡音リン・レンよりも人気が高いイメージすらあるよね。

buzzG●そうですね、ここ一年ぐらいでガーッと。

ichi●みんなに勧められますもん。「GUMIはいいよー！」って。でも、リン・レンが好きな人は本当に大好きじゃないですか。

いぶし●特殊な界隈を形成しつつありますよね。

ichi●キャプミラさんはその辺どうなんですか？

キャプミラ●まあ、そうですよね。他のボーカロイドを使うと怒られますからね（笑）

全員●ワハハハ（爆笑）

キャプミラ●ネットとかで怒られるならまだしも、直でアゴアニキさんに怒られますからね。〝リン・レン使わなアカンよー〟って（笑）

いぶし●で、ichiさんが挙げているのがVY1。

ichi●性能がすごくいいんですよ〜VY1は。ミク以降のさまざまな技術をつぎ込んでいるから、すごく素直だし、クセがない。ボーカロイドとしてはすごくいいです。

いぶし●さて、そんな中でいよいよボーカロイド3が発売されるわけですが、みなさんの期待度はいかがでしょうか？（10月8日現在）

ケイ●自分としては、ボーカロイド2に慣れているし、それにソフト的な性能の向上って、実はリスナー側にはあまり大事な部分ではないんですよね。リスナーにあまり興味がない部分って、作り手にとってもそこまで大事ではなかったりする。

キャプミラ●そうそう。だから、印象としては新しいライブラリができた、という感じの方が強い。

いぶし●これからボーカロイドが劇的に変化するとしたら、どんなことが考えられるでしょうか？

ケイ●たとえば、本当に人間の声と聴き分けできないぐらいになったら、またいろいろ変わってくるのかなと。ただ、人間に近づきすぎたらボーカロイドを聴く理由自体がなくなるかもしれないんですよね。

ichi●ただたどしいからいいのかもしれないし。

ケイ●〝歌い手〟というフィルターを通さずに曲だけ聴けるのがボカロ曲のよさ、というのが、リスナーの心理としてはあると思います。

ichi●そこは各メーカー悩みどころですよね。これからは本当にライブラリ合戦になるんじゃないかなと。でも、あまりにそうなってくると普通にソフトシンセだなって思っちゃう。

buzzG●たとえば、もっと〝ソウルフルな歌い方ができる〟っていうライブラリとかあると。

いぶし●スクリーモが得意なライブラリとか？

buzzG●そうそう。いろいろな各ジャンルに特化したボーカロイドが出るといいなと。

いぶし●ジャンルが幅広くなってきているからこそ、あるジャンルに特化したボーカロイドが出始めると面白いかもしれませんね。

ichi●でも、新しいキャラクターがドンドン投入されると、突き詰められない分〝積みゲー〟みたいになっちゃう恐れはある。

ケイ●新しいキャラクターを出すよりは、今あるものを強化していってもらったほうが、個人的にはうれしいですね。

ichi●そういう意味では、メグッポイドの4種類の声がボーカロイド3として発売されるという動向は期待できますね。

キャプミラ●メグッポイドSweetとか、Wisperとかですね。本当はそういう方向が望ましいのかも。なので〝今度はリンSHOUT発売〟みたいな（笑）

いぶし●〝鏡音リンDEATH〟発売とか（笑）

キャプミラ●そうそう、DEATHとかいいですね。

※8：インターネットから発売された『VOCALOID2 Megpoid』（メグッポイド）のキャラクター名。コミック作家のゆうきまさみ氏がデザインをし、声優の中島愛さんが担当したボーカロイド。

※9：『マクロスF（マクロスFrontier）』は、2008年4月から2008年9月まで放映されたテレビアニメ作品。ヒロインのランカ・リーの声は、GUMIの声も担当している中島愛さん。

初音ミク誕生から今日まで、
ボカロ曲の歴史を振り返る！ 座談会

ボカロから派生したさまざまなムーブメント、特に印象に残った出来事は？

いぶし●ここまで"人"と"ボーカロイド"について話してきましたが、今度はボカロの周辺で起こった印象的な出来事やモノについて伺いたいと思います。

ichi●初期に大きな役割を果たしたのは、ボカロPやボカロ好きの集まるSNS「ボーカロイドにゃっぽん」の誕生ですね。

いぶし●08年はじめごろですね。

キャプミラ●当時はボカロPのブログが情報源。で、ブログを見に行くと大体にゃっぽんIDって書いてあったので。ああ、そういうのがあるんだなーと。

いぶし●「にゃっぽん」の運営は個人ですよね？

ichi●そうですね、サーバーもドネーションで強化して、本当に同人が作りあげていった。作詞とか、作曲講座のコミュニティとか、あとミックスの仕方とか。日常的に情報交換ができていたので、ボカロPの能力があがった。交流と、切磋琢磨の場だったなと思います。

キャプミラ●それと「ピアプロ」の存在も大きかったですよね。当時はファイルを置ける場所があまりなかったから、すごくありがたかった。

ケイ●絵師さんとの出会いの場所でもありました。

いぶし●「ピアプロ」の開始は07年12月ですね。

ケイ●そう考えるとミクの発売から結構あっという間にいろいろなものが動いているんですね。

キャプミラ●最初の数カ月で、必要なもののほとんどすべてができあがっている。

いぶし●それと、ichiさんがあげているのが「ぼかりす」と「ぼかんないんです」（※10）

ichi●そうですね、産総研の「ぼかりす」は衝撃的でした。最初に"初音ミク、歌います"って言った瞬間に"スゲー"っていうのと"きめー"っていうコメントが入り混じってて。で、流れた瞬間に"なにこれー"って。

いぶし●うんうん。

ichi●それからyuukissさんが「ぼかんないんです」で、"じゃあ俺、手動でやるよ"と、それがさらにすごくて。あれがもしかしたら、その後のボカロのエンジンの強化にもつながっているんじゃないかなと思いますね。さらに人間よりの歌い方ができるようになったきっかけというか。

いぶし●あとは……えーと、「ドキ生」ですか（※11）

ichi●そうですね、「ドキ生」

いぶし●ありがとうございます。

ichi●一応、書いておこうかなと……（笑）

ケイ●ご祝儀的な（笑）でもすげー、わかりますね。

ichi●ボカロPがライブをするって、すごいじゃないですか。意味がわからない（笑）。DTMerがなぜライブを！と。

ケイ●そうそう。

ichi●酒の席での話が発展していって……。

ケイ●最終的には800人の会場で2デイズ公演とか。

キャプミラ●結構理想形というか。ライブの形式としては今までのライブなんですが、そこにボーカロイドをもってきた新しさがある。ああいった形のライブでは、ひとつの頂点ですよね。しかも個人企画であんなことができたら……。そりゃいったん辞めますよねぇ（笑）

ケイ●ライブっていう、やってる人のパーソナリティがあらわれる場所で、しかも初音ミクというものが一切出てこない。それでも、ボカロが大好きな人があれだけ集まって楽しめるっていう。

buzzG●確かに、すごい出来事ですよね。

ichi●ボーカロイドだけじゃなくて、ボカロPという"人"にも注目するきっかけになりましたね。

いぶし●あとはみんなが仲良くなったっていうのが（笑）。一緒にライブやって、飲めばみんな仲良くなりますよね。

ケイ●じゃあ、この出来事に"飲み会"って書かないと……。

キャプミラ●まあそうだよね。あの日の飲み会がボカロの歴史を変えた！っていう（笑）

いぶし●そうそう。だから、毎日どこかの飲み会で、伝説が生まれ始めているかもしれない……と。

ケイ●なんかちょっといい話風にもっていきましたよね（笑）

いぶし●それと、ケイさんがあげているのが"Supercellのメジャーでの活躍"。

ケイ●ボーカロイド界はアマチュアが中心だったんですが、どんな再生数を出しても"イロモノ"感はあった。そこを抜け出して、メジャーに出て実績を出した人がいる。その事実が、"ボカロが"ひとつの音楽ジャンル"であるということを示す旗印になりましたよね。

buzzG●その後、メジャーで活躍する人も場も増えてきたと思います。

いぶし●それと、キャプミラさんが挙げているのがMMD。（※12）

キャプミラ●初音ミクができてDTMをやっていた人の発表の場ができた。それと同じように、3DCGを趣味でやっている人は、全然発表するところがなかったんですよね。それが、MMDの登場で、たとえばオリジナルモデルを作るなどといった形で発表する場ができた。

いぶし●なるほど。

キャプミラ●もともと僕は3DCGの仕事をやっていたんですが、ボカロ文化の中に3Dの文化も取りこんだって言うのがすごく面白くて。いろいろなジャンルの人が初音ミクのもとで作品を発表できるようになったんですが、その中でもMMDはかなり細かいところをついている。しかも、すごく盛り上がっている。

いぶし●"MikuMikuDance"といいながら、ボカロすら超えた、1ジャンルになっている。

ケイ●東方（東方Project）とか、ガチムチ（ガチムチパンツレスリング）とか……。

キャプミラ●ソフトウェアとしてもかなり優れていますよね。

ichi●軽いですもんね。

キャプミラ●そう、軽いし、あれだけのものが無料で手に入る。3DCGというものの敷居を下げたと思いますね。「ちょっと手をつけてみようか」と。3DCG界における初音ミク的なソフトだと思います。

いぶし●キャプミラさんが挙げている出来事がもうひとつ、「ミクの日感謝祭ライブ」。これは10年でしたね。

キャプミラ●初音ミクはすごいカリスマ性を持ったアイコンで、その下にたくさんのメディアが集まっているんですが、メディア自体は今までのフォーマットの音楽や絵ですとか、あるいは、CDを出したり、CGを作っている。ですが、このライブはライブの表現を、今までと違う形でやろうとしていますよね。

いぶし●あのライブのすごいところはいろいろありますが、あえて生演奏というところもすごい。ミクで3Dのライブをやると考えたときに、生演奏でやろうとはあまり考えない。オケでもよかったわけですよ。

キャプミラ●そうですね。コンセプトとしては人がいて、同じステージにミクが立っているっていう。「ドキ生」がこれまでのやり方のライブでのひとつの頂点だとすると、「ミクの日感謝祭ライブ」は全く新しいライブの形でしたよね。

いぶし●一方buzzGさんが挙げているのが「ボーマス」。（※13）

buzzG●そうですね。「ボーマス」は歴史を変えただろうな、と思うし、個人的にも、参加してみてすごく衝撃を受けました。

キャプミラ●これまでになかった層が即売会イベントに来るようになった、っていうのは、同人イベントの中でも革命的ですよね。

buzzG●"オンリーイベント"というと、もっと閉じているイメージでしたよね。それに、「ボーマス」に行くと"あ、俺の好きな曲を作っている人が目の前にいる！"って。それが衝撃的でした。

ichi●CDを作っている人と直に会って話ができるとか、斬新すぎますよね。

buzzG●ちょっとこの人と話してみたいなって思っていた人も、いきなり飲み会とか誘えないじゃないですか（笑）。でも「ボーマス」に行くと"これこれこういう者で、あなたの作品大好きですよ"ってことを伝えられて、仲良くなれたりもする。

キャプミラ●ボカロをやっている人の交流の場としても、ちゃんと機能していますよね。

ichi●なんかオフ会の形が変わったという感じがします。

ケイ●今はオフ会という概念があまりないですよね。

buzzG●オンとオフの差が、もうあまりなくなってきている。

いぶし●"オフ会"とは最近あまり言わなくなったかも。あと"コラボ"という言葉もあまり使われなくなってきたかなと。

ケイ●コラボっていうか、もう、ひとりで作っている人がいなくなってきましたよね。

ichi●共同制作に近いですね。専門の動画師さん、専門の絵師さんっていうチームで作品を作る形が多くなっています。

ケイ●そうですね、動画の作りかた全体が変わってきました。

ichi●昔は一枚絵の勝負でよかった。

キャプミラ●歌詞も画面に全部入れて作っていたし。

ichi●僕、一番初めはウインドウズのムービーメーカーで作っていましたね。あれ、文字とか決まった場所にしか打てないんですよ。で、ワイプとか使って。

ケイ●ワイプとか、むしろ今では斬新かも（笑）

いぶし●今は作りこんだ動画が多いんですよね。

キャプミラ●ただ、一回やっちゃうと後戻りはできないんですよね（笑）

ケイ●確かに、前作との比較が生まれますよね。

ichi●僕はbakerさんに影響を受けてボカロをはじめたので、実写PVを作りたいなと。でも、曲を作りながら、動画も作るのが本当にキツくなってきていますね。

ケイ●キャプミラさんは全部自分でやっていますよね？

キャプミラ●全部自分でやっていて……本当に嫌で（笑）。だから、これからは分業をしていこうかなと。

ichi●でもチキンなので、声をかけられないんですよね（笑）

キャプミラ●そうそう（笑）

いぶし●本来ボカロPはミュージシャンですが、今は総合力が求められてきていますよね。

キャプミラ●そうですね、何をするにも、プロデュース能力は求められてきています。分業するにしても、ボカロP自身が自分の見せ方を考えないと。メディアも変わってきていて、音楽単体では売れなくなってきています。それはボカロも同じ。

ichi●それに、ソフトが発展して、個人でよいものが作れる状況になっていますから。自分で"作れちゃう"んですよね。

ケイ●ランキングだけ見ていると"こんなクオリティじゃないとアップしちゃいけないの？"って思う。

ichi●でも、いまだに一枚絵の人もいますけどね。

ケイ●そうですね、僕は一枚絵でやっています。

ichi●一枚絵ですし、キャラも使わないですよね。

ケイ●あれは完全に狙ってやっていますね。キャラを使わないのもそうだし、一枚絵なのは、とにかくフットワークを軽くしたくて。

buzzG●わかるわかる。すっげーわかる（笑）

ケイ●やっぱ今日曲ができたら、明日アップしたい。動画を作る人に投げて、戻ってくるのを待ってる間に"自分の曲クソ"ってなってきちゃうから（笑）。"俺すげえモード"の時点でアップしたい。

ichi-P●ケイさんの一枚絵はインパクトありますよね。分かりやすいですし。

ケイ●あれもやっぱり、見せ方のひとつですね。曲のタイトルの書き方も全部統一しています。

いぶし●一方、キャプミラさんとichiさんは実写のPVを作っているという共通点がありますよね。

キャプミラ●そうですね、アレもなかなか大変で……続けていこうと思っているんですが大変です。

いぶし●yuukissさんの『Nostalogic』や、最近ではくらげPさんの『おわりのはじまり』なども実写PVでした。

キャプミラ●そうですね、あれは僕もすごくやりたいと思っていたので、やられたなーと思いました。本当は、PVもそちらの方面にドンドンいくんじゃないかと思っていたんですが、意外と行かないな、というのが正直なところですね。

ケイ●結局今も、絵を動かして、文字バーンみたいなのが多い。

ichi●そうですよね。実写でやると"出しゃばるな"っていわれちゃうイメージがある。

キャプミラ●でも、それも、だんだん慣れていってアリになっていくのかなっていう気もしますね。

ケイ●徐々にミクの声に慣れていく――みたいな。

キャプミラ●たとえばJASRAC登録も当初は散々叩かれていたけど、今は普通になってきているし。ですから、続けていくことで自然と受け入れられるようになるんじゃないかなと思います。

※10：「ぼかりす」は、産業技術総合研究所のユーザ歌唱を真似る歌声合成パラメータを自動推定するシステムVocaListenerの愛称及び動画。「ぼかんないんです><」は、yuukiss氏によるボカロの調整手法。※11：ドキ生（ドキッボカロ曲だらけの生ライブ～Pもあるよ～）。ボカロPさん達が、ボカロ曲を演奏したら楽しいイベントになるのではないか？ という発想からスタートした「ボカロ曲オンリー」のライブ・イベント。本座談会の進行役：いぶし銀次氏が副主催者。

※12：「MikuMikuDance」（MMD）。「樋口M」こと樋口優氏が開発をし、2008年2月に公開された3DCG動画を作成するフリーソフト。有志によってボーカロイドをはじめとする、さまざまなキャラクターモデルやステージが公開されている。※13：「THE VOC@LOiD M@STER」。VOCALOIDオンリーの同人即売会イベント、通称「ボーマス」。2007年11月に第1回が開催された。ボーカロイドブームの拡大に伴い、回を重ねるごとに参加サークル・一般参加者の数が増加している。

これからボカロ界はどうなるのか？ 未来に向けてのキーワードは……

初音ミク誕生から今日まで、ボカロ曲の歴史を振り返る！ 座談会

いぶし●最後にこれからのボカロ界について、キーワードを挙げながらお話を伺いたいな、と思います。まずケイさんがキーワードとして挙げているのが〝二極化〟。

ケイ●そうですね、リスナーも作り手も二極化しているというか。オタクカルチャーとして閉じた場所で楽しんでたい人と、音楽シーンのひとつとして、どんどんメジャーにでていくぜ！ っていう人と、ハッキリわかれていますよね。外側から見るとひとつのボカロというジャンルだけど、内側から見ているとハッキリとわかれている。

いぶし●これから先はどうでしょう、二極化しないほうが良いのか、それとも、もっと三極、四極とかになったほうがいいのか。

ケイ●どうでしょう。結局、何極もあると、リスナーがひとつの場所にいられなくなる。そうすると、結局散り散りになってシーンが終わってしまうかも――とは思いますね。

ichi●それはちょっと寂しい。

ケイ●いろいろな在り方があってよくて、みんながひとつの場所にいるという事が、ボカロの面白いところだと思います。

キャプミラ●だから、ボカロはすごいですよね。音楽のジャンルにしても、ライブハウスでライブやってたら絶対友達にならないようなジャンルの人たちがいっぱいいる。しかも、普通に仲がいい。動画師や絵師さん、歌い手や奏者含めて、今やすごいミクスチャー文化になっていますよ、ボカロ界は。

いぶし●それと、キャプミラさんが挙げているキーワードが〝出力メディアの進化〟。

キャプミラ●これは、ボカロだけのことじゃないんですけど、メディアの進化は、すごく考えることがあるんです。さっきも言ったとおり、ボカロがあって、まわりに色んなメディアがくっついているんだけど、一個一個のメディアは旧世代、という感じがあって。そこが進化すると、ムーブメント自体もさらに新しいものになってくると思うんです。

buzzG●確かに。

キャプミラ●たとえば音楽ひとつとっても、いまだに僕らが作っているのって、2トラックのステレオ音源。でも、そのフォーマットが変わってくるかもしれないわけですよ。たとえばマルチトラックの音源ファイルって出てきてもいいと思う。

ケイ●リスナーが好きにバランスを調整できるとか。

キャプミラ●ボーカルを抜いたのをくださいって言うまでもなく、ボーカルをゼロにできるとか。最初から音量が下がっているトラックを上げると、解説が声ではいっていると か。そういう面白いファイルってできると思うし、そういうメディア自体が進化すると、その波が初音ミクの波と合わさって、さらなるムーブメントがくる気がしますね。逆に、それがないと、いつか頭打ち感が漂ってしまうかなと。

いぶし●buzzGさんがキーワードとして挙げているのは〝海外へのアプローチ〟。（※14）

buzzG●ミクのLAライブを例に出すまでもなく、ボカロは、海外でも人気がすさまじいですよね。

海外の人はエネルギーがある。前のボーマスで、台湾からたまたま旅行に来ていた人に会ったんですが、CDを20枚とか買っていくんですよ。〝友達にあげるんだ！〟って。

ケイ●確かにユーチューブとかみると、いろいろな国の人からコメントが来ていることが多い。海外で勝負することで市場も広がりますよね。

ichi●海外の人は、日本語で歌っているボカロ曲を聴いているんですか？

buzzG●いまは、日本語で歌った方が人気らしいですよ。でも、もしかしたら、英語版と日本語版を同じ曲で作って同時にアップ、とかっていうのも、シーンを広げることにつながるかもしれませんね。

いぶし●それからichiさんが挙げているキーワードが〝さらなるメディア進出〟。

ichi●そうですね。最近テレビでも取り上げられ始めたんですが、やっぱりネットの方が早いじゃないですか。テレビで取り上げられるころにはすでにブームが終わっているとか。なので、たとえば朝のワイドショーなんかでボカロのニュースが取り上げられるようになったりしたらいいなと。

ケイ●ボカロPにスキャンダル発覚！ とか？（笑）

全員●ハハハ（笑）

いぶし●ネットも普及しましたが、いまだにテレビから情報を得ている人は多いですもんね。

ichi●そうですね。もっと、ニコ動などに触れていなくても、多くの人に知ってもらえるようになるといいかな、と。

ケイ●ボカロというジャンルや、ボカロPとして紹介される、という紹介ではなくて、他のミュージシャンと同列で紹介されるとか。

キャプミラ●さりげなく出ている、っていうのがいいよね。

ケイ●「AKB・ミスチル・ボカロP」みたいな（笑）

いぶし●確かに、以前からテレビ番組ではたびたび紹介されていますが、ネットの話題に限った番組だったりすることが多い。それだと「じゃあ、その30分は他のチャンネル見よう」っていう話にしかならない。

ichi●別枠扱いではなくて、垣根の低いものとして取り扱ってもらえるといいなと。ミクというキャラクターもCMやゲームで使われ始めていて、キャラクターとして音楽以外にも進出していける可能性もある。それで興味を持ってくれる人が増えれば、さらにシーンは盛り上がるのではないかと。

ケイ●ボカロの歌声とか存在が、もっと自然にあるものになるといいなと思いますね。

いぶし●さて、そんなわけで、ここまでボカロの歴史とこれからのお話でしたが、最後にこれからボーカロイドをはじめてみよう、という人にアドバイスなどあればと。

キャプミラ●やるとしたら1曲目でやめないでね、というところでしょうか。

ケイ●それはありますね。

キャプミラ●バンドをやっていたころの知り合いも〝ボーカロイドやってみたい〟っていって始めるんだけど、最初の投稿で伸びないとイメージと違うらしくて、それだけでやめちゃうっていう人も多い。

ケイ●伸びないっていうのは、曲云々もあるかもしれないんですけど、文化に即してないやり方の場合が多いっていうか。

キャプミラ●そうそうそう、〝愛〟がないんだよね（笑）

buzzG●うんうん。ボーカロイドをやってみて、やっぱり好きじゃないと続かないなって。

ケイ●同人で頑張ってた、音楽屋さんをやってますって言う人がプロっぽさ出して、それが受けないっていうこともありますし。

キャプミラ●逆にものっすごいプロっぽくても、「この人ボカロが大好きなんだなー」ってことがわかると受け入れられやすいですよね。

ケイ●「ボカロを足がかりにして、絶対売れたいんです！」という人はバレちゃいますよね。

buzzG●趣味程度で、〝面白そうだなー〟っていう人は結構続きます。続くし、受け入れられやすい。

いぶし●逆に、売れたい、成功したいって頑張ってしまう、〝意識が高い人〟は早々に脱落していく世界。〝意識高いボカロP〟とか。

ichi●やっぱり、基本的に遊びの延長線上なんだっていうことですよね。〝楽しむ〟っていうことが基本にないと。

ケイ●そうじゃないと続かないし、まして人もついてこないし。

ichi●よーし、帰ったらボカロエディタ開こうかな！

ケイ●いやー、開きたくないわ～（笑）

全員●ハハハ（笑）

※14：「MIKUNOPOLIS in LOS ANGELES はじめまして、初音ミクです」。2011年7月2日に米国ロサンゼルスNOKIAシアターで開催した、初音ミク初の海外コンサート。会場では4000人を超える海外ファンが熱狂した。その様子はメディアを通じて日本のファンにも届けられ、逆に日本のボカロファンを驚かせた。

企画内容、発売日は変更になることがあります。予めご了承ください

plus 次号予告

ボカロPlus

Vol.3
2012年2月下旬
発売予定

CULさんを
まるっと
取材します

©VOCALO Revolution executive committee All Rights Reserved

ぺぺろんPさんの
すぐに効果がでる
ボーカロイド講座!
~キャラ別テクニック編~

「もっと評価されるべき!」と
叫びたくなる
ボカロ曲 200

動画師&絵師の世界

『千本桜』が140万再生を突破!
ボカロplus Vol.3では動画師「三重の人」さんと
絵師「一斗まる」さんにPV制作のお話をお聞きしたいと思います

次号は2月下旬発売予定!
現在、鋭意取材中です!

2011年10月17日、Vol・1をお届けさせていただいたボカロプラスですが、このたび無事、Vol・2をお届けすることができ、編集部一同、読者のみなさまに感謝しております。

お近くの書店で見つからない、ファッション誌のコーナーにあった、アニメ誌のところで発見など、手に入れるのに苦労されたお話も聞いております。

現在、Vol・3を2012年の2月末にお届けできるように、鋭意取材中です。ヤマハさんにご協力いただき、SeeUを企画したSBSのプロデューサー・キムさんにもお会いできそうです。次号ではボカロPさんに加えて、動画師や絵師さんにもPV制作のお話を聞いてみたいと思っております。

そして、ボカロ曲コンシェルジュのみなさまにお世話になりっぱなしで恐縮ですが、次号も『もっと評価されるべきボカロ曲』第3弾をお届けいたします! ボカロプラスVol・3にご期待ください!

GUMI特集
第2弾!

©Crypton Future Media, INC. www.crypton.net

©SBS Artech All rights reserved

GUMI ©ゆうきまさみ
©2011 INTERNET Co., Ltd ALL rights reserved

SeeUについて
SBSのキムさんに
いろいろ聞いてきました!

V3ボカロキャラ図鑑

編集部とPさんの妄想企画

主題歌つくっちゃいました!!!

第2回 曲も歌詞もできて、ものすごい期待がつのります。

BOOK DATA

『パリ黙示録
1768 娼婦ジャンヌ・テスタル殺人事件』
真梨幸子/著
徳間書店 1680円(税込)

フランス革命の二十一年前。ルイ十五世治下のパリは、すでに革命の予兆を孕んでいた。貴族の醜聞を喜ぶパリ市民たち。訴訟趣意書を大きく脚色して儲ける印刷業者たち。とりわけ人々が喜ぶのは、若く美しき貴公子・サド侯爵の醜聞だ。そのサド侯爵が新たな暴行事件で訴えられた日。セーヌ河畔で最初の醜聞の相手であった娼婦ジャンヌが惨殺死体で発見された。残忍な殺人を犯したのは、あのサド侯爵なのか? パリ警察でただひとり、放蕩貴族の監視を任務とする私服警部ルイ・マレーが捜査で出会う「悪」の姿とは…。

PROFILE

著者プロフィール

真梨幸子(まり・ゆきこ)
1964年宮崎県生まれ。『孤虫症』で第32回メフィスト賞を受賞し、デビュー。ミステリー、ホラーの手法を使いながら人間の心理の襞に分け入る著者独自の作風は、多くの評論家から熱い注目を集めている。近著は『殺人鬼フジコの衝動』(徳間書店)、『更年期少女』(幻冬舎)、『聖地巡礼』(講談社)など。文庫版『殺人鬼フジコの衝動』が大ヒット中!

お題【パリ黙示録 1768 娼婦ジャンヌ・テスタル殺人事件 真梨幸子 著】の主題歌

だいすけP&SaKiさんのユニットの力で着々と主題歌の制作が進む、編集部S井は見守るのみ

自分が気に入った本に勝手に主題歌をつけてしまおうという当企画。編集部S井のお願いに快く応えてくれたのは『だいすけP』。

彼はシンガー・ソングライターのSaKiさんと『INFINITY∞』というふたり組のユニットでも活動していて、演奏スタイルは生身の人間の歌+キーボード。たまにふたりでボーカロイド曲を書いているとのこと、SaKiさんが小説などのイメージソングを作るのが好きらしく、今回の主題歌もユニットで制作してくれている。

編集部S井にできることは、メールしたり、ツイッターでDMしたりして"どうですか?"というだけなのでほぼ参加していないにひとしい。だいすけPさんからのDMをご紹介しよう。

「現在の進捗状況ですが、SaKi自身の活動がかなり忙しくて、僕のほうで身動きがとれない状況です。SaKiのシンガーソングライターとしての歌心をボカロに活かしたいと思い、SaKiが作詞・作曲、アレンジとボカロエディットを僕が担当することで話が進んでおります。

11月頭には歌詞とメロがSaKiの方から出来上がってくる予定で、そこから1~2週間ほどで出来上がるのではないかという感じです。

ちなみに、SaKiの歌心はどれくらいすごいかというと、SaKiがいつもライブでやっているのですが、お客さんから3つのキーワードを言ってもらってそのキーワードを入れて約1分の間に即興でピアノ伴奏をつけて歌うくらいのものです。

初めてライブに行ったときは正直、音楽業界やめようかなと思ってしまったほどです(笑) あ、申し遅れました、ボカロプラス無事届き、読ませていただいております。ありがとうございました!」

だいすけPの素敵な人柄が伝わってくる文面である。それだけに、編集部S井も働かねばならない。しばらくしたあと、編集部S井はだいすけPにメールを書いた。"パリ黙示録の感想と曲制作の進捗を書いて送ってくれないか"と。また"お願い"である。

すると今度はSaKiさんのコメント入りで返信があった。

「**SaKi** 報われぬ過去を背負う人、振り切ろうとする人、逆に飲み込まれてしまう人、また逆にそれを武器にしてしまう人、さまざまな人々の生き方が交差する中で、少しずつ事件の真相に近づいていく…ずっと昔の外国のお話とはいえ、人間のえげつなさや純粋さが如実に描かれている作品だと思いました」

「**だいすけP** まず、タイトルの"パリ"と"1768年"という言葉で"ベルサイユのばら"的な華麗で美しい物を想像していたのですが、人間のドロドロと汚れた闇の部分と、表に見せる美しさのギャップに驚きました。後半になるに連れ、どんどんと物語に引き込まれていく感じでした。今のイメージでは、舞台である"パリ"の美しさと人間のドロドロした闇を表現したい……ということで、シンフォニックオーケストラの優雅さとメタルの汚さを併せ持った"シンフォニックメタル"的なものをイメージして制作中です。ロックといえば、アイスマウンテンということで、氷山キヨテルをフィーチャーする予定です」

『Awaken』　作詞：Saki

薄暗い夜明け 差し込む光のヴェールが
織りなすあの羽は　堕ちた幻影(イルシオン)

狂い咲いた花をむしり取る
欲望に満ちた　無数の掌

破られた静寂　眠りから醒める街
音を立てて生まれる　美しき仮面の　亀裂

さあ始めよう　宵の宴を
口にするのは　真実か毒か
穢れた杯が交わされる時
奏でよ　漆黒の序曲(プレリュード)

蕩(たゆた)う瞳を　鋭く瞬かせながら
虚像に腕伸ばし　切り開く騎士(ナイト)

さあ始めよう　宵の宴を
裁かれるのは　運命か罪か
至高の裏切りが施される時
謡えよ　安息の鎮魂歌(レクイエム)

さあ始めよう　宵の宴を
口にするのは　真実か毒か
聖なる杯が交わされる時
始まる　暗黙の狂詩曲(ラプソディ)

「**SaKi** 作中で、事件に巻き込まれた人々の惨たらしい情景の他に、景色や人の、"美しさ"を現す描写が細かくなされていたことを受け、"これから始まろうとする悲劇を、いかに美しく表現するか"で歌詞を書き、その言葉のひとつひとつに色がつくように、ちょっと独特な動きのあるメロディに仕上げてみました。"何か大きな事がはじまりそうだ"という、期待と不安を引き立たせるこの曲が、この作品の"プロローグ"を飾る一曲として皆さんの胸に響いたらいいな、と思いました」

そうなのである。コメントだけでなく歌詞も曲も届いたのだ。SaKiさんの歌うMP3データまで! タイトルは『Awaken』。

これは、パリ黙示録の担当編集の腐女子にも聴かせねばならない。そして感想ももらわなければならない……と編集部S井は思った。ここで担当編集のT子のコメントも掲載するが、なにぶん彼女があまり寝ていないのと、正真正銘の腐女子なので読み苦しい部分がある。なのでさらっと流していただきたい。

「いやぁーん、麗しいです、素敵すぎです! ジュテーム! オスカ~ルじゃなかった、ジュテームだいすけPさまぁ~って叫びたい!」

▶ だいすけP

PROFILE

4歳からエレクトーンを始め、11歳から作曲を始める。2007年秋ごろよりVOCALOIDを使った楽曲を制作。DTMマガジン「初音ミク　クリスマスコンテスト」にて楽曲「白いプレゼント」が入賞、「うぇぶたまww　初音ミクベストプロデューサーコンテスト」で佳作を受賞する。現在もニコニコ動画、ピアプロにて作品を発表中! 伝説のユキマスター。最新作は【初音ミク】夢見人　(ゆめみと)

blog : http://daisukep.blog47.fc2.com/
Twitter : http://twitter.com/Daisuke_P
Web : http://www.nexyzbb.ne.jp/~koubou5857/music/

ボカロ系音楽同人誌『VOCA'ON』編集長

5103に VOCA'ON誕生裏話やこだわり、今後のVOCA'ONについて、いろいろ聞いてみました。

5103

Profile

読み方・愛称は「ごとーさん」。ボカロ系音楽同人誌「VOCA'ON」の編集長。元・雑誌編集者の経験を活かし、「VOCA'ON」の企画立案のほか、自らも取材・執筆も手がけてる。「インタビューをしたり作品を耳にするたび、作る人の意志やこだわりの強さを感じて、純粋に感動します。音楽に関わっている人はどこまでも音楽にまっすぐで、いつまでも自分自身と向き合っているんだな、と感じます」

ボカロPさんへのユーザー目線のインタビューや対談が、多くのボーカロイドファンの注目を集めている同人雑誌『VOCA'ON』（通称：ボカノン）。編集長の5103（ごとーさん）に『VOCA'ON』について、いろいろお聞きしました！

作曲の話やどんな音楽を吸収して自分の曲を作っているのか……。そういったボカロPさんのパーソナルな部分にスポットを当てた本があったら面白いな～と考えたのが創刊の理由です。

――まずは『VOCA'ON』の創刊に至った経緯、きっかけをお聞きしたいと思います。

ボカロPさんである〝ハヤシケイ〟さんのツイッターでの発言がきっかけです。「ボカロPさんへのインタビューって結構あるけど、DTM技術系とかメディア論的なインタビューが多いから、もっとアーティスト的側面にスポットをあてた記事を読みたい」とツイートをしているのを見て、「これは面白そうだ！」と。

――それはいつごろ？

2010年の春ごろです。今でこそさまざまな雑誌で作品と共にボカロPのみなさんが取り上げられるようになってきましたが、当時はボカロPさんの雑誌への露出はあまり多くありませんでした。作曲の話や、どんな音楽を吸収して自分の曲を作っているのか……そういったボカロPさんのパーソナルな部分にスポットをあてた本があったら面白いな、読んでみたいなと思いました。

――5103さんご自身は、雑誌の編集経験はありましたか？

以前、編集プロダクションで雑誌編集の仕事をしていました。〝ハヤシケイ〟さんのツイートを見て「私にもできるかも」って、勢いで手を挙げてしまいました（笑）

でも実は、それまで同人誌の制作経験もなければ、音楽雑誌の編集も経験したことがありませんでした。アーティストへのインタビューも、『VOCA'ON』を作り始めて、初めて経験したんですよ。

――『VOCA'ON』の編集部である『殊式会社ゴッチング・オン』のメンバーは現在8名とのことですが、このメンバーはどのようにして集まったのでしょうか？

私がボーカロイドにハマったすぐ後に、ボーカロイド曲のファンが集まるオフ会に参加したんです。そのとき出会った人がコアメンバーになっています。

――雑誌作りにはカメラマン、デザイナー、ライターなど様々な人材が必要になります。

オフ会に行くと、本当にいろいろな職業や趣味を持った人と交流できますよね。そのオフ会にも、カメラマンやデザイナー、長年同人誌作りに携わっている人など、雑誌作りに必要な技術や知識、経験を持った人が集まっていて、ひとりひとりに声をかけていきました。

――そんなメンバーが集まって『VOCA'ON』が制作されることになったわけですが、創刊までに苦労したことはありましたか？

きっかけになったケイさんのツイートが、ほとんどそのままコンセプトになっていますので、方向性を決めることはそれほど難しくありませんでした。内容もボカロPというアーティストが主役でインタビュー中心の雑誌……ということで、音楽雑誌「ロッキング・オン」にあやかって『VOCA'ON』という誌名にしました（笑）

――滑り出しは順調だったんですね。

そうですね。でも、「面白そう」という思いだけを原動力に制作を始めたので、実際にスタートしてみたら、本当に何もかもが手探りでした。それに私自身、実はそれほど音楽に詳しくなかったんです。今でこそボーカロイドを通じてさまざまな音楽を聴いていますが、それまでは流行りのメジャーどころを人並みに聴いていたという感じでしたので……ですから、「どんなことを書いたら面白いと思ってもらえるのだろう」と。「中身、ペラペラじゃん」なんて言われちゃうんじゃないかと。

――最初はやっぱり不安だったと。

そうですね。作っている人間としては「面白い内容が聞けた」という手ごたえはあったんです。けど、それに自信が持てたかっていうと、やっぱり凄く不安がありましたね。ボカロ界隈にこういう雑誌自体なかったし、どういう反応が返ってくるのか……。「こういうの需要ないよね」って言われてしまったらそれまでじゃないですか（笑）

――動画をアップしている人と同じような心境ですね。

そうですね、図らずもボカロPのみなさんと同じような気持ちも味わうことになりました（笑）

――さて、先ほどオフ会に参加したというお話が出ましたが、5103さんがボカロ曲を聴くようになったのはいつごろからでしょうか？

ボーカロイドは、〝ryo〟さんの『ワールドイズマイン』を友達が聴いていたことで知りました。そのころは「初音ミクっていうキャラクターが歌っている」と思っていて。まさか、ボーカルソフトだとは思ってもいませんでした。

――人が歌っていると（笑）

そうです（笑）。その後、〝すこっぷ〟さんの「Re*Hello GooDByE」や「マリオネットシンドローム」を聴いて、作り手個人に注目するようになりました。それから〝ピノキオP〟さんの曲も好きで、「eight hundred」や「Fireworks」は今でもよく聴いています。

――〝すこっぷ〟さんや〝ピノキオP〟さんが、きっかけだったんですね。

そうですね。それと同じぐらいの時期に出会ったのが、〝ハヤシケイ〟さんの「ユートピア」。この曲との出合いが自分の中で衝撃的でした。当時はランキングに載っている曲を中心に聴いていたんですが、「ユートピア」についてはタグで検索したわけでもなく、たまたま目に入って再生して。「なんだこれ、すごい！」って（笑）。その後、〝ハヤシケイ〟さんや〝すこっぷ〟さんが参加される即売会イベントやライブにも足を運ぶようになりました。

――ボーカロイドには、どんな魅力があると思いますか？

ひとつの音楽ジャンルとして、ひとつひとつの作品や、そこに関わっている「人」が魅力的だと思います。曲を作っているボカロPのみなさんは、本当に十人十色。ボーカロイドというものの捉え方ひとつとっても、楽器のひとつとして見ている人もいれば、ひとりの人間としてプロデュースをしている感覚の人もいる。キャラクターの可愛さに惹かれている人もいるし、曲を作ってもボーカルがいないから、という人も。その見方によって曲調も変わってくるし、その人らしさが凄く出ると思います。

――作品に個性が強く現れると。

そうですね、使っているボーカロイドの違いはありますが、使っているソフトはすべて同じ。だけど、出来上がる作品だったり、調声ひとつとっても、全然違うものができる。だからこそ、アーティストの「個性」という輪郭がよりわかりやすく伝わるんだと思います。それと同じように、聴き手側の「好き」という感情も十人十色ですよね。作り手も聴き手も個性的で、メジャーにはない自由さや雑多さがあることが、魅力なんじゃないでしょうか。

ボーカロイドをボーカルにすることで、ボカロPさんの「個性」という輪郭がわかりやすくなることがボーカロイドの魅力だと思います。

VOCA'ON

「VOCALOID」楽曲の「作り手」であるボカロPさんのアーティスト的な側面や人柄にスポットを当てることをコンセプトに創刊された同人雑誌。2010年11月14日開催の「THE VOC@LOiD M@STER14」にて第1号を頒布し、現在は第3号までの3冊を発行。また『Gekkayoボーカロイドfan』（株式会社ブティック社発行）とのコラボレーションにより、特別編集号となる「第1.5号」「第2.5号」の他、フリーペーパーも「第3.5号」を制作している。

（画像：VOCA'ON表紙）

――特別編集版も含めると6号を制作されていますが、制作はどのような形で行っていますか？

まずはみんなで集まって企画会議をします。その後はほとんどオンラインでやり取りをしながら、取材・ライティング・デザイン・校正などをしています。

――オンラインで作る利点は？

あくまで同人活動なので、本職は学生だったり社会人だったりします。どこかにデータを置いておいて、それぞれ空いた時間に作業を進めていくことができるので、そこは利点だと思います。

――逆に難しいところは？

なにより、孤独感が半端じゃないですね（笑）。原稿に追われているときはずっとひとりで、てんてこ舞いになっています。それと、デザイン面についてはオンラインではニュアンスが伝わりづらいので、やり取りは自然と多くなります。集まって作業した方がコミュニケーションはとりやすいと思います。

――誌面を作る上で注意していることやコンセプトは？

まず、ボーカロイドを〝音楽シーンのひとつ〟として扱い、作り手にスポットを当てるのが『VOCA'ON』

ユーザーやファンの代表として、そのボカロPさんの人となりを伝えて、聴き手と作り手の垣根を低くできれば……と思っています。

の基本的なコンセプトです。「ボカロP」と呼ばれる楽師へのインタビューやライブイベントのレポートなど、ボカロシーンの音楽情報を、なるべく幅広く取り上げた誌面にすることを意識しています。

——「人を中心に取り上げる」ということですね。

そうです。ですから、ボーカロイドのキャラクターイラストは極力使わないようにもしています。創刊前に、友達からは「ミクが表紙じゃなきゃ売れないよ」って言われてしまったんですけど、取り上げたかったのはその部分ではなかったので。

——誌面を通じて伝えたいことは?

「キャラクター」性を取り除いても、こんなにも活発な音楽市場がある」ということ、「作り手はこんなにも魂を込めて、ボーカロイドのシーンを盛り上げている」ということを、作り手だけではなく、聴き手にも伝えられたらと思っています。

——人選にこだわりはありますか?

人間くささとか、気持ちや伝えたいことが作品に表れている方にインタビューをお願いしています。それと、読者のみなさんのご意見や興味ももちろん大事。「この人を取り上げてほしい!」という声があったら、まず「自分たちだったらどんな風に取り上げられるだろう」ということを考えるようにしています。読者の声を無視した本にならないように気をつけていますね。

——インタビューをする上で心がけていることは?

自分自身は音楽にそれほど詳しくない、ということもあるんですが、ボカロPさんの「人としての魅力」を引き出せたらと思っています。即売会イベントなど、ボカロPさんとコミュニケーションをとることができる機会は増えてきましたが、たとえば地方の方はなかなか参加することができないですよね。また、音楽的な話も即売会で深く話せるようなことではありません。ですから、ユーザーやファンの代表として、そのボカロPさんの人となりを伝えて、聴き手と作り手の垣根を低くできればいいなと思っています。

——『VOCA'ON』の誌面は写真もとても印象的ですね。

一般的な音楽雑誌と違い、ボカロPさんの中には「顔出しNG」という方もいらっしゃいます。ですから、表情以外でその人らしさ、魅力をどう伝えるか、ということには頭をひねっています。

——たとえば、第2・5号(Gekkayo ボカロFan 第2号掲載)の〝ぽーかりおどP〟さんのインタビューでは、プラネタリウムで撮影をしていますね。

〝ぽーかりおどP〟さんの作品には星や宇宙に関する曲が多かったので、プラネタリウムでの撮影を思いつきました。

——第1号で〝すこっぷ〟さんが音楽室でピアノを弾いている写真も印象的ですよね。

〝すこっぷ〟さんはピアノの音が映える曲が多いのと、思春期の女の子が登場する印象が強いので、「学校の音楽室がイメージにぴったりだね」という話になりました。なので、廃校になった学校で撮影しています。

——写真撮影でのコンセプトは?

作り手の伝えたいことは曲に表れていると思います。ですから、その「曲」をモチーフにすることがその人のことを伝えるのに一番いいんじゃないか、と思っています。

——ボカロPさんや音楽関係者からの評価も高いですね。

ありがとうございます。第1号と第2号は完売、第3号も好評です。

——『VOCA'ON』を作り始めて、変わったことはありますか?

出版社の方に「面白いことやってますね」と声をかけられるようになったり、ずっと『VOCA'ON』を購入してくださっている方を、ツイッターでフォローしたときに

殊式会社ゴッチング・オン

『VOCA'ON』編集部であるサークル『殊式会社(ことしきがいしゃ)ゴッチング・オン』。メンバーは編集長:5103/カメラマン兼デザイン兼ライティング:29面相@えでぃー/デザイン:冬子/デザイン兼ライティング:ぴっぴ/ライティング:maruya91/ライティング兼校閲:アヤコ/広報・ブログ担当:CIHILO/校閲:かえでの8名で構成されている。
http://vocaon.blog77.fc2.com/

面白いことや楽しいことは、誰かに言ったり誘ったりして共有したい……。それがひとつの形になったのが『VOCA'ON』なんです。

「あの『VOCA'ON』の編集長の5103だ」なんていわれることもあって、「えー!」って(笑)

——予想以上の反応に驚いているという感じでしょうか?

驚いているというか、少し戸惑っている、というのが正直なところです。私自身の何かが変わったわけでもないですし、面白いのは作り手やボーカロイドのシーンそのものですし、『VOCA'ON』も私が言い出して始めたものではないですし……。ただ、「他の人がやっていなかったことをやった」という点を評価していただけているのであれば、やっぱり素直にうれしいです。それに「面白かった!」とお声をかけていただいたり、感想を言っていただけなければ、創刊号で心が折れていたかもしれないな……と思います。

——逆に「変わらない部分」は?

「変わらない」というのとは少し違うのですが、個人的に痛感したのは自分の「ものづくりに対する想い入れ」ですね。出版関係の仕事は体力的にも精神的にもキツかったので、現在は足を洗って(笑)まったく違う仕事をしています。

——それでも、本作りに戻ってきてしまった

そうですね。「なんだかんだで、やめられないんだ」って。曲を聴いて「この人すごい」って思ったら、やっぱり「この人のことを他の人にも知って欲しい」って思います。そんな純粋な感動や「この人はどんなことを考えているんだろう?」という好奇心を、目に見える形にして共有するのが、大好きなんだって。やっぱり、面白いことや楽しいことは、誰かに言ったり誘ったりして共有したいじゃないですか。それがひとつの形になったのが『VOCA'ON』なんだと思います。

——最近は商業誌でもボカロPさんの露出が増えてきました。『VOCA'ON』編集部としてはどのように考えていますか?

今後、『VOCA'ON』と同じような雑誌が商業誌としてできたとしたら、それはその方がいいんじゃないかな、とも思っています。フットワークが軽くて、組織力も時間もあるのが商業誌の強み。ですから、より多くの人に、たくさんのボカロPさんのことを知ってもらえるようになるといいなって思います。

——そんな中で『VOCA'ON』の強みはどんなところに?

やっぱり自分の好きなことができる……ということですよね。それと、作り手・聴き手のみなさんと距離が近いということも、同人で雑誌を作っていくことの強みだと思います。

——そんな『VOCA'ON』ですが、今後の発行予定は?

「次を楽しみにしています!」っていうお声もたくさんいただくんですが、第4号の制作については今のところ未定です。創刊号~第3・5号まで、特別増刊を含めるとかなり短いスパンで突っ走ってしまったので……今はひと息入れながら、次号の制作に向けて充電をしている、というところです。

——今後どのような誌面にしていきたいと考えていますか?

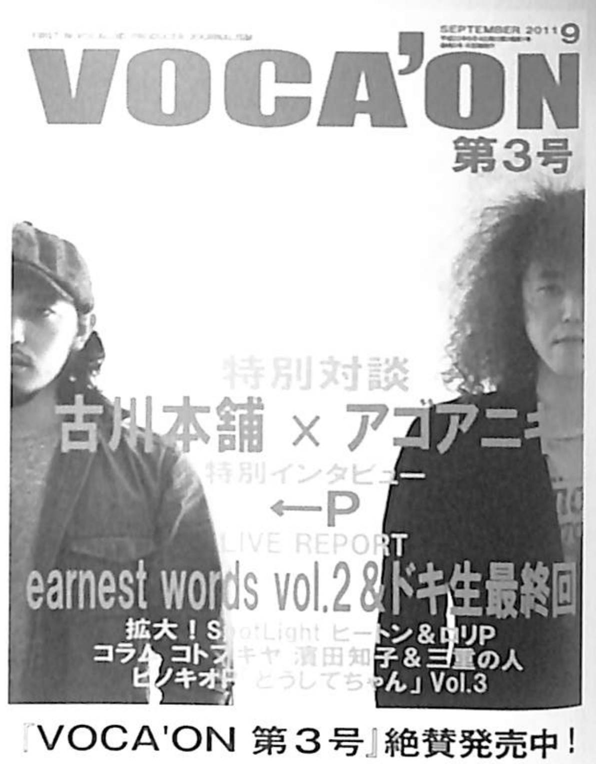
「『VOCA'ON』じゃないとこの発想は出ないよね」と思っていただけるような、面白い組み合わせの対談や面白い視点でのインタビューができればと思います。それと、ボカロPさん個人だけでなく、サークル単位で面白い活動をされている方々も取り上げていきたいですね。『VOCA'ON』らしさを作り上げていくこと、その上で「面白い!」と思っていただけるような誌面にできれば、と思っています。

——最後に、今後のボーカロイド現象について、展望などを教えて下さい。

そうですね……私自身元々が飽きっぽいので、あまり深く難しく考えすぎると途端につまんなくなってしまう気がするのもあって、強い展望や願望は持っていません。ただ、いつまでも作り手が面白がって自分の作品を制作して発表できる場所があればいいな、と思います。作品に対して「面白い!」と感じたことや感動が別のアクションに繋がっていけば、自然と面白いシーンであり続けるのではないでしょうか。逆に、「面白いのまだー?」というお客様のような人が増えてしまったら、どんどんつまらなくなってしまうんじゃないかなって。

——『VOCA'ON』も、〝ハヤシケイ〟さんのツイートに5103さんが反応したことがきっかけでした。

そうですね、きっと楽しいことの種は、いろいろなところにたくさんあるって思うんです。それを育てて面白がっていくことが、自分たちの居場所やシーンをより楽しいものにしていくことに繋がると思います。



『VOCA'ON 第3号』絶賛発売中!

CONTENTS:対談インタビュー「古川本舗」×「アゴアニキ」/ボカロPインタビュー「←P」/ライブレポート「earnest words vol.2」&「ドキ生最終回」/ピノキオP描き下ろし漫画「どうしてちゃん」/Spotlight「ヒートン」&「ロリP」ほか 「とらのあなWebsite」にて好評発売中!
(http://www.toranoana.jp/index.html)

『VOCA'ON 特別増刊1.5号』(『Gekkayoボーカロイドfan』掲載)"ゆちゃP"さんのインタビューページより。「『空想パレット』『ポーカーフェイス』の作者である"ゆちゃP"さん。トランプにちなんだセカンドアルバム『trump』を発表された直後でしたので、トランプをモチーフに撮影しました」
(撮影:29面相@えでぃー)

Re:nGさん

ボカロ曲のPVにかかわるクリエーター達の権利を樹立するために、さまざまな努力をしてきたボカロPがRe：nG（レンジ）さんだ。ボカロPや絵師・動画師のために彼が労を惜しまず取り組んだこととは……。

Profile
JOYSOUNDリアルタイムリクエストでのカラオケ化にいち早く参戦し、いくつもの曲が配信されている。『jewelfish』は氷山キヨテルの初カラオケ配信曲。幅広いジャンルを手掛け、ボーカロイドオリジナル曲の以外でも、既存曲のアレンジや、自ら歌唱を行うなど活動の幅が広い。2011年4月25日に、茶茶子さん、prkrさんとユニットAthanasiaを結成。

『DISCLOSER』

価格：¥1,000（即売）¥1,500（委託）／Vocal：神威がくぽ、氷川キヨテル ／Re:nG
solidbeatsリリース第4弾

JASRACに部分信託の契約が実現されました。ボカロPさんだけではなく、同人やインディーズで活動する作家の人達に大きな意味を持つ一歩だと思っています。

ニコニコ動画から自然発生的に盛りあがったボーカロイド現象。たくさんの名作が公開され、歌われ、踊られ、それは、インターネットの枠を飛び越えて、CDやカラオケ配信など、一般流通網への進出を世の中から求められた。純粋に楽しむという行為から商業への進出、無償から有償に変わる流れの中で、権利問題という複雑な問題が浮上する。それらの問題に対して、自ら第一線で向き合ったボカロPさんがRe：nGさんである。今回は、その話を彼から聞きたいと思う。

複雑な権利問題に立ち向かうにあたり、体力と時間の他に、精神的な負担もあると思うが、なぜ、彼はチャレンジをするのだろうか。

「上手くいかないことがあると、出来るようにするにはどうしたらいいかを考えてしまうんです。それと、ニコ動の文化はダメ元で交渉をしてみると意外と上手くいくことが多かった経験もあり、その辺りが自信の根幹をなしている部分のような気がしますね」

ボーカロイド曲を楽しみたい、と思う行為の中で求められたのがカラオケ配信。確かに名曲揃いのボーカロイド曲はカラオケで歌いたくもなる。カラオケ配信の先駆けとなった彼に、そのなれ染めを聞いてみた。

「3年前ぐらいの話です。ボーカロイドのために作った曲をカラオケで歌うのは難しいと思っていますが、〝歌ってみた〟で、しっかり歌えていた動画もありましたし、カラオケで配信するだけでも単純に面白いと考えました。その頃のボーカロイドは、一般的には、まだまだ認知されていない状況だったので、カラオケは認知度を上げるひとつのよい手段だと思ったのです。もちろんJASRAC信託曲でないと使用料が配分できないという話があったのですが、マネタイズについて悩むよりも新しいことを切り開く方が絶対ネタとしても面白いし、あの時期に〝ボカロ曲がJOYSOUNDに参戦〟する意義の方が自分は圧倒的に大きかったので無償での許諾としました」

無償での配信となったことで、起こる問題もある。

「もちろん賛否両論で、使用料を取らないのはけしからんという意見もありました。でもそこはこれから先の話だろうと思っていたんです。まずはもっと多くの人にこのボカロ文化について知ってもらいたかった。しかし、思った以上にボカロ文化の広がりは早くて、あっという間にボカロ曲がカラオケのランキングや履歴を埋め尽くすようになったんです」

この時点で、さまざまな企業が著作権利者であるボカロPさんに、使用料を配分する仕組みを検討した。その渦中で彼はどのような体験をしたのだろう。

「エクシングさんとは1年おきぐらいに〝使用料はどうですか〟〝やっぱり難しいです〟といったやりとりをしていたんですが、ボーカロイドや著作権に関係する会社は〝このままではよろしくない〟という意識が高まっていたこともあって、この度、やっとJASRACで部分信託の契約が実現されました。今回の部分信託はボカロPさんだけではなく、同人やインディーズで活動する作家の人達にとっても、ものすごく大きな意味を持つ一歩だと思っています」

JASRACが部分信託を実施することにより、著作権利者であるボカロPさんにも、カラオケ配信の使用料が還元されることになった。この契約により、カラオケ配信以外のメリットも生れることになる。

「レーベルさん主導のコンピレーション・アルバム（以下、コンピ）と、同人CDの新しめの作品を一部のTSUTAYAさんにレンタルで置かせてもらっています。同人CDは実験的な対応で勢いを見て今後が決まるみたいなので、ぜひみなさん借りに行ってください（笑）。ちなみに部分信託が実現したことによって、レンタルについても一部使用料が戻ってくるようになりました。昔はここも無償だったんですよ。CDレンタルでの原盤権の部分はレコード協会から戻ってくるので、メジャーレーベル以外のCDはレンタルで原盤料の分配は受けられないんです。なので、インディーズレーベルについては基本的に全部買い切りになってしまうんですが、著作権の部分は一律JASRACから戻ってくるようになったので、部分信託はありがたいお話でしたね。あと、メジャー流通のCDは自動的に放送局のライブラリに入るそうで、そうするとメジャー流通のコンピの収録曲は、テレビやラジオで流れる可能性がいつでもあるとか。自分も突然ラジオで流れたという話を受けて信託曲を増やしたことがあります。そういったコンピに入った曲は部分信託を考えた方がいいと思いますね」

これで、すべての問題は解決したかのように思えたが、彼の取り組みは続いた。

「そもそもエクシングさんから〝PVを使いたいね〟という話は出ていたのですが、カラオケの設置店ごとにシステムのスペックが異なるなど、いろいろと問題があったようです。最近になってPVを流せるようになりそうだと話をいただいたので、PVを使えるのであれば、絵描きさん、動画制作者さんにも使用料を戻せないでしょうか？という話をしていたんです。そこからどう分配するかを相談して、動画使用料や著作権料から上手く配分するというかたちになりました。パーセンテージもエクシングさんと話し合って決めました。ただ、配信先がまだカラオケぐらいしかないので、もっと利用できる先が増えればいいと思います。これを機会に絵描きさん、動画制作者さんのモチベーションの足しになって、さらによい作品が増えていくといいのですが……」

ボカロ界隈に関わるすべての人達に対価を還元するという、当たり前のようで複雑な交渉を彼は行ってきた。次のステップは何処に向いているのだろうか。

「権利問題はもうやり尽くした感じが……まだ残っている権利問題がありますかね（笑）。権利、権利というのは、ニコ動で活動してきたものとして、あまり好きではないんですよ。これ以上ガチガチにしてしまうと今まで自由だったものが自由でなくなるかもしれないですし。あくまで不自由だったところをキレイにするのが目的なので……。例えばJASRACの支分権の包括契約になっているあたりとかはどうなの……とかいう話もあるでしょうけど、包括契約になっているのはそれなりの理由があるのだろうし、そこまで行くと自分の範疇じゃないなって気がします」

ボカロ界隈で活動する人の為に動いてきた彼だが、本人も優れたボカロPさんであり、その活動についても話をうかがった。

「今年は茶茶子さん、prkrさんと『Athanasia』というユニットを結成して、すぐその後に【がくぽ&キヨテル】のアルバムを作っていて、久々にミク曲を作ったら1年ぶりという状況だったので、【初音ミク】曲を作る機会をしばらく大事にしたいです。ただ歌い手さんへの曲提供とか、『Athanasia』の次の展開とかも考えていかないとならないので、色々また並行でやっていく事にはなるんですけど（笑）」

彼は女性ボカロのソロ曲は【初音ミク】でしか作らないという縛りで活動をしている。その理由は？

「新しいボカロに次々手を出すと、いつか誰も【初音ミク】の曲を書いてくれなくなるんじゃないかなと思っていて。それも、いまでは杞憂なのだろうなと思っています。それと、【初音ミク】のデフォルトで鳴らしたときのあの声の雰囲気がすごく好きなんです」

最後に、今後もボーカロイドを続けていくのか聞いてみた。

「この前の『ミク誕生祭』の曲がひとつの答えです。曲の意図は極力話さないようにしているのですが、あの曲に関しては話してもいいかなと思います。新しいボーカロイドが出るたびにボカロPさん達が、ミクさんに曲を書いてくれなくなると危惧をして4年経ちましたが、いまは自分が死ぬころにも、ミクさんは存在するだろうと考えていて、そうなると作り手がいなくなったボーカロイドは、何者になるのだろう……というのが、誕生祭の曲のテーマです。つまり、死ぬまでボーカロイドは続けるつもりです（笑）」

Re:nGさんを知るための5曲

①SING＆SMILE（VOCALOID2 初音ミク）②WAY（VOCALOID2 初音ミク）③jewelfish（VOCALOID2 氷山キヨテル）④貴方に花を 私に唄を（VOCALOID2 初音ミク）⑤接吻は刹那（VOCALOID2 神威がくぽ）

ぺぺろんPさん

なんと15種類のボーカロイドを所有して使いこなしているぺぺろんPさん。そして、その神調教テクニック、楽曲のすばらしさは多くのファンを魅了させている。ぺぺろんPさん流のボーカロイドの使いこなしが知りたい！

Profile
アーティスト名は「虹原ぺぺろん」、以前は「Mラヲ」という名前で活動をしていた。2007年10月14日『はつね』でボカロPデビュー。序奏に定評がありイントロの魔術師の異名を持つ。多くのボーカロイドを所有し、そのボーカロイドに合わせた調教テクニックも評価されている。最新アルバム『Imaginary』は、キャラクター性を重視している。

『Imaginary』

価格：¥1,500（即売）¥1,575（委託）／Vocal：初音ミク、鏡音リン、miki、歌愛ユキ、Lily、GUMI、猫村いろは／陰謀派スライダーリリース第9弾

ボーカロイドはキャラクターの存在が魅力ですよね。そのイメージにあわせたり、あえてギャップを生かしたりするのが曲作りの楽しい部分です。

現在、世界中で27キャラクターが発売され、そのうち18体が日本語で歌うボーカロイドだ。4年ぶりにボーカロイド2から3へ、メジャーバージョンアップが図られるなど、その話題はことかかない。多くのボカロPさんは、お気に入りのボーカロイドを決め、そのボーカロイドを極めるために使い続ける方が多いと聞く。そんな中、ぺぺろんPさんは、複数のボーカロイドを所有、さらに、そのほとんどを使いこなし、それぞれのボーカロイドの特徴を生かした名曲を公開している。

「ボーカロイドは、全部で15キャラクター使っています。新しく発売されたボーカロイドは、なるべく早くに歌わせて作品を公開しています。そのキャラクターが、どんな声で歌うのか、どんな雰囲気やジャンルの曲が合うのかをみなさんに聴いてもらいたいからです」

ボーカロイドは、元になる声や制作方法によって、歌声や歌い方に特徴や癖が生じることになる。その癖を理解して使いこなすことができればキャラクターの個性として歌声に生かすことができる。多くのボーカロイドを使いこなし、癖を理解してきた彼に、ボーカロイド現象を起こした【初音ミク】について聞いてみる。

「【初音ミク】は、歌わせやすくて優秀な歌姫ですね。初心者がボーカロイドの使い方を覚えるために利用すると解りやすいボーカロイドだと思います」

当時、空耳動画として人気があった『THE IDOLM@STER』の双海亜美・真美役で起用された下田麻美さんが声を担当なされた【鏡音リン・レン】は、声にパワーがあるので、激しい曲の中でも存在感のある歌声が出せるのが特徴とのこと。次は浅川悠さんが声を担当なされた日英バイリンガルの【巡音ルカ】とボーカロイド1で発売された【MEIKO】【KAITO】について特徴を教えていただいた。

「【巡音ルカ】は、自分の中では難しいボーカロイドのひとつです。繊細で大人っぽい感じ表現できるのが特徴です。【MEIKO】【KAITO】は、ボーカロイド1だけに存在したアクセントなどのパラメーター機能があり、声の幅も広くて、ボカロPさんの個性を出しやすいボーカロイドのひとつだと思います」

ボーカロイドといえば、一大ムーブメントを起した【初音ミク】を使用している人が多い。彼もはじめて購入したボーカロイドは【初音ミク】だったようだ。

「いまでも覚えています。2007年9月3日に【初音ミク】が届きました。作曲をはじめたころは主にBGMを作っていましたが、歌の入った曲にも挑戦をしたくなったときに、ボーカロイド1の存在を知ったんですが、当時は手に入れることができなかったのです。【初音ミク】が発売されたばかりのころは、ボーカロイドという音声合成技術が珍しかったので、みなさん【初音ミク】をテーマにした曲が多かったですね。いまは、ボーカロイドがあるのが当たり前の時代になったので、ボカロ曲も音楽としてのジャンルが広がったと思います」

【初音ミク】が登場して以来、多くの女性ボーカロイドが、後を追うように出現、クリプトン製品以外の女性ボーカロイドについて聞いてみた。

「【GUMI】は、最近人気が高いですよね（笑）。実際に使ってみると、素直に歌ってくれる女の子ボイスなので、〝激しい〟、〝優しい〟など、さまざまバリエーションやジャンルに対応することができます。【miki】は、かなりパワーがあり、なおかつ【GUMI】のように、素直な女の子ボイスが隠れています。その特徴を生かして歌わせると魅力的になります。

【歌愛ユキ】は、落ち着いた声とウィスパー・ボイスが魅力です。激しい歌は不向きですが、シリアスな曲や、寂しい感じを生かして歌わせると魅力が引き出せます。【Lily】は、やや難易度が高く、歌う曲を選びますが、高い音程の声が歌わせやすくてパワーがあります。【猫村いろは】は、大人っぽい声を出すことができます。他のボーカロイドより低音が出せるので、その声を生かして歌わせると個性が出しやすいと思います」

ヤマハ製のボーカロイド【VY1】にはイメージイラストとなるキャラクターが設定されていない。

「【VY1】は、初めて使用したときに、いい意味で特徴がないと思いました。真っ白な状態からのスタートになりますので、ボカロPさんの色を出して作ることができます」

このインタビューをしたときには、まだボーカロイド3は発売されていなかったため、【Mew】については ふれられていない。【Mew】は、アーティストの坂本美雨さんが声を担当したボーカロイドで10月にヤマハから発売された。男性ボーカロイドは、キャラクターの組み合わせを楽しんでいるファンも多く、男性ボーカロイドをユニットにしたバナナイスマウンテン（KAITO＋レン＋かぐぽ＋キヨテル）などがある。

「【神威がくぽ】は、自分の中では【巡音ルカ】に近い使用イメージがあります。繊細で大人っぽさのある男性ボイスです。【氷山キヨテル】は、調整が難しいです。難しいからこそ、やることが多くなり、ボカロPさんの腕と個性が表現しやすくなっています。実は声の幅が広くて、綺麗な高音を生かした曲も作れます。貴重な男性ボイスなのでみなさんに使ってほしいです。【リュウト】は、まだ楽曲を作ったことがないのですが、『ガチャピン』として声の再現性が高いので、その特徴を生かした曲か、逆にギャップを狙った展開にするとおもしろいと思います。【歌手音ピコ】は……、あ、持っていなかったです（笑）。【VY2】は、【VY1】と同様に色がないため、自分の個性がだしやすいボーカロイドだと思います」

彼が使ったことがない日本語ボーカロイドがあるとは驚きだ。【歌手音ピコ】は、ニコニコ動画の〝歌ってみた〟で人気のピコさんを起用したボーカロイドで、キューンレコードから発売されている。製品名は【開発コードP-KO歌手音ピコ】となっているため、【SF-A2開発コードmiki】との関係が気になるが、その事については情報が公開されていない。

「ボーカロイドはキャラクターが存在することが魅力です。そのイメージにあわせたり、あえてギャップを生かしたりするのが楽しいです」

彼の楽曲は、キャラクターの特徴を生かしていると定評がある。

「まず、ボーカロイドのキャラクターを見て、どんな物語を作ることができるのかと考えます。キャラクターにあった歌い方や、ギャップを生かす方法を考えて作りますので、キャラクターが曲に影響を与えていることが多いです。その点で考えると、【VY】シリーズはキャラクターが存在しないので作品づくりが難しいです。キャラクターのギャップを狙った曲が作れないですからね」

これからは、いままで培ってきたノウハウをボカロPさん達と、共有したいと語る。

「ボーカロイドの調整して培ったノウハウやテクニックを、みなさんに伝えていきたいです。ボーカロイドは、ボカロPさんが進化する過程を、作品を通して一緒に共有することができるのが楽しいのではないでしょうか？ みなさんにも進化の過程をぜひとも共有してほしいです。いまのボカロ界には、私たちボカロPの成長を見守ってくれる方々が必要だと思っています。自分がボーカロイドのノウハウやテクニックをみなさんに伝えたい理由にも関係するのですが、ボカロP同士で技術を高めあって、互いに成長することができればいいと考えています」

彼の新しいボカロ曲への期待はもちろんのこと、いままで培ったボーカロイドのノウハウやテクニックをボカロPさんに伝えて行きたいという活動にも期待したい。なお、本号でも、彼がボーカロイドの神調教テクニックの一部を『すぐに効果がでるボーカロイド講座』（P126）として寄稿してもらっている。ぜひ、そちらの記事も熟読していただきたい。

ぺぺろんPさんを知るための5曲

①フランベルジェ（VOCALOID2 巡音ルカ）②Al
ways and Forever（VOCALOID2 鏡音リン、VO
CALOID2 メグッポイド）③サテライト（VOCALOID2
開発コードmiki）④Guilty Verse（VOCALOID2 氷
山キヨテル）⑤Bye-bye My Blue Bird（VOCALO
ID2 鏡音リン）

イメソラPさん

ボカロPデビュー以来、ほのぼのとした曲から、民族調、ケルティック調・ジャズなど、幅広いジャンルで曲を発表されているイメソラPさん。オーケストラアレンジのクオリティの高さに定評あり。今回は話題の名曲『glow』についてお聞きした。

Profile
2008年9月18日に『渡り鳥の唄』でボカロPデビュー。1作目の動画説明文に書かれた「空をイメージした〜」という一文から2作目でボカロP名が付いた。民族調、ケルティック、ジャズ、ロックまで作風は幅広い。ジャズなど演奏、歌唱がベースになっているジャンルに曲を提供することが多く、生演奏の作品も公開されている。

『glow』

作曲・ピアノ演奏：イメソラPさん、作詞：Danzigさん、ソプラノサックス：南のPさん、フリューゲルホルン：恩田こなさん、ベース：ichiさん（BaguettesEnsemble）、ギター：いまいゆPさん、パーカッション：子猫Pさん

昔の歌番組のようにバックにオケ隊がいてセンターに歌姫がいる……。そんな雰囲気の曲をボーカロイドと生演奏のセッションで形にしてみたかったんです。

2010年12月3日に発表されたボーカロイドを用いたジャズ、ボカジャズ（VOCAJAZZ）曲『glow』。穏やかな曲調の中に熱情を感じる歌詞と豪華メンバーによる生演奏の贅沢なオケなど、ボカロ曲を知らない音楽ファンに聴かせても納得する仕上がりとなっている。

ジャンルとしてのボカジャズは、ニコニコ動画内のタグは古くからあるのだが、公開されている曲数はまだ少ない。これから期待できるジャンルのひとつといわれていた。しかし日本を代表するジャズ専門誌にて『ジャズで聴く初音ミク』という記事が掲載されるなど、今にわかに注目を集めるキーワードになりつつある。そのボカジャズにいち早く着目していたイメソラPさんに『glow』の制作について聞いてみた。

「ボカジャズというジャンルでの制作は、コラボの誘いをいただいた作詞家のDanzigさんとふたりで決めました。【初音ミク】に大人の曲を歌わせてみたいというテーマありきで、どんな曲を作るかを話しているうち、ジャズがもっとも合うのでは、と落ち着きました」

女性ボーカルのジャズ曲といえば、一般の知るところでは映画『バグダッドカフェ』の主題歌『Calling You』など、ボーカルの力量を表現し易い、シンプルな演奏で構成された曲が多い中、彼はあえて生演奏でのオーケストラで制作している。その理由とは何なのか。

「最初は【初音ミク】のボーカルを表に出した曲で考えていました。静かながらも熱情を感じる歌詞にしたい。Danzigさんと、そんなお話をしている流れの中で、たとえば昔のTV歌番組『夜のヒットスタジオ』のような、バックにひな壇が組まれた生オケ隊がいて、センターに歌姫がいる そんな雰囲気で、曲を作りたいということになりました」

そうしてオーケストラ、ジャズでいうとビッグバンドに近いイメージで曲作りがはじまった。ただしその時点では、いくつかの主要楽器を加えた簡単なもので考えていたという。今の楽器構成になったのは、多くのボカロPさんとの交流が起点になっている

「今回作りたかった曲のイメージというか世界観、異国の空気を感じさせる穏やかな曲調するためには何か加えたい……ソプラノサックス、フリューゲルホルンとか、そういう楽器を使いたくなってきて、前から付き合いがあった南のPさんと、恩田こなさんに楽器演奏の協力のお願いをしました。そのとき、恩田こなさんから生演奏を増やしたらもっと面白くなる、バンド演奏だから、ギターにベース、パーカッション……と逆に提案をいただきました。お話しているうちに私も次第にノリノリになってしまいまして（笑）。そうして大まかな構成が決まり、彼らの人脈から演奏者を集めていただくことになりました。流れに身を任せていたら大所帯になりアレンジが大変でしたが、結果、素晴らしい作品ができたことに感謝しています」

彼はボカロPさん達とのコラボを果たし『glow』を完成させた。多人数での制作作業を仕切るのはさぞ大変だったのではと思われる。だが制作過程のほとんどの活動はネット上でのやりとりだったという。さらに驚くのは、彼自身、参加されたボカロPさん達と会ったことがないという事実だ。

「データのみでコラボは可能なんです。ニコニコ動画とか、インターネットの世界ではよくあることだと思いますが、最近は宅録（タクロク）のできる環境のボカロPさん、演奏者さんが多く、今回のメンバーもそれができる方ばかりでした。制作の流れは、私がDTMで作った曲をみなさんに聴いてもらい、それを元に各々が自分の担当するパートを生演奏で収録、そのデータを再び送っていただくといったものです。最後に私がミックスしています。」

「glow」以外にも、これまでの発表された彼の作品には〝生演奏〟、〝オーケストラ〟のキーワードが多く見受けられる。彼いわく、それら要素の発生は、学生時代の活動に原点があるのだという。

「中学に入ると吹奏学部があったので、そこでずっと音楽をやっていました。初めて作曲らしいことをしたのもこの頃です。処女作品はリコーダー四重奏で音楽授業のテスト用でしたね。その後も吹奏楽や、ジャズバンドとかをやっていましたし、大学時代には市民バンドにも参加しました」

なるほど、学生時代の活動が今の彼の作風に生かされているようだ。では音楽との出会いは何であったのだろうか。

「ゲームのドラゴンクエスト（以降、ドラクエ）です。小学校高学年のときにドラクエ2、そして3が発売され当時の流行になっていました。私自身も当然ハマっていましてBGMがかっこいいなと思っていました。しかし、残念ながら私はドラクエ2のBGMをオーケストラバージョンにしたアレンジCD？ 当時はテープですね（笑）があることなど知りませんでした。ある日偶然、そのドラクエ曲を給食時間に放送部がセレクトして流したのです。それを聴いたときにゲームと音楽の関係が自分の中でガラッと変わりました。音楽の時間に聴くオーケストラと、大好きなゲームの世界が結びついた瞬間でした。そして、こういう音楽がやりたいと思ったんです」

その後、彼は先のとおり楽器演奏へと進んでいった。演奏を楽しんでいるうちに作曲にも興味を持ち始めたという。実際に、自分の頭や耳に浮かぶメロディやハーモニーを具現化しようと試みたとき、問題が発生した。

「正規の音楽教育は受けてないので実現させるための方法論が足りなくて、特に楽譜を書くのが難しかったです。そのとき覚えたのがDTMです。パソコンが高価な時代でしたが大学時代にバイトをしてなんとか購入しました。最初に使ったソフトは『ENCORE（アンコール）』でした。吹奏楽団でジブリ特集をやる時に、『天空の城ラピュタ』のメインテーマ、ラピュタ城の現れるところのホルンではじまる場面の譜面がなくて、仕方なく作ったのが最初の活躍です。オリジナル曲を作り始めたのはその後で、アレンジや、機材をいじっているうちに自分で曲も作れるんじゃないかと思って始めました。吹奏楽とか、ジャズバンドとか器楽で得た感性と知識を使って、ゲーム系の音楽を作っていましたね。作曲については、素人のままで社会人になってしまったので、就職してから現場の先輩たちの技術を盗んだり、見たり聴いたりして本格的にDTMを覚えました」

彼は吹奏楽という集団で養われた経験を生かし、独自の制作スタイルを確立された。ほかのボカロPさんにも負けない個性を活かし、これからもよい曲を生み出してくれることを期待したい。最後に今後の活動について語ってもらった。

「オリジナル曲を吹奏楽で演奏したいという野望も……。でも、恐れ多くてできないですね。吹奏楽の演奏会の多くは、みんなが知っている聴きたい曲があるから聴きに来るものだし、奏者も含めて関わる人数がとても多い。作曲表現と演奏表現は、もともと少しだけ違うものです。吹奏楽クラスの人数になると演奏表現の比重の方が大きくなりますので、それに耐えうる曲ができてからだと思っていますが、曲づくりについては、自分の曲を演奏者や歌手に表現してもらうことが一番の喜びであることは変わりません。これからもメロディとハーモニーを重視した作曲やアレンジをしていきたいですね。ジャズなど演奏、歌唱がベースになっているジャンルにも、曲を提供していきます まだまだ未熟者ですが、多くの方に気に入ってもらえる曲を発表できるようこれからも精進していきます」

この記事を読んで彼のことが気になった人は、ぜひ【初音ミク】が歌い上げるジャズ曲『uninstall』も聴いていただきたい。コメント覧に書いてあるユーチューブのセッションも必聴だ。

イメソラPさんを知るための5曲

①こころみらい（VOCALOID2 10名）②渡り鳥の唄（VOCALOID2 初音ミク）③uninstall（VOCALOID2 初音ミク）④honey sweet（VOCALOID2 初音ミク）⑤Gift from HAYABUSA（VOCALOID2 猫村いろは）

VOCALO-P★HEAD-LINE

アキバヲタPさん

あるときは【猫村いろは】の調声師〝伝説のいろはマスター〟として、またあるときはニコ生での顔出し生主（生放送主）など、隠れファンも多いといわれるアキバヲタPさん。その独特な作品制作を中心にお話を聞かせていただいた。

Profile
投稿者名の秋葉原ヲタ夫からP名が付いたが、実際は秋葉原に行くことは少なく、それほど詳しくはない。作風は主にロックやジャズ。ピアノとギターを使った作品が多い。複数のボーカロイドを使用しているが、【猫村いろは】を使った調整に定評がある。特に巻き舌のテクニックは高い評価を得ている。

『～the黒猫ワイド～歌謡サスペンス』

価格：¥1,000（即売）¥1,300（委託）／Vocal：猫村いろは／アキバヲタPリリース第2弾

【猫村いろは】は音域に対して声色が変わるので、その変化にはビックリしました。いままでにない感覚でゾワっときて作品づくりにも幅が広がると直感しました。

【初音ミク】が発売されてから4年が過ぎ、ボーカロイドも各メーカーの独自研究や技術者の熟練度の向上により、発売されるボーカロイドの精度や特徴も変化している。キャラクターによって、歌い方の癖や特徴があるため、ボカロPさんは自分の音楽性にあった使いやすいボーカロイドを選ぶ必要がある。

ただし、ボーカロイドは高価なソフトウェアなので、たくさんのボーカロイドを試しながら自分の目的にあったものを選ぶことは難しい。体験版が公開されたときはチャンスなので積極的に利用することをオススメする。また、声のイメージや、キャラクターの見た目だけで選ぶのもひとつの選択だと思う。

それぞれのボーカロイドには、ボーカロイドの特徴に生かしたオリジナル曲が作られるが、ボカロPさんが、そのボーカロイドのことを理解し、相性があった場合に〝伝説の〇〇マスター〟というタグが付けられる作品ができることが多い。このタグが一曲のみならず、毎回オリジナル曲に付けられるようになると、動画に付けられていたタグが、ボカロPさん個人の肩書きとして定着していく。今回は〝伝説のいろはマスター〟と呼ばれているアキバヲタPさんに、【猫村いろは】の魅力を思う存分語っていただこう。【猫村いろは】は、AHS社ならではの独自の制作方法で作られており、調教を行わないベタ打ちという状態のままでも、違和感なく歌い上げることや、美しい低音と伸びのある高音が演歌からロックまで幅広いジャンルにも対応できることが魅力とされている。そんな【猫村いろは】に魅せられた彼と【猫村いろは】との出会いは、お試し感覚のダウンロードだった。

「はじめは軽い気持ちで……、【猫村いろは】の体験版をダウンロードして使ってみたんです。純粋に歌がうまいのにも驚きましたが、それまで使っていた【初音ミク】は、あまりにも癖がなくて、そこが【初音ミク】の魅力でもあるのですが、その違いに驚きました。【猫村いろは】は音域に対して声色が変わるので、その変化にはビックリしました。いままでにない感覚でゾワっときましたね。これは作品づくりにも幅が広がると直感しました。秘めているポテンシャルが高いので調教に終わりがないというか、諦めどころがないのが、疲れるところでもあるんですが……、でも使っていて面白いですよ」

少し興奮気味に語る彼、その理由は【猫村いろは】との出会いが、彼のボーカロイドに対する取り組み方を変えたことにあるようだ。

「ボーカロイドを触ってみるまでは、もの凄く歌が上手に歌えるソフトだと思っていました。イメージとしては、朗読するように歌うという感じでしたので、実際に【初音ミク】を使ったときは音を外さないだけだな……と思いました。でも、【猫村いろは】を使って、はじめてボーカロイドが面白いと思いました。そして、他のボーカロイドでも、いろいろなテクニックを使えば、いままで以上にうまく歌わせることができるのではないかと感じました」

ボーカロイドには調教と呼ばれるテクニックがある。一般的に、音を整えることを『整音』、ピアノを調整することを一般的に『調律』という。そしてボーカロイドと呼ばれる音声合成ソフトの音声を細かく調整する事については、『調教』といわれているシーンを多々みうけられる。これは良くも悪くもボーカロイトを、人間や動物のように親しみをもって接していることの表われだと考えることができる。彼は、その調教テクニックを得意とし、耳に残る巻き舌の歌声を作る。その巻き舌で歌わせるテクニックは、ライブPさんの動画を分析して自分で覚えたものだった。

「ライブPさんがボーカロイドの巻き舌を使うのがうまいんですよ。ライブPさんの曲を聴いていて僕も巻き舌をやりたいと思ってから、しっかり確立させるまでには時間がかかりました。何度もライブPさんのボカロ曲「マイリスダメー！」を聴きましたよ。テクニックを発見できるまでは大変だったけど、理解できれば意外に簡単ですよ」

彼の努力家の一面を垣間見ることができた。音声ライブラリとしての【猫村いろは】に、彼が好感をもっているのはあきらかだ。では、外見であるキャラクターについては、どう思っているのだろうか。その魅力について質問をしてみると、

「キャラクターとしての魅力ですか？ ヘルメットですかね。あと姐さんキャラだと思いますよ。見た目はロリなのに姐さんって雰囲気をかもし出せるのは、あの娘が持つ武器のひとつじゃないですか？」

意外にもヘルメットに魅力を感じている彼。そんな彼が作曲する作品は、ノリがいい面白アイディアと、作品としてのクオリティの高さが評価されている。ロックや、ボカロ曲「その唇は傲慢なり」のようなジャズ曲も比較的多く公開されている。ジャズという特殊なジャンルに精通しているのは、子供の頃に学んだ経験から生み出たものだった。

「10歳ぐらいからオカンが僕を近所のジャズピアノ教室に通わせていて、自分も嫌がらずに通っていました。その頃は、自分でも曲とはいえないようなメロディを適当に弾きまくっていたんですが、いま思えば、それが人生初の作曲だったと思います。意識してではなくて、なんでも吸収する歳だったので、いろいろな組み合わせをしていたら曲になっていました」

そして彼が作る曲は、ギターと鍵盤の演奏が印象的だ。8割ぐらい左がギターで、右が鍵盤というPAN振りなっている。そこは彼のこだわりのひとつなのだと語ってくれた。

巻き舌の調教テクニックと、作曲へのこだわりと経験、そして作品を語る上で、もう一つの大切な要素が彼が生み出す作詞である。彼の歌詞やタイトルには、まるで言葉遊びのような独特なフレーズから、個性的な感情表現などを多く詰め込んでいる。彼の歌詞は作品全体を盛りあげる要素にもなっている。

「僕は曲を作るときに最初に考えるのがタイトルなんです。タイトルとサビのイメージが同時に出てくる感じなんです。何かしらインパクトがある言葉を使いたいと思いますが、造語は嫌いです。人が使う分にはいいんですが、自分では、あまり使いたくないですね」

そして、サビに使う〝キメの言葉〟も重要だと思っていると言う。

「曲調にもよりますが、サビで曲のいいたいことや物語の顛末をしっかり伝えるべきだと考えています。分かり易く印象付けるような言葉を使うように心がけていますね。でも、考え抜いて言葉を捜したりしません。歌詞を書くときは悩まないで10分から20分で書いています」

あの独特のフレーズが詰め込まれた歌詞は、彼の直感から生れているのが分かった。直感といっても、いままで経験してきたことの積み上げから沸いてくる言葉なのだろう。

今回のインタビューで、彼が感じていた【猫村いろは】の魅力と、彼の外に出ない魅力を知ることができた。最後に、ニコニコ動画にボカロ曲を公開して、ボカロPとして活動を始めたことで、どんな変化が起きたのだろう。

「ボーカロイドを始めてからは、友達が増えました。投稿者を気にするコミュニティがあることを知らなくて、ツイッターを始めてからコミュニケーションが広がり驚きました。それと、師匠と呼ばせていただいている方や、注目しているボカロPさんもできました。bibukoさんは、ギターがうまくて曲作りも音質がよくないのを忘れさせるぐらい雅です。いいメロディや、歌詞を書く方なので師匠と呼ばせていただいています。あとは、たっちさんに注目しています。音とセンスは抜群です。ただ、再生数を延ばす気がない方で、思いついたことは積極的に実行するのですが、面白いからやっているだけで……深く考えてないと思います。でも、テクニックや技術は高いですよ。そこに行き着くのがロックだと思って聴いています」

アキバヲタPさんを知るための5曲

①虚言癖（VOCALOID2 猫村いろは、miki）②その唇は傲慢なり（VOCALOID2 猫村いろは）③初音ミクに勝つので或る（VOCALOID2 初音ミク、猫村いろは）④気絶（VOCALOID2 猫村いろは）⑤びんた（VOCALOID2 猫村いろは）

壱百四拾字のヴィトゲンシュタイン

〜山本ニューのボカロ形而上学あるいは、アンドロイドは合成音声の夢を見るか?〜

文・山本ニュー三世

●山本ニュー三世
2008年1月20日に最初の初音ミク使用ボカロ曲をニコニコ動画に投稿（カバー曲）。2週間後に同じくミク使用のオリジナル曲を投稿。その後、コンスタントに投稿を続け166件の投稿があるが（2011/11/05時点）、ボカロ使用曲はその半分程度。残りはニコニコインディーズ、マッシュアップ、作業用BGM、洋楽の日本語字幕付き動画など。2011年3月11日の投稿を最後に使用ボカロを鏡音リンに変更した。特にこれといったヒット曲も代表曲もないが、熱心なファンが30人ほどいる。

私は山本新一です。かつて小説家を志して挫折した父が、星新一から名前をとったとのこと。三重県出身で大阪にも十年ほどくらしましたが、現在は地元でサラリーマンをやっています。少なくとも現時点では職があるようです。来年のことはわかりません。妻一人、子供二人。ペットは犬と亀。

山本ニューってホントにいるのか？　というコメントを頂いたことがあります。いい質問です。「ある空間を物理的に占有する『山本ニュー』という存在があるのか」という意味ならば、答えはノーです。山本ニューはいません。いませんが、山本ニューが発信した情報（動画や掲示板・ツイッターの書き込み、メールのやり取り等）の集積から山本ニューのおおよその位置は確率論的に予想されます。その意味では、山本ニューはいます。

ペンネームや別人格と理解してもらっても構いません。ツイッターやSNSのアイコンがある人間のネット上での人格だと。それは多かれ少なかれ誰もがやっていることですから。ただ、私はもう少し意識的に同じことをやっているのだと思います。

この文章は、私、山本新一が書いています。山本新一と山本ニューはニアリーイコールで結ばれる関係ですが、決してイコールではありません。私は山本ニューに関する情報の多くを知っていますので書いていますが、私でなくても構わないのです。だれか別の人間が山本ニューを名乗って書き込みをしようが動画を投稿しようがインタビューに答えようが荒らそうが。ツイッターで一時期よく見かけた「荒川智則」（多数の人間が同じ名前を名乗って書き込みを行った）が私の理想です。あるいは、（話題としてタブーになりつつあるようですが）架空のボカロPとして取材まで受けたaRath氏のように。

私は山本新一ですので、山本ニューの言動に関しては原則的に責を負いませんが、山本ニューの中の人のひとりとして情報を発信する際には、彼が発信すべてに対するあらゆる反応、ポジティヴなものであれネガティヴなものであれ、きっちりと対応させて頂きます。

さて、話がややこしくなるので、ここからは山本ニューとして書きましょう。ぼくは、山本ニューです。ご覧の通りのややこしい人間です。

山本ニューになる前は大阪のごくごく狭い界隈ではちょっと知られた歌謡曲レコードコレクターでした。P-VINEから一九九九年に発売されたCD「テクノ歌謡コレクション」シリーズには選曲チーム「8-bits」のひとりとして参加しました。

山本ニュー　あるいは、山本ニューミュージックの登場は十年ほど前だったでしょうか　あるホラー漫画家のファンページを開設したのが最初でした（http://www9.ocn.ne.jp/psycho/）。その後マッシュアップに興味を持ち、遅れてヒューマンビートボックスに熱を上げました。UKのファンサイト Humanbeatbox.com の掲示板には「Psyfac」名義でたびたび書き込んでいましたので、今でも探せば痕跡が残っているかもしれません。ミクシィのコミュニティ「Human Beat Box」では二代目の管理人をやっていました（ちなみに三代目管理人はボカロPとしても知られるATOLSさんです。同じくボカロPのnakIamiさんもコミュの一員だったようです）。同じくミクシィの安部公房コミュ、綾辻行人コミュでも狂ったように書き込んでいましたのでどこかにまだ残っているかもしれませんね。

熱しやすく冷めやすい性格のぼくが最初にボカロを知ったのは「みくみくにしてあげる♪」でした。どこで知ったのかは忘れましたが、ただ単純に人間じゃないボーカルというものが面白いと思ったんです。その後がbakerさんの「Sound」で、こんなかっこいい曲もあるのかスゲエと、そしてmikuru396さん／Ussyさんの「Melody. exe」で、キャラクターとしての初音ミクに完全にヤラれてしまったという経過です。アニメヲタキモイとか言ってたぼくが萌えというものを初めて理解した瞬間でした。

週刊ボカロランキングはかかさず見ていました。そして思ったんです。自分もボカロ曲作ったらランキング入ってちやほやされるんじゃないかと。たしか三曲目の投稿までは本気でそう思ってました。技術もなんにもないくせに。一曲目アップした時点ではピアノロールの打ち込み方すら知りませんでした。今でもあんまり変わんないですけどネ。

同時にピアプロに登録して、片っぱしから新着曲を聴いてはコメントしてましたっけ。「ピアプロ レビュワー大賞」だったかな？ そんな名前のコミュニティ内の催しで特別賞かなんだったかもらったはずです。掲示板にもえらい勢いで書いてました。そのへんからですかね、生来の邪悪な性格というかネタ気質というかが隠せなくなってきたのは。ミクシィのトピックでもぼくが書きまくったあとには誰も書かなくなるというぺんぺん草も生えない状態ってのをやってきてましたが、そういうのが現在のツイッター中毒状態につながってるワケで。

ひとつの転換点は後に触れますが、sansuiPを知ったことでしょうか。初音ミクを完全にシンセサイザーとして使い倒すノイズの数々を聴いて、こういうのもありなんだと。それとヒッキーPが監修した「VOCALOIDアンダーグラウンドカタログ」。ぼくのコレクター／ディガー気質に完全に火がつきました。マイナーボカロ曲を掘って掘って掘りまくることが一時期の生きがいでしたから。

雑多な音楽を聴いてきましたが、特に思い入れのあるアーティストはサイモン&ガーファンクル（ハモリの美しさとひねくれた歌詞が）、ポール・モーリア（イージーリスニングの素晴らしさが）、長谷川きよし（ええ声とボサノバ歌謡の魅力が）だけです。基本的に歌謡曲しか聴きません。キライな音楽のほうが多いです。メタル、プログレ、バラード、フュージョン、ノイズなど色々なジャンルの音楽がキライです。ロックは特にキライですね。不良の音楽だし。ガバは好きですけど。

自分の動画についたコメントはばんばんフィルタで改変してます。気に入らないネガコメの場合もありますし、単に気まぐれで変えるときもありますけど。荒れるほどの視聴数がないのでアレですが、いつかコメントが荒れ狂う動画をアップするのが夢ですね。絶対に負ける気がしないので。

作曲は勘です。楽器が弾けない、音楽理論も知らない上に急進的なメロディ　ポップス原理主義者ですので、鼻歌でしか考えたことがありません。おそらくボカロ界隈ではぼくほど美しいメロディを作る人はいないでしょうね。その他はからっきしダメですけど。良いメロディだなあ！　と思うとたいていなにかのパクリなんですけど特に気に病んだことはないです。ニコニコ市場でいつもネタバラシしてるんですけど、「パクリだろ」って言われるのに備えた予防線ですね。予期しない曲に似てると言われると身震いするほど腹が立つ（宇宙猿人ゴリ）ので即フィルタ変換ですね。

今後の活動予定は、最初にも言いましたが、山本ニューを偏在させることです。「山本ニューが言うんなら仕方ない」というところまでもっていくのが野望です。

「ニコニコ大百科」でおなじみ

ハザードランプさんにニコニコ大百科のこと、記事編集のこと、いろいろ聞いてきました。

Hazard Lampさん

Profile

1988年生まれ。ニコニコ大百科の編集者。編集記事4500以上、新規記事380以上！　膨大な編集作業を行い現在も骨身を惜しまず進行、その数はさらに増加中である。根っからのボカロファンであり、またボカロ以外の同人音楽やネットレーベル、アニメ音楽や洋邦のポップスにかけて、音楽全般を幅広く愛する。

「Hazard Lamp（ハザードランプ）」さんをご存知でしょうか？　彼は「ニコニコ大百科」の人気編集者のひとり。編集記事4500以上、新規記事380以上！　膨大な編集作業を行い現在も骨身を惜しまず続けている。ボカロ曲の聞き専であったことが編集を始めたきっかけだったとか。ハザードランプさん、ニコニコ大百科の編纂作業って、なんだかやりがいがありそうですね……。

誰かが作った記事を編集する際は、元の記事を最大限尊重して、なるべく残すということを心がけています。わずか2、3行しか書かれていない記事でも、その1行を1項目に膨らませたりしています。

――ニコニコ大百科のお話にいくまえに、まずは、普通の質問から……。ハザードランプさんがボカロ曲を聴き始めたきっかけは？

2007年8月31日、初音ミク発売時に『01 ballade』を聴いて存在を知り、ボカロのさまざまな動画を見ていました。当時一番好きだったのは、じゃがりこPさんが鏡音レンでカバーした『鳥の詩』でした。

それ以降、しばらくニコニコ動画から離れていたのですが、ランキングで偶然見かけたとある曲を聴いて衝撃を受け、そのボカロPさんを追いかけるために週刊ボカラン等を見るようになりました。そしてryoさんの『初めての恋が終わる時』、『炉心融解』、ルカ祭り、という流れで着実にハマっていきました。

――「ニコニコ大百科（以降、大百科と省略）」の編集を始めたのはその頃ですか？

もう少し経ってからですね。覚えている中で最初の頃に編集したのは、骸音シーエを生み出したDeinoさんの記事です。同じ時期に、ゆにPさん、かごめPさんの記事も書きました。2009年暮れから2010年初めにかけてのころでしたが、これをきっかけに記事を作る達成感を得て、以後積極的に編集するようになりました。

――大百科の編集者を始めたきっかけが気になるんですが。

いくつかありますが、「ボカロ界隈に何らかの貢献はできないものか」というのが最大のきっかけでした。そして、そのころツイッターで、ボカロクラスタのいろんな作り手さんの発言を見るに、少なくない方々が〝大百科に記事を作ってほしい〟と思っている節が見受けられました。作曲や絵はすぐ形にできないけれど、文章を書くならすぐにできる！　これなら自分でも役に立てるし、喜ばれるのではないか、という動機で、大百科の編集に本格的に着手することになりました。

――記事を書かれるタイミングは？

主に新作が公開されたときですね。一番モチベーションが上がります。僕はまずニコニコ動画のページを開いたら、一番はじめにタグの横に赤い百のマークがあるかを確認します。もしあれば、そこから新作の情報を更新し、なければ、まだ大百科が登録されていない状態ですので、僕が関心を持ったら記事を書くために情報を集め始めます。

有名なボカロPの方でも、参加されたアルバムの情報など細かい活動内容が書かれていない場合があるので、情報の抜けがないか、注意深く読みながら編集しています。

ときどき、ご本人のWebサイトが充実していると、大百科を更新する意味があるのかと思うこともありますが、客観的な情報を探している人は、好んで記事を参照することを伺ったので、そういった方々が読みやすいよう心がけながら編集しています。

それと、気にかけている記事がある場合は、大百科のウォッチリストを活用すると便利です。記事が更新された場合や、記事の掲示板に新しいコメントが付いた場合に更新情報が届きますので、記事の確認や編集に役立ちます。新たに記事を作る場合は、決め手となるような文書が思い付くととても作りやすくなりますね。

――これまでの記事を拝見して、文中の情報量にはいつも驚かされるのですが、その大量の情報源はどこから来ているのでしょうか？

そんなにすごいものではありませんよ（汗）。情報源は主にツイッター、そして作者さんの公開マイリストです。特に、ボカロPさんや絵師さん等の公開マイリストはRSSリーダーに登録しているので、新作が登録されたらチェックできる体制を整えています。

ただ、投稿して1日以上たってもマイリストに入れない方もいますので、偶然ツイッターで捕捉できないと更新が遅れることもあります。昔はランキングも参考にしていましたが、最近はあまり見ていません。記事を作成・編集する際は、他にもその方のブログやピアプロ、とらのあな等の通販ページなど、たどれるリンクは可能な限り全てたどって情報収集します。

そして記事として体裁を整えることができたと判断した後、編集を開始します。余談ですが、記事を編集したくても作風がつかみづらくて何も書きようがない場合もあるんですよ（笑）。その場合は少し寝かせて、言語化できたタイミングで書かせて頂いています

一定期間何も浮かばなければ諦めます（笑）

――思い出に残っている編集作業は何かありますか？

とある動画が投稿されて2、3日で殿堂入り（10万再生）したときですね。

殿堂入り前から文書をあらかじめ書いておいて、殿堂入りした瞬間に更新しました。そしたら掲示板に「更新速すぎw」と書かれ、うれしくなって画面の前でガッツポーズを取った記憶があります（笑）

うれしかったといえば、ご本人に反応してもらった時は、より感動したりしますね。ツイッター等で御礼を言ってくださったときは、まさかご本人と交流できるとは思ってなかったので。

また、僕だけでなく、ニコニコ大百科を編集している方々は他に大勢居るのですが、すごい腕前を持つ方も多くいらっしゃいます。

こういうとき真っ先に例に挙げるのが、みゅーさんという方が書かれた、ELECTROCUTICAの「REVERSUS」の商品記事。これは一見の価値があります。この方が作られた、大百科編集者向けのHTMLタグまとめもとても便利で、よく参考にさせて頂いてます。

そして、「はんにゃG」さんの記事を書かれた座敷童さんも、愛情に満ちた素晴らしい編集をなさいます。これは本当に真似できない個性です。

作曲や絵はすぐ形にできないけれど、文章をならすぐにできる！これなら自分でも役に立てるし、喜ばれるのではないか……と。

――編集の際、最も気を使われていることや、自分で決められたルールなどはありますか？

誰かが作った記事を編集する際は、元の記事を最大限尊重して、なるべく残すということを心がけています。例えば、わずか2、3行しか書かれていない記事でも、その1行を1項目に膨らませたりしています。

いろいろな人が編集していて、何処を残せばいいのだろうと思うこともあります。編集履歴を見ると、書き方で編集者どうしで対立した形跡が見られることもあるのですが、その中でもなるべく中立に、それでいて、今までの編集を尊重することを心がけています。が、それが難しく、いつも頭を抱えています。

また、作風やジャンルなど、人によって感じることが違うと思うのですが、自分の言葉で書いています。

なるべく独りよがりにならないよう気を付けていますが、そういった要素を若干入れたほうが読んでいる方も楽しいのではないか、とも思ってしまうのです。基本的に迷ったら書かないスタンスなのですが、YMさんの『未完成人間』の動画記事では、解釈に踏み込みすぎて、自己解釈過ぎないか？とのコメントを頂きました（汗）

読んだ方々が興味を持ってもらうことを重視しているので、なるべく怒られないよう気を付けつつも（笑）、それでも大百科ならではの編集を目指しています。

例として、bermei.inazawa（べるめい・いなざわ）さんの記事を挙げます。この方はボーカロイドとは関係のない、同人音楽界では有名な方なのですが、1年くらいの間タグを眺めながら「大百科の記事がないなあ」と思いつつ、ある日ふと「なら自分で作ろう」と思い立ち、一気に書き上げました。

そこでも、作風の項目に考察のような内容を書きましたが、そのほうが読んでいて楽しいかな、と判断した上でした。あとは、関連商品をなる

ニコニコ大百科&編集者とは？

ニコニコ動画・ニコニコ動画上での各種用語に関する解説や、ニコニコ動画上にアップされている動画についての情報、その他あらゆる言葉についての情報をユーザが自由に記述できるWeb百科事典。Wikipedia（ウィキペディア）と同じく、ユーザが自由に記述できる機能を持っている。

編集者・ニコニコ大百科で、文章の執筆、編集などを行うユーザの総称。

自分の性分として、ただ動画を受身として楽しんでいるだけでは、いずれ飽きてしまうと思ったからです。すごく個人的な理由なのかも知れませんが、何らかのタスクを自分に課した方が、より集中して楽しめるのではないかな、と。

Hazard Lampさん 想い出の編纂記事

かごめP

技術はガチ、センスもガチ、でも方向性がぶっ飛んでるから、とにかく濃ゆい。その「濃さ」が反映されたのか、記事もとても賑やかになったような気がします。

とち-music box

巧的な作風が、聴いてて高尚な快感を引き起こします。
記事を作る上では、本人に関する情報がほとんどない点に苦労した記憶があります。

【初音ミク】月光食堂【オリジナル】

デザインに凝ってたころに作った記事です。深く美しいエレクトロニカ。「むー」さんの初投稿作とされていましたが、実はあの「古川本舗」の変名投稿でした。詳細は記事にて。

Lemm

曲の紹介に力を入れ、綺麗にデザイン出来たのですが、色々混ざって「キックンベース」という謎のジャンル名をでっち上げ、大恥をかいてしまったのが心残りです（笑）

石風呂

一番最近作成した記事です。「ゆるふわ樹海ガール」「きらいな人」辺りが著名かな？　バンド活動や名前の読み方についても書いたりと、結構楽しく編集できたと思います。

ニコニコ大百科の編集はやりがいのある表現手段でもあり、良い記事ができれば評価を頂き自己顕示欲も満たせるのです（笑）みなさんも、ぜひ！

べく充実させるようにしています

僕の編集の根幹として、「情報を得たい人が、得易いような下ごしらえをする」こと、「読んでいて気持ちのいい文章に仕上げる」ことを目指しており、それを達成するための手法を日々模索しています。

――編集に関わり続けるモチベーションっていうのは、どこから沸いてくるのでしょうか？

自分の性分として、ただ動画を受身として楽しんでいるだけでは、いずれ飽きてしまうと思ったからです。すごく個人的な理由なのかも知れませんが、何らかのタスクを自分に課したほうが、より集中して楽しめるのではないかな、と。

おかげさま？　で、今でもボカロ民を名乗れるくらいにはボカロ曲を聴き続けられています。

――なるほど。ところでハザードランプさんはボーカロイドをどうとらえています？

僕自身はボーカロイドを持っていないのですが、あくまでも、ツールとか手段の類だと考えています。その役割は「繋げること」元々繋がるはずではなかったものを、接着剤のように繋げる。そういった効果を持っていると思っています。

プロでもアマチュアでも、クラシックでもラウドロックでも、どんな背景を持った人でも同じ舞台に立ってしまうのです。そして、絶対に融合し得ない、絶対同じCDに同居しないはずのジャンルの音楽が、ボカロ曲という枠で、同じコンピレーション・アルバムに入ってしまう。それが面白いのです。

例えば、ジャンルも作風もバラバラな絵師さんと楽師さんが、84人集まって作った『Sequence』というアルバムがあります。こういった企画は、ボーカロイドという媒体を介することで、ただの寄せ集めではなく、立派な作品として成立しうるのです。そして、ボーカロイドに関わる人は、みんな積極的でエネルギッシュだなと感じています。成長であったり議論であったり、いろんなものを求めている。

ボカロPさん同士の横の繋がりは強いし、いわゆる「聴き専クラスタ」のパワーも凄いですね。とても真面目で善良な方が多い界隈だと思っています。

――特に好きなボーカロイドってありますか？

好きなボーカロイド、というよりは好きなボカロPさんという形で聴いています。が、中でも特にGUMIが曲を好んで聴いています。アーティストタイプのボカロPさんに重宝されているとか、力強い曲が歌えるからロックに合ってるとか。この辺りが僕の趣向と合っているのでしょう。

今でこそトップクラスの人気ボーカロイドですが、初期の伸び悩んでいた時期から好きだったので、思い入れは深いです。

――大百科意外に、自分のブログにもボカロ曲紹介を書かれていますよね？

ボカロ曲のCDは、動画と違ってすぐにコメントが返って来るわけではないので、苦労して作った割には反応が少ない、という声もあったことから、紹介記事という形で積極的に書いています。元々アルバムの単位で音楽を聴くのが好きなので、アルバムという形で聴くよさも伝えたい、という動機もあります。アルバムは主に即売会やネット通販で購入しています。特に同人系の作品は、買い逃すと次にいつ買えるのか全く読めないので、常に目を光らせて情報を集めています。

――この記事を読んで編集に興味をもった方もいらっしゃると思いますが、編集者としてみなさんに伝えたいことはありますか。

ちょっと前までは、豪華なデザインをするために見た目のアレンジを勉強していたのですが、最近は文書に力を入れる方向に落ち着きました。読み応えのある文書、読んでいて気持ちのいい文書、作家さんのイメージにプラスになるような文書を書きたい、何より情報を不足させたくない。でも編集者が少なくて更新が追いつかない。

だから、これからは大百科を編集する方が、もっと増えてほしいというのが切実な願いです。どんな細かい情報でも、載せることでより多くの人の目に入り、よさを分かち合える。自分の好きなものをより多くの人と楽しめる。なのでやりがいもありますし、同時にいろいろな方の役にも立てる美味しい立ち位置なのです。そして、大百科は文字通り「なんでもあり」の世界で、ネタに特化した記事でも無条件に排除されない大らかさが魅力です。

ウィキペディアだと独自研究と言われてしまう内容も、大百科では多くの方に楽しく読んで頂けることが多いので、編集する側でも読む側でも、大百科を好んで閲覧する理由となります。長く続けるポイントは、でしゃばるけど、でしゃばりすぎないこと、それと何を言われても凹まないけど、反省点はきちんとつかんで次の編集に活かすことです。

大百科は、プレミアム会員であれば誰でも編集できるので、情報が古い・おかしいと思えば書き換える事ができます。あと、プレミアム会員でなくとも掲示板にコメントを書いて頂ければ、それを基にプレミアム会員の誰かが編集してくれるでしょう。そのコメントが増えれば記事も盛り上がりますので、いつも大百科を読んでるみなさんも、気が向いたらコメントをしていってください。

繰り返しになりますが、何より編集はやりがいのある表現手段でもあり、よい記事ができれば評価を頂き自己顕示欲も満たせるのです（笑）。今回、取材を受けさせていただいたのは、大百科の編集はただ地味なだけの作業ではなく、こういった面白さもあることをアピールしたかった意図があります。ぜひ多くの方が編集者として、今後新たに参加して頂けることを期待しています。なにせ、僕は大百科にある情報不足の記事すべてを、自らの手で編集したいのに、手が届かなくてウズウズしているくらいですから（笑）

ぺぺろんPさんの

すぐに効果がでるボーカロイド講座！

VOCALOID2でも、3でも使える共通テクニック。ちょっと手を加えるだけで、あなたもネ申に！

初心者の気がついていないと思うポイントを気がつくだけで、すぐに効果がでるテクニックを紹介します。人間らしい歌い方をさせるためには、人間の声の性質を知るのが最も重要です。今回はいくつかあるポイントの中から3つを厳選し、じっくり解説していこうと思います。

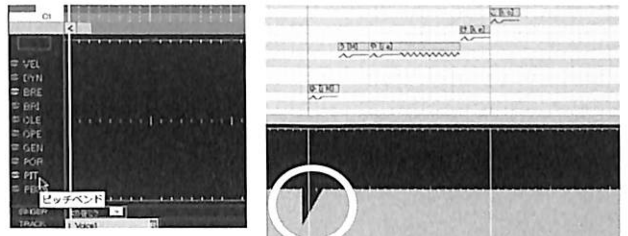
ボーカロイド講座の先生
ぺぺろんPさん
1988年生まれ。静岡県出身、A型。ボーカロイドが大好きな調教オタクです。どうやったら上手く歌わせることができるかを、日夜研究しています。最近はボーカロイド3をいじっては、ニヤニヤする日々を送っています。

テクニック 01 より自然に歌わせるために「しゃくり」に気をつけよう！

「しゃくり」とは、目標となる音程よりもやや低い音程から発音し、高く持ち上げていく歌い方をいいます。VOCALOIDは音程の繋がりを自然に再現していますが、楽譜通りの打ち込みでは、この「しゃくり」が完全には再現できません。自然に歌わせるために、要所に「しゃくり」を入れていきましょう。

POINT▶ 「しゃくり」を入れる効果的な場所は、大きく分けてふたつ！「歌い出し」と音程が「大きく高く移動する」ところです。

しゃくりの入れ方はふたつ

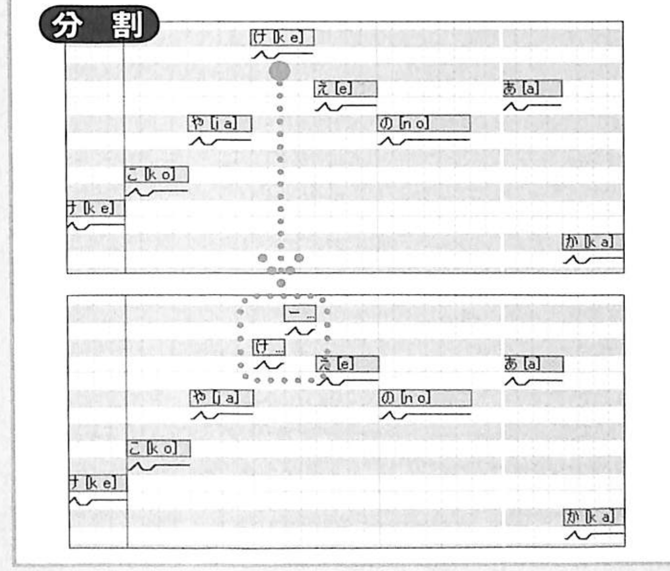


『ピッチベンド』でしゃくらせる。

まず、歌い出しでは『ピッチベンド(PIT)』を使う方法がお手軽かつ有効です。写真を見てください。「歌い出し」の部分でやや低い音程からスタートし、16分音符ほど経った時点で目標の音程に達しています。こうすることで、歌い出しが人間らしいソフトな歌い方に変化します。

また、『ピッチベンドセンシティビティ（PBS)』の値を大きくすると音程の深度が深くなります。どのくらい経った時点で目標の音程に到達させるかによっても歌い方は変わってくるので、いろいろ試してみてください。

分割



音符の分割でしゃくらせる。

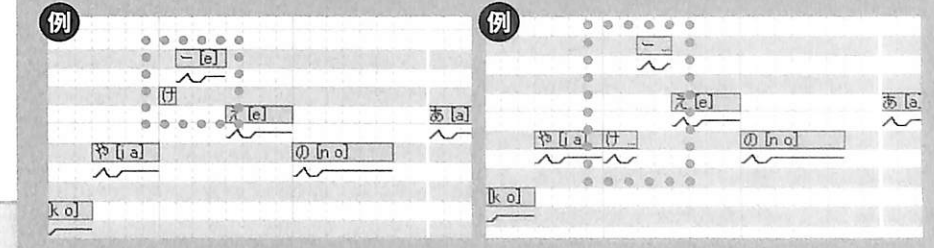
音程を大きく高く移動するところでは、音符を分割するテクニックを紹介します。写真を見てください。[や]から[け]まで音程が大きく動いていますが、この部分をふたつに分割しました。こうすることで、やや下から持ち上げるような歌い方が再現できます。ここでは８分音符をちょうど２等分していますが、分割の方法はこれだけではないので、曲に合った歌い方を探してみてください。

単語帳

【ピッチベンド（PIT)】
音程を連続的に変化させるパラメータ。音符の打ち込みでは表現できない微妙な音程の変化を再現できる。

【ピッチベンドセンシティビティ（PBS)】
ピッチベンド（PIT）の変化量の幅を調節できる。例えば値が２の場合は上下２音分、12の場合は上下１オクターブになる。

まとめ



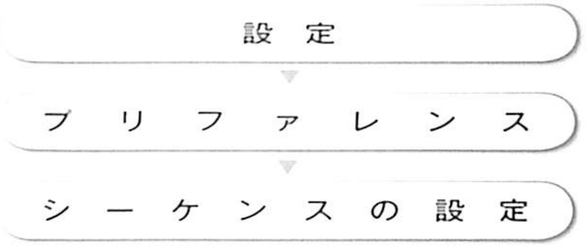
もちろん、「歌い出し」で音符分割を使ってもよいですし、音符どおしの間で『ピッチベンド（PIT)』を使ってもOKです。しゃくる場所を見つけるには、実際に自分で歌ってみるのが一番です。少しわざとらしく、一流シンガーになったような気分で歌ってみましょう！ すると、下から音程を持ち上げたような歌い方をしている場所が出てくると思います。その部分にしゃくりを入れていきましょう。自分のやりやすい方法を見つけてください。

テクニック 02 神調教は、たいてい「ビブラート」がスゴイ！初期設定のまま使っていませんか？

VOCALOIDは簡単な操作で「ビブラート（声を揺らす）」を表現することができます。しかし、どのように設定したらよいかわからず、初期設定のままで歌わせている方も多いと思います。実は、「ビブラート」は種類や長さを変えるだけで簡単に歌い方をガラリと変えることができます。この「ビブラート」の設定方法を解説します。

POINT▶ 初期設定では「Normal1」に設定されています。個人的におすすめなのが「Fast1」と「Fast3」です。

『オートビブラート』を設定しよう！

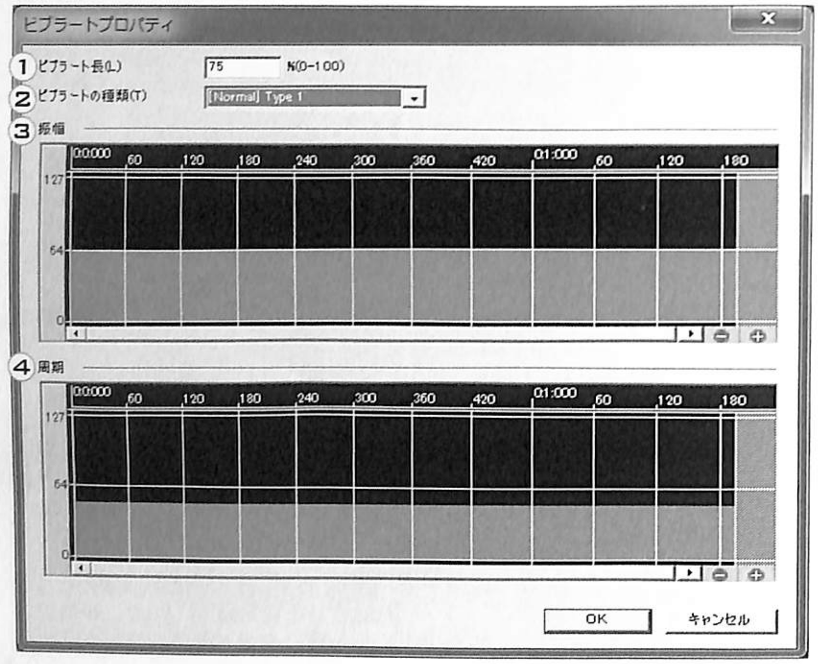


音符に「ビブラート」をかけるには、『オートビブラート』を使うか音符のプロパティを使用します。『オートビブラート』とは、一定の長さ以上の音符に自動でビブラートをかける機能です。「設定>プリファレンス>シーケンスの設定」で、どのくらいの長さの音符に自動で入れるかを変えることができます。私は「1beat（1拍)」に設定し、積極的にビブラートを使用しています。また、オートビブラートの種類もここで設定することができます。

『ビブラートプロパティ』を使ってみよう！

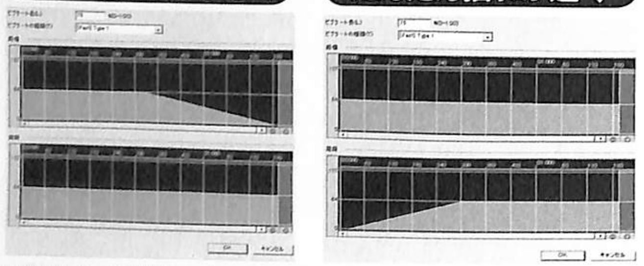
次に『ビブラートプロパティ』の設定です。ビブラートの設定は主に「ビブラート長」「ビブラートの種類」「振幅」「周期」が存在します。

ハラメータを理解しよう！



1. 「ビブラート長」は音符の何パーセントを揺らすかを決められます。100％だと音符全体を、50％だと音符の半分から揺らすことができます。音符の長さにもよりますが、あまり長く設定しすぎると音程が不安定になるので、50～75％くらいで使用するとよいでしょう。
2. 「ビブラートの種類」ではビブラートの設定を一括で変更できます。初期設定では「Normal1」に設定されています。個人的にオススメなのが「Fast1」と「Fast3」です。「Fast」を使ったことがない方はぜひ一度試してみてください。張りのある、引き締まった歌い方に変わると思います。ただし、ロングトーンなどでは声の震えが目立ってしまうので、一部でNormalに切り替えるなどの工夫が必要です。
3. 「振幅」では揺れの大きさを設定できます。値が大きいほど大きく揺れます。値が大きすぎると不安定になり、小さすぎると揺れて聴こえないので、この値は64前後で使うとよいでしょう。
4. 「周期」では揺れの速さを設定できます。値が大きいほど早く揺れます。どのくらいの値にするとどのくらいの速さになるのかは何度も試してみてください。ビブラートの速さが変わると歌の印象も大きく変わってきます。

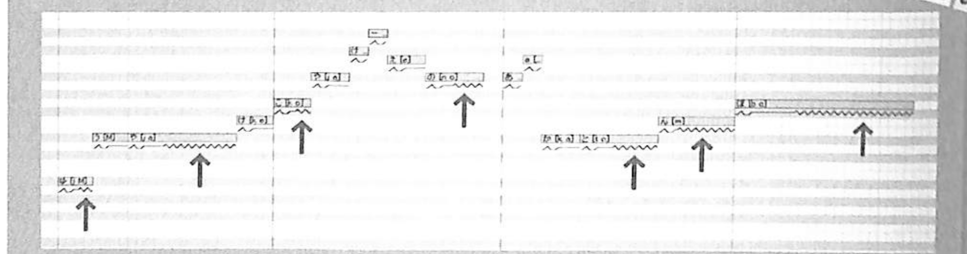
だんだん揺れが小さく　だんだん揺れが速く



「振幅」と「周期」の値を連続的に変化させれば、複雑なビブラートも再現できます。ふたつ例を用意しました。左は徐々に揺れが小さくなるビブラート、右は徐々に揺れが速くなるビブラートです。

「Fast」は、シリアスになるので、曲によっては合わないです。

まとめ

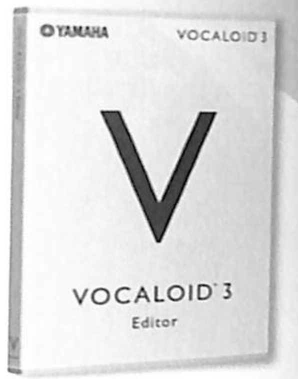


ロングトーンだけでなく、短い音符にビブラートを入れても歌い方は変化してくるので、積極的に入れていきましょう。

VOCALOIDで何が変わったのか？

『ベロシティ』の改良はVOCALOID3を使う一番のメリット！

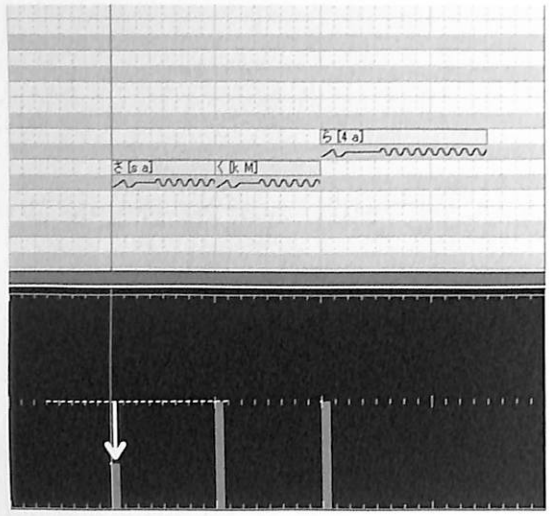
様々な改良がされたVOCALOIDですが、その中でも特に変化が大きかったのが、『ベロシティ（VEL）』です。『ベロシティ』は子音の長さを調節するパラメータですが、VOCALOID2では変化量があまり大きくありませんでした。しかし、VOCALOID3エンジンではこの『ベロシティ』の変化量の幅が大きく変更されました。



VOCALOID3 Editor

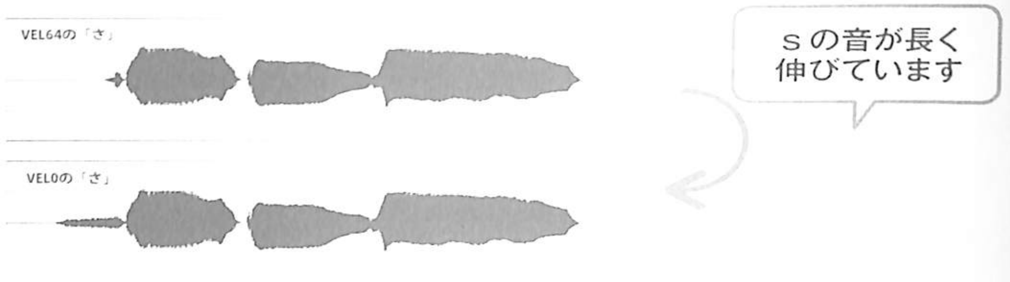
VOCALOID3 Editor は、歌声ライブラリを利用することで歌声を作り出せるソフトウェア。VOCALOID2 の歌声ライブラリをインポートして使用可能。
価格 9800 円
発売・販売元：ヤマハ

POINT ▶ **お手軽にスゴイ調教ができるようになった。エディターとして使うだけでも価値はある！**

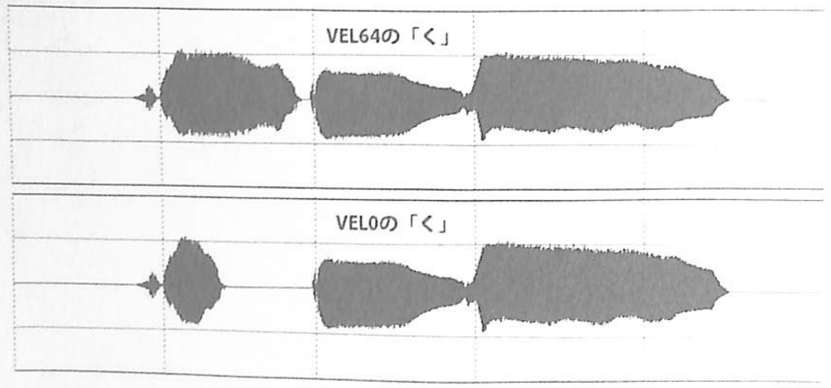


子音の溜めが再現できる！

サ行の発音を例に挙げると、『ベロシティ』を少し下げるだけでも「s」の音がかなり前に出てくるのが分かります。ナ行の『ベロシティ』を下げると、「んなー」という具合に、「n」の音を溜めてから発音するような発音に変化します。逆に『ベロシティ』を上げると、子音の溜めが少なくなり、キビキビした発音に変わります。テンポが速い曲などでは重宝します。



「破裂音の前の無音」の長さを調整できる！



では、先ほど解説したカ行やタ行の破裂音ではどうなるでしょうか。なんと、破裂音の『ベロシティ』を下げると、先ほど解説した「破裂音の前の無音」の長さを調節できるのです！ 写真を見ると、［く］自体の波形は変わらず、前の発音部分だけが無くなっているのが分かりますね。いちいち『ダイナミクス』を使って無音を作らなくても、簡単に滑舌がよい歌い方が表現できるのはとても魅力的だと思います。『ベロシティ』ひとつだけでもVOCALOID3は滑舌のよい歌い方を再現しやすくなった、と言えます。

まとめ

もちろんVOCALOID2をVOCALOID3にインポートしたデータベースでも、このパラメータの変化は有効になるので、この使いやすさを是非体験していただければと思います。

まずはVOCALOIDにできるだけ多くふれて、「どのように設定したらどう歌うのか」という感覚を身に着けることが大事です。はじめは難しいと思いますが、慣れるとあまり深く考えなくても調教ができるようになります。また、今回の講座で扱ったテクニックはほんの一部で、人によって調教の仕方は変わってくると思います。あくまでも私の例ですので……。

単語帳

【ベロシティ（VEL）】
子音の長さを変化させるパラメータ。初期値は64で、下げると子音が長くなり、上げると短くなる。

テクニック 03

カツゼツが悪い原因は何か？破裂音を極めることで人間らしくなる！

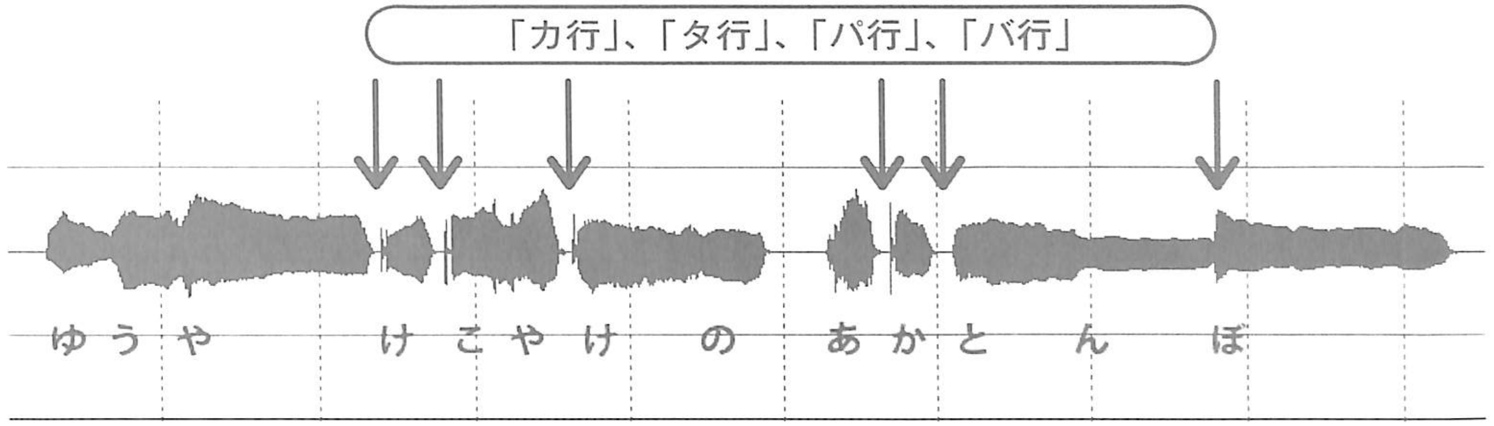
この項目では、発音の中でも特に破裂音について解説したいと思います。破裂音とは舌や唇を一瞬閉じ、弾いたり空気を破裂させたりする発音のことをいいます。具体的には、「カ行」、「タ行」、「パ行」、「バ行」などが破裂音になります。これらの破裂音を発音させるときに、あることに注意するだけでグッと滑舌がよくなる技があります。

POINT ▶ **人の声は破裂音の前に空白ができる。同じように直すことで歌声が人間に近くなる。**

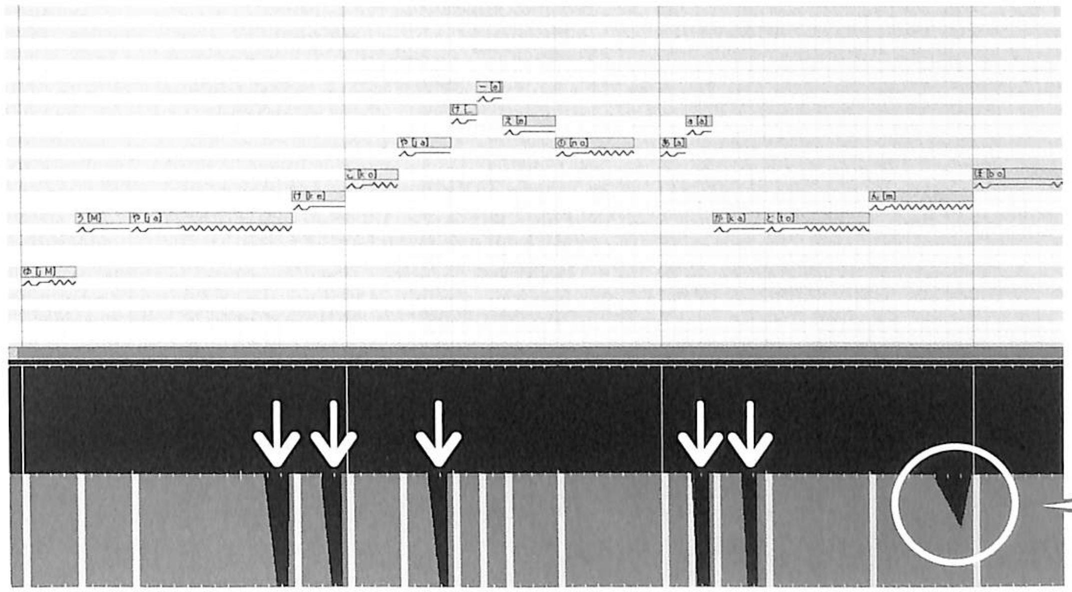
破裂音に
注目しましょう！

人の声の波形を実際に見てみよう！

先に何をするのかいってしまうと「破裂音の前に一瞬無音を作る」ことです。では、なぜそのようなことをする必要があるのでしょうか。この疑問には、破裂音の発音の仕方に答えがあります。先ほど、破裂音とは「舌や唇を一瞬閉じ、弾いたり空気を破裂させたりする発音」と解説しました。舌や唇を一瞬閉じるということは、その瞬間に一瞬音が止まるということなので、結果として破裂音の直前に一瞬無音状態ができるということになります。実際に人間の歌唱の波形を見てみると、破裂音の前は確かに無音になっている部分があるのが分かると思います。



『ダイナミクス（DYN）』で無音部分を作る！



VOCALOIDは優秀で、この無音も自動で挿入してくれますが、何らかの原因でこの無音が再現されない場合があります。このようなときに「滑舌が悪い」ように聴こえてしまうのです。これを回避していくためにも、写真のように『ダイナミクス（DYN）』で強引に無音部分を作りましょう。ただし、子音そのものが無くなってしまうと意味が無いので、破裂音の少し前で音量が戻るようにダイナミクスを描きます。こうすることで、破裂音の発音がより自然なものに変化します。

単語帳

【ダイナミクス（DYN）】
音量を変化させるパラメータ。初期値は64。少しずつ小さくなる声などを表現できる。

まとめ

無音にする長さはテンポや曲調によって合う・合わないがあるので、自分のイメージ通りの歌い方をするまで何度も調整してみてください。

AHSボーカロイド「氷山キヨテル」キーワード派生系コンテンツ！

ノベライズ版アイスマウンテン！

#アイスマ（ハッシュタグ）～ここに君がいないなら～

メインテーマ：ここに君がいないなら／虹原ぺぺろん（ぺぺろんP）

ボカロプラスVol.1でもお伝えしたボカロ派生系企画「アイスマウンテン」。AHS製ボーカロイドソフト「氷山キヨテル」のパッケージに書かれた一文から想像を広げ、刊行予定の2012年1月末に向けてオリジナルストーリーを制作中。さて、どんな感じかというと……。

「#アイスマ」は株式会社AHSの許諾のもと「徳間メディアプラス／徳間書店」が独自解釈で新規創作したものです。公式にメンバーのビジュアルが存在しない公式設定、および当設定が公開される以前にユーザーのみなさまが独自で創造されたアイスマウンテンのキャラクターを公的に侵害するものではありません。ひとつのパラレルワールドとしてお楽しみいただければ幸いです。

初音ミク-Project DIVA Arcade-Original Song

V.A.　発売中

全24曲が収まった公式コンピアルバムの第2弾がリリース

全国のアミューズメント施設で、大ブレイク中のセガ業務用音楽ゲーム“初音ミク -Project DIVA Arcade”。これまでに実装された魅力あふれる楽曲を凝縮した、コンピレーションアルバムの第2弾が待望のリリース。ニコ動で実施された「第2回楽曲募集コンテスト」で選ばれたタイトル15曲に、2010年秋に追加されたボカロ曲9タイトルをプラス、全24曲の聴き応えあふれる内容だ。おなじみの名曲が収録され、ゲームファンはもちろん、ボカロ曲未経験のユーザーも、うっとり聴き入ってしまうクオリティ。まだプレイしたことがないユーザーにとっても、“初音ミク -Project DIVA Arcade”を知るきっかけとなる、お買い得の音楽集だ。

［　収録タイトル　］

01　タイムリミット　Notth-T
02　Holy Star -2010 DIVA MIX-／おっさんP(K's Sound Project)
03　melody...　mikuru396
04　saturation　FAT,Harmonia feat.
05　迷的サイバネティックス　otetsu
06　ピンクムーン　もじょP
07　透明水彩　ヤスオ
08　いろは唄／銀サク
09　多重未来のカルテット -Quartet Theme-／FunkyK.H,Kusemono(SWANTONE)
10　マスターオブパペッツ／デスおはぎ
11　Pane dhiria　新城P
12　ほしをつくるひと　MazoP
13　So much loving you★ -Dive Edit-／古墳P,longan
14　ジュゲムシーケンサー　ぼーかりおどP(noa)
15　さあ、どっち？　ひなた春花
16　数多の舞 -Dance of many-　koushirou(卑屈P)
17　Equation+**　ぼわぼわP
18　嘘つきベティ　PolyphonicBrach,花うさぎ
19　イヤイヤ星人　イヤイヤP
20　迷子ライフ　TOKOTOKO(西沢さんP)
21　ハイスクールDays - DIVA EDIT／U-ji(霊長類P),U-SUKE
22　そいやっさぁ！！　囚人P
23　break;down　hmtk,クマー@Taken
24　花舞月詠譚　Heskey,Yukie Dong

ドワンゴ・ミュージック
エンタテインメント　2300円
http://d-me.jp/

EXIT TUNES PRESENTS 煌千紫万紅大雅宴

Feat. 神威がくぽ from　発売中

“神威がくぽ”のヒット曲を収録したコンピアルバム第2弾

人気の男声ボカロ『がくっぽいど』の人気タイトルを収録した、ファン待望のベストアルバムがリリース。虹原ぺぺろん、オワタP、家の裏でマンボウが死んでいるP、かにみそP、マチゲリータといった人気のボカロP18名によるハイクオリティなサウンド全18曲を収録。高音質で収録されているため、“神威がくぽ”の透きとおる歌声を、十分に満喫できる仕上がりになっている。アルバムには、ジャケットのイラストを担当した鈴ノ助氏が描くオリジナル携帯ストラップ付き。また、同封のアンケートに答えると、応募者全員にオリジナルのクリアファイルをプレゼントという特典も見逃せない。“神威がくぽ”厨は見逃せない1枚だ。

［　収録タイトル　］

01　Episode.0／mathru(かにみそP)feat. 神威がくぽ
02　蟲と桜、嘘とコンクリート／otetsu feat. 神威がくぽ
03　ROMANCE×BALANCE／yuukiss feat. 神威がくぽ
04　約束／のりぴー feat. 神威がくぽ
05　流転吟遊／虹原ぺぺろんfeat. 神威がくぽ
06　舌と裏／マチゲリータfeat. 神威がくぽ
07　雅唄 -FULL Bloom Edition-／ツアーP feat. 神威がくぽ
08　スーパートルコ行進曲 -オワタ＼(^o^)／／オワタP feat. 神威がくぽ
09　先週、肝臓が腎臓にフラれたらしい／家の裏でマンボウが死んでるP feat. 神威がくぽ
10　蜃気楼のジャンナ／ちーむ炙りトロ丼 feat. 神威がくぽ
11　エゴイスティック／No.D feat. 神威がくぽ
12　soul without destination／maya feat. 神威がくぽ
13　excuse／164 feat. 神威がくぽ
14　流浪の民／すずきP feat. 神威がくぽ
15　秋月／Nem feat. 神威がくぽ
16　空に届く砂の山／ナタP feat. 神威がくぽ
17　Last Song　ROY feat. 神威がくぽ
18　太陽が沈む刻／SCL Project(natsuP)feat. 神威がくぽ

エグジットチューンズ
2000円
http://gackpo.jp/

Curl flavor 初回限定版

Curl flavor feat.初音ミク　発売中

オルタナティブ色のギターサウンドが際立つソングブック

軽快なメロディとキュートな歌声の融合をテーマに、『初音ミク』のサウンドがPVと同化。ロックバンド「Curl flavor」が歌い上げる全4曲が収録されたマキシシングル。サウンドプロデューサーに、szak氏を迎えてオルタナティブ色の強い『初音ミク』が楽しめる。ジャケットは、人気ライトノベル『オトコを見せてよ倉田くん』を手掛けたイラストレーター、フミオ氏が担当。渾身のタッチで『初音ミク』を仕上げたという自信作だ。オリジナルの衣装で登場するポップで躍動感あふれるPVは、現在、V3『蒼姫ラピス』で話題のアニメ制作会社、スタジオディーンが担当している。“映像&音楽”を融合させた新しい世界を満喫したい。

［　収録タイトル　］

01　チャイム
02　月下ジャスミン
03　lifework
04　チャイム-piano version-

PVの3Dモデリングは、Lat式『初音ミク』がモチーフになる。躍動感あふれる明るいタッチで描かれたムービーの完成度は、数多くの名作アニメを手掛けるスタジオディーンならではのクオリティだ

コスミックレコード
1680円
http://gwave.surpara.com/cosmic/

voices in a bottle ～海を越え届いた歌声～

栗プリン／のぶなが／グリリ／わたあめ／ENE　発売中

ニコニコ動画で人気の韓流アーティストがそろったソング集

ニコニコ動画でおなじみの「歌ってみた」で話題の韓国在住の歌い手5人の歌声が集結。ボカロの名曲を落ち着いたアコースティックサウンドにアレンジ、透きとおった歌声でカバーされた美しい歌声に注目したい。OSTER project、Junky、T-POCKET、におPという、人気ボカロPが書き下ろした新曲に加えて、ボーナストラックには、ニコ動で80万回の再生を記録した「深海少女」や「トリノコシティ」が収録されている。またニコニコ動画の「演奏していた」で評判の韓国人ベーシスト、H.J.Freaks氏も参加する、アジアパワーを秘めた1枚。韓国、ソウルにてレコーディングを行った、美しいサウンドに酔いしれてほしい。

［　収録タイトル　］

01　Lollipop Factory／栗プリン、のぶなが、グリリ、ENE、わたあめ
02　ネトゲ廃人シュプレヒコール(Acoustic Jazz Trioアレンジ)／のぶなが
03　遠い空／栗プリン&わたあめ
04　glow(Piano&Strings Acousticアレンジ)／グリリ
05　文学少年の憂鬱(Acoustic Jazz Trioアレンジ)／栗プリン
06　DIAMOND／のぶなが&グリリ
07　パズル(Piano&Strings Acousticアレンジ)／ENE
08　ミミック(Acoustic Jazz Trioアレンジ)／わたあめ
09　Yes.／のぶなが&ENE
10　トリノコシティ／ENE(ボーカル新録)※
11　深海少女／のぶなが
12　Lollipop Factory(ハングルver)／栗プリン、のぶなが、グリリ、ENE、わたあめ

ドワンゴ・ミュージック
エンタテインメント　2300円
http://d-me.jp/

© Crypton Future Media, Inc.　© INTERNET Co., Ltd. ALL RIGHTS RESERVED.　© SEGA

帆風ナツキ NATSUKI HOKAZE

ロックバンド「アイスマウンテン」
ドラム

アキトとキヨテルとは大学で知り合う。中学高校はブラスバンド部でサックスを担当。大学時代にアキトとキヨテルと結成したバンドでドラムを担当して現在にいたる。小柄で女性的な容姿なので、男らしさに必要以上にこだわり、女性に間違われると一瞬でキレる。祖母が営んでいる『ベーカリー＆ペストリー帆風』を大学時代から手伝っており、将来の夢はパティシエ。祖母に仕込まれた中国武術もなかなかの腕前。愛車はフランス製ロード。専門学校生（調理学校の洋菓子部門）。

氷山キヨテル KIYOTERU HIYAMA

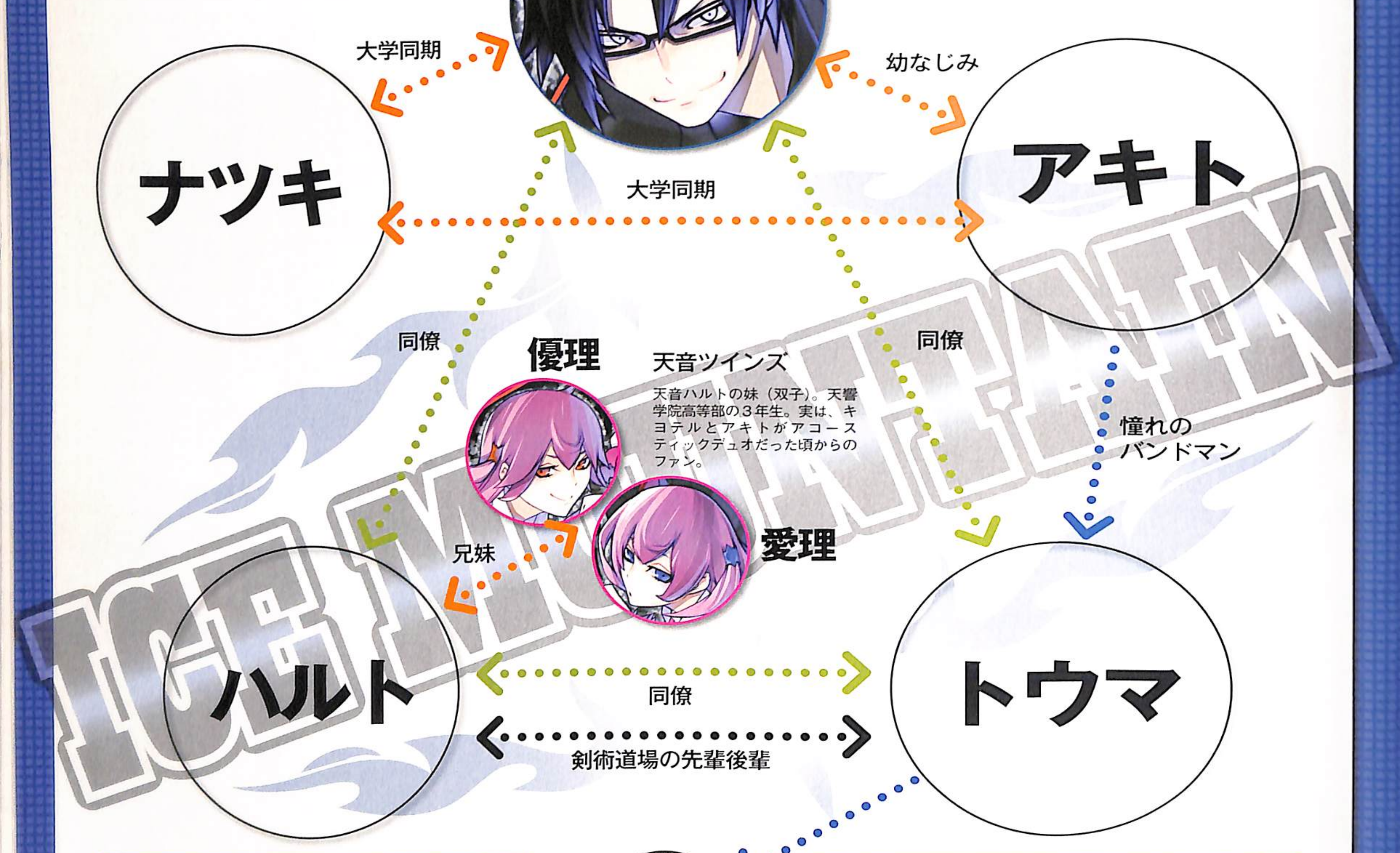
ロックバンド「アイスマウンテン」
ボーカル

ひとの心を虜にするミラクルボイスの持ち主。温厚で柔和でひたすらお人好しだが、なにげに頑固。歌っているときは普段とはうって変わってクール。事故で10歳以前の記憶がなく、教会に併設する施設で養父（叔父）に育てられたが、大学卒業と同時に勤務先の小学校の宿直室で暮らすことになった。子どもの頃からの夢である小学校の教師になって奮闘努力中。カレー好き。天響学院初等部新任教師。

火山アキト AKITO HIYAMA

ロックバンド「アイスマウンテン」
ギタリスト

氷山キヨテルとは小学校からの親友で、中学、高校、大学もいっしょ。小学校の時に担任教師に見初められギターの手ほどきを受ける。超絶ギターテクニックの持ち主で愛用のギターはレスポールスタンダード（サンバースト）。小学校時代にキヨテルとのアコーステックデュオを結成。義理と人情に厚く、明るく情熱的なO型。忙しい両親にかわって育て上げてくれた姉の彰子には頭が上がらない、というかパシリ。愛車はイタリア製のスクーター。有限会社火山青果店従業員。



天音ハルト HARUTO AMANE

ロックバンド「アイスマウンテン」
キーボード

楽器はほぼなんでもこなせるが、アイスマウンテンでは欠けているキーボードを担当。資産家・天音家の長男で、音楽教師は彼の一部の姿。あらゆる芸術を愛するパーフェクション。中等部と高等部の色気づいた女子からは「王子」と呼ばれている。武道も芸術ととらえているため、さまざまな武道にも造詣が深い。安土流剣術道場でトウマに出会って以来、トウマをフォローするハメに。ワイン通。天響学院音楽教師。

安土トウマ THOMA ADUCHI

ロックバンド「アイスマウンテン」
ベース

大学時代はインディーズバンド「安土桃色時代」のリーダー。タバコとコーヒーが欠かせない。長髪で無精髭、洗いざらしの白衣にラフな服装、理科準備室の私物化など、学園内での評価は「不始末が白衣を着て歩いている」。少々オヤジっぽい言動が目立つが、頼りがいのある兄貴的存在。地質学研究が度を超して大学院まで出ている。安土流剣術免許皆伝。同僚にして道場の後輩の天音ハルトに甘える日々。天響学院初等部教師。

キャラクターデザインはヤスダスズヒト氏！

AHS製ボーカロイド「氷山キヨテル」がボーカルとして参加しているバンド「アイスマウンテン」。パッケージの裏に記述された、そのキーワードから立ち上がったのが当企画である。「氷山キヨテル」は小学校の新任教師……というAHS公式設定のもと、ノベライズ版においても「アイスマウンテン」は5人組の社会人バンドだ。バンドリーダーは氷山キヨテルの幼なじみである火山アキト（青果店勤務）。メンバーはボーカルの氷山キヨテル、ドラムの帆風ナツキ、ベースの安土トウマ、キーボードの天音ハルトからなる（詳細は左ページ参照）。

第一弾のストーリーは「アイスマウンテン」が結成されるまでのお話。主役は氷山キヨテルひとりというわけではなく、火山アキト、帆風ナツキを加えた3人の群像劇だ。

ノベライズにあたり、キャラクターデザイン＆イラストをお願いしたのは、現在『夜桜四重奏 ～ヨザクラカルテット～』（『月刊少年シリウス（講談社）連載中』）や『デュラララ!!』のイラストなどでおなじみ、ヤスダスズヒト氏。

パッケージイラストや初期設定にこだわらず、ヤスダ氏ならではの解釈でキャラクターデザインをお願いした。今回、ご覧いただくのはヤスダスズヒト氏が描いたノベライズ版「氷山キヨテル」と、物語で重要な役割を果たす「天音優理＆愛理」。

刊行は2012年1月下旬を予定。小説のタイトルは「＃アイスマ　～ここに君がいないなら～」（＃：ハッシュタグ）。ひとつのパラレルワールドとしての「氷山キヨテル」と仲間たちの活躍にご期待ください。

「#アイスマ　～ここに君がいないなら～」
（※ハッシュタグ　アイスマ）
2012年1月下旬刊行予定
天音愛理・著　ヤスダスズヒト・イラスト
定価1260円　徳間書店

メインテーマ：ここに君がいないなら
虹原ぺぺろん（ぺぺろんP）

ICE MOUNTAIN

イラストコンテスト中間発表！

入選8作品が決まりました。

アイスマウンテンのノベライズ記念としてかねてより募集中だった「イラストコンテスト」も10月末日で締め切りとなりました。印刷対応用の350ピクセルインチ／Ａ４サイズという高いハードルにもかかわらず、全国からたくさん、力作の応募がありました。今回はその中から入選８作品を発表！「#アイスマ」が刊行される1月下旬にはこの８作品の中から、入賞作品を発表いたします。それにしても、アイスマクラスタさんたちのクオリティ、恐ろしく高いです！

2011年８月に数量限定で頒布したアイスマウンテン初期設定資料集。これをもとにみなさんに創作していただきました

作品03 タロット／もうり&天龍洸

ツイッターの診断メーカーで出た結果をアイスマウンテンのメンバーでタロットカードにしてみました。香港の絵師・天龍洸さんとの合作です。こういう合作も楽しいですね (*´ω`*)

作品01 ーWELCOMEー／春日せたろう

薔薇の匂いに誘われて秘密の扉を開けたら、そこにはアイスマウンテンが ...「WELCOME」。... という妄想はいかがなものでしょうか！ (^p^)

作品04 Pick-up Artist／あまか

都心の広告看板でこんな感じの物があったら格好良いかなーという感じを目指してみました。

作品02 ICE MOUNTAIN／秋月

PV っぽい感じを目指しました。

TSUTAYA.comでアイスマ「イラストコンテスト」作品をウェブギャラリー展示中

ご応募いただいた力作はウェブで公開中!!

▶ http://tsutaya.com/ebooks/campc/vocalo2/index.html

作品07 unchain／もうり

ジャケットとかを想像して描きました

作品05 ちびあいすまうんてん！／卯匡

ちびキャラになっても格好良い彼ら！　是非疲れた時に机の上でわちゃわちゃ歌ってほしいです！　…という妄想＼(^o^)／

作品08 LIVE!／ひづき

とあるライブハウスにて。アイスマウンテンが５人編成になってから間もない、何度目かのライブ。まだぎこちない。アキトが変な顔なのは、感極まって泣きそうなため。ハルトさんは観客にスマイル。トウマさんはライブ感を楽しみながら昔を思い出し、キヨテル先生はまだ緊張ぎみ。そんなアイスマウンテンのライブ in ライブハウス、脳内だけでなく、いつか映像で見られる日が来る！ という想いを込めて。

作品06 ICE MOUNTAIN／まひるの

とにかく全員ガッツリ描きたかったのでありきたりな構図になってしまいましたが愛だけは詰め込みました。アイスマウンテンのイメージカラーが自分的に青なので、水面をイメージしてポスター風に仕上げてみました。（キヨテルが必要以上にはだけてしまった…大丈夫ダロウカ…！汗）

ICE MOUNTAIN

ストーリーをちょっとだけ公開! 1

まずは物語のオープニングからどうぞ

ノベライズ版「アイスマウンテン」の主人公は「氷山キヨテル（ボーカル）」「火山アキト（ギター）」「帆風ナツキ（ドラム）」の3人。幼なじみのキヨテルとアキトは同じ大学に進学するが、入学式の翌日にナツキを女のコと間違えてナンパしてしまうのだが……。そんなシーンを蒼星きままさんに描いてもらいました。

「いってぇえええ～　いきなりグーかよっ」

火山アキトは尻もちをついた自分の姿が信じられないかのように首をふりながら立ち上がろうとした。

その刹那――。

みぞおちに相手の膝が入り、胸ぐらをつかまれて起き上がれなくなった。

「おい、赤毛っ、オレのどこが〝彼女〟なんだよっ。ああ、おらっ」

「ぐえっ、え?」

自分の上に馬乗りになって、自分に罵声を浴びせているのはどうみても女のコだ。横顔しか見ないで声をかけたのだが、予想以上にかわいい。

なかなかオレのカンは当たる――などと悠長なことを言っている場合ではない。

大ピンチだ。みぞおちは膝でホールドされ、頸動脈を絞められかかっている。ワケが分からないとはこういうことを言うのだ。

ほんの二分ほど前、アキトはキャンパスのカフェテリア前の広場で一緒に入学した氷山キヨテルと一息ついていた。

昨日は入学式、今日は大学生活のルールやら単位やらといった事務的なことのレクチャーを受けるオリエンテーションだった。長い説明から解放された自分が浮かれていたのは否めない。

だから柄にもなく、ナンパしてみようなどと思ったのだ。

それと、出がけに姉に、カワイイ娘はすぐに売約済みになってしまうので出遅れてはいけない、出遅れたらおまえには一生彼女なんかできない――と、とくとくと説教されたことも大きく起因している。

そのうえ、この機会を逃したら確実に一生童貞のままだ、健闘を期待する、いや今日中に結果出してこい――などど、これまたワケの分からないエール（呪い）を受けて家を出たのだ。

浮かれていたんじゃない。

これは絶対に〝呪い〟だ。

「ねえ、彼女っ、このあとヒマ?」

身長一六〇センチぐらい、肩までのシャギーのはいった髪、ピンクのパーカーにブラックデニムの出で立ちで自分の前を通り過ぎた女のコに衝動的に声をかけたのが一分前、いや、組み伏せられてからものすごく時間が過ぎた気がする。

絶対、呪いである。

姉の呪いだ。ていうか、周りにどんどん人だかりができている。どんな大学生活のスタートなんだ、コレ。

ものすごくカッコ悪いんですけど。

人だかりに我を取り戻し、女のコはアキトを解放して走り去った。

「アキトくん、大丈夫?」

氷山キヨテルはしゃがみ込んでアキトの加減をうかがった。

「なんだったんだ、今の?」

「わかんないですね、アキトくん、なにかしたんですか?」

「なにかって、声かけただけだよ」

「猫みたいな俊敏さでしたね」

「ほんと、振り向きざまに右フック、そのあと、アタタタ」

「でも、とてもかわいい人でしたね」

「かわいきゃいいってもんじゃないよ。なにあれ? 新手の妖怪? そういうのは姉ちゃんひとりでたくさんだ」

「助けられなくて、ごめんなさい」

「なにいってんだよ! キヨテルに助けてもらうなんて思っちゃいないよ」

尻をはたきながらアキトは立ち上がった。それにつけても、ものすごい速攻だった。

運動神経だけがよりどころで、少年時代から空手の道場に通っていてケンカだって負けたコトがない、そんな自分がなにひとつ抵抗できなかったのだ――。

蒼星きままさんによるアイスマンガです

蒼星きままさんは、月刊COMIC リュウ（徳間書店）が主催するマンガ賞・龍神賞にて、銅龍賞を獲得。デビュー作「きのこいぬ」は受賞作品でもあり、彼女にとって初めての単行本だ。どんなお話かというと……。

内容●愛犬・はなこを亡くして傷心の絵本作家・夕闇ほたる先生。庭に生えたピンクのきのこを眺めていたら、もぞもぞと動き出したそれは実は犬、「きのこいぬ」だった……。幼なじみの担当編集者・こまこや、ガチホモのきのこ研究所員・矢島くんを交えて、止まっていたほたるの時間が動き出す……。不思議で生意気で可愛い謎の生き物「きのこいぬ」がきっとあなたを癒してくれる♪

蒼星きままさんの師匠である東村アキコさんが「ああ…今、こーゆーの読みたかったんだ、私……」「ほたるの嫁になって、きのこいぬと暮らしたい」と推薦文を寄せてくれているように、まさに、いま癒されたいあなた！　是非ともご一読くださいませ。

不思議で生意気で可愛い謎の生き物「きのこいぬ」

きのこいぬ
（リュウコミックス）
蒼星きまま（著）
発売日：2011/10/13
630円

<あおほし・きまま>　第7回龍神賞【銅龍賞】を『きのこいぬ』で受賞。同作品が「COMICリュウ」2010年8月号に掲載されてデビュー。その後シリーズ連載化され好評を博す。

続いて
キヨテルと
ナツキの
出逢いなど

ICE MOUNTAIN

ストーリーをちょっとだけ公開！2

初対面でナンパしてきた赤い髪の毛の男、アキトをぶん殴ったナツキだが、その女性的な容姿から、キャンパス内での男からのナンパに辟易していた。ここでご紹介するのは、そこから一週間後の大学キャンパス。ささくれだったナツキは、全身から〝いいひと〟オーラを発しているキヨテルに声をかけられて……。そんなシーンを平尾アウリさんに描いてもらいました。

入学式から一週間が経ち、キャンパス全体はさらに浮かれた状態になっていた。

今日から校舎と校舎の間にはサークル勧誘の長机が置かれ、さながら縁日のようだ。〝勧誘にはくれぐれも気をつけろ〟というアキトの助言の意味をキヨテルは今更ながら噛みしめていた。

一限はドイツ語だった。しかし校門から五十メートル進んだところで「民俗文化研究会」という文連のクラブに声をかけられた。五分で済むから……という女性部員の懇願を断れず席に着いたキヨテルは正味九十分の間、タイトルをつけるとすれば〝水木しげるの功績と日本妖怪の系譜〟という講談を拝聴する羽目になった。

二限の生物学の教室に向かう途中では「応援指導部」に拉致された。学生服を着た男に〝キミに健康になる発声法を伝授しよう〟と声をかけられ、言われるままに声を出した。キミの声はいい！　最高だ！　なによりも通る！　十年にひとりの逸材だ。キミこそは応援指導部に入るべくして我が大学に引き寄せられたのだ——云々。学食で馳走しようという申し出をほうほうの体で断って、生物学の教室に辿り着いたときには、講義終了後の学生たちが排出される瞬間だった。

——アキトくん、困りました。空っぽになった教室のいちばん後ろの席に座り、アキトのいない状態の自分の情けなさに涙が出そうになった。

ふと、前のほうの席にまだひとりだけ学生が残っているのに気がついた。女性のようだが、見覚えがある。すぐに立ち上がって、すり鉢状になった教室の下の方から出口のそばのキヨテルのほうに向かって来た。アキトを組み伏せた猫のような俊敏さの女のコ……。キヨテルは近づいてくる人物を見つめながら、直感で気づいた。

——アキトくん、あのひとは男性です。

女のコに間違われたから、腹を立ててアキトをたたきのめしたのだ。

一メートルほどに近づいたとき、キヨテルは立ち上がり声をかけた。

「すみませんっ、ボク、氷山といいます。実は講義に間に合わなくて——」

女のコと見まがう可憐さの男のコ、帆風ナツキは立ち止まってキヨテルをまじまじと見つめた。

入学式からナンパされること数十回、もはや人間不信になりかかり、終始イライラしつづけていたナツキだが、ほのぼのとした柔和な雰囲気と真摯さの入り交じったキヨテルと対峙して、すうっと憑きものが落ちるような感覚を覚えた。

「大変恐縮なのですが、今日の講義内容のノートを見せてもらうことはできますでしょうか？」

たぶん、敬語としては正しい用法ではない。ただ、この男の誠実さはしっかりと伝わってくる。

「いいよ。コピーとる？」

「ありがとうございますっ、えーっと」

「オレ、帆風。経営学部なんだ。キミはどこ？」

「ボクは教育学部です。小学校の教師になりたいんです」

いやいや、将来の夢まで聞いてないよ！　と突っ込みたいところだが、突っ込めないさわやかさだ。それどころか、こちらの将来の夢も語る必要があるように思えてくる。

「氷山くん、ごはん食べた？」

「いや、まだなんですけど……。でもボク、今日ひとコマも講義に出ていないんです。食事なんかしてていいんでしょうか？」

「なに言ってんの！　いま昼休みだよ、どの教室でも講義なんかしてないよっ」

ナツキは思わず吹き出し、キヨテルを引っ張って校舎から引きずり出した。思えば入学式から一週間、自分を女のコと間違えてすり寄ってくる野郎どもに対して、精神的にも肉体的にも（アキトへの報復のような）攻防一体の布陣を敷いていたので、極度に緊張していた。しかも、まともな会話は今日が始めてだった。

もちろん笑ったのも。

平尾アウリさんによるアイスマンガです

平尾アウリさんは2007年第2回龍神賞で銀龍賞を受賞！　選考委員の吾妻ひでおさん、安彦良和さんにそのセンスを激賞された大型新人としてデビューした女性コミック作家です。デビュー作にして代表作である「まんがの作り方」は、漫画家として頑張る女の子ふたり、先輩と後輩の微妙な関係を描く、新感覚百合ストーリー。どんなお話かというと……。

内容●川口さんは、13歳でマンガ家デビューしたものの鳴かず飛ばずで、現在は再デビューをめざす19歳。森下さんは、“さち”というペンネームで活躍中の人気マンガ家。森下さんは、先輩の川口さんに一途な想いを寄せている。一方の川口さんは「ガールズラブって流行ってるから、マンガのネタになるかも…」という不純な動機で付き合い始めるのだが……。

ナツキをめちゃめちゃ可愛く描いていただきました。現在絶賛発売中の「まんがの作り方」、ぜひともお手にとってみてください！

コミックス
「まんがの作り方」
1～5巻まで
好評発売中！

まんがの作り方　5（限定版）
（リュウコミックス）
平尾アウリ（著）
発売日：2011/6/30
880 円（別冊付録「オリジナル同人誌」付きの限定版。通常版は 620 円）

<ひらお・あうり>8月30日生まれ。岡山県倉敷市出身。2007年に第2回龍神賞【銀龍賞】を受賞。受賞作『まんがの作り方』がそのまま連載化され、現在も続く大人気連載となる。他のリュウコミックスに作品集『4月1日』がある。

ICE MOUNTAIN

美味キャラクター 優理＆愛理で妄想！

物語に深く関わる美少女ツインズ

ふみふみこさんによるアイスマンガです

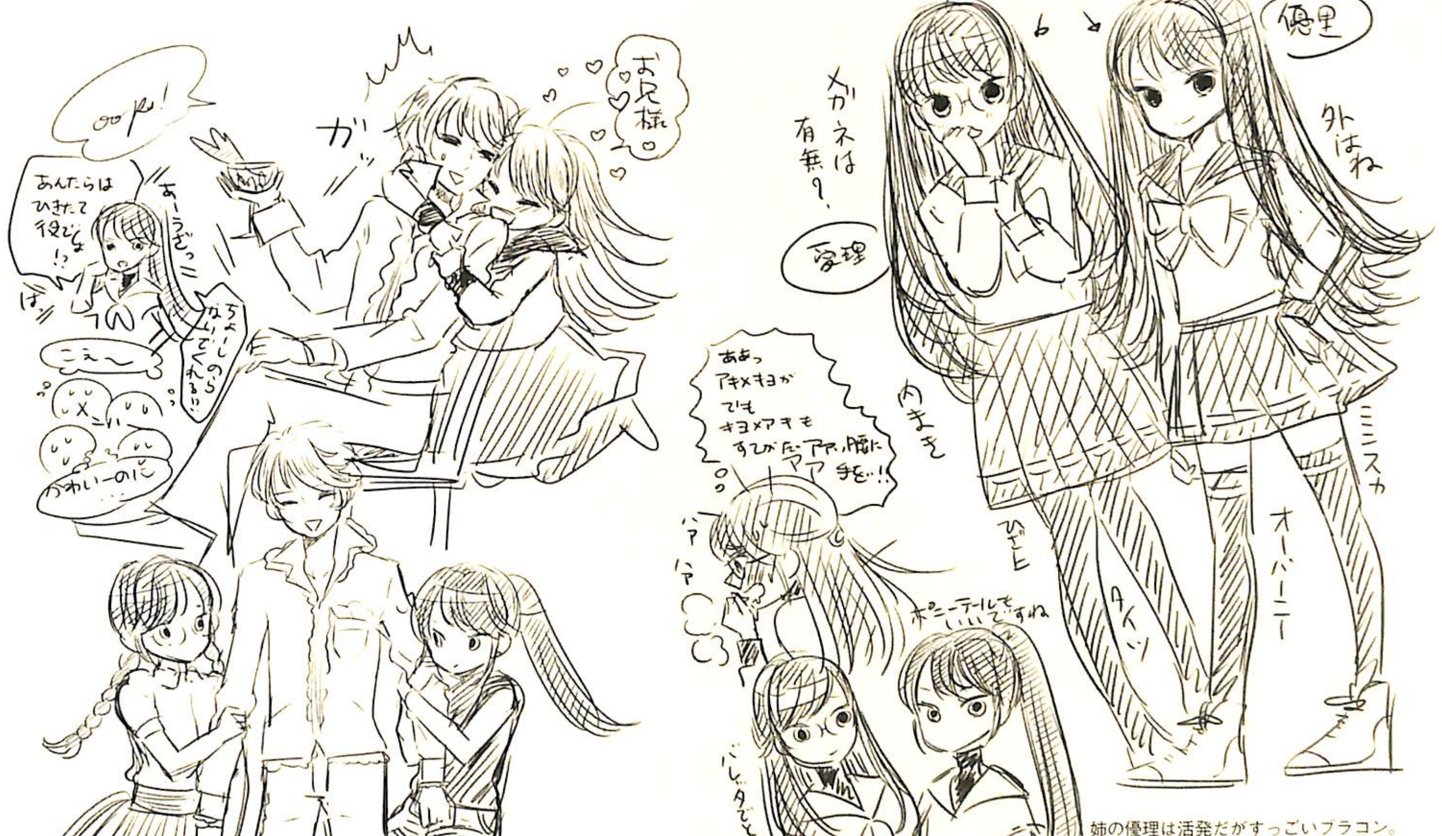
ふみふみこさんは、今もっとも注目な新進女性コミック作家のひとり。……女は不思議で、怖ろしくて、いやらしくて、そして愛おしい……。「コミックリュウ」誌上での掲載時から、独特の感性を持った女流新鋭として各方面より絶賛されたふみふみこさん。彼女の記念すべきファーストコミックス「女の穴」。ミステリアスな女性の性がコミカルかつ、不思議な叙情感をもって描かれています。とにかく、とんでもない才能が感じられるはず。

内容●『女の穴』：自分は宇宙人で、地球人の子どもを作るよう命じられているので自分と寝てほしい……と担任教師に迫る女子高生の虚無。『女の頭』：禁断の想いが抑えきれず、死んだ兄を人面疽として後頭部に寄生させ続ける妹の純愛。『女の豚』：ハゲでチビでデブで同性愛者の中年男性教師を、豚扱いしていたぶり続ける女子高生の倒錯した愛。前記３作品に加えて、『女の豚』を別視点で描いた意欲作『女の鬼』40ページを描き下ろし。

この才能を知らずにおくのはとんでもなくもったいない！

女の穴
（リュウコミックス）
ふみふみこ（著）
発売日：2011/9/13
650円

アイスマウンテンのキーボード・天音ハルトには妹（双子・高校生）がいる。姉のほうは優理、生徒会長を務める才媛でツンデレ＆お兄様大好き。妹の愛理は内気で恥ずかしがり屋の妄想少女……。こんな文字だけの設定をふみふみこさんにパスしたら、ものすごいシュートがゴールに刺さりました。



妹の愛理は内向的で恥ずかしがり屋。しかしその裏側は妄想女子。アイスマウンテン５人のメンバーを妄想して楽しんでいる。メンバーと直接顔を合わせたときに赤くなってモジモジするのは、恥ずかしがっているのではなく、BL的妄想で興奮しているため。

姉の優理は活発だがすっごいブラコン。ハルトのことを「お兄様」と呼ぶ。お兄様が理想の男性。アイスマウンテンの他のメンバーは兄を引き立てる素材だと思っている。ゆえに、兄の仲間に対して兄の見ていないところでは上から目線。兄の前とそれ以外ではキャラが違う。

天音ツインズ、ツンデレ「優理」と妄想少女「愛理」。“愛理、おまえ…俺か”と思ったあなたは是非ともノベライズにご期待ください。

<ふみ・ふみこ>1982年生まれ。「ふんだりけったり」で講談社「Kiss」第11回ショートマンガ大賞・佳作を受賞。月刊COMICリュウ（徳間書店）に掲載された短編を中心に描き下ろし40ページを加えた初単行本「女の穴」は各界から絶賛の声があがっている。

ノベライズ版

アイスマウンテンの新曲！ ニコニコ動画でお聴きください！

実は、実力派のPさんたちに一緒に盛り上がってもらいました!!

アイスマウンテンのノベライズ祭りの最後を締めくくるのはやっぱり音楽！　現在、ニコニコ動画にうｐされているノベライズ版アイスマウンテンのコラボ楽曲は８曲。みなさん、ぜひとも聴いてくださいませ。これ、とても大切なことなのですが、ノベライズ版アイスマウンテンの半分はＰさんの〝センス〟で出来ています。

一緒になって楽しんで作ってくれたＰさんたち！　名曲 8 曲あがってます！

アキバヲタPさん
[夏葬詠]

一番はじめに公開された名曲。作詞、作曲：アキバヲタＰさん／タイトル読み方考案：ンチャＰさん／イラスト：つばきこいしさん／マスタリング：かごめＰさん

ぺぺろんPさん
[ここに君がいないなら]

氷山キヨテルのオリジナル曲の中で再生数の一番多い曲を持つぺぺろんＰさんが調整に気合いを入れて作った曲。作詞、作曲：ぺぺろんＰさん／動画：御厨わたさん

イメソラPさん
[Take off！]

イメソラＰさんが初めて作ったロック曲。天龍洸さんが作ったPV版も公開されている。作曲、動画：イメソラＰさん／作詞：Danzig さん／イラスト：天龍洸さん

みきとPさん
[チルダマチルダ]

みきとＰ さん初のキヨテルオリジナル曲。かわいいほのぼの曲。作詞、作曲、動画：ミキト（みきとＰ）さん／イラスト：ヨリさん／マスタリング：かごめＰさん

かごめPさん
[バスストップシケイン]

初のキヨテルオリジナル曲。落ち着いた雰囲気の中で痺れるギターサウンド。作詞、作曲、動画：かごめＰさん／ギター：みきとＰさん／イラスト：麺類子さん

Dongさん
[ベジタブル･ビューティフル]

火山アキト（八百屋）が作詞してお蔵入りした野菜の歌というコンセプトの曲。作詞、作曲、動画：Dong さん／イラスト：きのぶりさん／マスタリング：かごめＰさん

takamattさん
[GTK!?]

なんと解散間近のアイスマウンテンというアイデアで作られた曲です。作詞、作曲、動画：takamatt さん／イラスト：富岡二郎さん／マスタリング：かごめＰさん

いたちまPさん
[breed]

一年ぶりのボカロ曲。ナツキだけネクタイではなくリボンになっています。作曲：いたちまＰさん／作詞：桜ふみさん／イラスト：雪月佳さん／動画：tourou さん

アイスマウンテンの曲作ってください～

話は夏にさかのぼります。「氷山キヨテル」の楽曲は名曲も含めて多々ありますが、〝アイスマウンテン〟のタグが付けられた楽曲がほとんどないことに気がついた徳間書店アイスマ制作委員会。

ノベライズするのに曲がないのは寂しすぎる……。

そこで、初期詳細設定資料を片手に、〝アイスマウンテンのオリジナル楽曲〟を善意で作ってくれるＰさんを探し歩いたのは、まだ残暑厳しいころのことでした。

偉大なるいろはマスターアキバヲタP登場！

我々の〝わがままで自分勝手〟な〝つくってええええ〟という懇願に最初に応えてくれたのは、偉大なるいろはマスター「アキバヲタＰ」さん。ニコニコ動画にあがった動画は「アキバヲタＰ」さんのすばらしい楽曲、「かごめＰ」さんの神業マスタリング、「つばきこいし」さんのすばらしいイラストでした。感動したのは言うまでもありません。

つづいて、コラボ曲をうｐしてくれたマイスター「ぺぺろんＰ」さん。

当時、制作委員会では、ノベライズ制作が暗礁に乗り上げていたのです。このままでは、「氷山キヨテル」の使用を快く許してくれたＡＨＳさんに会わせる顔がない……と。

ぺぺろんPの楽曲がノベライズに天啓を！

そんなとき、「ぺぺろんＰ」さんの楽曲〝ここに君がいないなら〟が天啓を与えてくれました。

そうだ！　この歌がエンディングになるストーリーをイチから構築し、なおそう……と。「ぺぺろんＰ」さんの楽曲でノベライズ制作が再び動き出したのです。

そして、これまで多くの名曲を生み出している「イメソラＰ」さんから〝Ｔａｋｅ　ｏｆｆ！〟がうＰ。こちらは天龍洸さんが動画リメイク版をうＰし、ふたつのバージョンが存在しています。

４曲目は「みきとＰ」さんの〝チルダマチルダ〟。ポップな曲はアイスマウンテンの楽曲の可能性を大きく広げてくれました。

そして、才能ほとばしるさらなる協力者が……

そして、さらに４人のＰさんに懇願してご快諾を得た〝おねがい上手〟な制作委員会。祭りの最後は４人のＰさんとのミーティング（お願いします会議）の様子をお伝えします！

ここでは4人のPさんに集まってもらったミーティングのもようをREPORT!

お忙しいＰさんたち４人に〝相談のってください〟と頼み込むと、快く引き受けてくれただけでなく、ミーティングにまで参加してくれることに！　大事なことなので２回言いますが、ノベライズ版アイスマの半分はＰさんの〝センス〟で出来ています。

MEETING THEME

アイスマウンテンしばりで、どんな曲ができるのか…

かごめPさん

娯楽性の高い作品が人気！マスタリング技術も定評あり。

「かごめＰ」さんはミックスやマスタリング技術に定評があるお方。その数はニコ動とアルバムを含め１００作品を超える。ボカロ曲通なら〝マスタリング・かごめＰ〟という名曲が多いのはご承知だろう。彼が歌愛ユキに歌わせた楽曲は、その調整技術が秀逸なことから〝伝説のユキマスター〟とも呼ばれている。

Dongさん

専門誌でボーカロイド講座を連載していた研究肌。

「Ｄｏｎｇ」さんはボコーダーという人間の声とシンセサイザー音の中間的な音声を使用して楽曲を作るなどＤＴＭについての知識や技術力で定評のあるお方。ボーカロイドの技術も高く雑誌や本の執筆も行っている。繰り返し聴きたくなる曲や聴くと元気がでるような曲作りが信条。

takamattさん

さまざまなジャンルと、多才な作風の楽曲が魅力的。

「ｔａｋａｍａｔｔ」さんはジャンルにこだわらず幅広い作風の楽曲を作る才能の持ち主。その中でもボカロシーンでは珍しいダンスホール・レゲエやR&Bの作り手としての評価を得ている。ＧＵＭＩに歌わせた『Just a game』は、現在57万再生を突破してボーカロイド殿堂入りを果たしている。

いたちまPさん

音楽に対する真剣な思いで、発言も曲も熱くなる。

「いたちまＰ」さんは２００４年のＭＥＩＫＯ発売と同時に使いはじめたベテランのボーカロイド使い。ボーカロイドは本業で仮歌を作るためにも使っている音楽業界で活躍するお方。初音ミクと巡音ルカに歌わせた『カタストロフィ』が14万再生を超えボーカロイド殿堂入りを達成している。

ICE MOUNTAIN

本日はお忙しいなか、お集りいただきほんとうに恐縮です。せっかくなので、みなさんにとってボーカロイドとは何か？　というお話からお聞きしたいのですが。

かごめP●そうですね〜。楽器、しかもボーカルなのでリード楽器として捉えてます。リード楽器の音色から曲を考えたりするので、曲を主導するボーカルとして考えているのは確かです。自分の分身として自分がこういう声を出せたらと仮定して作っています。

takamatt●自分でなかなか歌えないのと、女性ボーカルの曲を作ってみたいというのがあったのでやってみようかな……と思ったのが最初です。キャラクターありきで曲を作るので、音源には違いないけれど、曲を作る要因にもなっています。

Dong●ボカロにさわる前に、ボコーダーというシンセ音と声の中間のような声で歌を作っていました。ボカロもその延長線上で考えていました。楽器と声と中間の音が出るツールとして考えていて、声でできないこと、楽器でできないこともできるので、探求しがいのある課題ができた……というモチベーションになっています。

いたちまP●僕はMEIKOを仕事のツールとして使ったのが最初です。ニコニコ動画が発展し、しばらくたって初音ミクの現象がおきて、おもしろいな〜と客観的な立場で見ながら使っています。

takamatt●僕もMEIKOからなんですよ。

いたちまP●歌わせようと思うと根気がいりましたよね。仮歌を入れてくれという時に、先入観を与えないために使っていました。

ボーカロイドで曲を作る楽しさって、どういうところにあるのでしょうか？

かごめP●DBの打ち込み以外全部ですかね（笑）。みんなにある程度共通しているのは、多くの人に聴いてもらえるということでしょうか。

takamatt●歌ものを作るときに、ひとりで完成形まで持っていけるのがボーカロイド。そのまま発表できますしね。

かごめP●今でも歌った方が速いと思うこともあるんですけど（笑）。自分好みの音程で、自分好みのニュアンスで歌ってくれるので楽しいです。特にユキちゃんだと小学生があんな声で歌って歌になるなんてあり得ないので、やりがいがあっておもしろいです。

Dong●声質からいじれるのは、シンセとしての楽しみを持っていますよね。

かごめP●DB増えるのを嫌う人いるけど、増える分にはいい（笑）

takamatt●そういう意味ではボーカロイド3も期待している。前向きに積極的に使っていきたい。

いたちまP●ちゃんと歌わなかったときの調整に燃えます。職人魂というか、何とかしてやりたい！　という愛情がわくんです。

かごめP●他の人の到達できないところに行ける楽しさも。

いたちまP●みんな秘密のテクニックはありますよね（笑）

アイスマウンテンのボーカルは氷山キヨテルなのですが、キヨテルの特性というのはどうですか？

かごめP●デモソングや他の方の曲を聴いていたうえで、自分で使ったときは違和感がありましたね。歌わないと言うよりは、何か違うぞっていうのがありました。他の方の曲を聴いて〝何でもできるな〟と思ったんですが、何でもやるためには、結構工夫しないといけないというのは感じました。滑舌はいいですね。男性ボカロとしての発声は「がくぽ」の方が歌に合せるなら使いやすい。

Dong●わりとシャウト、ファンキー的な歌い方をさせています。いろいろなジャンルの曲にのせてみて、〝シャウトはできるな〟という印象はあって、合わないジャンルがあるのもわかって、試行錯誤しながら作っています。

takamatt●ロック系が多いのかな？　と思っていたんですが、トクロとして使うと聴き取りやすいですね。

かごめP●地声で歌わせる曲が合う感じがします。

いたちまP●萌え系、動き方がmikiに似ていると思いました。mikiは時間かければよく歌ってくれるんです。

かごめP●パラメーターを書いていくと素直に反応する。メロディの流れに合わせてジェンダーとか動かすと、それに合わせて歌の表情がころころ変わっていくんです。いじりがいのあるパラメーターはジェンダーではないかと思います。歌の流れに合わせて変えていく感じなので、本当に手間のかかるコなのは確かです。

お願いしておいて何ですが、バンドメンバーの設定を楽曲にどう反映させるか？　そのあたりはいかがでしょうか。

かごめP●まずはどこの設定を残すかを意識しますね。いま作っている曲だと、アイスマウンテンの設定ではナツキが一番目に付いたので、ナツキの設定をギリギリ生きるようにしようと考えました。こいつはパワードラムって書いてあったので、ドラムに力を入れて、ほかはあまり守らなくてもいいでしょうと考えました。

Dong●設定はあっても、私は器用ではないので、しばりから逸脱するんですよね（笑）。作りながら考えていく行き当たりばったりなので、設定は一番最後にどれだけ詰め込めるかですね。

takamatt●私もそんなに器用なことはできないので、設定が最初にあった場合は、それはそれでインプットして、あとは自分が好きなようにやります（笑）。読んだことによって先入観はどうしても残るはずなので、まったく関係のないものにはならないと思いますから。実際、今回、アップする曲も自分なりの設定を盛り込んでいて、実は解散間近のアイスマウンテンで、もうお互い誰も口を聞かなくなった状態。解散最後のアルバムで変な曲を入れてみた……そういう設定の曲です（笑）

いたちまP●設定があると遊べますよね。こうだから、こうじゃないっていう遊び方ができる。設定が曖昧だと自分の色が強く出すぎてしまいます。だから、そういった意味ではかなり面白いですよ。

設定の逸脱は問題ありません。ノベライズ自体、初期設定から逸脱してますから……。takamattさんから解散間近の曲という構想がでましたが、みなさん、どんな曲を構想されているのでしょうか。

Dong●ボカロを聴いている人が若い層なのでキャッチーなもの……と意識しているのですけど、結局、自分がやりたいようになってしまうんです。自分の作る音楽は、電車の中でつり革に捕まりながらイヤホンで聴くような曲なんですよ、通勤通学途中に聴いて、ちょっと気分あがってきたりとか耳に気持ちよかったりとか、目が覚めたりとか、そういう効能がある曲を作りたいと思っています。

いたちまP●僕の場合はいつも好きかってやっているな〜と思われていると思うので……。気にしているのは〝あなた方の聴いている音楽のルーツはこれだよ〟というのを少しずつを取り入れたいと思っています。その人の作った曲のルーツをまったく知らない、その曲がどこから来たのか知らない、結局音楽が軽くなっていく……というのには危惧を感じているので、そういう要素は含ませつつロックな感じで。

かごめP●いたちまPさんがカッコイイ！

いたちまP●すいません、生意気なこと言ってしまって（笑）

かごめP●いま大人達が不景気だといっているなかで、若い人達が聴いているジャンルって、昔の〝俺がみんなぶっ壊してやるぜっ〟ていうロックではなくて、〝俺にはそんな力がないのは、若いけどわかりきっている。でも、なんか悔しいんだよ〟とにじみ出させるロックなんで、そういうのを聴いている人達に、ちょっと訴えかけたい。そういうジャンルでやりたいって感じです。

いたちまP●もともとロックってなんなのさって話で、愛を歌ってみたり、寂しさを歌ってみたり、そういうロックも否定はしないけど、元々は自分の反発心とかを出していく音楽だったんだよ……っていうのを知っていただきたいと思うのは、少なからずありますね。いや、聴くんですよ、僕も。そういう今のロックもステキだなと思うんですよ。でも、ロックンロールを語るなら、そのルーツは知って貰いたいな〜と思います。

かごめP●内側にはあるんだろうけど、表に出てこないというか……。

いたちまP●表に出しづらい世界になっているんだろうけど、そこはアゲンスト全開になってほしいと思うわけですよ。そっちの方が泥臭くて、若者らしくていいと思います。なんでこんな話に……。

かごめP●いたちまPさんがカッコイイ話をするから（笑）

このミーティングからしばらくして、ニコニコ動画に〝アイスマウンテン〟の楽曲が4人のPさんから続々とうpされました（下記コラム参照）。みなさん、ぜひぜひお聴きください！

いたちまPさん

Dongさん

takamattさん

かごめPさん

いたちまPさん

1年ぶりのボカロ曲は懐かしいロック曲

breed

夕陽の差し込む放課後の教室で先生と個人面談……。そんなイメージを元に「ちょっぴり懐かしい感じのロックスタイル」を目指してみました！　セクシーなアイスマウンテンを楽しんでいただけると幸いでございます！

スタッフコメント

予告通りのロック曲。王道的なことをやりつつ、聴きやすい感じの素敵なロックスタイルに仕上げていただきました。
詞：桜ふみさん　イラスト：雪月佳さん　動画：tourou さん

Dongさん

八百屋のギター担当が作った野菜の歌

ベジタブル・ビューティフル

「野菜と果物をテーマにした曲」が存在するという設定に合わせて、いかにもボツ曲っぽい脳天気な曲に仕上げました。何も考えてなさそうな歌詞ですが、本当に何も考えていません。聴き所はシャウトと複雑なAメロです。

解説

中毒性がある曲を作りたいと話していた Dong さん、この歌でセロリにカロチンがあることを知ることができました。ボツ曲どころか名曲です。イラスト：きのぶりさん　マスタリング：かごめPさん

takamattさん

アイスマウンテン解散間近の曲www

GTK!?

設定については、生かすところは生かす、殺すところは殺す、ともう完全にご都合主義でやらせていただきました（笑）。その結果、設定を知った上で聴いても予備知識なしで聴いても、楽しめる曲になっていると思います！

解説

独特な発音ですが、英語を歌わせるのは大変だったのではないでしょうか。"わわわーい"が頭から離れません。
イラスト：富岡二郎さん　マスタリング：かごめPさん

かごめPさん

感情表現豊かに歌い上げる先生に感激！

バスストップシケイン

「今までにないキヨテル曲」をコンセプトに、「上手く歌う」事よりも「感情表現を豊かに」する事を重視して作りました。囁くように抑えつけた前半と、高らかに歌い上げる後半の温度差を味わっていただきたいです。

解説

落ち着いたイケメンボイスに、足早に走り出す音楽、先生カッコイイです。そして多くの楽曲のマスタリング、本当にありがとうございます。
ギター：みきとPさん／イラスト：麺類子さん

ヤマハ公式のネットによるボカロ講座
VOCALOID™ Lesson Online

VOCALOID™3を買ったけどイマイチうまく使いこなせない…
そんなあなたにヤマハがボカロ講座はじめました。

有名ボカロPが
制作した
楽曲データ付き!

初級編

第1回

VOCALOID™3を使ってみよう
ゲスト:剣持秀紀(VOCALOID開発者)
初回特別プライス105円で受講可能

ナビゲーター
青木 繁男

第2回

実際に1曲作ってみよう[1]
ゲスト:小林オニキス(課題曲:「サイハテ」)
小林オニキス制作「サイハテ」楽曲データ付(vsqx/wav)

第3回 NEW!

実際に1曲作ってみよう[2] 12月中旬リリース予定
ゲスト:トエト(課題曲:「ココロ」)
トラボルタ制作「ココロ」楽曲データ付(vsqx/wav)
©トラボルタ/Crypton Future Media, Inc.

第4回 NEW!

作った曲を発表してみよう 12月中旬リリース予定
ゲスト:Otomania(課題曲:「Ievan Polkka」)
Otomania制作「Ievan Polkka」楽曲データ(vsqx/wav)&
たまご制作 オリジナル壁紙データ付

受講料

初級編 各1,050円 特典 今なら第1回が105円で見られます!

VOCALOID Lesson Onlineの
詳しい情報はこちら!
http://www.vocaloid.com/vlo/m/

ROMAN ALBUM
ボカロPlus Vol.2
ボカロプラス

平成24年1月1日 初版発行
発行人/川田 修
印刷所/凸版印刷株式会社
発行所/株式会社 徳間書店
〒105-8055東京都港区芝大門2-2-1
電話03-5403-4385(編集)
048-451-5960(販売)

Produser & CD・Editor-in-Cheaf
浅川 亨 ASAKAWA Toru

Senior Editor
櫻井靖之 SAKURAI Nobuyuki

Editors
大竹 良 OHTAKE Ryo
阿賀加奈子 AGA Kanako
八塚敬昌 YATSUZUKA Norimasa
アドワンス ワークス ADVANCE WORKS

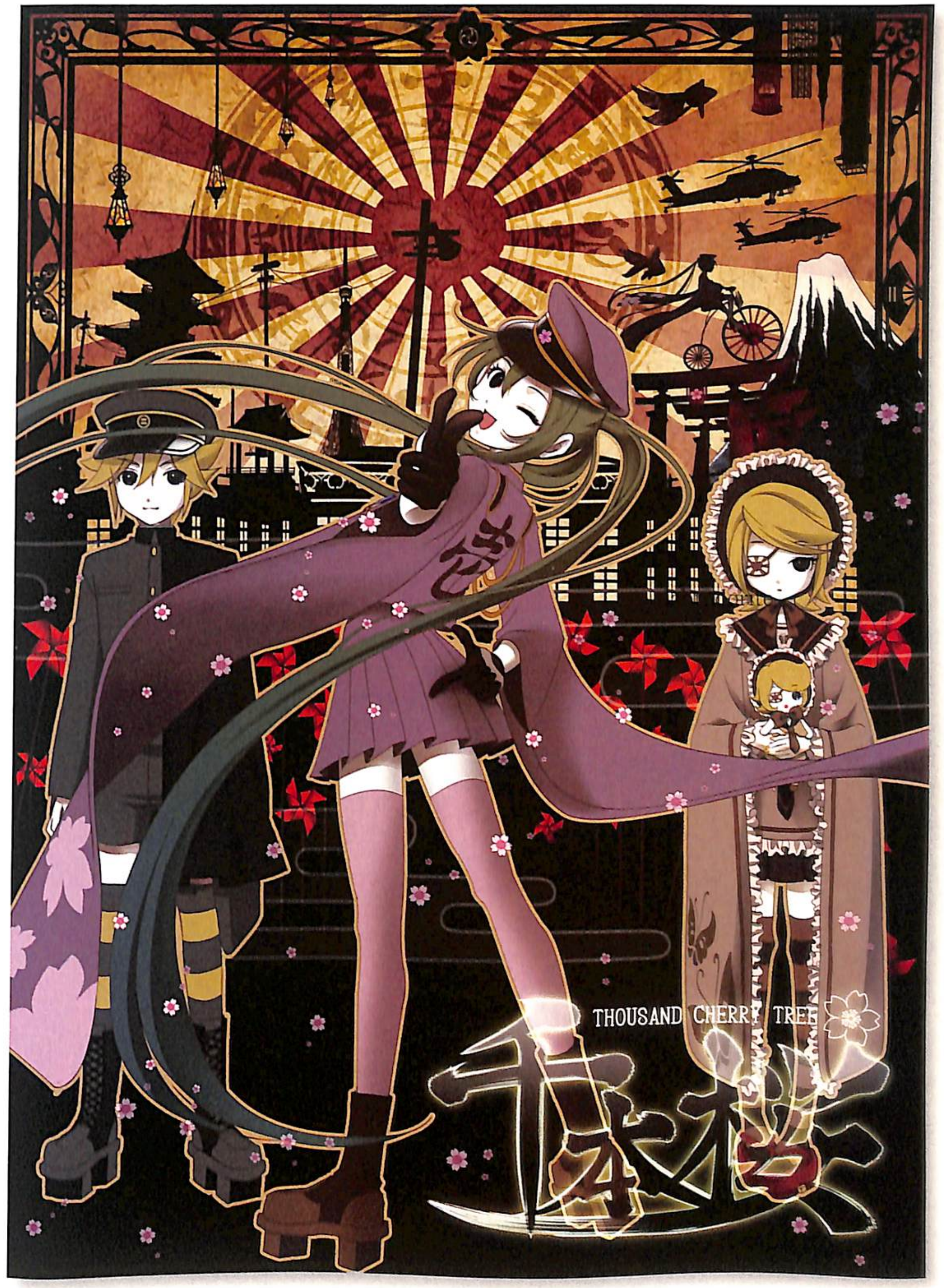
Supervisor
二挺木清孝 NICHYOUGI Kiyotaka

Design(渋沢企画)
渋沢 弾 SHIBUSAWA Dan
野中正之 NONAKA Masayuki
田島智子 TAJIMA Tomoko

Market Analyst
清水 享 SHIMIZU Susumu
治郎丸 慎也 JIROMARU Shinya

TOKUMA MEDIA PLUS
棚谷俊文 TANAYA Toshifumi
髙田暁郎 TAKADA Akerou

企画内容に関するお問い合わせ
株式会社 徳間メディアプラス
〒105-8055東京都港区芝大門2-2-1
TEL:03-5403-4385
tokuma-mp@shoten.tokuma.com



©Crypton Future Media, INC. www.crypton.net

タウンムック ボカロplus Vol.1
好評発売中!

NEXT ISSUE
Vol.3
2012年2月下旬
発売予定

『千本桜』が140万再生を突破!
ボカロplus Vol.3では
動画師「三重の人」さんと
絵師「一斗まる」さんに
PV制作のお話を
お聞きしたいと思います!

※記事内の価格表記は例外を除き税込み金額です。

乱丁・落丁はおとりかえ致します。
本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。

ロマンアルバム
ボカロPlus
VOL.2
2012年1月1日　初版発行
徳間書店
定価：本体1500円＋税
雑誌61581-76

ISBN978-4-19-720343-7
C9476 ¥1500E (0)
9784197203437
1929476015006